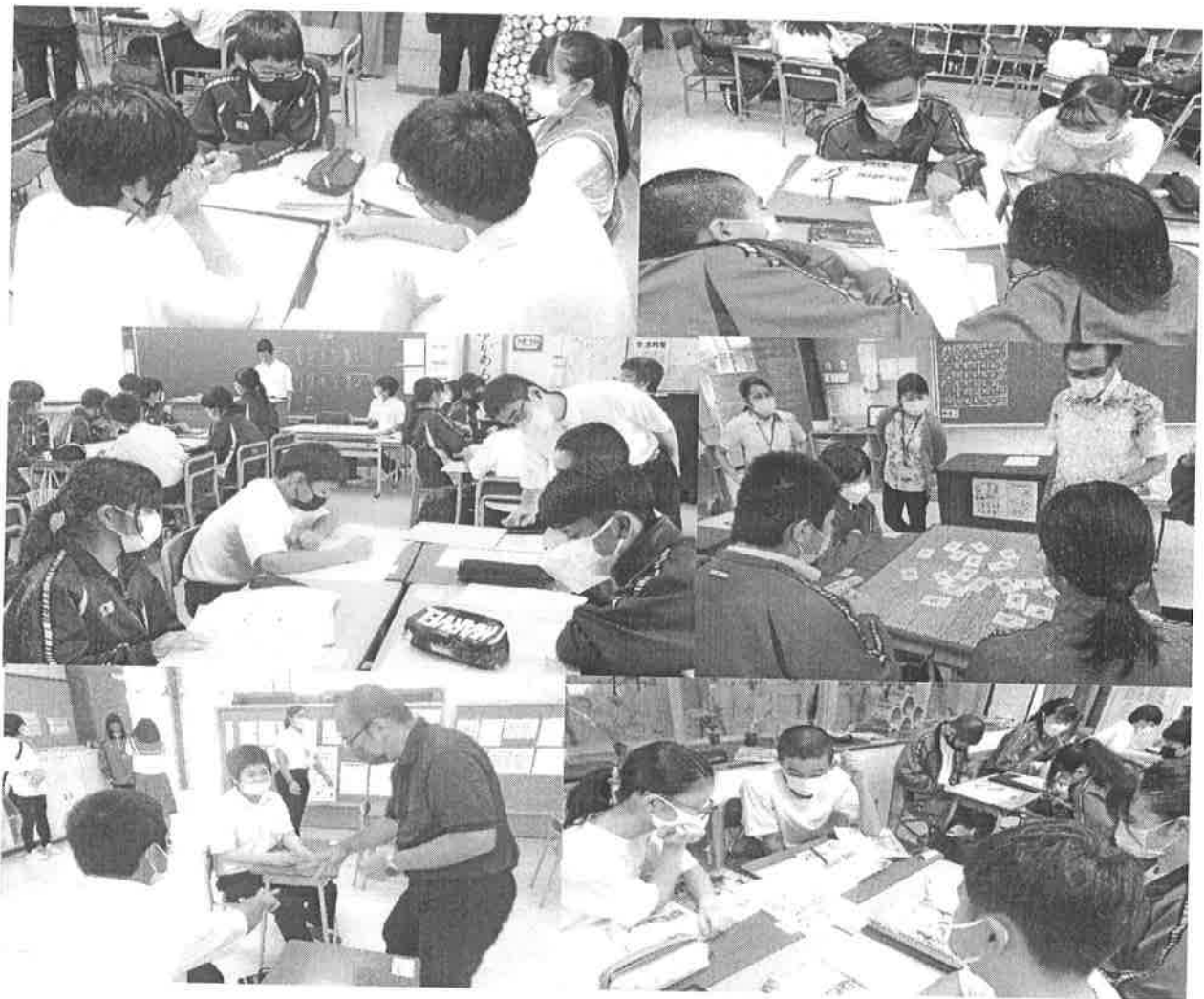


令和4年度 教育活動実践の記録

研究テーマ

持続可能な社会の実現を目指して学び続ける生徒の育成
～学びに向かう力の見取りを通して～



南風原町立南風原中学校

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城 780

TEL (098) 889-2095

FAX (098) 889-2204

E-mail: js-haeb8@pub.town.haebaru.okinawa.jp



目 次

はじめに

1	学校経営方針	 2
2	校内研修計画	 7
3	そろえる実践（はえばるセブン）	 10
4	授業実践	
	国語科・・・17	社会科・・・29
	数学科・・・40	理科・・・55
	英語科・・・68	道徳科・・・73
	特別支援・・・82	実技教科・・・94
6	教科総合訪問	 111
7	南中生徒のイイね	 135
8	校長だより「黄金の教育」	 162

学校経営の方針

1 はじめに

南風原町は、伝統工芸品の「琉球絣」、農業特産物「かぼちゃ」「ストレリチア」や、地域の伝統文化や芸能が現在も受け継がれるとともに、平和学習ができる町、そして、人と人のつながりを大切にする魅力的な町である。

本校生徒は、素直で、真剣な授業態度、活発な部活動への参加など、無限の可能性、能力をもっている。学校の使命である「学力の向上」「豊かな心」「健やかな体」の育成に向けて全教職員一丸となり取り組んでいく。保護者や地域の熱い想いを受け止め、魅力ある学校づくりのために教職員としての自覚と使命感を持ち、生徒や保護者から信頼される学校経営を目指していきたい。

また「持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成」を学校経営の視点に加え、「SDGs」と「キャリア教育」の視点に立った学習活動や授業改善、生徒会活動、地域社会との連携等を推進していく。

○学校の教育目標

○目標を持ち 自ら学ぶ生徒	【知育】
○心豊かで 思いやりのある生徒	【徳育】
○心身ともに健康で 忍耐力のある生徒	【体育】

○黄金の教育「未来へつながる教育」

～ 愛情と信頼に支えられた学校・学年・学級 ～

- 生徒にとって 「通いたい学校」
- 保護者にとって「通わせたい学校」
- 地域にとって 「支えたい学校」
- 教職員にとって「働きがいのある学校」

(1) 【めざす学校像】

- ①生徒にとって楽しく居心地がよく、充実感や自己の存在感が実感できる学校。
- ②生徒一人ひとりの個性や能力が発揮できる学校。
- ③生徒と教職員の心が融和する学校。
- ④教育活動が活発に展開され、活気に満ちあふれた学校。
- ⑤花と緑に囲まれ潤いのある学校。
- ⑥保護者や地域との連携が図られ、保護者や地域の方々が進んで教育活動に参加・協力できる信頼される、開かれた学校。

(2) 【めざす生徒像】

- ①自ら課題を見つけ、主体的に判断し、粘り強く問題を解決する生徒
- ②目的意識を持って、仲間や様々な人と協働できる生徒
- ③素直で思いやりのある生徒。
- ④正義感や公正さを重んじ行動する生徒。
- ⑤勤労の尊さを知り、率先して働く生徒。
- ⑥心身の健康の大切さを自覚し、
健康で安全な生活を送ることができる生徒。



(3) 【めざす教師像】

- ①教育愛に燃え、生徒を支え、生徒の信頼に応えられる教師
- ②教師としての使命感を持ち、常に研鑽し指導力の向上に努める教師
- ③生徒一人ひとりがかけがえのない存在であるという認識に立ち、生徒の良さをみつけ、
温かさを持って生徒を育てる教師
- ④教育公務員としての自覚を持ち、社会人としても品位と人間味あふれた教師
- ⑤率先垂範、師弟同行に徹する教師
- ⑥授業で勝負する教師

2 学校経営の基本方針

- (1) 人間尊重の精神を基盤とした教育を推進する。
- (2) 調和のとれた教育課程、創造的な教育課程を編成し、特色ある学校づくりに努める。
- (3) 生徒を思いやる心、いたわる心、愛情による教育活動に努める。
- (4) 生徒のよさを見つけ、生かし、伸ばす教育活動に努める。
- (5) 生徒に「確かな学力」を身に付けさせ、将来の夢を育む。
- (6) 生徒の主体性の確立と自己教育力を図る。
- (7) 愛情と信頼・信用、温かい人間関係に支えられた学校経営・学年経営・学級経営に努める。
- (8) 学校教育目標を具現化するために、教師一人一人のよさや情報の共有化による指導力、授業の向上、学年・学級経営に努める。
- (9) 校務分掌を責任を持って遂行し、協働体制で創意工夫して教育活動に取り組む。
- (10) 同僚性を生かし、日頃から教育活動について、忌憚のない意見やアドバイスを出し合い、よりよい教育活動とその改善に努める。
- (11) 教育公務員としての責任を自覚し、誇りと自信を持って教育活動に取り組む。
- (12) 教育の専門家としての資質の向上を目指し、自己研鑽や校内研修に取り組む。
- (13) 環境の整備・美化に努め、心を豊かにするとともに、健康・安全に留意する。
- (14) P T A活動の活性化をはじめ、家庭や地域社会、関係機関との連携協力を重視し、地域行事へ参加するとともに、地域人材の積極的な活用にも努める。
- (15) 保護者、地域、家庭との連携を図り、開かれた学校づくりの推進に努める。

3 本年度の重点目標

- 1 学力の向上
- 2 基本的な生活習慣の確立・心を育てる教育の充実
- 3 未来につながる教育の充実（キャリア教育、SDGsの推進）
- 4 生徒会・部活動等の自主活動の充実、学校行事の充実
- 5 学校、家庭・地域社会と連携した教育活動の充実

4 目標達成の具体的な実践の視点

※太字は今年度新たに追加や改定した事項

(1) 学習指導の充実（自立した学習者の育成）

- ①未来を切り拓く力を育成できるように、「自己肯定感の高まり」「学び育ちの実感」「組織的な関わり」をキーワードに、南風原セブンを意識して全職員共通認識のもと学習指導を行う。
- ②単元を見通した授業デザインと「問い」が生まれる授業(日常的な授業モデル)の実践
- ③キャリアの視点「か・ふ・や・み」(かかわる力)(ふり返る力)(やりぬく力)(みとおす力)を意識した授業の実践に努める。
- ④全ての教科の基盤となる「読解力」の育成を意識した授業づくりに努める。
 - ・リーディングスキルを意識して教科書の文章説明や、図・グラフ等の読み取りを行う
 - ・具体例や同義文の活動を取り入れる ・教科書の音読 ・アウトプットの機会の設定
- ⑤「参加する授業」「わかる授業」を目指した学習指導の工夫改善を行う。
 - ・一人一台PCの日常的・効果的活用、 ・一人一公開授業2参観で指導力を高める。
- ⑥基礎的・基本的事項の指導の徹底に努める。
 - ・基礎・基本が身に付いてはじめて学ぶ意欲や豊かな発想、豊かな創造性生まれる。
 - ・授業と連動した家庭学習プリントを活用し基礎的・基本的事項の定着を図る。
- ⑦体験的な学習や問題解決的な学習指導の充実に努める。
 - ・生徒一人ひとりが自ら考え、判断したり表現したりする生徒主体の学習活動の展開を図る。
- ⑧指導計画(評価基準)に基づく確実な評価と授業改善を行う。
 - ・指導と評価の一体化、授業展開に生かす評価と自己肯定感を高める個人内評価の充実を図る。
- ⑨個に応じた指導の充実を行う。
 - ・個別最適な学びのツールとしてPCの効果的活用 ・習熟の程度に応じた指導
- ⑩教材の精選及び地域素材の教材化に努めるとともに、教材・教具の開発を図る。
 - ・地域に根ざした学習活動の展開 ・教師の創造性 ・地域学校協働本部との連携
- ⑪望ましい学習習慣と学習態度の確立に努める。
 - ・チャイムとともに行動（教師は教室でチャイムを待つ） ・黙想・立腰の徹底
 - ・あいさつの徹底 ・聞く態度・応答の仕方 ・学習用具
- ⑫読書指導の充実と図書館の活用。
 - ・朝の自主活動時間の読書 ・読書月間・旬間の充実 ・図書館を活用した教科指導
- ⑬諸学力調査に向けての取り組みや、調査結果の効果的な活用に努める。
 - ・全国学力・学習状況調査 ・県学力到達度調査 ・学びのたしかめ ・その他諸検査

- ⑭自立した学習者の実現に向けて、自己理解や自己管理能力等を高める「未来ノート」の効果的活用を図る。

(2) 道徳教育の充実

- ①道徳科が、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、全職員による研修やローテーション授業等を行い、計画的・発展的な指導を全校体制で行う。
- ②学校の教育活動全体を通じて、日常生活における基本的な生活習慣を身に付けさせ、節度と調和のある生活ができるよう指導を徹底する。
- ③道徳の時間における指導の充実・深化を図り、道徳性を高める。
- ④公共心、公德心を高め、公共物を愛護し、自他の物を区別して責任ある行動がとれるような指導の徹底を図る。

(3) 生徒指導の充実

- ①生徒指導の三機能「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」を大切にした取組に努め、すべての生徒のよりよい成長と自立を目指す。
- ②生徒指導体制を確立し、共通理解と共通実践に努める。
- ③生徒の個性や能力等を多面的にとらえ、共感的な理解と受容的な態度で指導を行う。
- ・肯定的な見方
 - ・生徒理解なき指導は効果なし
- ④教育的愛情を持ち、生徒と日常的に積極的な関わりを持ち、心の絆を太くする
- ⑤すべての生徒はよりよく生きたい、自己回復力があることを信じて指導に当たる。
- ・聞く耳を持つ
 - ・弁明の機会を与える
- ⑥褒める、励ます指導を通して、生徒が自己の存在感を抱くことができるよう努める。
- ⑦教師自身の自己開示に努める。
- ・自らを語る
 - ・生徒からの信頼
 - ・生徒の心を開かす
- ⑧日常の取組を重視し、問題行動の早期発見・早期指導に努め、危機管理体制を確立する。
- ・問題行動の報告・連絡・相談の徹底
 - ・最悪の事態を想定
- ⑨すべての生徒との教育相談を記録に残し、日常的に活用や指導に生かす。
- ・どのように指導したか、良い面も記録、指導の累積として指導法に生かす
- ⑩生徒指導の中核である学級担任が孤立することがないように、学年及び学校としての支援体制を確立する。
- ・学年指導体制の確立
 - ・生徒指導委員会の充実
- ⑪家庭・地域・関係機関との連携に努める。
- ・相互信頼と連携・協力
 - ・情報連携から行動連携へ
 - ・ケース会議の開催

(4) 教育相談の充実

- ①すべての教師が、カウンセリング・マインドをもって指導に当たり、個人のもつ悩み等の解決を援助するとともに、すべての生徒の豊かな自己実現を図るための予防的、開発的な指導・援助を重視する。
- ②日常の教育相談の充実に努めるとともに、定期教育相談の充実を図る。
- ③教育相談活動の充実及び教育相談担当教諭との連携に努める。
- ④保健室は、生徒にとって受容的な空間としての役割を果たしていることから、養護教諭と日常的

に情報交換を行い相互に連携し合う。

- ⑤複雑化する社会や家庭の影響、発達の特性等、様々な事案に対応できるよう、スクールカウンセラーや心の相談員、SSW等の専門スタッフや関係機関との連携を図り、「教育相談委員会」による組織的対応の構築を図る。

(5) キャリア教育・進路指導の充実

- ①自らの将来にしっかりした目標をもち、その達成のために努力することの大切さを分からせると同時に、生徒自ら主体的に進路を選択することができるよう、学校のエデュケーショナル・アクティビティ全体を通して、計画的・継続的、かつ組織的なキャリア教育や進路指導を行う。
- ②生徒が、自己の特性についての理解を深めるとともに、自己の可能性を信じつつ、自分なりの生き方を求めて模索し、将来の夢や希望を抱くことができるよう指導・援助する。
- ③成長の記録となる「未来ノート」や「キャリア・パスポート」を計画的に活用し、指導の継続性を図る。
- ④進路決定に当たっては、生徒自らの意思と責任で選択決定することができるよう指導・援助する。
(校内推薦基準の提示、各高等学校合格基準の活用、各高校案内の活用)

(6) 学級経営の充実

- ①学校教育目標、学年教育目標を具現化するため、「学年経営案」「学級経営案」を作成し、それに基づききめ細かな指導を計画的、継続的に推進する。
- ②町教委が推進する、hyper-Q Uを効果的に活用し、「親和的なまとまりのある学級集団」づくりを生徒と共に創り上げるよう努める。
- ③係活動や当番活動などの諸活動を通して所属感や存在感が得られるようにするとともに、教師と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係づくりに努める。
- ④環境が人を作ると言われる。常に健全な安らぎのある、明るく和やかな雰囲気醸し出すような教室環境を整備する。
- ⑤学級便りなどを通して、学校での生徒の様子、特によい行為をとりあげるなどして、生徒が存在感を抱き、保護者の協力が得られるように努める。

(7) 特別活動の充実

- ①学級活動及び生徒会活動の日常活動の活性化を図り、集団の一員としてより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ②生徒が主体となった学級活動や学校行事等を支援し、自己肯定感や達成感、所属感を高め、充実した学校生活を目指す。
- ③多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- ④自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

2 校内研修全体計画



1 テーマ

持続可能な社会の実現を目指して学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～

2 テーマ設定理由

グローバル化の進展や絶え間ない技術改革、人工知能の進化、生産年齢人口の減少等加速度的に変化し、複雑で予測困難な社会において、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待されている。このような時代に、学校教育では、一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや様々な情報を見極め、新たな価値を構築することが求められてる。これからの社会に生きるために必要な力として、「生きる力」の育成に必要な資質・能力を「何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）」、「理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」、「どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力・人間性等）」の三つの柱に整理されている。そこで、子供たちが求められる資質能力を身に付け、生涯にわたって学び続けることができるように学習の質を一層高める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をすることが大切である。

沖縄県の目指す授業像は、他者と関わりながら、課題解決に向かい「問い」が生まれる授業と掲げられている。生徒が、学習の過程で、主体的に問いをもち、対話の場面で、自分の考えを広げ、深める活動を通して、学習過程を振り返りを充実することで新たな問いが生じ、次の学習につなげる学びの連続性が重要であると掲げられている。また、沖縄県学力向上5カ年プランプロジェクトⅡでは、学力向上の長期目標を、「社会に開かれた教育課程」の実現による豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手となる生徒の育成と掲げ、3つの視点「自己肯定感の高まり」、「学びの実感」、「組織的な関わり」に基づき、授業の質的改善を推進することが提示されている。

沖縄県生徒質問紙の本校における回答は、「自分にはよいところがありますか」に対し、「あてはまる、どちらかというところあてはまる」は80.4%、「先生は、自分のことをほめてくれますか」に対し87.7%、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」に対し95.8%の結果であった。

そこで、生徒が自己の学びを振り返り、自らの学びや変容を実感し、課題解決に向けて粘り強く取り組めるように組織的実践を行うことで学びに向かう力が身につくと共に、持続可能な社会の目標を教科の年間計画に位置づけし、世界が抱える様々な問題を各教科の見方・考え方を働かせて、他者と協働しながらよりよい課題解決を行うことで持続可能な社会の実現を目指して学び続ける力を育むことができると考え本テーマを設定した。

3 研修の方針

- (1) 教育課程の共通理解、課題解決のための方法の確認、共通実践を行う。
- (2) 教科会校内研修の取り組みの一環とする。
- (3) 振り返りシートを活用し、生徒の学びを見取る。
- (4) 各教科、SDGs、キャリア教育（かわる・りかえる・りぬく・とおす）の視点を意識して授業改善に取り組む。
- (5) 授業における基本事項を踏まえた授業の改善を図る。
- (6) 全国学力調査、RST（リーディングスキルテスト）、学びのたしかめ、県学力到達度調査の結果の分析と考察及びその改善策の検討を行う。

- (7) 1人1公開授業の実施と1人3参観、バディでの授業感想により、授業改善を行う。
- (8) 授業や各種テストと連動した家庭学習や宿題を実施する。
- (9) 個に応じた指導、Team-Teachingにおける学習指導法の研究を行う。
- (10) 特別の教科 道徳、特活、進路指導・キャリア教育、生徒指導・教育相談、特別支援等の研修を実施する。
- (11) 電子黒板などの ICT 機器の研修を実施する。
- (12) 生徒アンケートを実施し、不断の授業改善を図る。
- (13) 評価・評定方法を確認する。(新学期)

4 具体的な取り組み

- (1) 全職員、年1回の教科か特別の教科 道徳の公開授業を実施する。
- (2) 指導主事要請訪問は、教科総合訪問〔必須〕+教科研修〔任意〕とする。

①教科総合訪問

複数教科を同一日に要請する。国語・数学・外国語・道徳の4教科は必ず要請する。原則として、5校時に公開授業、6校時に各教科部会、その後、全体会を設ける。要請をしない教科担当も各部会に割り振り、全員参加の研修とする。

②教科研修

原則として、5校時に公開授業、6校時以降に教科部会を設ける。

- (3) 各教科の授業研究会は、各教科主任が推進する。
- (4) 特別の教科 道徳、特活、進路指導・キャリア教育、生徒指導・教育相談、特別支援等の研修会は、各主任、各担当が推進する。
- (5) 研修後の内容を全職員で共有するため、その都度それぞれの担当がまとめて記録に残す。(本時の研修の『ねらい』にせまる『まとめ』を行う。)

5 授業における基本事項

授業改善においては、「授業のねらいの提示」「授業のまとめ」を取り入れ、さらに言語活動や思考を深める発問、生徒の発言や活動の時間の時間確保、ノートの取り方などの学習方法の指導を充実させる必要があると考える。

そこで、授業改善を進めるにあたって、以下の項目を「授業における基本事項」として全校体制で組織的に取り組み、「わかる授業」「参加する授業」を目指した指導の工夫改善とする。

(義務教育課学力向上推進室より)

(本校の一人一公開授業自己評価表)



参考にして作成

5 校内研修実施計画

	研修日	研修形態	主な研修内容
1	4月14日	全体会	・学力向上5カ年プラン・プロジェクトⅡ ・キャリア教育、未来ノートについて
2	5月16	全体会 教科会	・学習評価について ・ICTの活用（実践事例紹介）
3	8月19日	夏季研修	・1学期の成果と課題 ・私の授業実践 ・特別支援教育に関する研修
4	8月22日	夏季研修	・Q-Uについて ・安全に関する講習 ・生徒指導（事例研）
5	9月16日	全体会	・道徳ローテーション授業に関する指導案作り
6	10月18日	全体会	・指導主事招聘授業
7	11月29日	全体会	・ICTに関する研修
8	2月20日	教科会	・教科経営振り返り、年間指導計画の見直し ・到達度調査に向けた共通確認
9	2月27日	全体会 教科会	・到達度調査の結果分析と考察 ・1年間の研修のまとめ

※今後の日程調整で、変更になる場合があります。

8時までの早登校の奨励について

1 ねらい 朝8時までの登校を奨励することで、ゆとりを持ち学校生活がスタートできる。

2 スローガン



3 方針

- (1) 全職員の共通理解を図り、協働体制で取り組む。
- (2) 「8時校門通過 8時5分着席」9割以上の生徒を目指す。

4 具体的内容

- (1) 登校指導（8時00分奨励）を徹底する。
→遅刻指導の徹底、保護者・家庭と連携した指導等
- (2) 入室指導（8時05分）を徹底する。
→担任、副担任で連携した声かけを行う。
- (3) 放送を利用して、生徒が自主的に行動できるようにする。
→8:00～8:05 リズミカル音楽を流している（生徒へ周知してください。）
早く登校した時間を有効に活用する。（8:05～8:15）
→原則として、読書とする。 ※課題や自主学習の時間として活用しても可とする。



5 朝の動き

時間	活動内容	生徒・教師の動き
～7:50	部活動 朝練習・ボランティア	部活動生
7:50～8:00	朝のあいさつ・ボランティア運動	生徒会・部活動生
「8時だよ 全員集合！」		
8:00～8:05	校門通過・教室入室	音楽で動きを促進
8:05～8:15	着席（読書奨励時間）	担任・副担任の見守り
8:15～8:25	黙想・朝の会	担任・副担任の見守り

黙想の統一について

1 ねらい

- (1) 学校全体で落ち着いた雰囲気をつくる。
- (2) 心を落ち着かせ全職員の共通理解を図り、協働体制で取り組む。
- (3) 「南風原町かすりつ子学習のきまり」の「2分前着席1分前黙想」を徹底して取り組む。
- (4) 各教師が型をそろえて朝・帰りの会や集会、各授業で行う。

3 具体的内容

(1) 朝の会の黙想

- 8時13分に級長が号令をかける。
「起立」「朝のあいさつをします」「おはようございます」*挨拶が終わったら着席
- 8時14分に生活委員が前に出て号令で黙想を始める。
「立腰」「黙想！」
- 黙想の時間は20秒程度とし、生活委員の「黙想止め」の合図で終わる。
- 黙想終了後は、司会は生徒を座らせたままで、朝の会を始める。

(2) 授業開始前の黙想

- 2分前に、生活委員で着席の呼びかけをし、着席させる。
- 授業開始1分前に、生活委員が前に出て、号令で黙想を始める。
「立腰」「黙想！」
- 黙想の時間は20秒程度とし、生活委員の「黙想止め」の号令で終わる。
- 黙想終了後は、座ったまま、級長の号令の流れで授業を始める。
「立腰」「これから○時間目の授業を始めます」「礼」「お願いします」

(3) 帰りの会の黙想

- 学級毎に帰りの会を行う。
- 司会が所定の位置に立ち、着席・正座させ、落ち着いた状態になってから、生活委員が前に出て、号令で黙想を始める。「立腰」「黙想！」
- 黙想の時間は20秒程度とし、生活委員の「黙想止め」の合図で終わる。
- 黙想終了後は、司会は生徒を座らせたままで、帰りの会を始める。
「立腰」「これから帰りの会を始めます。」「お願いします」

(4) 全体集会・学年集会の黙想(6校時終了の場合。ただし、5校時終了時は1時間前とする。)

- 15:55 までに生徒は集会場に集合・着席。(正副級長が整列を呼びかける。)
- 5分前(15:55)に生活委員長の指示で、出席係が出席を確認する。
- 2分前(15:58)に生活委員長の号令で黙想を始める。
「あごをひいて 背筋を伸ばして しずかに 黙想！」
- 黙想の時間は20秒程度とし、生活委員長の「黙想止め」の合図で終わる。
- 黙想終了後は、静かな状態で会に入る。
【注意】体育館での集会時の黙想は正座で行う。

1人1公開授業について

1 **ねらい** 日常的な授業改善を行い、教師の授業力の向上を図る。

2 方針

- (1) 全職員の共通理解を図り、協働体制で取り組む。
- (2) 全教師が1人1授業を公開する。
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」及び「カリキュラム・マネジメント」の視点で授業改善を行う。
- (4) キャリア教育の視点「**か**かわる力・**ふ**り返る力・**や**りぬく力・**み**とおす力」を各教科で意識し、授業改善を図る。
- (5) 見せるための授業ではなく、日常の授業をお互いが参観し、授業改善を図る。
- (6) 授業における基本事項」を視点に、授業づくりを行う。
- (7) 11月までに全職員が実施する。

3 指導案について

- (1) 指導略案を作成し、授業を公開する。
- (2) 授業では、キャリア教育の視点「**か**（かかわる力）・**ふ**（ふり返る力）・**や**（やりぬく力）・**み**（みとおす力）」を意識して授業を行う。

4 授業参観について

- (1) 1人3授業参観を目標とする。（まずは自分の教科から）
- (2) 授業を見ながら、付箋紙にコメントを記入する。
 - 付箋紙に成果と課題を書き、ホワイトボードに貼る。（成果：黄色、課題：ピンク）
 - 2つの視点で参観する。→ 視点1「教師の活動」 視点2「生徒の活動」
- (3) 同教科でバディをつくり、授業作りや授業の感想を書きあう。
視点：①めあて②生徒の主体的な学び③対話的な活動④「まとめ」「振り返り」
- (4) バディの感想は、校長便りに掲載する。

5 授業の振り返りについて

- (1) 実施後、授業者は振り返りを行い、自己評価表を記入し提出する。（校内研担当へ）
- (2) バディは、4つの視点について授業の感想を書き、研究主任へ提出する。（研究主任は校長へ）
- (3) 参観者に書いてもらった付箋紙のボードは、職員室に掲示する。

6 その他

- (1) 公開授業の日程は、研究主任と調整し、研究主任は、校長、教頭の日程を調整後、教務へ日時の連絡を行う。（2週間前が望ましい）
- (2) 授業公開（教科・クラス・時間）日時決定後は、週報に載せ、職員室に提示する。
- (3) 指導略案は、前日までに職員に配布する。
- (4) バディは、ホワイトボードの準備及び授業の様子を写真で撮って、フォルダーへ提出する。
- (5) 略案及び自己評価は、研究収録にまとめるため、データでの提出も行う。

宿題（家庭学習）について

1 ねらい

- (1) 年間を通して、授業と連動した家庭学習プリントを学習させることで、生徒の基礎・基本の定着を図る。
- (2) 長期休暇（春休み・夏休み・冬休み）に宿題を行うことで、基礎・基本の定着を図ると共に、学習の習慣化や学習の遅れを補充するための学習の保障を行う。

2 期 間 通年

3 方 針

(1) 家庭学習プリントについて

① 5教科で取り組む。

（月曜日：国語、火曜日：社会、水曜日：理科、木曜日：英語、金曜日：数学）

② 問題は授業と連動した内容や到達度調査、全国学力・学習状況調査の基礎・基本問題等の諸調査を意識した内容にする。

③ 教科担任は、上記の内容を定期テストにも反映させる。

④ 教科担任は、生徒の理解度を確認し、授業改善や個別指導に生かす。また、評価に加点する。

⑤ 教科担任は、当日の4校時までにA4サイズのプリント課題を所定の場所に準備する。

⑥ 学習委員は、宿題を帰りの会で配布し、提出当日の2校時の休み時間までに職員室の所定の場に提出する。

⑦ 宿題は、基礎・基本の学習を繰り返し行うことで、学力が定着することを生徒に理解させ、全職員で共通実践をする。

(2) 長期休暇の宿題について

① 1、2年生は、春休み、冬休みとも5教科の宿題を出し、全国学調や到達度を意識した問題を各教科で作成する。

※新1年生（小6）は国語・数学の2教科とし、3年の冬休みは受験勉強とする。

② 夏休みは、1、2、3年5教科の宿題を出す。

③ 宿題は回収後、評価する。

④ 長期休暇時の宿題内容はしおりに載せるため、研究主任がとりまとめ、教務主任へ提出する。

⑤ 宿題は、各教科で生徒へ配布する。



学力強化月間について

1 ねらい

各学期初めの1か月間を学力強化月間として、学習規律やそろえる実践を確認し、取り組むことで、生徒の意識を高め、基礎・基本の定着を図る。

2 期 間

1学期（4月）基礎学力定着徹底月間

2学期（5月）既習事項定着徹底月間

3学期（1・2月）学力強化月間

3 方 針

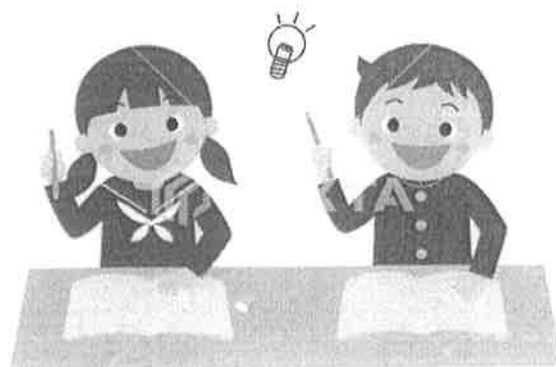
- (1) 教師も生徒も各学期の初めに、学習規律の徹底を意識する。
- (2) 家庭学習プリントの確実な取組と提出を徹底する。
- (3) 全国学力・学習状況調査や到達度調査に向けた取組も意識する。

4 具体的な取組内容

- (1) 2分前着席 1分前黙想
 - ① 休み時間で、学習用具の準備を済ませ、落ち着いた雰囲気ですべての授業に臨む流れをつくる。
 - ② 生活委員と連携し、授業開始2分前着席、1分前黙想を徹底する。また、教師も早めに入室する。
- (2) 家庭学習の取り組み
 - ① 実施教科は国社数理英の5教科とする。（そろえる実践④との関連）
 - ② 学習委員と連携し、家庭学習プリントの提出率100%を目指す。
 - ③ 確実な実施と取組強化のため、担任も協力し、声かけを行う。

5 その他

- (1) 教科書履修計画【1・2年】
 - ① 県到達度調査までに、教科書を履修できるように計画する。
 - ② 12月から2月までの計画表を提出する。



定期テスト前講座について

1 ねらい

- (1) 各学期の期末テスト直前の5日間を学力アップウィークとし、計画的に基礎・基本の定着を図る。
- (2) テスト直前に補習を行うことで意欲の向上と達成感を味わわせる。

2 期 日

テスト前の5日間（土日祝祭日を除く） 帰りの会終了後から40分程度とする。

3 方 法

5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	
テストの日程に合わせて組む					定期テスト

- (1) テスト5日前から5教科（国・理・英・社・数）を学習する。
- (2) 帰りの会終了後、16:00～16:40の40分程度とし、各教科担当が指導にあたる。
- (3) 各教科担当で基礎・基本問題を作成する。
- (4) 内容を各定期テストに反映させる。（2割程度を出題する。）
- (5) 対象生徒は、各学級5名前後、全学級で40名以内とする。
- (6) 対象生徒は中間テストの結果や習熟度に応じて、各教科で指名し、出席確認は各教科担当が行う。
- (7) 自主参加の生徒も可とする。
- (8) 期末テスト前に、教科担任から説明と対象者への連絡を行う。
- (9) 学習支援ボランティアを要請する場合は、学推担当が取りまとめる。

4 場 所

学年	1年	2年	3年
場所	第2美術室	第3理科室	視聴覚室

5 補習参加の心得

- (1) 対象生徒は安易に欠席せず、必ず受講すること。部活動生は補習を優先する
- (2) やむを得ず、欠席する場合は担当に連絡する。



未来ノートについて

1 ねらい

キャリア教育における沖縄県が目指す生徒像「自分で考え、計画して、行動に移すことのできる生徒」を意識し「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成を図る。

2 期 間 通年

3 方 針

- (1) 全学年で実施する。
- (2) 未来ノートが学校オリジナルのものを作成する。
- (3) テストの記録や読書記録など、日々の活動を生徒自身が記録する。
- (4) 担任が定期的に点検し、学活で振り返る時間を設ける。

4 具体的な取組内容

- (1) 毎月第1週の学活の時間を「未来ノートの日」とし、説明や振り返りの時間を設定する。
- (2) 登校後の朝活で、1日の日程を確認する。
- (3) 帰りの会の前に、1日の振り返りを行い、一言日誌を記入する。
- (4) 担任は、定期的に点検する。
- (5) 各教科の豆テストの結果や定期テストの結果など、日々の学習活動の記録も適宜行い、活用する。

5 その他

- (1) キャリア・パスポートとの関連を図りながら、取り組む。
- (2) 特別活動の年間指導計画の中に位置づける。
- (3) 生徒心得など、生徒の学校生活に係る資料も一緒に掲載し、生徒自身がいつでも確認できるようにする。
- (4) 日々の生活の記録やテストの記録、検定やコンクール等の記録といった、自分自身の記録を残せるようなものとする。

公開授業 (国語) 科学習指導案

日時 : 11月21日(月) 6校時

日時：11月21日（月）6校時

1年 7組	授業場所	1年7組教室	授業者(T1)	上江洲亜里沙	(T2)	比嘉麻希
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		いにしえの心にふれる「今に生きる言葉」				
本時のねらい		故事成語を自分の体験と重ね、文章構成を工夫した体験文を基に4コマ漫画を描くことができる。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「かかわる力」 学習末課題「故事成語の4コマ漫画」を班で読み合い、感想や意見を交流させる。 「ふりかえる力」 故事成語の意味を捉え、自分の生活を振り返り、故事成語と関連させた体験文を書かせる。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動			留意点	
導入 (5)分	つかむ	・これまでの学習を振り返り、「故事成語」について再確認する。 ・めあての確認 めあて：故事成語に合う体験文を考え、体験文の構成メモを基に4コマ漫画を書こう。 ・学習末課題の説明を行う。				
展開 (40)分	考える	・前時に書いた体験文を「起承転結」の構成になるように推敲し、構成メモに記入する。 ・構成メモを基に、4コマ漫画を描く。			・体験文のA評価とB評価の例を提示する ・絵の上手さを評価するものではないと伝える。	
	深める	・班で4コマ漫画を読み合い、基になった故事成語を予想し書き込む。また、感想や意見も書く。 ・予想した故事成語が合っていたかを口頭で答え合わせをさせる。 ・ロイロノートに4コマ漫画を提出し、学級全員の4コマ漫画を鑑賞する。				
まとめ (5)分	まとめる	・振り返りシートを記入する。 ・学習末課題と振り返りシートを回収する。				
本時に行う評価		〔思考力・判断力・表現力〕 故事成語を自分の体験と重ね、文章構成を工夫した体験文を基に4コマ漫画を描くことができる。(B書く(1)イ)				

弟とお菓子を奪い合っていた！その時、いったい何が起った？

11月21日(月)、上江洲亜里沙先生が授業を公開しました(1年7組)。本時は、生徒が自身の体験談を故事成語と結びつけ、その体験文を基に、4コマ漫画を描くことが目的です。

亜里沙先生の授業で大変参考になったのは、4コマ漫画を作成する際に、『絵の善し悪しではなく、起承転結と結びつけて構成することが大切だよ』と、評価のポイントを生徒に示すことで、生徒は自身の体験文と故事成語を照らし合わせながら推敲し、その体験文を起承転結に構成する姿がありました。



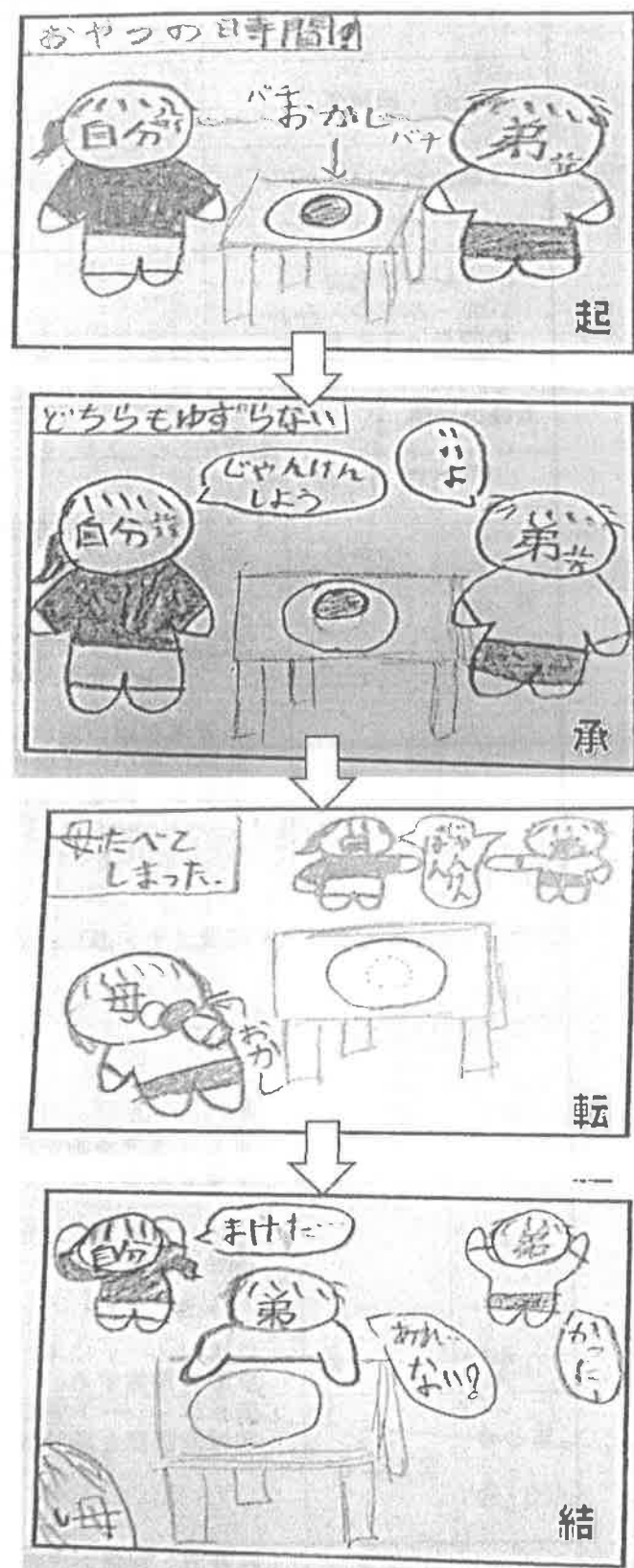
授業後半では、作成した4コマ漫画をグループで読み合い、感想や意見を書くこと(相互評価)を予定していましたが、時間が足りませんでした(タイムマネジメント)。

「4コマ漫画を描く」という、本時のねらいは達成されたと思いますので、次時は、生徒が故事成語を「生きた言葉」として獲得する姿を期待し、次時の授業を楽しみにしています。

亜里沙先生、ありがとうございました。

表1 Nさんの体験文と4コマ漫画(右図)

【Nさんの体験文】	★原文のまま記載
漁夫の利：両者が争って互いに譲らないうちに、第三者が利益を独占してしまうこと	
起	おやつ時間に、弟と自分が残りの一つのお菓子をどちらが食べるか争っていた。
承	どちらも譲らないので、じゃんけんで決めることにした。
転	すると、お母さんがやってきて、そのお菓子を食べてしまった。
結	じゃんけんで買った弟が食べようとしたが、すでに母に食べられていた。これぞまさに、漁夫の利だ。



中学校国語科における故事成語の指導について ★参考：京都教育大学教育実践研究紀要 第18号より抜粋

小学校で何を学んだのかを確認し、教科書で関心や意欲を高めた後に、発展学習として故事成語に触れる時間を作ることが必要であり、生徒自身が学んだことを使用できる、つまり生徒自身が普段の生活の中で使える生きた言葉となるように指導するという教師側の指導力が求められているといえるだろう。

公開授業 (国語) 科学習指導案

日時 : 12月15日(木) 2校時

日時：12月15日(木) 2校時

1年3組	授業場所	教室	授業者(T1)	比嘉麻希	(T2)	上江洲 亜里沙
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		方言と共通語 方言の豊かさを味わおう				
本時のねらい		方言の特徴を捉えた上で、今後残していきたい方言を選ぶことができる				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「かかわる力」(人間関係形成) 本時の授業では、方言が地域独自の伝統的な文化を継承する役割を担っていることを理解したうえで、今後残していきたい「うちな一ぐち」について自ら選択し、選んだ理由を考えてまとめていく。課題を進めていく中で、自らが大切にしていきたいと思う「言葉」への思いを表現させたい。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 (5)分	つかむ	前時の学習を振り返る。 「方言」と「共通語」それぞれの役割について捉えたことを振り返る。 本時のめあてを確認 残したい方言を見つけよう 「しまくとうば読本」を配布する。				スライドを見ながら確認する。
	考える	「うちな一ぐちクイズ」を出題 単純な方言から、数字を表わす方言に関する問題を解く。 「しまくとうば読本」にある日常会話の一部をペアで練習する。 「豆知識」 方言には「古語」の名残があることを確認する				生徒の興味関心を喚起。 買い物編を開き実際に声に出してみる。
展開 (35)分	深める	文化と言語のつながりについて捉える。 主発問：残しておきたい「うちな一ぐち」を選びましょう 課題：私の「黄金言葉」を選び、選んだ理由もまとめる				言語の消失が文化の消失にもつながることを伝える。 タブレット・読本を活用させる。
	まとめる (活用する)	各自が選んだ「うちな一ぐち」と選んだ理由を発表し、他者の考えを聞く。 ワークシートに振り返りをまとめる				まとめに時間がかかった場合は、発表は次時に持ちこす。
まとめ (10)分						
本時に行う評価		【思考・判断・表現】ワークシート 身の周りで使われている方言や、集めた材料の中から取捨選択し、残していきたい方言について自分の考えを明確に表現することができたか。				

うちなーの黄金言葉『しまくとぅば』を学ぶ！

12月15日(木)、比嘉麻希先生が授業を公開しました(1年3組)。本時の授業は、方言の豊かさを味わおうと題し、生徒が次世代に残していきたい方言を選び、その理由を説明することが目的です。

授業の導入場面は、うちなーぐちクイズで大盛り上がり(図1)。生徒と麻希先生との言葉のキャッチボールが面白くて、麻希先生のツッコミも心地よく、教室が生徒の元気な声と笑顔に包まれていました。

(佳奈先生、1年3組ステキな学級ですね😊)

授業中盤は、沖縄県から生徒に支給される「しまくとぅば読本」を使って、実際に方言の練習をしました。生徒は、ぎこちないなりに、一生懸命方言を使って伝え合う姿が見られました(図2)。

麻希先生の授業で大変参考になったのは、『清らしーちゅらしー美しい』、『つぶりーちぶるー頭』など、『古語一方言一現代語』を関連付ける場面を設けており、単に方言を練習する授業ではなく、「方言と共通語」という、国語の学習のねらいに迫っていました。

また、方言の消失は、沖縄の伝統文化(組踊り・琉球舞踊 etc)の消失にもつながることを、生徒と方言の意義について考える場面もナイスでした(*^_^*)

麻希先生、ステキな授業ありがとうございました。

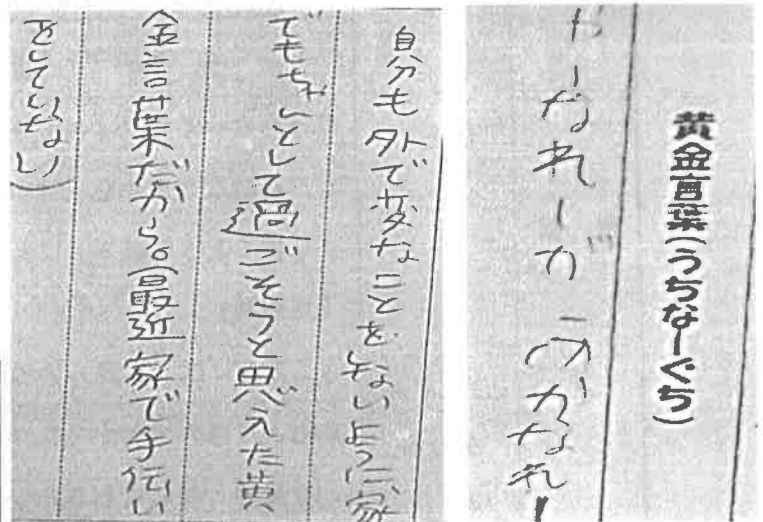
『まきねーねー、ちゅーや、ゆくいみそーれー』



図1 「なーべーらー」と「とーびーらー」の違いは？



図2 しまくとぅば読本を使って方言の練習中



今日は、昔から沖縄で使われている言葉を学ぶことができたので、少しでも方言を使えるようにして、沖縄のおじいちゃん、おばあちゃんとも話してみたい。

図3 両親が県外出身のAさんの黄金言葉と振り返り



図4 女流歌人の「恩納なべ」と「よしやー」

9月18日はしまくとぅばの日！しまくとぅば普及振興行動計画(沖縄県)

しまくとぅばとは、「故郷のことば」であり、沖縄の自然や人々の顔や声と共に再生される、具体的な形をもった生活のことばです。そして私たちの父母や祖父母の生まれ育った土地のことばともいえるのです。

いま、最も必要なのは沖縄で生まれ育った「しまくとぅば」の継承です。あなたも「しまくとぅば」の普及・継承活動の、担い手のひとりとして、できることから始めていきませんか。



公開授業 (国語) 科学習指導案

日時 : 12月21日(水) 3校時

1 年 8 組		授業場所	教室	授業者 (T1)	平良 直美	(T2)
校内研修テーマ			持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名			〔小説〕 『星の花が降るころに』			
本時のねらい			作品のその後を創作し読み合うことで、他者との考えの違いや、作品に対する自分の考えを深めることができる。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点			「かかわる力」 ・書いた文章を読み合い、互いに意見を交流することができる。 ・登場人物の心情の変化や作品に対しての自己の考えを深めることができる。 ・同じような予想展開でも、登場人物の心情表現やセリフによって物語の印象が異なることに気づかせる。			
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導 入 (10)分	つかむ	・前時の確認を行う。				
		めあて：創作した第5場面を読み合い、作品に対する自分の考えを深めよう。				
展 開 (30)分	考える	・本時の流れを確認する。				・第一時に行った予想展開を振り返る。
		・作品の読み直しを各自で行う。 ・グループごとに創作文を発表する。 【発表方法】 自分の書いた第5場面を音読し、このような展開にした理由を説明する。 聞き手は、質問や感想を記入する。 ・質問・感想交流タイム グループ全員の発表が終わったら、記入した質問や 感想を伝え合う。 ・グループの推し作品を決める。 ＊記入条件を守り、これまでの展開を抑えて書いている作品を選ぶよう声かけする。				
	深める	・創作文を交流し合うことで、自ら気づいたことや考えたことを文章でまとめる。				・作品が仕上がっていない生徒に対しては、口頭でその後の展開を説明させる。 ・『作品に関する』気づきや考えを記入するよう注意する。
まとめ (10)分	まとめる	・いくつかのグループの推し作品を発表する。(時間があれば) ・振り返りシートの記入。				・電子黒板に表示
本時に行う評価		[ワークシート] ・作品交流を通して、作品に対する自分の考えを深めることができる。 ・条件に従って、文章を書くことができる。 [主体的に学習に取り組む態度] [思考・判断・表現]				

衝撃のクライマックスに感動の拍手 (笑) ～創作文を読み合う～

12月21日(水)、平良直美先生が授業を公開しました(1年8組)。本時は、小説『星の花が降るころに』の創作文を読み合い、多様な考えを交流する活動を通して、作品に対する自分の考えを深めることが目的です。直美先生のたくさんのイイね！を以下に紹介します。

イイね① 生徒が前時で作成した創作文の展開予想を紹介することで、本時の問いにつなげていた(図1)。

生徒がワクワクしている表情がよく見えましたね！

イイね② グループで他者の創作文を読み合う場面を設定し、付箋紙を使って気づいたことを記入し、交流する場面を設定することで(図2)、生徒が創作文を推敲するきっかけを与えていた(相互評価)。

授業終盤に、グループで『Good 作品』を決め、押し創作文を共有する場面がありました(図4)。特に、Kさんの発表(創作文)は、思春期まっただ中の中学生の恋心や、繊細な心が紐解かれており、多くの生徒の共感を得ていました。そして、「やっぱり訳がわからない…」で締めくくる衝撃のクライマックスに、リスペクトの拍手が鳴り止むことはありませんでした。生徒のアイディア(発想)は多種多様で本当に面白いですね。

直美先生、楽しい授業ありがとうございました(^^)／

★みんなの第5場面 展開予想★

「私」が「夏実」に謝って仲直り。
「夏実」と仲直りして、再び銀木犀の木の下で笑い合う。
「私」と「夏実」は仲直りできないけど、「戸部君」との仲が深まる。
「私」と「夏実」は仲直りして、「戸部君」と付き合う。
「私」と「夏実」は仲直りするが、「戸部君」とは仲が悪くなる。
「戸部君」と「私」が仲良くなる。
「夏実」とはそのままの関係で、「戸部君」とも何もなし。数年後、夏実と再会し、友達になる。
「新しい友達」と銀木犀の花を拾う。

図1 前時で書いた創作文より、本時の展開を予想！

作品を読み合おう！

【方法】
①グループの人の書いた、第5場面と理由を読み合う。
②付せん紙に、感想や気づいたことを記入する。

グループ内の「グッド作品」を決めよう

◎良かった点や疑問点

名前()

忘れずに記入！

③全員の作品を読み終えたら、付せん紙を交換し、感想を交流する。

図2 創作文を読み合い、コメントを記入する！



図3 グループの創作文を読み合っている場面



図4 押し創作文を発表している場面

1人1人深々美味か
あ、すこしと見ました。
銀木犀は、11月20日くらい
咲いた。表現が、いいね
見ました。

さ、合読文を入れることができたところだ。
仲間と仲良くしたりするというのがいいと思った。ひでさん
は、おとなじみを登場させていてすごいと思った。自分の改善
点は、合読文を入れることができたところだ。

図5 上は、Hさんが書いたIさんへのコメント、右は、仲間の感想を読んだ後の、Iさんの改善点

Iさんにインタビュー『仲間の創作文を読んでどうだった？』

やっぱり人はそれぞれで、いろいろな意見や考え方があるし、創作文だとその人の個性が出るから読んで面白かった。

公開授業 (国語) 科学習指導案

日時 : 11月16日(水) 3校時

日時：11月16日(水)3校時

2年5組	授業場所	教室	授業者(T1)	山川志穂	(T2)	比嘉 唯先生	
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～					
単元名・教材名		随筆 『字のない葉書』向田邦子					
本時のねらい		本文に登場する人物に対して、筆者はどう想っているのか。本文中の言動や表現の仕方から考えることができる。					
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「やりぬく力」 ・単元計画からこれまでの活動をふり返り、学習末課題を完成させる。 ・他の生徒との書き方に違いがあったとしても、おそれず自身の考えとして完成させる。(多様な表現の方法の提示) ※本時は手紙を書くが、想いを伝えることを重視するため本来の形式は指定しない。					
本時の展開							
	学習過程	学習内容・活動				留意点	
導 入 (7)分	つかむ	・これまでの活動をふり返り、邦子さんは父に対してどう想っているのかをふり返る。					
		めあて：邦子さんは父に対してどう想っているのか。手紙を通して表現しよう。					
展 開 (35)分	考える	・好き嫌いメーターを確認し、父への想いである「好き」「嫌い」の表現を具体化する。 例) 好き：尊敬する、愛おしい、カッコいい等 嫌い：イライラする、怖い、離れたい等 ・学習末課題 具体化した想いを、父に伝えられるように手紙を書く。 〈条件〉 ①妹が学童疎開から帰ってきた年から、三十一年後に手紙を書いた設定とする。 ②前半部・後半部の両方の話題に必ず触れる。 (あの時、△△な事があったよね。など) ③父の人柄について書く。その際、本文中の父の行動を理由とすること。 (～な行動をしていたから、○○な人だと思ったよ。など) ④邦子さんが想う、「父に対する想い」を書く。				・父以外で例を提示し好き嫌いの表現を発見させる。 ・邦子さんになりきって書かせる。 ・条件が満たされているかを確認しながら机間巡視を行う。	
	深める	・ペアで手紙を読み合い、父に対する想いとして、共通する部分・共通しない部分を確認する。 (個によって抜き出した箇所が違っていると予想されるため、箇所に沿ったそれぞれの想いを発見させる。)					
まとめ (8)分	まとめる	・これまでの活動を再度ふり返り、「相手は○○に対してどう想っているのか」言動や表現から想像することができることを伝える。 ・振り返りシートを書かせる。 ・学習末課題を回収する。				・随筆や物語などの文学作品に関わらず、日常生活の中でも活かすことができる。	
本時に行う評価		学習末課題(手紙)で評価を行う。 思考力・判断力・表現力 本文に登場する人物に対して、筆者はどう想っているのか。本文中の言動や表現の仕方から考えることができる。					

随筆(エッセイ)を味わい、読書に親しむ態度を育てたい。

11月16日(水)、山川志穂先生が授業を公開しました(2年5組)。本時は、向田邦子さんの随筆「字のない葉書」のクライマックスシーンで、「父への想い」を捉え、生徒が筆者の気持ちに寄り添い、考えをまとめていく時間となりました。

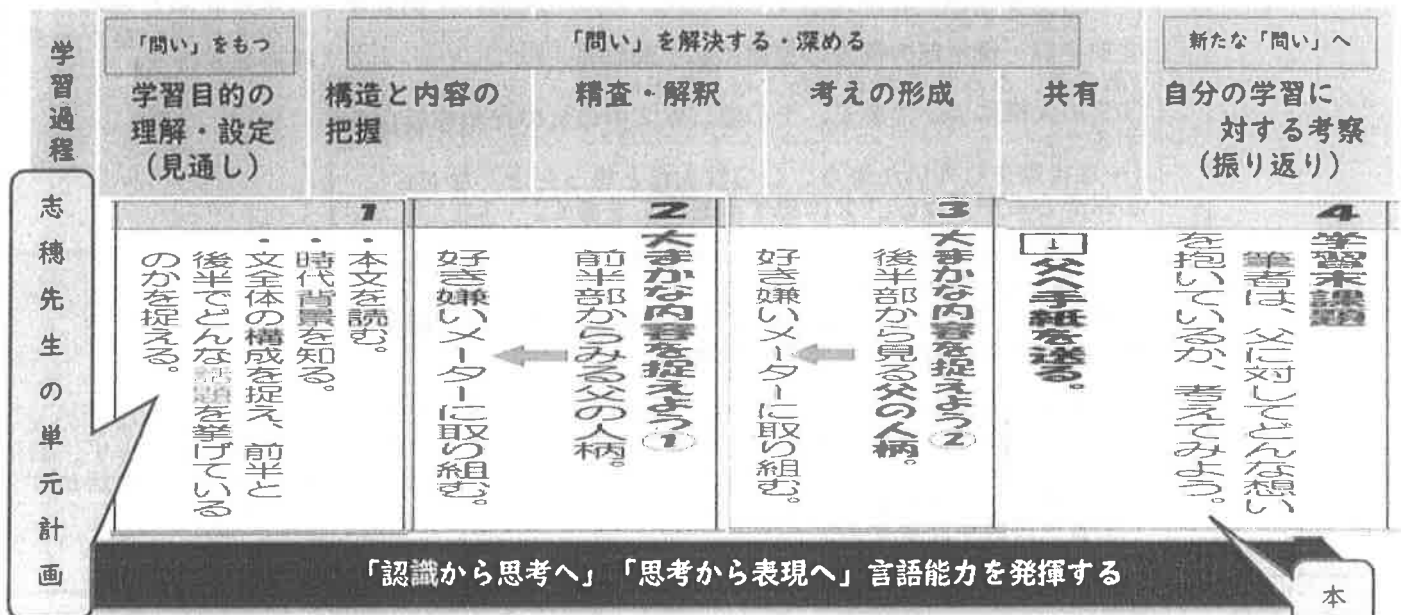
志穂先生の授業で大変参考になったのは単元デザインです。図1に示されているように、志穂先生の単元デザインを問いサポP.18と照らし合わせてみると見事に一致(〇)/

単元や題材のまとまりを設定し、指導内容のつながりを意識しながら、効果的に学習を展開する授業デザインがなされていたと思います。

以下は、授業を参観したバディの唯先生からの感想です。

- ① 生徒は、第2時、第3時で読み取った、筆者の父親への気持ちや父親の人柄を、手紙という形式で表現できるようになった。また、筆者の気持ちを想像しながら筆者になりきって手紙を書くため、気持ちを想像することができるようになった。
- ② 本時は、どちらかというと自力解決の授業で、生徒は手紙を書くという言語活動を通して、自身が読み取った父親の人柄や、筆者の気持ちを表現していた。次時は、他者と交流をする活動を取り入れることで、生徒が描写の違いを比較したり、考えを広げたりし、言葉の見方・考え方を価値付ける姿が期待できそうである。

「問い」をもたせるために単元をデザインする(例 読むこと)



「見方・考え方」：〈5年例〉説明的文章の表現・内容に対する考えを広げたり深めたりするために、構成や言葉の特徴に着目し、要旨や筆者の主張を捉え、自分の考えを再構築し言葉で表現する。

文部科学省：「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ(国語科における学習過程のイメージ)」参照

図1 本単元×生徒が「問い」をもち言語能力を発揮する「単元づくり」を(問いサポP.18)

随筆

字のない葉書 向田邦子

めあて：邦子さんは父に対してどう想っているのか。手紙を通して表現しよう。

③書いた手紙を読み合おう。(5分)

①妹が学園祭開会から帰ってきた年、三十一歳の時に手紙を書いている設定とする。前半部・後半部の両方の話題に必ず触れる。
父の人物について書くこと。このとき、本文に書かれている父の行動を理由にする。
小村さんが思う、「父に送る想い」を詳しく書く。

②学習末課題に取り組もう。(25分)

①父への想いを具体化し、ノートに書き留めておこう。
※これまでの好き嫌いメーカーのそばに書き留めよう。



本時

漢詩『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 by 李白

12月20日(火)、比嘉唯先生が授業を公開しました(2年3組)。本時の授業は、自分が好きだと思った漢詩の表現を抜き出し、その理由を考えることを通して、漢詩の構成や表現の効果について理解を深めることが目的です。

唯先生イイね！と思ったのが、生徒との対話がお上手で、時にはツッコミも混ぜるなど、教室にいる全員を清々しくて爽快な気持ちにさせてくれます。また、『生徒の反応がとても良かった』のは、唯先生の発問が分かりやすいからだろうなと思わず感心する自分がいました。

単元計画や本時のタイムマネジメントには改善の余地がありそうでした(図2を参考に)。生徒がロイロノートを使って好きな表現を抜き出し、その理由を説明する時間を十分に与えることで、本時のねらいに迫ることができたかもしれません(図1)。次時を楽しみにしていますね😊

国語科の沙織先生からは、読み取った心情や情景を生徒に表現させ、それをグループで共有し、生徒の言葉でまとめることで、言葉の見方や考え方を働かせる契機につながると、アドバイスをいただきました(生徒全員が Output する場面設定、説明く発問、先生が説明く生徒が調べる)。

唯先生、ありがとうございました(^^) /

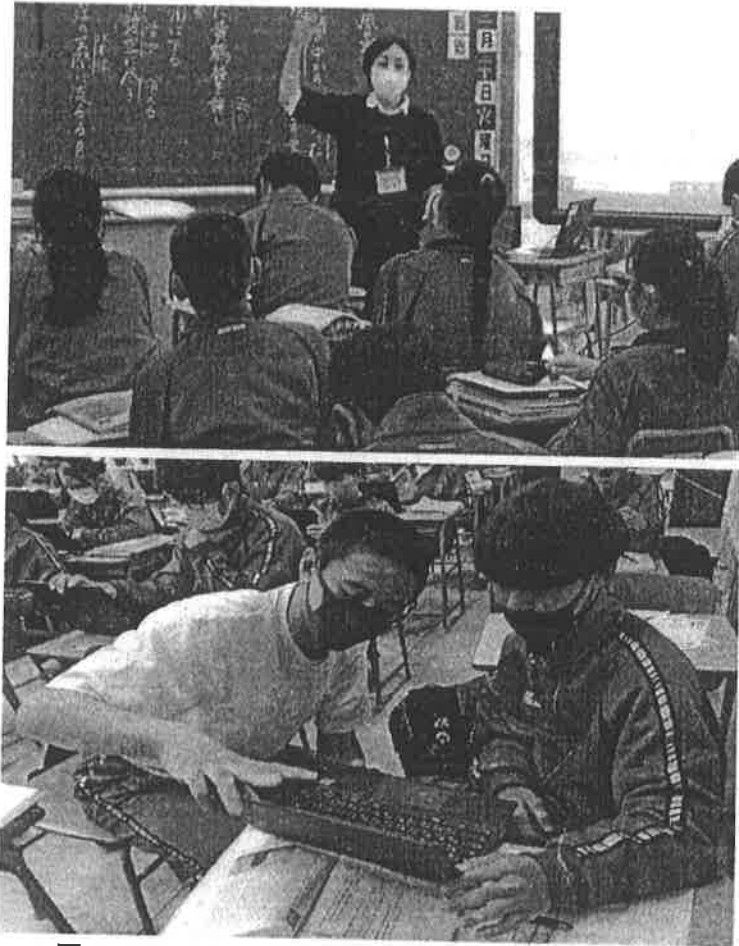
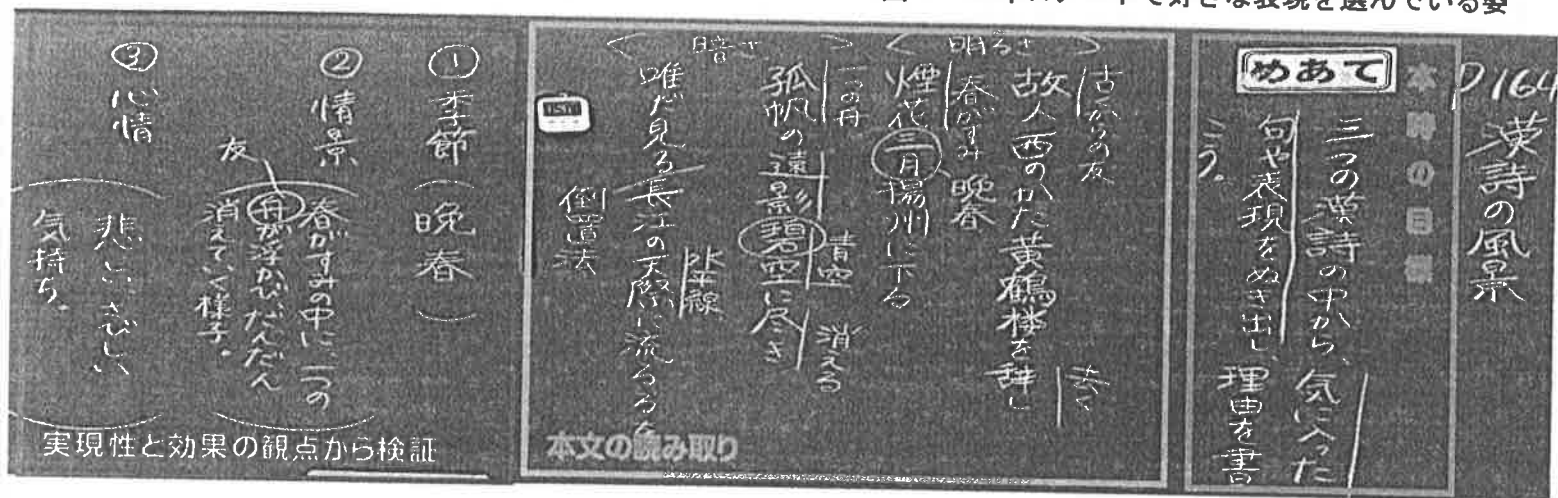


図1 ロイロノートで好きな表現を選んでいる姿



国語科単元・授業の流れ(例)

単元の課題(ゴール)の提示

— 言葉による見方・考え方を働かせるために —
★単元の「まとまり」と指導事項の「つながり」、教材の「まとまり」と一単位時間の「つながり」を意識しましょう
★思考をつなぐ「書く活動」「話す活動」等、アウトプットする場面を位置付けましょう

◎ 子供にとって解決する必要性のある「単元の課題」の設定

◇ 子供が取り組みたくなる単元の課題

→ 「話したい・聞きたい・書きたい・読みたい」気持ちが高まるような必要性のある課題設定

◇ 既習事項を生かした単元の課題 → 既習内容を振り返り、実生活や他教科と関連付けるような課題設定

◇ 言語活動を通して身につく単元の課題(「育成をめざす資質・能力」に適した言語活動の設定)

→ 児童生徒の実態をふまえた課題設定(発問、手立て、板書・ノート計画、評価計画等)

公開授業（国語）科学習指導案

日時：12月20日（火）6校時

3年4組	授業場所	教室	授業者(T1)	當間 沙織	(T2)	小橋川 一先生
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		合意形成に向けて話し合おう（課題解決のために会議を開く）				
本時のねらい		互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「かかわる力」 ・お互いの意見を尊重し、よい点を見つけようとする。 ・様々な意見を検証する中で自分の考えを深め、それを全体に伝えることで、お互いにより深い思考ができるようになる。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 (10分)	つかむ	①前時の確認と、全体会議の目的を確認する。 めあて：全体会議を開き、合意形成に向けて話し合おう。 ②本時の流れを確認する。				・提案の中から一つを選ぶのではなく、各グループの長所を生かして最終案に導くための場であることを確認する。 ・デジタル教科書のビデオを活用。
	考える	①議題を確認し、グループごとに提案を発表する。 （発表者）提案内容とその根拠・意義を発表する。 （聞き手）各自ワークシートに気になる点やよかった点をメモしながら聞く。 ②提案を分類・整理する。 ③観点ごとに提案を検討する。 ・観点は、『目的に合っているか（効果）』『実現性があるか（実現性）』の2点。				・生徒の司会が進行する。 ・話し合いの様子はタブレットで録画し、次の振り返りの時間に活用する。 ・分類・整理する担当者は事前に決めておく。 ・観点は事前に黒板に表示しておく。
展開 (30分)	深める	①提案を検討し、合意形成に導く。 （発言者）意見を比較しながら建設的な意見を述べる。 （司会）話し合いで出た意見を踏まえ、合意形成へ導く。				・互いの意見のよいところを組み合わせ、新たな提案を発言する。
	まとめる	① 会議の成果について教師の講評を聞く。（まとめ） ② 振り返りシートを書き、発表する。（振り返り）				・少数意見も、より良い提案を導くために必要であることを伝える。 ・決定した提案が冒頭に確認した目的からみて適切かどうかを確認する。
本時に行う評価		・複数の意見の共通点を結びつけて考えている。〔知識・技能（2）ア〕 ・互いの意見を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。〔思考・判断・表現 A話すこと・聞くこと（オ）〕（発言・ワークシート）				

公開授業 (国語) 科学習指導案

日時 : 12月19日(月) 3校時

日時：12月19日（月）3校時

2年5組	授業場所	教室	授業者(T1)	小橋川 一	(T2)	當間沙織先生
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		合意形成に向けて話し合おう（課題解決のために会議を開く）				
本時のねらい		互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「かかわる力」 ・お互いの意見を尊重し、よい点を見つけようとする。 ・様々な意見を検証する中で自分の考えを深め、それを全体に伝えることで、お互いにより深い思考ができるようになる。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 (10分)	つかむ	①前時の確認と、全体会議の目的を確認する。 めあて：全体会議を開き、合意形成に向けて話し合おう。 ②本時の流れを確認する。				・提案の中から一つを選ぶのではなく、各グループの長所を生かして最終案に導くための場であることを確認する。 ・デジタル教科書のビデオを活用。
	考える	①議題を確認し、グループごとに提案を発表する。 （発表者）提案内容とその根拠・意義を発表する。 （聞き手）各自ワークシートに気になる点やよかった点をメモしながら聞く。 ②提案を分類・整理する。 ※状況を見て司会が①の担当者をフォローする。 ③観点ごとに提案を検討する。 ・観点は、『目的に合っているか（効果）』『実現性があるか（実現性）』の2点。				・生徒の司会が進行する。 ・分類・整理する担当者は事前に決めておく。 ・観点は事前に黒板に表示しておく。
展開 (30分)	深める	①提案を検討し、合意形成に導く。 （発言者）意見を比較しながら建設的な意見を述べる。 （司会）話し合いで出た意見を踏まえ、提案を一つに絞る。				・互いの意見のよいところを組み合わせ、新たな提案を発言する。
	まとめる	① 会議の成果について教師の講評を聞く。（まとめ） ② 振り返りシートを書く。（振り返り）				・少数意見も、より良い提案を導くために必要であることを伝える。 ・決定した提案が冒頭に確認した目的からみて適切かどうかを確認する。
本時に行う評価		・複数の意見の共通点を結びつけて考えている。〔知識・技能〕 ・互いの意見を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。〔思考・判断・表現〕（発言・ワークシート）				

新入生に、安心して中学校生活を送ってもらうためには😊？

12月19日(月)小橋川一先生(3年7組)、20日(火)は富間沙織先生(3年4組)が、授業を公開しました。一先生と沙織先生は、同じ学年を担当していることから、常日頃から連携を密にし、授業づくりに励んでいる姿が見られます。教師が協働して授業を創ることは、授業改善や働き方改革に資する取組だと思しますので、他教科も参考にされたい好事例だと思います。

本時の授業は、「新入生に中学校生活を紹介します」と題して、互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることが目的です。

生徒は前時のブレインストーミングで表出されたアイディアを、堂々と提案する姿がかっこよく、中には、まるでスティーブ・ジョブズの演説かのように、身振り手振りを使って、熱く語る生徒もいました(図1)

さすが最上級生だと感じたのは、生徒は忌憚のない意見を述べたり、論点を整理整頓したりし、学級役員のリードのもと、上手に合意形成を図っていました。本時の見方・考え方である「考えを広げたり、深めたりしている姿」(授業後に期待する生徒の姿)は見られたのか、ドゥーチームニーしていたので、勉強したいです。

一先生&沙織先生、ありがとうございました。

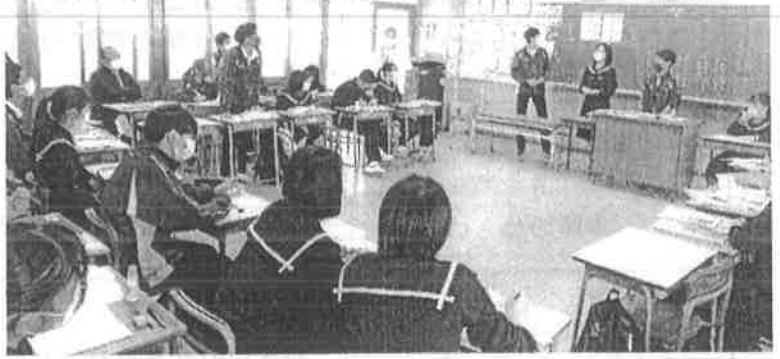


図1 新入生歓迎球技大会を企画すると熱弁

図2 4組Nさん(左)・7組Sさん(右)

実現性(低)

体験入学

スホレク等

実現性(高)

在校生の歓迎

スホレク等

ホスター作成

スホレク等

実現性と効果の観点から分類

目的 新入生の不安や疑問を解消して安心して学校生活を送ってもらうため

議題 ③全体会議を開く

新入生に中学校生活を紹介します

話し合おう

本時の目標

校則や行事をわかりやすくする。
在校生と太鼓を叩いて仲を深める。
受験前の三年生か一年生に説明する。
(じとかが増え成績・スホレク・実力が良くなったのアイディアがある事を一回で知ることができず、なかなか進まない)

公開授業 (社会) 科学習指導案

日時 : 11月17日(木) 5校時

日時：11月17日（木）5校時

1年 6組	授業場所	教室	授業者(T1)	池田 晴菜	(T2)	伊志嶺周斗
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		人類がたどった進化				
本時のねらい		人類は環境に合わせてどう進化してきたかを資料から読み取り考察する。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		・グループ活動を通して他者の意見や発想に注目させることで関わる力の育成を図る。また、振り返りシートで学習課題に対する答えをまとめることで、授業全体を自分で整理し振り返ることができるようにする。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 (5)分	つかむ	・猿人、原人、新人のグループの頭蓋骨や復元写真を使って古い順に答えさせる。(全体への発問) 理由をききながら、それぞれの説明をする。				写真のどこに注目したのかを発問。
展開 (35)分	考える	・資料から猿人の身体や生活の変化を読み取らせる。 (全体での発問) ・資料から原人の生活について資料から読み取らせる。 (個人活動) ・資料から新人の生活について資料から読み取らせる。 (グループ活動) 資料を読み取り、表にまとめるときには、猿人・原人・新人と変わってなかで人類の生活がどう変化してきたのかを考えさせながら進める。				道具の変化によって時代の区分が変わることもおさえる。
	深める	・原人の生活と新人の生活の資料を比較しながら、何がどう変わってきているのかを読み取らせる。 (グループ活動) ・なぜ変わってきたかを考察させる。				
まとめ (10)分	まとめる	・語句を確認しながら、授業全体の流れを再度整理確認する。 ・学習課題（人類は環境に合わせてどう変化したか）に対する答えを自分でまとめさせる。(具体的な語句を活用するよう助言)				
本時に行う評価		① 資料をもとに人類の道具や生活の変化について読み取ることができたか。 ② 読み取ったことをもとに進化とは何かを考えることができたか。				

我々人類は、どう進化してきたのだろうか？

11月17日(木)、社会科の池田晴菜先生が授業を公開しました(1年7組)。本時は、人類がどう進化してきたかを、資料から読み取り、考察することがねらいです(右図1～3)。



晴菜先生の「おー素晴らしい!」、「それ良くきついたね～」と、少し大げさに褒める姿がステキで、生徒は言葉のシャワーを浴びているようでした。

Kさんにインタビュー 『今日の授業でわかったことは?』

歩くことしかできなかった人類が、長時間をかけて脳が発達して精神的にも進化した。最初に道具を創った人はすごい!

本時は、どちらかというと、先生がリードして図1～3を順序よく生徒に考察させ、説明していましたが、例えば、①図1～3を一気に提示し『人類ってどう進化してきたの?』と発問⇒②生徒は写真から読み取ったことをホワイトボード等にまとめる⇒③生徒の気づきを共有する⇒④生徒の発表から用語を補う(例:土器→打製石器という)、という授業の流れも検討していきたいです。説明く発問、先生の声く生徒の声となる授業づくりを共に学びたいです。晴菜先生、ありがとうございました。



図1 二足歩行の猿人(約700万年前)



図2 言葉を使う原人(約240万年前)は言葉



図3 火や武器を使う新人(約1万年前)

人類がたどった進化		生活	道具
めあて	進化とはなにだろう。	休	休
LPB	人類は環境に合わせて進化	700万年前	700万年前
(1)道具 (2)猿人 (3)言葉		二足歩行	道具を使う (木石)
(4)打製石器 (5)旧石器時代		240万年前	240万年前
(6)原人 (7)新人 (8)磨製石器		原人	火をつかっている
本時の重要語句を確認		20万年前	打製石器→旧石器時代
(1)原人 (2)新人 (3)新石器時代		新人	同じ(雨はやく)
		新人	土器、針、服、家
		猿人・原人・新人の生活を整理する	新石器時代

図4 人は環境に合わせて、どのように進化してきたかを資料から読み取り、考察する。

第2学年 社会科学習指導案

令和4年11月9日(5)校時

南風原中学校2年3組34名

授業者 上地 義朗



1 単元名

第3章 武家政権の成長と世界の動き

第3節 武士による全国支配の完成

2 単元の目標

- (1)江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。(知識及び技能)
- (2)統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。(思考力、判断力、表現力等)
- (3)近世の日本について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習をふり返りながら課題を追求させる。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、江戸幕府の支配体制がなぜ264年も続いたのか理解することを目標としている。単元を通して、生徒は幕府の支配体制の構築について、経済的側面や軍事的側面のみならず、宗教統制や固定的な身分制度設計や情報の独占、外交・貿易関係の独占など多くの視点から考察する。

本時は、琉球王国がその支配体制に組み込まれていく過程を多面的・多角的に考察することを狙いとしている。薩摩侵攻や江戸立ち(謝恩使・慶賀使)が派遣されたことについて、江戸幕府から見た事実だけでなく、琉球王国やその他の各勢力から見た事実を理解することで、国内の情勢が国内のみの事情だけでなく、国外からの影響を相互に与えあって形成されていくという事実気づかせたい。

(2) 児童(生徒)観

本学級は歴史に対する意欲は比較的高く、発問に対する応答も活発である。一方、ICTを活用した学習では、生徒間に入力速度や検索エンジンの利用精度に大きな差が生じている。アンケート調査の中では、アクセスしたい情報に適切に辿り着けますか?の問いに対して、「ほとんど辿り着けない」「時々辿り着けない」と答えた生徒が41%おり、授業の中で情報収集の場面をより多く設定すべきと感じている。

(3) 指導観

本時では、文書を読み取り、それを表現する視覚資料を収集・表現することで理解を深めさせたい。また、一つの事象について、多面的・多角的に考察することにより、一国史的なものの考え方から、東アジア史として捉えられるように考えさせたい。さらに、琉球王国が独自の文化を激動の中でも守り抜いてきたことに誇りを持たせたい。

4 本時の単元計画

単元課題「江戸幕府はなぜ、264年も続いたのだろうか？」

時間	学習内容	指導上の留意点
第1時	幕藩体制の始まり	江戸幕府による圧倒的な支配体制がどのようにして完成したかを考察させる。
第2時	朱印船貿易から貿易統制へ	幕府による貿易統制による利益の独占と、キリスト教弾圧を通じた思想統制について多面的・多角的に考察させる。
第3時	四つに絞られた貿易の窓口	貿易による利益の独占だけでなく、海外情報の独占について多面的・多角的に考察させる。
第4時	琉球王国の外交①	薩摩侵攻や江戸立ちについて、多面的・多角的に考察させる。
第5時 【本時】	琉球王国の外交②	薩摩侵攻や江戸立ちについて、多面的・多角的に考察させる。
第6時	アイヌの人々への支配・単元のまとめ	不平等な交易により生じた対立について、多面的・多角的に考察させる。単元課題に対しての自分の考えをまとめ、表現させる。

5 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどをもとに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。	・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近世の日本について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

6 本時の指導 【5/6時間】

(1) ねらい

「なぜ、薩摩侵攻後も独自の文化を発展させることが出来たのだろうか？」という問いに対して、多面的・多角的に考察し、諸資料を通して、調べたことを表現することが出来る。

(2) 本時の評価基準

資料をスライドにまとめ、発表することが出来る【思考・判断・表現】

様々な資料をもとに、めあてに正対したまとめを表現することが出来る【思考・判断・表現】

(3) 本時の工夫点

各班で異なる視点で考察させることで、多面的・多角的な学習を実現する
共同

7 本時の学習活動

本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点,使用するツール
導入 (5) 分	・前時の確認 ・薩摩に侵攻され、国王は連行されていったが、その後も琉球王国は存続していた事実を確認する ・江戸時代における琉球の文化面での発展について確認する めあて 【なぜ、薩摩侵攻後も独自の文化を発展させることが出来たのだろうか？】	・授業が始まる前にそれぞれの班のスライドを電子黒板にすべて表示する ・授業が始まる前にログインまで済ませておく ・授業前に本時のテーマを黒板に記入する ・「問い」を引き出せるよう問いかける。 ・めあてを黒板にも記入する
展開① (15) 分	・薩摩の侵攻前、侵攻後の【薩摩】【江戸幕府】【明】の琉球王国に対する考えや、それを受けて琉球王国がどのような外交政策を行っているか、それぞれの班で分担して調べまとめる ・セリフカードに対応するスライドを各班で作成する	(Google Slides) ・スライド上に文字を大量に打ち込まないよう注意する ・机間指導を通して、セリフカードの内容を読み取れない生徒のサポートを行う
展開② (20) 分	・まとめたスライドを全体に向けて発表する ・他の班がまとめたスライドを観て、学習した内容のメモを取らせる	(Google Slides) ・聞く姿勢、話す際の声の大きさ等についての注意点を確認する ・セリフカードを読む速度が速くなりすぎないように注意する ・発表時は手元のパソコンを閉じるよう指示を出す
終末 (10) 分	・全てのセリフカードを読み、本時のめあてに正対したまとめを考え、表現する。(Google Forms) 例【琉球王国の独立を維持するためには、高い水	(Google Forms) ・全セリフカードを手元資料で配布 ・めあてと正対する形で書くよう

	準の文かを保つ必要があったので、国を挙げて文化向上に取り組んだ。その結果、独自の文化が発展した。】	強調する
	・数名の生徒がまとめを発表する ・ふり返りシートを記入する	

8 板書計画

11月9日	薩摩による琉球侵攻 P118～119 ※電子黒板上に生徒のスライド
めあて	なぜ、薩摩侵攻後も独自の文化を発展させることが出来たのだろうか？
薩摩	：交易による利益の独占
明	：国内事情により介入できない
江戸	：琉球による異文化を利用して権威を高めたい
琉球	：武力以外の方法で独立を保つ
まとめ	琉球王国の独立を維持するためには、高い水準の文化を保つ必要があったので、国を挙げて文化向上に取り組んだ。その結果、独自の文化が発展した。

なぜ琉球王国の文化は、現代まで受け継がれているのか！？

11月9日(水)、社会科の上地義朗先生が授業を公開しました(2年3組)。本時は、琉球王国が薩摩に侵攻された後も、独自の文化を発展させることができたのか？多面的・多角的に考察し、調べたことを発表することがねらいです。



義朗先生の授業で大変参考になったのが、単元計画です(図2)。歴史分野において、幕藩体制の始まりから貿易統制、琉球王国の外交、アイヌの人々まで、**生徒の問いが貫かれている単元構成は**、他教科も参考にされたいです。

Kさんにインタビュー『今日の授業でわかったことは？』
琉球独自の文化があったから、それが外交手段となって、明(中国)や幕府との関係が維持できたと思う。

本時で目指す生徒の姿や、本時で働かせたい見方や考え方を明確にすることで、発表会で終わらずに、仲間との試行錯誤を通して、生徒が多面的・多角的に考察する授業がデザインできるのか、社会科で検討していただくと嬉しいです。義朗先生、今日は参観者が20名と緊張したと思いますが、ステキな授業ありがとうございました(*^_^*)

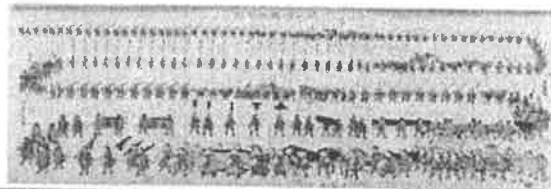


図1 4つの視点を共有している場面

単元を通して「問い」をつなぐ社会科学学習

教材との出会いの「問い」

つかむ 琉球王国の外交～江戸時代～



単元を貫く大きな「問い」

見通す なぜ琉球は、薩摩侵攻後も、独自の文化を発展させることができたのか？



小さな「問い」をつなぐ

調べる

薩摩が、琉球に侵攻する前後の状況を、4つの視点から捉え、Google スライドにまとめていく。

【薩摩】【江戸幕府】【明】【琉球王国】

調べたことをまとめ、振り返る

まとめる 4つの視点を全体共有し(図1)、琉球が薩摩に進行された後も、琉球独自の文化を発展させることができたのか、Google フォームに答えていく。

よりよい社会や生活に生かす「問い」

生かす 江戸時代のアイヌの人々(北方領土)は、幕府や世界と、どのようにつながっていたのだろうか？(次時の学習内容)

図2 本時の授業×問いサボP.20

「問い」が生まれる授業のポイント(社会)

～「問い」を引き出し、「見方・考え方」を働かせる課題解決的な授業展開の工夫～

社会科では、「社会的な見方・考え方」を働かせ、「課題を追究したり解決したりする活動」を通して、「公民としての資質・能力の基礎」の育成を目指します。地理的(位置や空間的な広がり)、歴史的(時期や時間の経過)、社会的(事象や人々の相互関係)な視点で社会的事象を捉えさせ、「問い」を引き出し、児童生徒が主体的に学習する課題解決的な授業展開を工夫しましょう。

公開授業 (社会)科学習指導案

日時 : 11月11日(金) 3校時

3年2組	授業場所	3年2組教室	授業者(T1)	瀬底 言	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		第3章 現代の民主政治と社会 「だれを市長に選ぶ？」			
本時のねらい		複数の資料を読み解き、地域の実態を多角的に理解するとともに、地方自治の基本が住民自治であることに気づかせ、地域の政治に主体的に関わりようとする意識を高める。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		かかわる力（社会形成能力） 本時の授業では、複数の資料から地域の課題を発見し、その解決策も生徒自身に考えさせていく。市長候補者の主張についても多角的に読み解かせ、地方自治の基本は住民自治であることに気づかせる。これらの活動を通じて、地域を大切に思う心や社会に参画し社会を積極的に形成する力を育てたい。			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導入 (5)分	つかむ	・本時の課題の把握「S市の課題と空き地の利用を通して地方自治についての理解を深める」 めあて 「地域の政治を考えると、大切なことはなんだろう」			生徒の興味関心を喚起する。
展開 (35)分	考える	【個人ワーク】 ・資料1～3、「市民の声」を読み解き、「S市が抱える課題」と「あなたが考える空き地の利用案」を記述する。 ・沖縄コンベンションセンターの延べ床面積や南風原町のデータを比較に活用し、記述の内容を深める。			資料の内容を根拠に記述させる。 沖縄県や南風原町の資料を活用することで、地域に対する関心をさらに高める。
	深める	【グループワーク】 ・市長候補者4名の主張の利点と問題点を話し合い、表を完成させる。【知】 ・板書を通して意見を共有する。 ・どの候補者にも問題点があり、主張は完全でないことに気づく。そのうえで、市長を選んだ後も地域の政治に関わり続ける必要があることを理解する。 ・市長を選び、理由を記述する。			「効率」「公正」の視点についても説明する。 資料をもとに話し合わせる。 あらゆる角度から資料を読み解かせ、記述の内容を深めさせる。
まとめ (5)分	まとめる	まとめ ・地方自治には住民の積極的な政治参加が求められる。 ・地域の課題に関心をもち、様々な視点から解決策を考えていく必要がある。 ふりかえりシートを記入する。【思】			
本時に行う評価		【知識・技能】 資料を活用して候補者の主張を多角的に読み解き、表を完成させている。 【思考力・判断力・表現力】 住民自治を基本とする地方自治の考え方をふまえたうえで、主体的に地域の政治に参画することの意義について表現できている。			

あなたなら、誰を市長に選びますか？

11月11日(金)ポッキーの日、社会科の瀬底言先生が授業を公開しました(3年2組)。本時は、「誰を市長に選ぶ？」と題して、地域の政治に主体的に関わろうとする態度を育成することがねらいです(図1)。

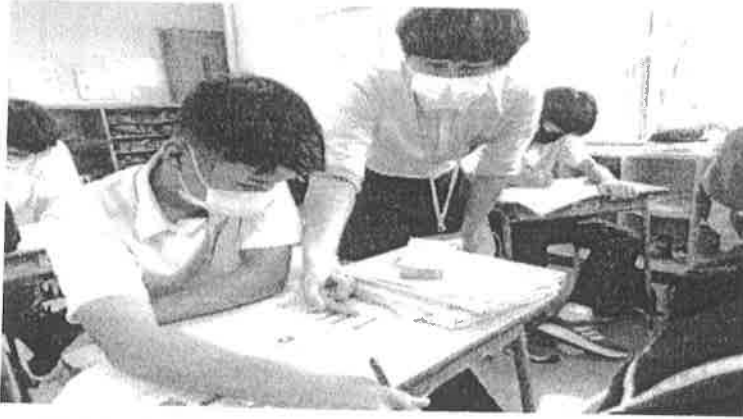


図1 あなたなら誰を市長として選びますか？

40,000㎡ってどのくらい広いの？



沖縄コンベンションセンターの延べ床面積 20,928㎡

図2 空き地の面積はコンベンションセンターの2倍

言先生の授業で大変参考になったのは、S市の市長を選ぶために、空き地を沖縄県コンベンションセンターに例えたり(図2)、南風原町の人口・世帯数(図3)を提示したりすることで、生徒が本時の課題を自分事として捉える工夫がなされていました。

バディのあすか先生からは、グループ活動で意見を出し合って交流する場面が設定されていたが、授業終盤には、どの市長に投票するかをまとめさせることで、さらに協働的に学ぶ姿が見られ、思考の深まりが期待できたかもしれないと、アドバイスをいただきました。

Hさんにインタビュー 『今日の授業でわかったことは？』

どの市長に投票したら良いのか、正直今も迷っているけど、自分のことだけではなくて、市の状況も考えて投票したい。

人生初の研究授業(教育実習以来)ということで、若さあふれるフレッシュな授業ありがとうございました。

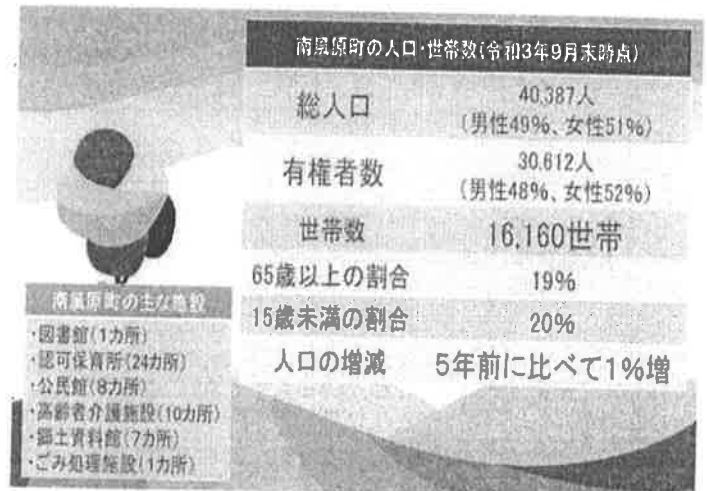


図3 私たちが住む南風原町の特徴は？

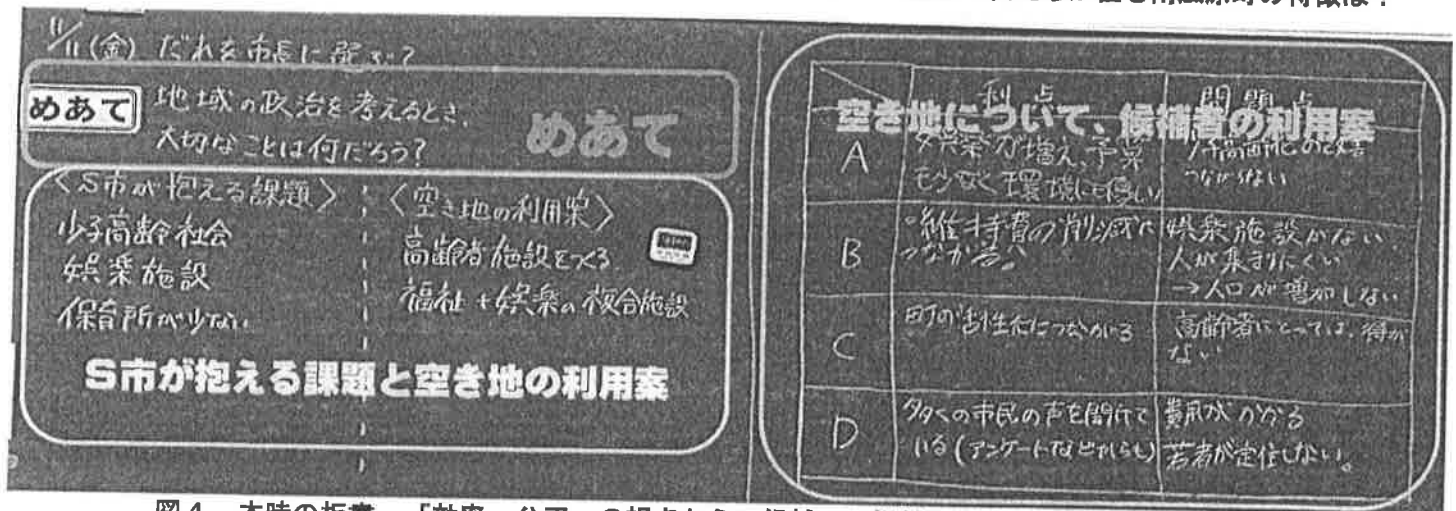


図4 本時の板書 「効率・公正」の視点からA候補～D候補の利点と問題点をまとめていく。

公開授業 (社会) 科学習指導案

日時 : 1月 19日 (木) 5校時

3年	5組	授業場所	教室	授業者(T1)	照屋あすか	(T2)
校内研修テーマ			持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力を見取りを通して～			
単元名・教材名			単元名 第4章 4節 国民生活と福祉(少子高齢化と財政) 教材名:「20年後を見据えた社会保障のあり方」について政策を提案しよう!			
本時のねらい			日本の財政の課題や少子高齢化が財政に与える影響をふまえ、今後の社会のあり方について各グループで検討することで、今後の社会保障のありかたについて考えさせたい。また、意見交換を通して、対立と合意、効率と公正の視点から多面的・多角的に考えさせたい。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点			現代社会の課題である日本の財政と少子高齢化の問題を考える際に、“国会議員として、衆議院選挙に向けての討論会を行う”というパフォーマンス課題を設定することで、社会に参画し、集団の中で他者と かかわる力 や将来を想像する力(みとおす力)、現代社会の課題に対応するための課題対応能力(やりぬく力)、討論会を終えて単元全体を振り返り自己の役割を理解する力(ふりかえる力)を育成できるよう工夫した。			
本時の展開						
	学習過程		学習内容・活動			留意点
導入 (5)分	つかむ	1、本時の目標を確認する 『国会議員として、20年後を見据えた社会保障のあり方』を考える。 ○各グループで前時を思い出し、発表の準備をする			○なぜこの政策を優先させたのかを発表することができる ○より多くの国民が納得するためにはどのような政策を優先させるべきかを考えることができる	
	考える	2、これからの社会保障について1番に優先して行うべき政策について提案しよう(各グループごとに発表) ○なぜこの政策を優先させたのか、理由をつけて提案(発表)する。他のグループは発表を静かに聞く。				
展開 (35)分		Q、より多くの国民が納得するためにはどのような政策を優先させるべきだろう?政府の役割(効率・公正)の視点を踏まえよう!				
	深める	3、政府の役割、国民の生活の向上を考えたとき、本当に優先させる政策はこの政策でいいのか? ○他のグループの意見について気になることをお互いに質問し、討論する 予想 * Bについて25%の消費税では所得の低い世帯は苦しくないか? * Eについて消費税12%で国の借金は返せるのか? * Cについて増税せず本当に借金を減らしながら社会保障費に回せるのか? * Fについてほんとに今の医療費は高齢者にとって安いのかこれ以上負担を大きくして大丈夫なのか?			・生徒の思考が深まるように補足や発問を投げかける。	
まとめ (10)分	まとめる	4、意見交換を終え優先させるべき政策はどの政策なのか自分の意見を示す(個人のランキングの見直しと、優先させるべき政策を選んだ理由をまとめる。			・タブレットを活用し振り返りを行い時間があれば全体で共有する	
本時に行う評価		・いくつかある政策の中からグループでランキングした政策に具体的な理由をつけて述べられているか、またこの政策をもとにどんなことを解決したいのか具体的な案が述べられているか。(発表時の原稿や個人の振り返りなどから)				

生徒が国会議員になって、20年後の日本について考える！

1月19日(木)、社会科の照屋あすか先生が授業を公開しました(3年5組)。本時は、生徒が日本の社会保障の在り方について、対立と合意、効率と公正の視点から多面的・多角的に考えることが目的です。

生徒はまるで国会議員になったかのごとく、20年後の社会保障の充実を目指して、党の政策を選択し、その根拠を一生懸命主張する姿が見られました(図1)。ある党の主張では、「寝ている国会議員もいるから給料を大幅にカットする！」と、身を切る覚悟がひしひしと伝わりました。

あすか先生イイね！と感じたのが、授業は終始、生徒が主役で、あすか先生がファシリテート役(議長)だった所です。また、単なる討論会(話し合い活動)で終わらずに、授業終盤は生徒を個に戻し、今一度、優先すべき政策とその理由を記述する場面を設ける等、生徒の思考の変容をみとり、改善しようとする態度の育成に努めていました。

Yさんの振り返り【結論】政策Cから政策Bに変更！

【理由】てんさい党の「抜本的な改革をしないと20年後の日本は変えきれない」という主張に共感したから。

パフォーマンス課題ですので、生徒にループリック(評価基準)を示し、教師と生徒が学習評価を共有することで、生徒の思考力や、学びに向かう姿(自己調整・改善)をみとる等の、「パフォーマンス評価」につながったかもしれません。

Aの生徒(例)	Bの生徒(例)	Cの生徒(例)
対立と合意、効率と公正の視点から政策を説明している	自分なりに必要な政策を判断し、その理由を説明している	優先すべき政策を選択したが、その理由が不十分である【手立て】

【本時のパフォーマンス課題】(核となる授業)

あなたは国会議員です。(中略)現在、日本の財政では、歳入の48%を公債でまかなっている(借金が多い)という問題があり、さらに少子高齢化により、ますます社会保障費は増大し、税収が減る中で、これからの社会保障をいかに充実させるか、国民の負担をどうするかなどの課題があります。(中略)国会議員としてあなたが考える「20年後を見据えた社会保障のあり方」についての政策を改めてレポートにまとめ提案しよう！



図1 国会議員の給料を大幅カットして無駄を見直す！



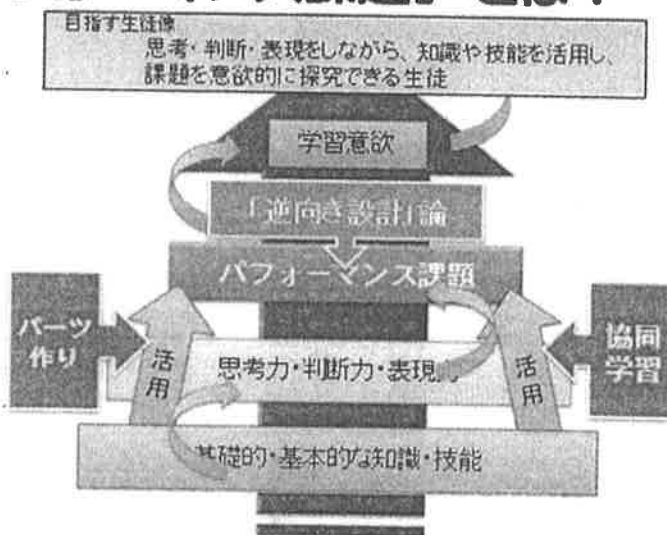
図2 スマイル党さんへ！中身が整っていないのに消費税を25%も上げたら国民は納得するのか？

生徒の深い学びを評価する「パフォーマンス課題」とは？

パフォーマンス課題とは、リアルな文脈の中で、様々な知識やスキルを応用・総合しつつ、何らかの実践を行うことを求める課題です。具体的には、レポートや新聞といった完成作品や、プレゼンテーションなどの実技・実演を評価する課題です。

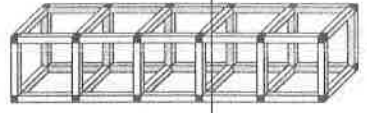
作り方の例としては、①単元目標を達成させるための、核となる授業を設定(パフォーマンス課題)、②その課題を解決するための単元計画(逆向き設計)となります。

本県が提唱している「テスト改善」と似ているかもしれません。実技教科の先生方にとっては、当たり前の単元計画かもしれませんが、5教科の先生方も、ぜひ、パフォーマンス課題(テスト改善)や核となる授業づくりに取り組んでみませんか…(*^_^*)³⁹



公開授業 (数学) 科 学習指導案

日時 : 7月12日(2) 校時

1年3組	授業場所	1年3組 教室	授業者(T1)	池田 武	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		第2章 文字と式 3節 文字式の利用「棒の本数を求めてみよう」			
本時のねらい		文字を用いた式を活用して、棒の本数を求める式を考え、その求め方を説明することができる。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		かかかわる力（人間関係形成・社会形成能力） 自分と友だちの考えを比較したり、話し合いを通して学んだりしたことを自分の言葉で表現できるように育てたい。			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導入 (10分)	つかむ	1 導入 これまで学習した「棒の本数を求める式」をどのように作ったのかを確認して、本時の活動の流れを確認する。			 x 個 棒を求める式は $(1 + 3x)$ 本など
		2 本時のめあてと学習内容の確認 ・本時の課題を確認する			
					
		Q 図のように、立方体を x 個つなげたとき、棒は何本必要でしょうか。 ・本時のめあてを確認する			
		棒の本数を求める式を作り、その求め方を説明しよう！			
展開 (30分)	考える	3 見通す ・どのようにして解決できるか生徒に問う。 4 問題を解決する。 ・課題に取り組む。1つの求め方ができたら、ちがう方法でも考える。			正方形をつなげたときは、どのようにして棒を求める式を作ったのか確認する
	深める	5 共有する。 ・グループで説明し合う。 ・代表でいくつかのグループに発表（説明）してもらう。			求め方が1つだけの場合は、ちがう求め方の図を渡し、考えさせる
まとめ (10分)	まとめる (活用する)	6 まとめる 固定して考える部分と増えるまとまりの部分に分けて式を作る			
		7 本時の学習内容の振り返り ・振り返りシートを記入する。			
		8 新たな問い 立方体を2段にしたものを x 個つなげたとき、棒は何本必要でしょうか。			
本時に行う評価		【思考・判断・表現】 文字を用いた式を活用して、棒の本数の求め方を説明することができる。			

先生、「数学」を勉強して意味ありますか？ 算数と何が違うんですか？

7月12日(火)、池田武先生が授業を公開しました(1年3組)。本時は、本棚を作るのに必要な棒の本数を求め、その方法を説明することが目的です。

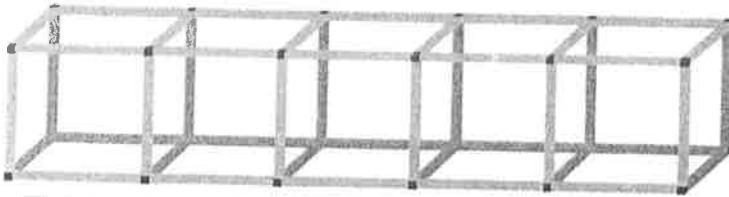


図1 本時の課題(本棚を作るのに必要な棒の本数は?)

授業の導入場面、生徒は立方体を x 個作るのに必要な棒の本数を、どのような方法で求めれば良いのか戸惑っている様子でした(右図①)。そこで、池田先生が、『正方形の時はどう考えたかな?』と問いかけると、生徒はノートを見直し、正方形の時はどういう方法で求めたのか、既習内容を振り返り、本時の課題である立方体と関連付け、グループ学習では『あーでもない、こーでもない』と試行錯誤する姿が見られました(右図②)。

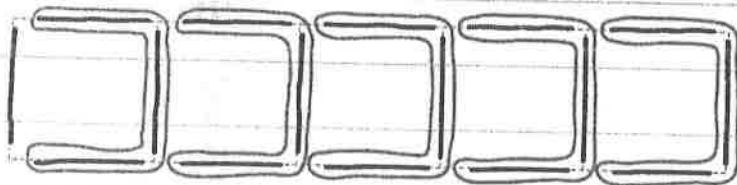


図2 正方形を x 個作るのに必要な本数は $(3x+1)$ 本

全体発表における各グループの説明は、実に多様な『答え』と『見方・考え方』が見られただけに、発表生徒の字や声が小さかったことが悔やまれます(右図③)。ICTを上手く活用したり、ワークショップのように発表生徒が各班を廻って説明したりする工夫を考えていきたいです。しかしながら、本時の授業で生徒は、数学の『旨味』と、『多様な考え方』を学ぶ楽しさを味わっているようでした。数学を学ぶ意義は、今日の授業にあるのかな?とドゥーチームニー(自問自答)し、各教科でも改めて『教科を学ぶ意義』を考えていきたいです。



数学を学ぶ意義	仕事・生活・娯楽において「より豊かに、より幸せに、より賢く」生きていくために必要な能力	
違いは?	算数 arithmetic	数学 mathematics
世界	具体的な世界(日常生活に関わる数や形)	抽象的な世界(日常生活では目にしない数も扱う)
目的	生きていく上で必要な計算や、生活のための損得をはかる。	まだ見ぬ知らない世界のことや、日常では体験できないことを論理的に推測し考える力を育む。
重視	答えの正確性や結果を重視	「なぜそうなるのか」という理由や考え方を重視

生徒に聞かれたらどう答えますか? 「先生、〇〇を勉強して意味ありますか? 大人になって役立ちますか?」

公開授業 (数学) 科学習指導案

日時 : 7 月 19 日 (火) 2 校時

1 年 6 組	授業場所	1 年 6 組	授業者	山田 涼子
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～		
単元名・教材名		第2章「文字と式」 教材名「数当てゲーム」		
本時のねらい		数当てゲームを予想し、その予想が正しいことを文字とその計算を利用して説明できる。		
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「かかわる力」 数当ての方法を文字を利用し、他者と協働しながら問題を解決する。 「ふりかえる力」 単元で学習したことを振り返り、文字のよさに気づくことができる。		
本時の展開				
	学習過程	学習内容・活動		留意点
導 入 (10)分	つかむ	・ 数を連想させ、手順通り考え、数を当てる。  はじめに整数を1つ思い浮かべてください。その数に5をたしてください。その答えを2倍してください。その答えから4をひいてください。その答えを2でわってください。その答えからはじめに思った数をひいてください。どんな数になりましたか？		・ 連想した数をロイロノートで個人提出
		・ 最初に連想した数が当てられたかペアで交流する。 《めあて》 どんな数でも答えが決まるか理由を説明しよう ・ どの数でも説明できるようにするにはどうしたらいいのか考える。 ・ 予想：文字式を利用しよう		
展 開 (30)分	考える (20)分	課題1 どんな数でも答えが3になるか理由を説明しよう 【個人】(10分) ・ 最初の数字を文字に置きかえて、順序を立てて立式する。 課題2 数当てマジックをつくろう 【グループ】(10分) ・ 課題1のしくみをヒントに数当てゲームを考える。 ・ 問題をつくり、タブレットにまとめる。		・ 文字を用いることのよさに気づいたか。【主】 ・ グループの問題をロイロノートで提出
	深める (10)分	【全体】 ・ グループの問題を全体で考える。 ・ 互いの考えのよさについて考える。 ・ 四則（加法・減法・乗法・除法）のどの方法が使われているか思考ツールで確認する。		
まとめ (10)分	まとめる	《まとめ》 文字はいつでも成り立つことを説明できるもの（道具）である。 《振り返り》 ・ 本時の授業で分かったこと、気づいたこと、新たな問いを考える		・ 文字を用いて学んだことを生かそうとしていたか。【主】
本時に行う評価		【思】 数当てをするときに、文字式で表現し説明することができたか。（ノート） 【主】 文字を用いることのよさに気づき、学んだことを生かそうとしていたか。（行動観察/振り返りシート）		

元6年担任の先生との再会に大喜び！算数・数学で小中連携！

9月6日(水)、数学科の山田涼子先生が授業を公開しました(1年6組)。本時は、『数当てゲームの秘密』を見つけ、その秘密が正しいことを、文字式を使って説明できることがねらいです。

また、本時の授業では、生徒一人ひとりにタブレットが手渡され、ロイロノートアプリを使って、生徒が自分の考えを可視化したり、仲間と共有したりする等、令和4年度P P IIの重点・具体的取組事項である「ICTの活用等による個別最適な学びの推進」にチャレンジしています。



はじめに好きな数を1つ思い浮かべてください。その数に5をたして、2倍して、4をひいて、2でわってください。その答えから、はじめに思った数をひいてください。どんな数になるのかな？

図1 本時の課題「数当てゲーム」

グループ活動では、まるで生徒が数当てゲームのマジシャンになったかのごとく、「同じ数をかけて割れば、はじめの数に近づくはず！」や、「最終的に、はじめの数の $\times$ を引き算しないと文字は消えないね」などと、協働的に学ぶ姿が見られました。

また、普段は「問題に答える」側の生徒が「問題を作る」という探求的な活動を単元計画に位置づけて授業を実践することで、生徒は多様な見方や考え方を働かせ、これまでに学習した1次式の加減乗除の計算をフル活用する契機となっていました。

生徒インタビュー『今日の授業で何を学んだ？』

(Kさん) 友達と協力して、これまで勉強してきた計算を使って数当てゲームをつくることができたので楽しかった。



① 自力解決(1次式の計算)



② グループで数当てゲームを作成



③ 作成した数当てゲームを公開！

『小中9年間の学びの接続を踏まえた資質・能力の育成』 沖縄県教育庁義務教育課より

「中学校期における学力課題の改善」を目的に、本校の校区内小中学校の算数・数学科では、お互いの授業を参観することを通して、「小中の学びの接続を意識した授業改善にチャレンジしよう」と闘志を燃やし、教科を通した小中連携がスタートしました。

本日は、北丘小から與那嶺先生、南風原小から松茂良先生、他2名の先生がいらっしゃいました。

1年生は、お世話になった元6年担任の先生との久しぶりの再会に大喜び！いつも以上に授業が盛り上がり！心身共に成長した姿を恩師に見せることができました。

【與那嶺先生のコメント】卒業から半年経っても、変わらずに一生懸命学習する子たちと会えて嬉しかったです。

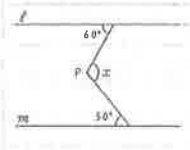
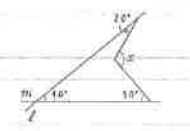
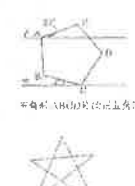


小学校の先生方が数学の授業を参観

図2 小中連携を通して、小中9年間の学びの接続を踏まえた授業改善の充実を図る。

公開授業 (数学) 科学習指導案

日時 : 11月1日(火) 2校時

2年9組	授業場所	2年9組教室	授業者(T1)	島崎祐之	(T2)	中村守和
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		4章 平行と合同 2節 平行線と角 「角の大きさを求める方法を考えてみよう」				
本時のねらい		授業で確認した性質を基にして、補助線を引くことにより、課題解決の方法を考えることができる				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「か」：課題解決の方法を自分の意見やグループと「かかわる」ことにより深める 「ふ」：既習事項を「ふりかえり」、課題解決への糸口を考える 「や」：課題に対して最後まで「やりぬく」雰囲気をつくる 「み」：課題を「みとおし」、解決に必要な手立てを考える				
本時の展開(タブレットPCとノートによる授業展開)						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 (5)分	つかむ 5分	例題を表示し、角の大きさを求める方法を見通す。 応答予想 ・ 2直線の平行線では、同位角、錯角は等しい ・ 三角形の内角の和は 180° ・ 補助線を引くと求めやすい 				・ 応答予想は、ヒントカードとして板書して使用する。
		例題を通して、本時のめあてが 「角の大きさを求める方法を考えてみよう」で課題解決型の授業であることを確認する。				
展開 (35)分	考える 15分	ロイロノートで課題①②を配信し、 ① 個人で解く時間を設定する(5分) ② グループで解決方法を話し合い、代表者が提出する(5分) ※提出されたノートは、すぐに添削して返却する ③ グループで求めた解決方法をクラスで共有する(5分) 				・ 解決が困難な場合はヒントカードを配信して課題解決に役立たせる。
	深める 20分	ロイロノートで課題③を配信し、 ① 個人で解く時間を設定する(3分) ② グループで課題解決をして代表者が提出をする(10分) ※提出されたノートは、すぐに添削して返却する ③ 課題③については、解決方法をクラスで共有する(7分) 				
まとめ (10)分	まとめる (活用する)	本時のめあて 「角の大きさを求める方法を考えてみよう」についてのまとめ 『平行線の性質や補助線を引くことで角の大きさを求めることができる』を確認する。 終了時間2分前まで、振り返りの記入と「 $+\alpha$ の問題」に挑戦をする。 終了時間2分前には、提出箱に提出をする。 提出確認後、「 $+\alpha$ の問題」の解答を提示する 				
本時に行う評価 (思考・判断・表現)		A: 課題③について、求め方を説明することができる B: 課題③について、説明は不十分だが、角の大きさを求めることができる				

一人1台端末(タブレット)を効果的に活用する好事例

11月1日(火)、島崎祐之先生が数学の授業を公開しました(2年9組)。本時は『角の大きさを求める方法を考えよう』と題し、生徒がこれまでに学んだ図形の性質(対頂角・同位角・錯角・三角形の内角と外角)を利用して活用問題に挑戦し、多様な解法を比較・検討することがねらいです。

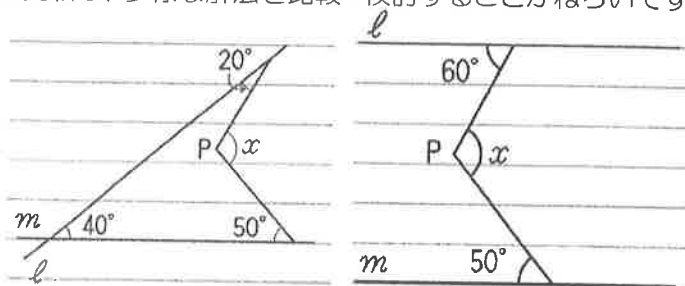


図3 数学の旨みが味わえる角度を求める問題

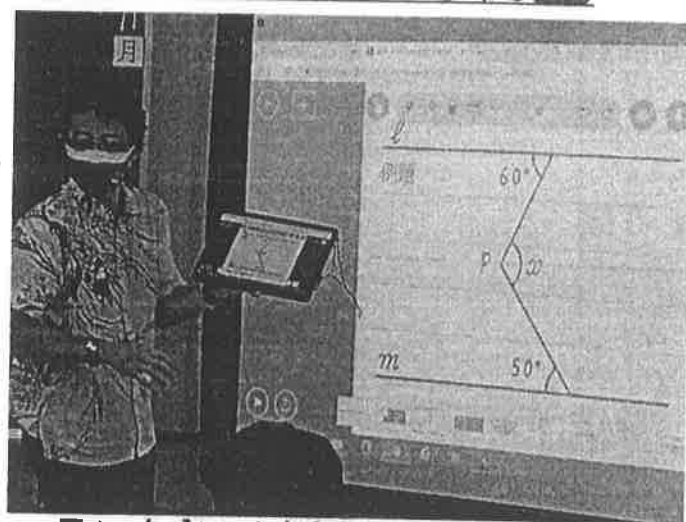


図1 タブレットを片手にファシリテーション

島崎先生の授業で大変参考になったのが、ファシリテーションが光っていた所です。机間指導で、「おーすげえな、その考え面白いね」「そこに補助線を引くってすごいな！」と生徒のアイデアを賞賛しながら、各班の多様な求め方を把握して、全体共有につなげていました(図1)。

また、本時の授業は、教科書やノート、筆記用具を一切使わずに、生徒は一人1台端末(ロイロノート)を駆使し、生徒同士で考え合う姿が見られました(図2)。

全体共有の場面では、オンタイムで生徒の手元に多様な解き方が示され、生徒は仲間の説明に共感しながら見方や考え方を広げることができ、本時の授業は、効果的なICT活用の好事例といえるのではないのでしょうか。

本時の評価について、思考・判断・表現を観点として、
A: 求め方が説明できる、B: 角度を求めることができる、と、ループリック(評価基準)を示していたので、授業終盤は個に戻って考え方を記述させても良かったかもしれません。

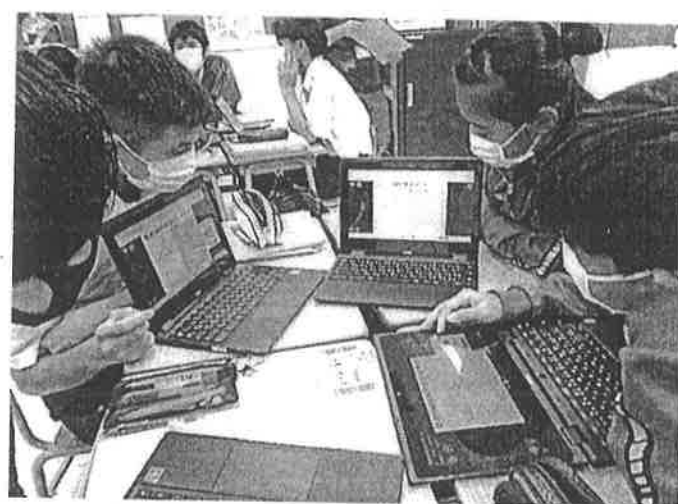


図2 ロイロノートを使って考え合う場面

Yさんの振り返り 「今日の授業で学んだことは？」

みんなと求め方を共有して、今まで習った同位角や外角を利用することができ、たくさんの求め方がわかった。

本時の授業を、「知識構成型ジグソー法」(協調学習)を用いて実践するなら(授業者はファシリテート役)

1. メインの課題「ブーメラン型(凹四角形)の角度を求める方法を説明しよう」

2. 知識構成型ジグソー法を用いた授業の流れ(右図参照)

(1) エキスパート活動 (A 三角形の外角、B 同位角、C 錯角の班)

(2) ジグソー活動(エキスパートの仮説ABCが1つの班になり、それぞれの角の意味を共有し、メインの課題解決に迫る)

(3) クロストーク(ジグソー班で出した結論を全体で発表する)

(4) 個になる(自分なりの解を見つけ、本時の授業で何を学ぶことができたのか振り返る)

それぞれの仮説のエキスパート(専門家)

A 外角
3名

B 同位角
3名

C 錯角
3名



ABCが1つの班になり、ジグソー活動を開始

1班 3名
A・B・C

2班 3名
A・B・C

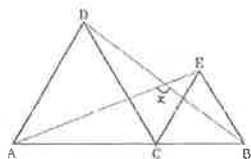
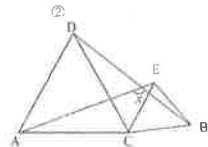
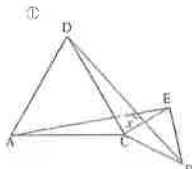
3班 3名
A・B・C

知識構成型ジグソー法(東京大学 CoREF 発案)

<https://coref.u-tokyo.ac.jp/concept>

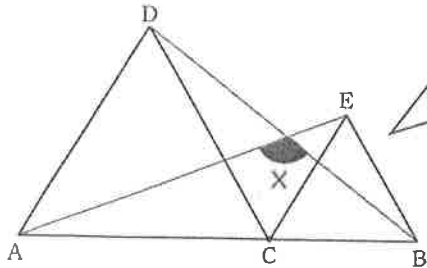
公開授業 (数学) 科学習指導案

日時 : 12月21日(水) 1校時

2年8組	授業場所	2年8組教室	授業者(T1)	中村 守和	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		第5章 三角形と四角形			
本時のねらい		既習内容を活用して、 $\angle x$ の大きさを求める。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		ふりかえる力 既習事項をふり返り、それをもとに解決していく力を育てる やりぬく力 課題解決の過程で、改善策や対応策を考えながらやり抜く力を育てる。			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導入 (10)分	つかむ	○課題1の提示 図のように点Cを共有する正三角形ACDと正三角形CBEを、点A, C, Bが一直線上にあるようにかきます。点AとE, 点DとBを結ぶとき、$\angle x$の大きさを求めなさい。  ○既習事項の確認、復習 三角形の内角の和、外角の性質。 正三角形の1つの内角の大きさ。 合同な図形の性質。			・課題をつかみ、解決するのに必要な既習事項はなにかを確認する。
展開 (30)分	考える	○自力解決 既習事項を活用するためにどの三角形を使えばいいか考える。 三角形の外角の性質。三角形の内角の和。合同な図形の性質。 ○相互解決 友達同士で考えを出し合いながら$\angle x$の大きさを求める。 ○発表			・角の大きさがわからないときは・や×を使って表す。
	深める	○課題2の提示 ACBが一直線上にない場合はどうなる。  ○発表			
まとめ (10)分	まとめる (活用する)	○まとめ いろいろな図形の性質を使うことで、角の大きさの表示のない図形でも角の大きさを求めることができる。			
本時に行う評価		・既習事項を課題解決に利用し角度を求めることができる。 (思考・判断・表現) ・あきらめることなく、粘り強く解決しようとしたか。 (主体的に学習に取り組む態度)			

2年8組😊全員による全知性をかけた全力授業😁

12月21日(水)、中村守和先生が授業を公開しました(2年8組)。本時は、本単元における『核となる授業』と位置づけ、生徒はこれまでに学習した三角形の知識をフル活用して、問題解決に挑むことが目的です。



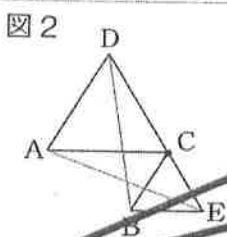
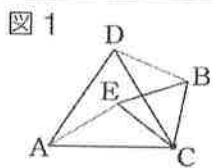
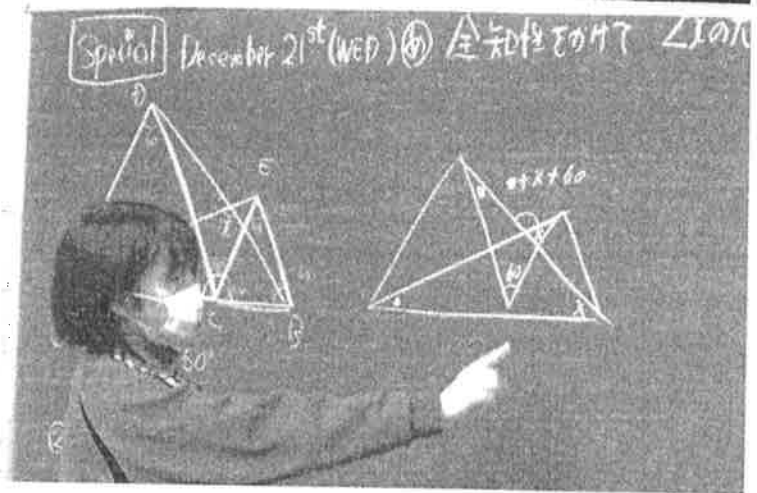
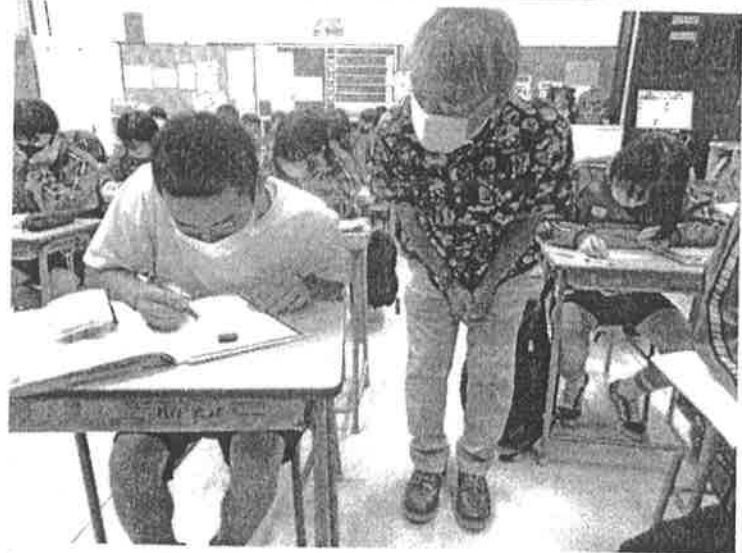
本時の課題

正三角形が一直線上に並んでいます。
 $\angle x$ は何度ですか？

本時の課題は、数学専門の筆者にとっても、初めて挑戦する問題で、恥ずかしながら答えを出す方法が見つかりませんでした(歳をとると頭は堅くなる!?)。

それに対して生徒ですが、脳に汗をかくほどの問題を、あーでもない、こーでもないと試行錯誤しながら粘り強く考える姿が見られ、中学生の若き力に感動しました(^^)。

また、守和先生イイね!と感じたのが、解決後に、『正三角形が一直線上に並んでなくても 120° になるかな?』(下図)と、条件を変更して考えさせる場面もステキでした。授業は終始、1人⇄35人の対話でしたので、ペアやグループ学習を取り入れることで、協働的な学びの実現につながったかもしれません。守和先生 Thank you!



守和先生と生徒との会話が Very Nice!

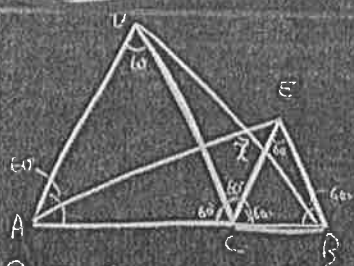
生徒:先生、何で今日は Special なの?

先生:給食のメニューが「ナン」だから

生徒:それナンナン?【教室は大爆笑】

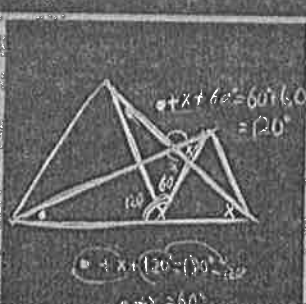
↑発表者↑Aさんの振り返り
この前、学習したブーメラン型三角形が見えたので、それを使って解けないか考えるとうまくいった。

[Special] December 21st (WED) ④ 全知性をかけた $\angle x$ の大きさを探そう

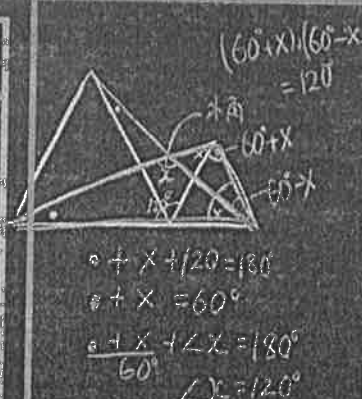


① 正三角形 60°
一直線

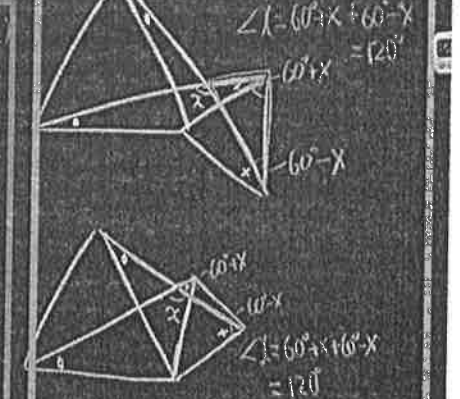
② 三角形の内角の和は 180°
外角の和は 360°
三角形の合同
平行線の錯角の性質
解決への見通し



Aさんの解
ブーメラン型三角形
の性質を使って求める



Tさんの解
等しい角を、「 θ 」や「 x 」
など、印をつけて求める



【条件変更】
正三角形が一直線上にない
ときの $\angle x$ の大きさは?

公開授業 (数学) 科学習指導案

日時 : 5月 31日 (火) 2校時

3年1組	授業場所	3年1組教室	授業者(T1)	我那覇 光浩	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		平方根			
本時のねらい		根号のついた数を変形することができる			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		ふ りかえる力（自己理解・自己管理能力）→ 復習計算 や りぬく力（課題対応能力）→ 本時の問題に取り組む ・タブレット（ロイロノート）を活用して授業を行う			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導 入 (5)分	つかむ	○前時で学習した復習計算（2問）　〔タブレット使用〕 ① $\sqrt{6} \times \sqrt{5}$ ② $\frac{\sqrt{28}}{\sqrt{7}}$			・根号の中で乗除の計算ができることを確認する
展 開 (35)分	考える	○根号のついた数の変形を考える　〔タブレット使用〕 ・ $a\sqrt{b}$ から $\sqrt{a}$ 、 $\sqrt{a}$ から $a\sqrt{b}$ の形に表しなさい ① $4\sqrt{5}$ ② $2\sqrt{2}$ ③ $\sqrt{12}$ ④ $\sqrt{28}$ ⑤ $\sqrt{27}$			・素因数分解すると、根号の外に出す数が見つけやすいことに気づかせる
	深める	○分数や小数で根号のついた数の変形を考える　〔プリント〕 ・例4にならって、次の数を変形しなさい（教科書P54） ① $\sqrt{\frac{3}{49}}$ ② $\sqrt{0.07}$ ③ $\sqrt{0.64}$ ○今日学習した内容の問題に取り組む（4問）制限時間4分 ① $5\sqrt{3}$ ② $\sqrt{200}$ ③ $\sqrt{72}$ ④ $\sqrt{96}$ ・4分後に解答し、○つけする			・教科書の例題にならって変形させる ・問題を発表してから取り組ませる
まとめ (10)分	まとめる (活用する)	○感想を記入し、ロイロノートに提出 ○提出後はeライブラリに取り組む（基本・標準）			・時間が余った生徒はeライブラリに取り組ませる
本時に行う評価		・根号のついた数を変形することができる（知識・技能） ・タブレットで課題を提出できる（主体的に学習に取り組む態度）			

一人1台端末を活用した授業実践例

5月31日(火)、数学科の我那覇光浩先生が授業を公開しました(3年1組)。本時は、生徒が根号($\sqrt{\quad}$)のついた数を、目的に応じて変形できることがねらいです。

令和4年度は、生徒の学び方と教師の働き方を変革する沖縄教育DXの推進が重点的取組事項であり、一人1台端末の日常的・効果的な活用が、授業の基本事項に盛り込まれました(図1)。

我那覇先生は、以前より積極的にタブレットを活用した授業を行っており、私たちをリードしてくれている先駆者です。

板書・ノート、1人1台端末

- 思考を整理し考えを深める構造的な板書・ノート指導
- 1人1台端末の日常的・効果的な活用

図1 一人1台端末が授業の基本事項に (問いサポP.5)

本時で使用するロイロノートは、双方向の授業や、思考の可視化により、生徒が自分の考えを仲間と共有し、学び合う授業で熱狂的な学習者に変容していくことを目指しています。

生徒は、前時まで学習した平方根の意味を振り返り、ロイロノートを使って、 $\sqrt{a} \leftrightarrow \sqrt{a^2b}$ を自由自在に往還することで、平方根の意味をより深く捉え直す契機となりました。

プリントで学習したい生徒は、最終的にプリントを写真で撮って紐付けし、データ提出するなど、生徒自身が自分に合った最適な学習方法を選んでいました。本時の授業で、どんな数学的な見方・考え方を働かせて、ルートを変形する【知識・技能】を身につけさせたかったのか、数学科で検討していきたいです。

【生徒インタビュー】(Yさん)

普通のノートとロイロノートでは、どちらが使いやすいの？
ロイロの方が、自分の進み具合に合わせて学習することができるし、自宅にいても先生に提出して評価がもらえる。でも、途中式が必要で、じっくりと考える課題は、ノートの方がいいと思う。

自立した学習者の育成

「問い」を持ち、主体的に学ぶ授業

教わる授業

学びとる授業



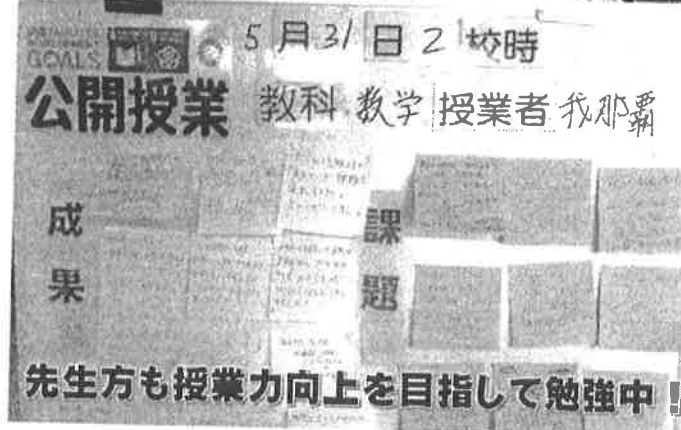
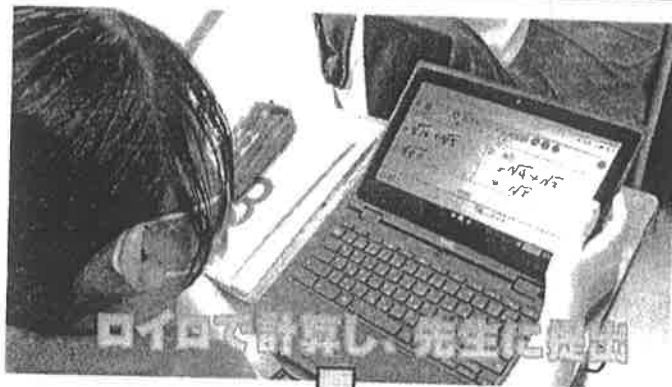
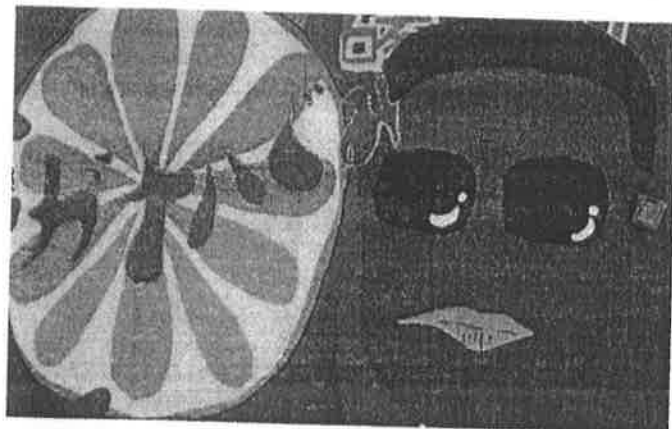
授業観の変革



インプット中心

アウトプット中心

ICT活用で効果的に実現！



【めあて】自分の教科での活用方法をイメージしよう！

個別最適な学び アウトプット

【まとめ】

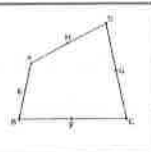
- ・子どもにとって個別最適な学びにつながる活用を！
- ・子どもがアウトプットする場面がある授業を！

1人1人で個別に実践するよりも、学年や各教科でチャレンジすることを1つ決めて、みんなの実践を共有しながら、進めることが大切です！



公開授業（数学）科学習指導案

日時：12月6日（火）2校時

3年	2組	授業場所	3年2組教室	授業者(T1)	上原 晶子	(T2)
校内研修テーマ			持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名			第5章 相似な図形（本時12/20）			
本時のねらい			中点連結定理を利用して、どんな四角形でも各辺の中点を結ぶと平行四辺形になることを証明できる。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点			か かわる力 自分の意見を伝えあう力、多様な考えを共有できる力を育てる ふ りかえる力 既習事項をもとに、解決していく力を育てる			
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 (12)分	つかむ	○前時の授業（中点連結定理）の振り返り ○問題提示 適当な四角形ABCDをかいてみよう。 辺AB, BC, CD, DAの中点をそれぞれE, F, G, Hとする。このとき、四角形EFGHはどんな四角形になりますか。  ・予想を立てる（ひし形・正方形・長方形・平行四辺形） ○めあて提示 どんな四角形でも、各辺の中点を結ぶと平行四辺形になることを説明しよう。 ○課題の提示 課題1 四角形EFGHが平行四辺形になることを証明せよ ・平行四辺形になるための条件を確認する				・ペアで、かいた四角形を確認する。四角形EFGHがいろんな形の平行四辺形になっていることを知る
	考える (20)分	○自立解決 ・中点連結定理を利用するために四角形を三角形にする そのために対角線を引く ○グループ学習 ・お互いの考えを出し合いながら、証明をまとめる ○発表				
展開 (30)分	深める (10)分	○課題の提示 課題2 四角形EFGHが長方形やひし形、正方形になるのは、四角形ABCDの対角線AC, BDがどんな条件のときだろうか。 ・発表する。				・中点連結定理の必要性を感じさせる
	まとめる (3)分	○まとめ どんな四角形でも、各辺の中点を結んでできる四角形は、平行四辺形になることを説明できた。 ○振り返りをノートに記入				・デジタルツールを利用する
本時に行う評価		○中点連結定理や平行四辺形になるための条件を利用して、証明ができる (思考力・判断力・表現力) ○四角形のそれぞれの中点を結んでできる四角形に関心を持ち、自分のことばで説明しようとする (主体的に学ぶ力)				

Merry Xmas! サンタさんが数学の授業をしているようにした!

12月6日(火)、上原晶子先生が授業を公開しました(3年2組)。本時は、中点連結定理を利用して、どんな四角形でも、各辺の中点を結ぶと平行四辺形になることを証明できることがねらいです(難易度高し!)

晶子先生ステキだなと思ったのは、前時の振り返りを本時の学習につなげたり、問題解決の見通しを与えたりする工夫が見られ、生徒をそりに乗せたり、ちょこっとヒントをプレゼントしたりする姿を見て、まるでサンタクロースが数学の授業をしているように見えました。

数学科で検討したいことは、生徒の「問い」を強烈に引き出し、新たな問いに発展させる授業デザインです。例えば、「平行四辺形(以下 $\square$)になることを証明しよう」も悪くないのですが、「何で $\square$ になるの?」、「平行に見えるけど本当にそう?」、「四角形が $\square$ になるのはどんな時?」などと、問題解決の対象を明確にした発問の工夫について、共に学んでいきたいです。晶子先生ありがとうございました。

Aさんにインタビュー「何がわかった?」

自分は、証明は書けなかったけど、中点連結定理を使うことと、平行四辺形になるための条件につなげることは分かった。



図1 なぜ平行四辺形になるのか、グループ協議



図2 ロイロノートと図を使って全体に説明

12/6(火) 5-② めあて 四角形の各辺の中点を結ぶと平行四辺形になることを説明しよう。

結果の見通し

四角形EFGHはどんな四角形?

ひし形、正方形、長方形、平行四辺形

方法の見通し

① 2組の対辺がそれぞれ等しい

② 2組の対辺がそれぞれ平行

③ 1組の対辺が平行で、もう1組の対辺が等しい

本時の見方や考え方

① 2組の対辺がそれぞれ平行

② 2組の対辺がそれぞれ等しい

③ 1組の対辺が平行で、もう1組の対辺が等しい

まとめ どんな四角形でも、各辺の中点を結んでできる四角形は平行四辺形になることを説明できた。

前時の振り返り

中点連結定理

$MN \parallel BC$
 $MN = \frac{1}{2}BC$

下記の表は、期末テストの平均点一覧となります(実施日:11月22日・24日)。3学期に向けて、本校生徒が「何ができていて(成果)、どこに弱点があるのか(改善点)」を分析し、生徒の学習改善や私たちの授業改善につなげていきたいです。また、生徒の学習意欲の向上を目指して、教科面談で「評価」を共有しましょう。

	国語	社会	数学	理科	英語	学年
1年生	64.9	57.3	49.4	52.5	48.3	274.9
2年生	71.6	75.6	74.8	62.9	52.2	341.8
3年生	71.8	63.7	58.8	57.1	69.1	323.9
教科	69.4	65.5	61.0	57.5	56.5	313.5

教科面談の視点 ★学習意欲の心理学(市川伸一)

- ・失敗に対する柔軟性(生徒を励ます声かけ)
- ・思考過程の重視(結果より過程を大切に指導)
- ・学習方略(学習の仕方、その生徒に合った学習法)
- ・意味理解志向(解き方を確かめながら学習指導)

日常生活や社会の事象を『数学の舞台』に乗せる秘訣とは？

6月24日(金)島崎祐之先生の授業を参観させていただきました(数学・2年7組)。本時は、割合に関する問題を、生徒が連立方程式を使って解決することが目的です。いつでも穏やかに生徒と接している島崎先生ですが、授業でも、生徒との会話のやりとりが上手で、発問や説明が簡潔明瞭で、とても分かりやすかったです。

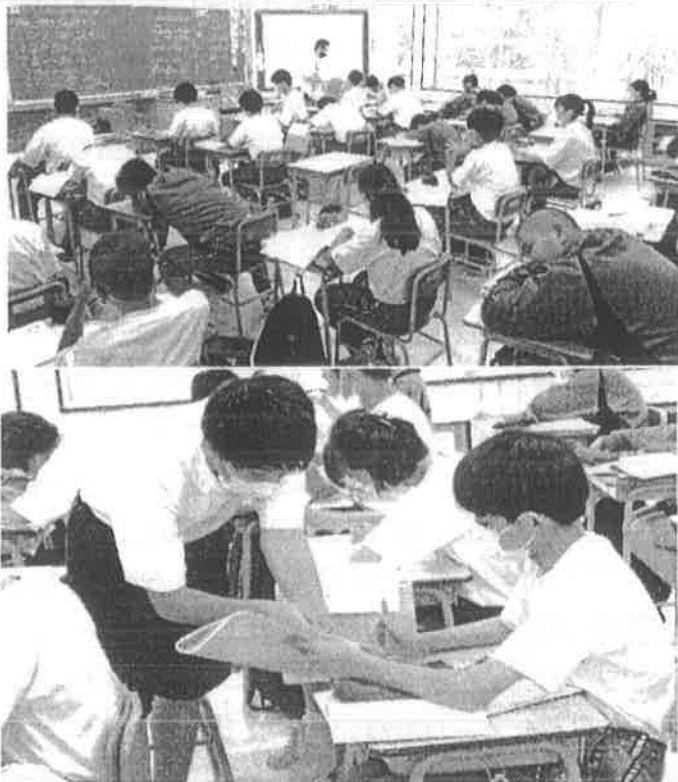
右の写真のように、生徒同士で試行錯誤し、生徒全員が思考を Output する場面を設定したかったです。

また、教科書の出来上がった問題から始めるのではなく、図1のように、日常生活の場面から徐々に数学の舞台にのせて、生徒が問題を発見し、解決していく授業デザインを、数学科で学んでいきたいです。

島崎先生、ありがとうございました

生徒インタビュー「今日の授業で学んだことは？」

【Tさん】小学校6年生に学習した割合を使って問題解くことができた。分数や小数が出てきて苦手だけど、連立方程式を使った方が楽に求められる。



① 日常事象や社会の事象

南風原中学校ボランティア委員会では、生徒が地域の清掃活動をしています。先月の参加人数は男女あわせて130人でした。



② 数学的に表現した問題

今月は、先月に比べ、男子が15%、女子が10%それぞれ増えたため、全体で16人増えました。

③ 焦点化した問題

先月の男子、女子の参加人数、方程式を作って解いてみよう！

⑤ 2巡目

先月の参加人数は、男子60人、女子70人で、問題に適している。

④ 結果

$$\begin{cases} x + y = 130 \\ 0.15x + 0.1y = 16 \end{cases} \text{ を } \\ \text{解くと } x = 60, y = 70$$

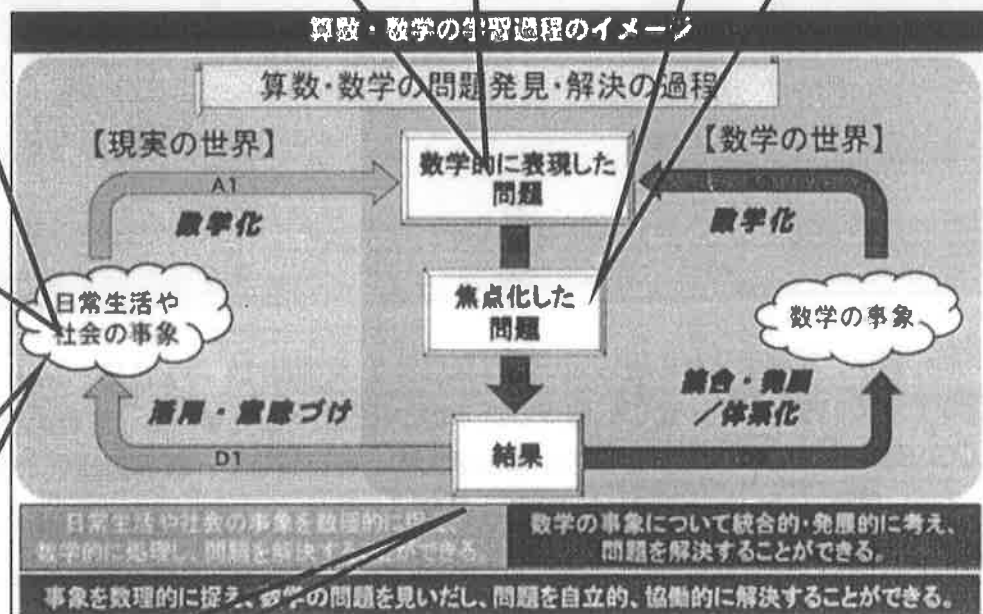


図1 算数・数学の学習過程のイメージ

本時の授業では、生徒自身が数学の問題を発見・解決するプロセスを重視して、数学的活動の充実を図りたい(問いサポP.24)

さすが最上級生、真剣な眼差しで授業を受けていました！

5月13日(金)3校時、数学科の上原晶子先生の授業を参観させていただきました(3年3組)。

本時のねらいは、小学校4年生で学習する3桁のかけ算を、現在学習している乗法公式を活用し、工夫して計算することが目的です。例： $102 \times 98 = (100+2)(100-2) = 100^2 - 2^2 = 10000 - 4 = 9996$

晶子先生ステキだな～と感じたのが、生徒にとって初めて出会う未知なる問いにも関わらず、まずは生徒に考えさせて、そこから出てきた多様な考えを認め、生徒に説明させ、その考えを比較する場面を設けていた所です。

学んだ知識を「長持ち」させるために、人は試行錯誤し、「Try & Error」を経験することが必要かもしれません。匙加減が難しいところですが、時にはルールを敷き、時には自由に運転させるなど、授業の主体を生徒に与え、協働的な学びの実現に向けて、全職員で学んでいきたいです。晶子先生、ありがとうございました。



授業は常に真剣！受験生の意識が芽生えています！

生徒インタビュー

『本時の授業で何を学ぶことができましたか？』

(Tさん)

いろいろな乗法公式に当てはめて計算すると、筆算よりも楽に計算できた。

(Mさん)

難しかったけど、週末にクリアノートで練習したい！

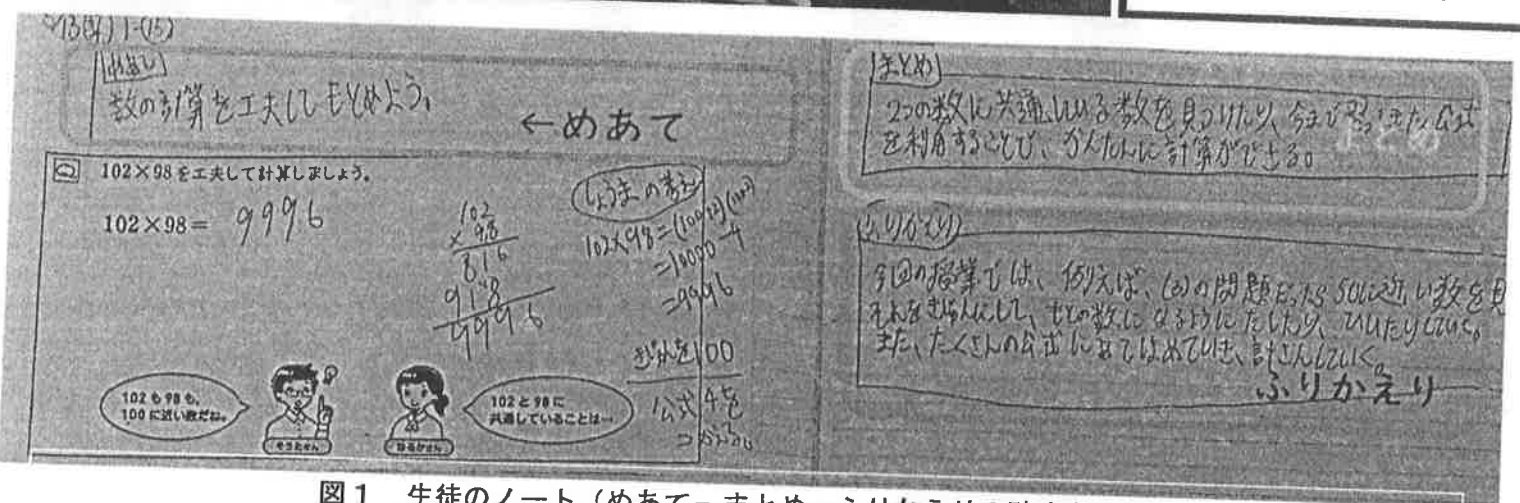


図1 生徒のノート（めあて—まとめ—ふりかえりの確実な実施）

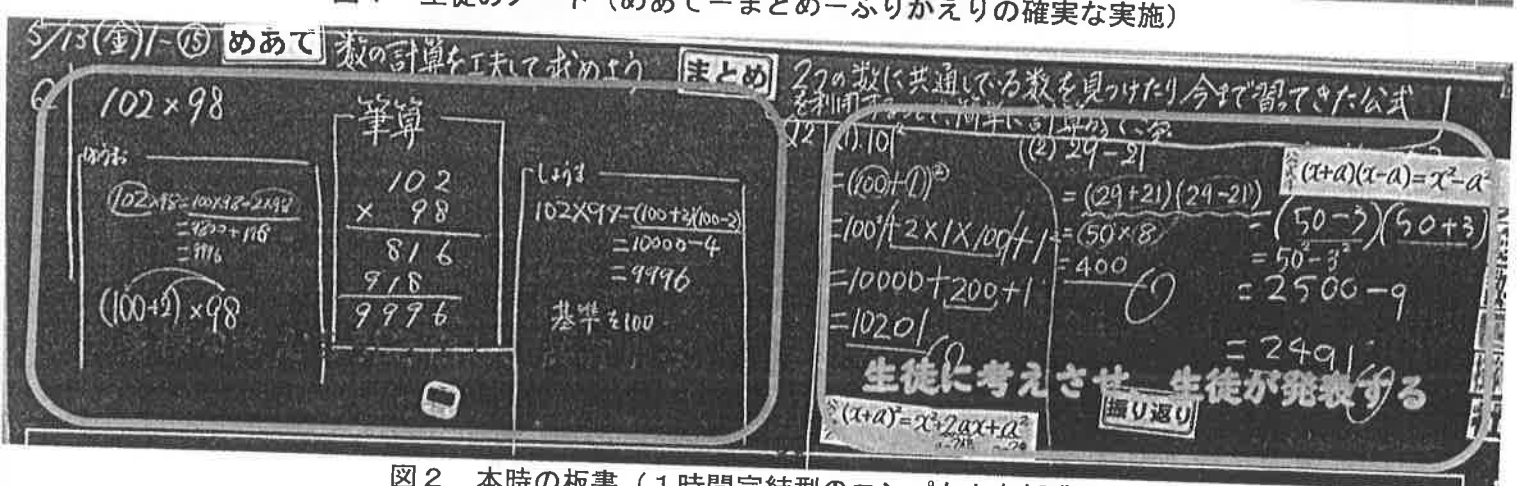


図2 本時の板書（1時間完結型のコンパクトな授業）

入学時のクラスの写真を掲示しよう！見栄え良く掲示する工夫とは？

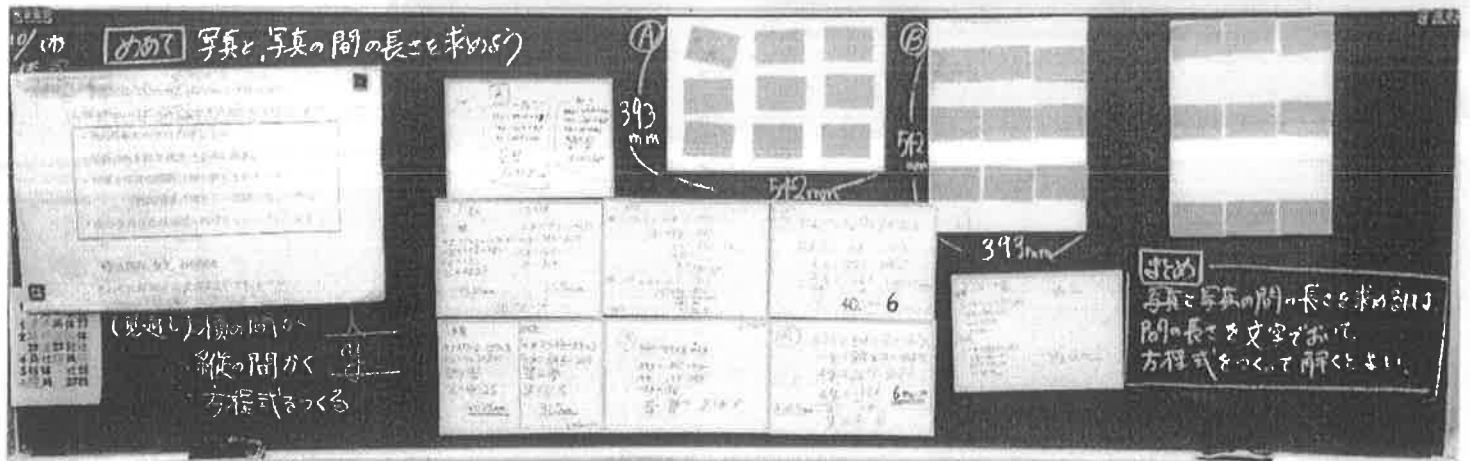
10月6日(木)、平良聖子先生の授業を参観させていただきました(数学・1年7組)。本時は、学級の写真を見栄え良く掲示するために、写真と写真の間を何mm空けたらよいのか？方程式を使って解決することがねらいです。

聖子先生の授業で大変参考になったのが、聖子先生の穏やかな表情の中に『発問の鋭さ』を感じた所です。

何を求めるの？(結果の見通し)、どうやって求めるの？(方法の見通し)、他に分かっている情報は？(問題把握)などと発問することで、生徒が何を求めれば良いのか、どのような方法で求められそうかが明確になり、生徒の「問い」が、授業の始まりから終わりまで貫かれていました。

教科書のように、キレイな数字ばかりの出来上がった問題ばかりではなく、時には実生活の中に潜む題材を、生徒が先生と語り合いながら数学の舞台に乗せていく学習過程は、方程式のよさを感じたり、日常生活に潜む数学を実感したりするチャンスになるかもしれません。

聖子先生、ステキな授業ありがとうございました。

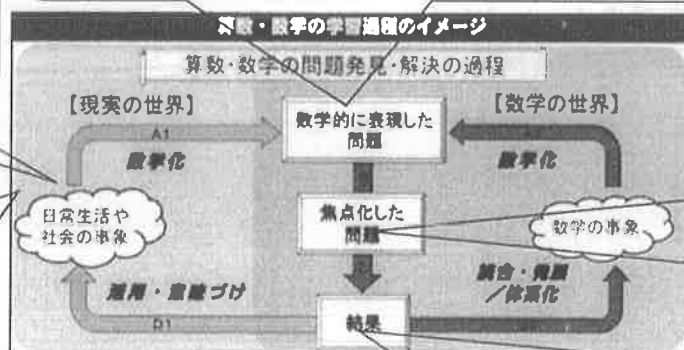


① 日常事象や社会の事象

学級の写真を色画用紙に掲示したい。どのように貼ったらきれいに見えるか問う。

②数学的に表現した問題 写真と写真の間を等間隔に貼ることができたら、見た目のバランスが良くなり、きれいに見えるはず！

⑤2巡目 画用紙を縦にしたり、写真の貼り方を変えたりしてみると・・・



③焦点化した問題 横の間隔、縦の間隔をそれぞれ何mmにすればよいでしょうか。

④結果(例) $4x + 127 \times 3 = 542$ の解は、 $x = 40.25$ よって、横の間隔を $40.25\text{mm} \div 4 \text{cm}$ の間隔で貼ったら、バランス良く、きれいに見える

公開授業指導案（理科）

日時・場所：10月31日(月)5校時
美

1年1組教室

対象：1年1組

授業者：安谷屋 知

校内研修テーマ	持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～
単元名・教材名	「沖縄の自然」
本時のねらい	沖縄の自然を題材に1、2学期に習ったことを振り返らせる
キャリア教育 「かふやみ」の 視点・工夫	「ふりかえる力」 授業で習った内容をより身近な題材をもとに振り返らせ、授業内容の理解を深める。 「かかわる力」 班の中で話し合い、意見をまとめる

学習過程		学習内容・活動	留意点
導入 1 0 分	つかむ	班を作らせ、1台ずつタブレットを準備させる。 社会科見学（沖縄ワールド）の話を交えながら	操作ができる のか簡単な課題で確認す
	本時のめあて 習ったことを生かして沖縄の自然について理解しよう		
展開 3 0 分	考える	沖縄の自然に関する問題を班別に考えさせる。 回答はロイロノート上で行わせて提出させる。解答後はロイロノートの機能を用いて全体で共有する。 石灰石がとける様子は実験演示も交えながら解説する。 【予定問題】 問題1 沖縄の植物を分類してみよう 問題2 沖縄の生き物を分類してみよう 問題3 他の石では見られない石灰岩の特徴は 問題4 玉泉洞以外の鍾乳洞の鍾乳石が伸びる速さは	タブレットでの検索は原則不可として、教科書で調べさせる。
まとめ 1 0 分	振り返る	本時の内容と関連させながら沖縄ワールド内の観察のポイントについて話す。 本時の評価 【思】問題の回答の理由を説明することができたか 【主】自分の意見を持ち、話し合い活動を通して理解を深めることができたか。	

名探偵コナンと古畑任三郎、どちらがお好きですか？

10月31日(月)、理科部の安谷屋知美先生が授業を公開しました(1年1組)。本時は、1年生が11月4日(金)に社会見学で訪問する『沖縄ワールド』の事前学習として、**沖縄の自然について学び、これまでに学習した理科の内容を振り返ることがねらい**です。本時の授業を推理小説の主人公に例えてみました(表1)。



表1 古畑任三郎と名探偵コナンの推理方法を「授業」に例えてみると…

A	古畑任三郎	最初に容疑者(答え)を特定し、巧みな話術で執拗に質問して推理(証明)する。	演繹的
B	名探偵コナン	数々のヒントを洗い出し、パズルをつなげて推理し、容疑者(答え)を特定する。	帰納的
授業はAとBの組合せ？(時には生徒が答えを見つける、時にはなぜその答えになるのか生徒が説明する)			

本時の授業を、推理小説の主人公に例えると、どちらかと言えば、Aの授業(古畑任三郎)だったかもしれません。

「鍾乳石が1cm伸びるのには何年かかる？」(図3)など、沖縄ワールドの自然について、生徒は一問一答形式で考え、知美先生の実験や説明を聞いて、理解を深める授業デザインでした(図1)。

本時の授業をB(名探偵コナン)で行うならば、まずは生徒に「あーでもない、こーでもない」とTrial&error(試行錯誤)させ、仲間と協力しながらインターネット検索や教科書からヒントを見つけ、生徒自身で「最適解とその理由を説明する」授業となります。

AとBのどちらが正解か分からないのが「授業」の面白さだと思います。授業方法に迷った時は、**授業改善の主人公を「生徒」に据える**とイイかもしれません。授業後に「主人公が何を学んだか、何ができるようになったか」を柱にし、生徒が名探偵になれる授業を目指していきたいです。

社会見学と理科を関連付けて、ゼロベースから教材を作成した知美先生の教材研究力に感服(〇)Thank you!

Hさんにインタビュー『本時の授業で学んだことは？』

沖縄の植物や鍾乳洞について、理科の視点で知ることができたので、沖縄ワールドで確かめるのが楽しみになった。

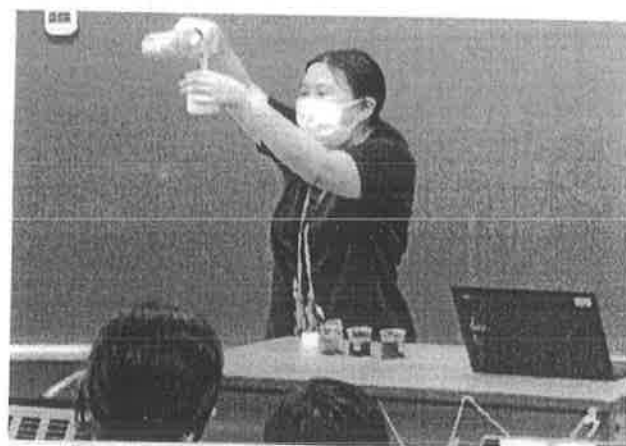


図1 二酸化炭素を吹き込むと…(化学)



図2 ロイロノートを使って問いに答える

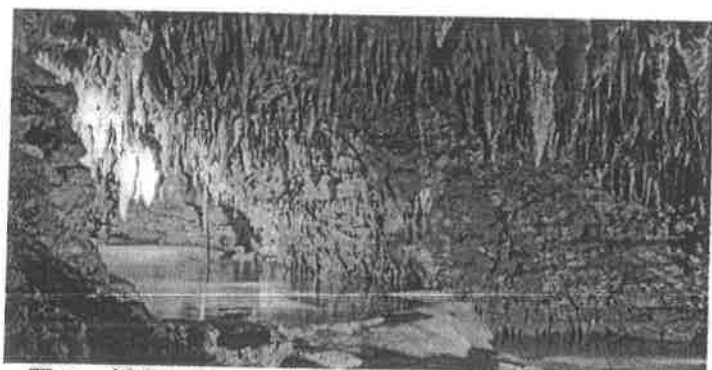


図3 鍾乳石が1cm伸びるのに30年かかる(地学)

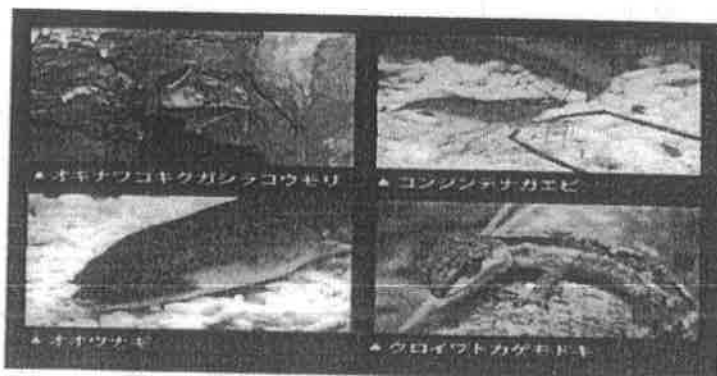


図4 鍾乳洞に生息する生き物(生物)

公開授業 理科学習指導案

日時：5月23日(月) 3校時

2年8組	授業場所	第1理科室	授業者(T1)	須磨 久美	日時：5月23日(月)3校時
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		Ⅰ 化学変化と原子・分子 2章 物質どうしの化学変化 実験3 鉄と硫黄			
本時のねらい		鉄と硫黄の混合物を加熱し、何が起きているか推測する			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		① 班で協力・分担して実験を準備から片付けまで行うことができる。 <u>か</u> かわる力 (人間関係形成・社会形成能力) ② 最後まで諦めず、考察を書くことができる。 <u>や</u> りぬく力 (課題対応能力)			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導入 5分	つかむ	実験のポイントを押さえる 鉄と硫黄と試験管bの廃棄について 洗わない指導の徹底 磁石の本数 結果・考察の採点基準の提示			休み時間からの準備は推奨している
展開 45分	考えながら実験を行う	実験3 鉄と硫黄が結びつく変化 ステップ1 鉄粉と硫黄粉末を混ぜ合わせ、試験管に入れる ステップ2 脱脂綿で蓋をした試験管bの加熱 <u>反応の観察</u> ステップ3 反応前の物質と反応後の物質の違いを調べる			ガスバーナー注意 塩酸は1セットだけ窓際に
	深める	考察を書く 採点基準 B基準 新しくできた物質の名称が正しい A基準 なぜその物質であるのかの論拠 まとめは採点後なので、次時			ラスト15分が目安 授業終了2分前に回収
本時に行う評価		実験観察の技能 正確に安全に実験を行うことができたか 実験で起きた事象を観察し記録できたか 最後まできちんと片付けができたか (B基準はステップ2以外で1ミスまで A基準は他はノーミスでステップ2で反応が加熱しなくても 続くことについて表現できていること) 科学的思考能力 起きた事象が化学変化であることが自分の言葉で書けている。 (B基準) 化学変化でできた物質を理由も挙げて理論的に予想できる。 化学式で表すことができる。(反応式は未履修だが使っても良い) (A基準)			

見て、触って、嗅いでみて。実験でしか味わえない理科の醍醐味

5月23日(月)、須磨久美先生が授業を公開しました(2年8組)。本時は、鉄と硫黄の混合物を加熱する実験を通して、どんな反応が起こるのかを推測し、加熱によってなぜ新しい物質が生まれるのか、その根拠を生徒が説明することを目的としています(右図①～③)。

須磨先生ステキだな～と感じたのは、生徒への指示が簡潔明瞭で、生徒は実験の手順を理解するとすぐに、あーでもない、こーでもないと、仲間と試行錯誤しながら実験を開始しました。さらに実験ありきではなく、生徒が実験の結果をメモし、考察する時間を十分に確保することで、すべての生徒にアウトプットする場面を設定していました。

また、考察の採点基準(ループリック)を生徒に示すことで(下図)、生徒が目標に向かって考察する姿が見られました。

考察の採点基準

起きた事象が化学変化であることが自分の言葉で書けている。(B-)
物質名が書けている。(B)

化学変化でできた物質を理由も挙げて理論的に予想できる。(A)
化学式で表すことができる。(反応式は未履修だが使っても良い) (A)

生徒が協働して実験結果を考察し、全体で共有する場面を設けることで、理科の見方・考え方を働かせ、評価のための考察ではなく、理科の魅力を味わい、科学的に探求する態度を養う契機につながるのか、理科部で検討してもらおうと嬉しいです。須磨先生、ありがとうございました。

生徒インタビュー「今日の実験で何を学ぶことができた？」

(Kさん) 燃やす前は、磁石にくっついたけど、燃やした後は、磁石にくっつくかなかった。加熱することで固まって違う物体になったからだろうけど、その原因を調べてみたい。



「結果」・「考察」・「結論(まとめ)」を明確にしましょう

せっかく実験・観察に取り組んでも、実験後の言語活動(結果・考察・結論)を大切にしなければ、子どもたちの思考力、判断力、表現力等の資質・能力を育成することは難しくなります。これらの言語活動を充実させるには、まずはそれぞれの活動内容を明確に区別する・させることが重要です。

◎「結果」は事実、「考察」は解釈(意見)

考察を充実させるには、**事実と解釈(意見)**の区別をはっきりさせることが大切です。下にした例のように、子どもたちが実際に確認できた事実のみが「結果」であり、事実をもとに解釈したものが「考察」ということになります。考察は意見です。意見に間違いはありません。結果から直接、原理や法則に結びつけようとするのではなく、子どもたちに自由に自分の考えを出させながら、効果的な発問や対話を通して、考察を深めていきましょう。

公開授業 理科学習指導案

日時：10月28日（金）3校時

3年7組		授業場所		第1理科室		授業者(T1)		山城 祥太郎		日時：10月28日(金) 3校時	
校内研修テーマ				持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～							
単元名・教材名				3 運動とエネルギー 3章 エネルギーと仕事 第2節 力学的エネルギー							
本時のねらい				力学的エネルギーの総量を考えて、力学的エネルギーに関する課題の解決に取り組む。							
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点				① 班・ペアで協力して課題に取り組むことができる。 かかわる力 (人間関係形成・社会形成能力) ② 最後まで諦めず、課題に対する答えを考え抜くことができる。 やりぬく力 (課題対応能力)							
本時の展開											
		学習過程		学習内容・活動						留意点	
導入 10分		つかむ		○力学的エネルギーの振り返り 位置エネルギーと運動エネルギーの大きさと総量に注目する (ジェットコースターを例にする) ○力学的エネルギーを体感する 教室の天井を活用した振り子・ゴムボールで生徒とともに実演する						エネルギーの総量に注目して考える	
展開 40分		課題に取り組む		課題① 「5球連結振り子で、力学的エネルギーを考える」 ※数問、課題を出す ステップ1 個人で予想を立てる ステップ2 ペアで予想を立てる ステップ3 数ペアの発表を行う						教師の机に5球連結振り子を準備する 力学的エネルギーの理論を利用して予想を立てることができるか	
		深める		課題② 「振り子で、途中に棒が入ったときはどの高さまでボールは上がるでしょうか。」 ステップ1 ペアで答えを考える ステップ2 ペアで自分たちの答えの高さまで上がる理由を記入する ステップ3 数ペアの発表を行う						力学的エネルギーの理論を利用して問題を考えることができるか	
本時に行う評価				科学的思考能力 力学的エネルギーの理論を利用し、答えを予想することができる。(B基準) 力学的エネルギーの理論を利用し、「総量は変わらない」ことを記入して説明している。(A基準)							

実験こそ理科の醍醐味!? ジェットコースターと理科がコラボ

10月28日(金)、理科部の山城祥太郎先生が授業を公開しました(3年7組)。本時は、5球連結振り子の実験を通して、力学的エネルギーの保存を利用し、問題解決に挑むことを目的としています。

九州への修学旅行を控えた3年生にとって、ジャストタイミングな本時のお題。グリーンランド遊園地の恐竜コースターGAOの映像を通して、前時で学んだ位置エネルギー、運動エネルギーについて振り返り、本時の問いにつなげていました。

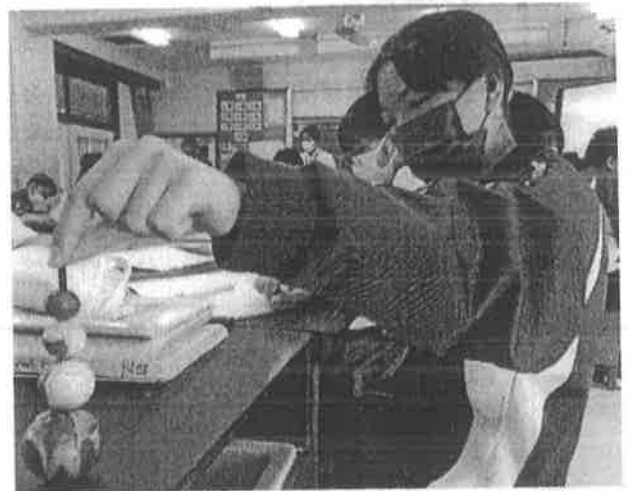
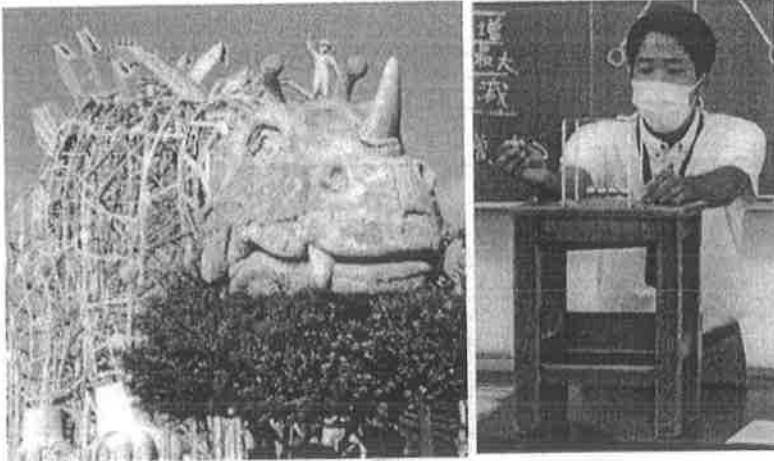


図1 ジャンピングボールが持つエネルギー



図2 手作りの巨大振り子

また、祥太郎先生は、教科書に示された「問題・課題」をそのまま提示するのではなく、様々な実験道具から、生徒が見たり触ったりする活動を通して、自然現象との関わりから出てきた気づきや「問い」から「問題・課題」を設定しており、生徒の興味・関心を高め、知的好奇心を揺さぶるなど、主体的な学びにつなげていました(図1～図3)

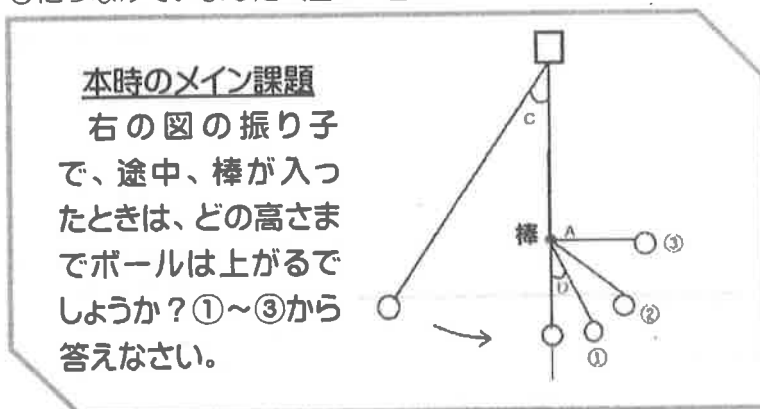


図4 本時のメイン課題



図3 5球連結振り子を見て触って確かめる

授業終盤、本時のメイン課題である「棒が入ったときに、振り子がどこまで上がるのか」を解決すべく、生徒はこれまでに学習した力学的エネルギーの保存の知識から、仲間と協働して、あーでもない、こーでもないと試行錯誤し、問題解決に挑んでいました(図4)。話し合い活動が活発だっただけに、①～③のどれが正解なのか、その理由を生徒に説明させたかったのですが、時間が足りませんでした。前時を振り返る時間も含めて、タイムマネジメントに改善の余地があったのか、ご検討をよろしくお願いします。

祥太郎先生、実験盛りだくさんの楽しい授業ありがとうございました。

HAPPY HALLOWEEN

公開授業 理科学習指導案

日時：10月26日（水）1校時

3年 6組	授業場所	第1理科室	授業者(T1)	小松 佐知子	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		単元3 運動とエネルギー			
本時のねらい		水中ではたらく力について問題を通して理解を深める。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		① ペア復習や話し合い活動、実験の準備片付けなど協力して行うことができる。（かかわる力） ② 問題を最後まで考えることができる。（やりぬく力）			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導入 (5)分	つかむ	水圧と浮力の既習事項をペアで復習しその後、指名することで答えを全体で共有する。 ペアで答えが分からない場合は、教科書をみて復習する。			欠席のため、ペアがいない場合は席を移動させる。
展開 (35)分	考える	新たな疑問①、②を個人で考える。 ・新たな疑問①「同じケースで中のおもりの数を変えた場合、浮力の大きさはどうなるか。実験結果の値を予想しよう。」 ・新たな疑問②「水圧は水深が大きくなると大きくなるのに、浮力は水深が大きくなっても変化しないのはなぜか」			疑問①を「考える」の次、「深める」までやってから疑問②をやる。
	深める	疑問①の自分の考えをワークシートに記入させる。班で確認後、全体で確認する。 疑問②の自分の考えをワークシートに記入させる。班で確認後、ホワイトボードに記入。数班に発表させ、全体で確認する。			
まとめ (10)分	まとめる (活用する)	ポートフォリオに問「水中にはたらく上向きの力の大きさは、物体の何に関係するだろうか」について自分の考えをまとめる。			相談はいいが、人の内容を見るのはだめ
本時に行う評価		ポートフォリオ（主体的に学習に取り組む態度）			

生徒同士で教え合い㊟学び合う、その授業の工夫とは？

10月26日(水)、理科部の小松佐知子先生が授業を公開しました(3年6組)。本時は、「水中ではたらく力」について理解を深めることがねらいです。

小松先生のたくさんのイイねを、パディの山城祥太郎先生が紹介します。



イイね① 【授業後の期待する生徒の姿】

水圧と浮力についての知識を、確実に定着させるために、グループ内で話し合いながら答えを共有し、水圧と水深の関係、浮力と水深の関係について深く学ぶことができた。

イイね② 【生徒が学びに向かう姿は見られたか】

前時の実験結果から生まれた浮力についての「問い」に対して、授業者が答えを導き出すことなく、ホワイトボードを使って生徒同士で試行錯誤し、問題解決する姿が見られた(右図①が問い、②が結論)。

イイね③ 【生徒が思考をOutputする場面の設定】

生徒が個人で考える前に、ペアで話し合う場面を設けることで、理科が苦手な生徒でも粘り強く考え、自分なりの考えを記述する姿が見られた。また、授業終盤には1枚ポートフォリオを使って、生徒がどの程度理解を深めることができたか記述させることで、その変容をみとめる授業がデザインされていた(右図③)。

イイね④ 【キャリア教育 か・ふ・や・みの視点】

個人→ペア→グループ→共有→個人という一連の活動で、生徒は自己・教材・他者との対話を通して、「かわる力」が育まれていた。

① 問題・課題は「問い」をもとに設定する

浮力の新たな問い②

○『水圧』は『水深』が大きくなると『大きくなる』のに
『浮力』は『水深』が大きくなっても『変化しない』のはなぜ？

×自分の考えとそれを説明する図を書く

② 結果から子供たちなりの結論(意見)を導く過程

水深が深くなると水圧も大きくなり、その分浮力も大きくなるため、引いて求めた浮力の値は変わらないから。

③ 自分の変容を自覚させ、新たな「問い」につなげる (1枚ポートフォリオ：浮力と物体の関係は？)



本時の授業×問いサポ P.26

「問い」が生まれる授業展開のポイント(理科)

～「問い」を生かした探究活動(問題・課題解決学習)の展開～

理科の学習は探究活動(小学校：問題解決学習、中学校：課題解決学習)を中心に展開されます。その際教科書に示された「問題・課題」をそのまま提示するのではなく、自然事象とのかかわりから出てきた気付きや「問い」から「問題・課題」を設定することが、児童生徒の主体的な学びにつながります。以下の探究活動の展開例をもとに「問い」を生かした授業づくりに取り組みましょう。

理科 学習指導案

令和4年9月13日(火)

1年4組 計34名

授業者 眞座 孝弥

1 単元名 単元2「身のまわりの物質」 第3章 水溶液の性質

2 単元の目標

- (1) 水溶液から溶質を取り出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。(知識・技能)
- (2) 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現)
- (3) 水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材

本単元は、物質が水に溶ける様子の観察を行い、結果を分析して解釈し、水溶液では溶質が均一に分散していることを見いだし、粒子のモデルと関連付けて理解させるとともに、溶質の温度を下げたり溶媒を蒸発させたりすることによって溶質を取り出すことができることを溶解度と関連付けて理解させることをねらいとしている。

水溶液は、私たちの身の回りにあふれている身近な存在である。しかし、その性質や成分に着目して生活している生徒は少ない。この学習を通して、水溶液への興味・関心を高め、観察、実験を通して物質を調べるための基礎的な実験技能を習得できると考える。また、水溶液について科学的にとらえ、日常生活に使われている水溶液と関連付けた学習を行いながら思考力を高めていくのに適していると考え。

本単元は、第2学年で学習する「化学変化と原子・分子」、そして、第3学年で学習する「化学変化とイオン」へつながっていく。目に見えない物質の性質や反応を粒子モデルと関連付けて考える学習を進めることにより、微視的な見方や考え方を習得していくための基盤としての単元であるといえる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、明るく素直な生徒が多い。学習態度は良好で、観察や実験、グループでの学習も素直に協力して取り組むことができる。事前アンケートの「理科の勉強は好きだ」、「理科の勉強は大切である」の質問に対しても多数が肯定的な回答をしている。また、「観察や実験を行うことが好きだ」の項目に関しては約90%の生徒が肯定的な回答をしている。しかし、自分の考えをまとめてワークシートや発表で表現することが好きな生徒はやや少なく、自分の考えを適切に表現したり伝えたりすることに苦手意識をもっていると考えられる。そこで、学習の中に他者との交流を通して、考えを生かす場面を設定し、自分の考えが深まる実感をもたせることで、科学的な思考力・表現力が高め、めざす生徒像に近づけたいと考える。

(3) 指導観

この単元では、課題についてまず自分で考えさせ、次に自分の考えをもとに班で意見交換を行い、さらに全体での意見交換を図らせることで、自分の考えを深めていくことを目的にする。また、自分の考えがなかなかもてない生徒も話し合いに参加することで自分の考えがもてるように話し合いの後自分で考えさせる時間を設定することにした。

さらに、本単元は中学校での粒子概念を理解させる最初の教材であるので、小学校で学んだことを参考に、溶質が粒子であることを想起させ、微視的なものの見方を導入する。その際、図によるモデル化を行い、目に見えない物質や現象について考えていることを可視化することでより具体的に表現できるようにしたい。

4 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだし表現しているなど、科学的に探究している。	水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

5 指導と評価の計画

時数	目標(○)、学習活動や発問(・)	重点	記録	評価規準と方法
1	○章を貫く「問い」について考えさせることにより、これから学習する内容に対して興味・関心を持たせる。(before) ・【章課題】「なぜハチミツを冷蔵庫で冷やすと固まってしまっ て使えなくなってしまうのか。また、お湯につけると再び 使えるようになるのはなぜだろうか。論理的に説明しよう」	思	○	これまでに学んだことや生活経験をもとに章課題について自分の考えを記述し、互いの意見を交換している。 [発言分析・行動観察]
2	【実験】水溶液についての興味・関心を高め、物質が水にとけるようすを観察し、今後の学習への見通しを持つ。 ・「?課題」物質が水にとけるとは、どのようなことだろうか。 ・「予想しよう」コーヒースシュガーやデンプンを水に入れたとき のようすや、質量の変化、しばらく置いたとき のようすについて観察し、話し合う。 ・「基礎操作」ろ過のしかたを確認する。 ※この時間でコーヒースシュガーはとけてデンプンがとけていないことを確認する。	思		実験や「予想しよう」から気づいたことや疑問に思ったことをもとに、物質が水にとける現象について予想ができ、話し合いによって自分たちの結論を見いだし、表現している。 [発言分析・行動観察]
3 (本時)	○物質が水にとけるようすを粒子モデルを関連づけて考察する。 ・実験結果を各グループで分析・解釈させ、発表させる。 ・「ここがポイント」物質が水にとけることについての説明	思	○	物質が水にとける現象について、粒子モデルを用いて、適切に説明している。

	を聞き、理解する。 ・「モデルで説明しよう」図2の砂糖が水にとけるようすをモデルで考え、ホワイトボードなどを用いて発表する。 ・「！課題に対する結論を表現しよう」自分の考えをまとめ、確認する。			【行動観察・記述分析】
4	○溶質、溶媒、溶液、水溶液の定義や純粋な物質と混合物の違いについて説明を聞く。また、水溶液の濃度についての説明を聞き、実際に質量パーセント濃度を求める。 ・溶質、溶媒、溶液、水溶液の定義、純粋な物質や混合物についての説明、質量パーセント濃度の説明を聞き、溶液中の溶質の割合によって濃度を表すことができることを確認する。また、質量パーセント濃度を求める式についての説明を聞き、理解する。	知		溶質、溶媒、溶液、水溶液の定義や、純粋な物質と混合物のちがいについて理解している。また、質量パーセント濃度の計算方法を身につけている。 【行動観察・記述分析】
5	第2節 溶解度と再結晶 ○水溶液から溶質を取り出す方法を考える。 ・「レッツ スタート！」図1の白色物質やこの物質が出てくる理由について話し合う。 ・「？課題」水にとけている溶質を取り出すため、水を蒸発させる以外にどのような方法があるのだろうか。	思		水溶液にとけている物質を取り出す方法をさまざまな観点から考えている。 【発言分析・行動観察】
6	【実験5】水にとけた物質を取り出す ○実験5を行い、各物質を水に入れたものを加熱したときのとけ方のちがいを調べるとともに、加熱後の水溶液を冷やして物質がとり出せるか調べる。	知	○	再結晶の実験技能、観察記録の方法を身につけている。 【行動観察・記述分析】
7	○溶解度と再結晶について理解を深める。 ・「考察しよう」試験管A、Bで結晶の形やとける温度・質量、再結晶のようすなど、ちがいが起こる原因を考える。 ・再結晶が、溶解度によって起きる現象であることの説明を聞く。「ここがポイント」溶解度曲線で見える再結晶についての説明を聞き、理解する。 ・ポートフォリオにてこの章で学んだことをもとに自分の考えを記述し、話し合う。(after)	態	○	実験結果について、話し合い活動を通じて考察を行った後、再結晶や溶解度の説明を聞き、ポートフォリオで確認することを通じて、自らの学習を調整しようとしている。 【発言分析・行動観察】

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

物質が水に溶ける様子の観察結果から、水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見いだし、その現象を粒子のモデルを使って説明できるようにさせる。

(2) 本時の評価規準

溶質は水溶液中に均一に分散していることを見いだし、粒子のモデルと関連付けて説明することができる。

(3) キャリア教育「か・ふ・や・み」の視点

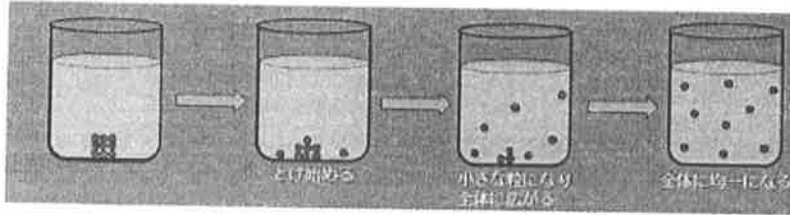
- ・グループでの話し合い活動を通してかかわる力（人間関係形成・社会形成能力）を高める。
- ・ポートフォリオへの学習記録を通して、ふり返る力（自己理解・自己管理能力）を高める。

(4) 本時の展開

	学習活動	T：教師の発問、S：生徒の反応	○留意点、【評価】
導入 10分	1 前時の実験結果を振り返る。	T「前回はこんな実験をやったよね。コーヒーシュガーとデンプンはとけたといえるのかな？結果を比べて確認しよう。」 T「コーヒーシュガーはとけて、デンプンはとけなかったね。」	
	2 本時のめあてと課題を確認する。		
	めあて：実験結果から物質が水にとけるとはどういうことを理解し、粒子モデルを使って説明することができる。		
展開 30分	3 実験結果に関して視点を与え、グループで話合わせる。	T「グループで実験結果を次の4つの視点で話し合ってみよう。」 S「質量は変わらなかったから、とけた物質が消えたわけじゃない」、「コーヒーシュガーは透明でデンプンは濁ったからコーヒーシュガーの方がとけたんじゃない？」	グループでの話し合い活動 【行動観察】
	4 話し合いの結果をもとにどういう状態になったら「とけた」といえるのかを個人で考える。	T「一つだけではなく、できる限りたくさんアイディアをだそう！」	個人の考えを書く 【行動観察、記述分析】
	5 どういう状態になったら「とけた」といえるのかをグループで話し合わせて発表させる。	T「それでは先ほど話し合ったことを元にどういう状態をとけたというのか考えてみよう」 S「液体が透明になった時」、「どの部分の濃さも同じ」、「時間がたっても濃さに偏りができない」等	
	6 「ここがポイント」で①透明性、②均一性、③保存性について整理させる。	T 電子黒板やスライドを用いて説明する。	
	7 ろ過の実験結果から、粒子の多さに違いがあることに気付かせ、粒子モデルを考えさせる。	S ワークシートに物質が水にとける様子を粒子モデルを用いて表す。 T イメージをつかめていない生徒に具体的な例を元に助言を与える。「砂糖が水にとけるようすを粒子モデルで表してみよう」	ワークシート 【行動観察・記述分析】
終末 10分	8 本時で学んだことをポートフォリオにまとめる。	T「最後にもう一度課題を考えてポートフォリオにまとめよう。課題『物質が水にとけるとはどういうことか』今日の授業の内容を言葉とモデル図を使ってまとめてみよう」	ポートフォリオ【記述分析】

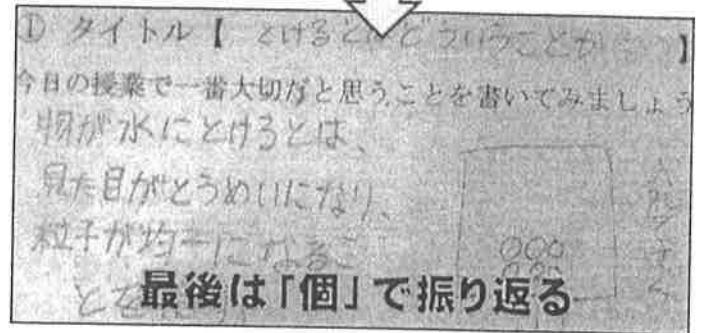
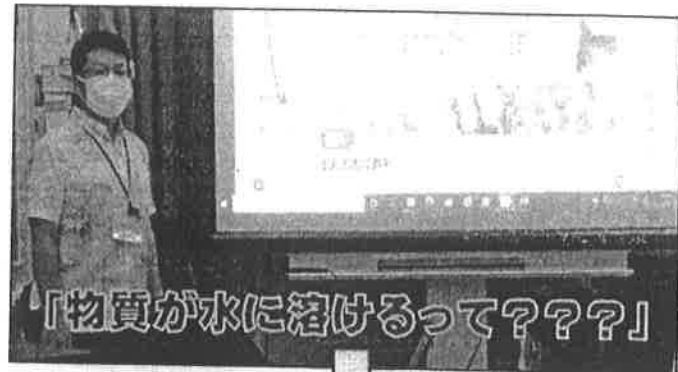
世界は『粒』からできている ～素粒子の秘密を紐解く～

9月13日(火)、理科部の眞座孝弥先生が授業を公開しました(1年4組)。本時は、コーヒーシュガー☕とデンプン🍷を溶かす実験の考察を踏まえて、物質が水に溶ける様子について、生徒が粒子モデルを使って説明できることがねらいです。



1年生のキラキラ☆した目が印象的で、「先生、粒って消えないの?」、「濃さが一緒だったら溶けるっていえるの?」、「だったら、俺らって粒からできてるじゃん!」などと、好奇心旺盛な1年生と眞座先生の言葉のキャッチボールが絶妙で、理科室が和やかな雰囲気に包まれて、ほっこりした気持ちになりました。

本時の問い「物質が水に溶けるってどういうこと?」を解決すべく、生徒は、自分なりの考えや他者のアイディアを伝え合うなど、すべての生徒がOutputする場面設定がなされていました。



押して使うばねを探究する場面

ばねののびは、加える力の大きさと比例の関係がありました。

ばねは、生活の中で押して使うことが多いですね。

ばねを押すときも、比例の関係が成り立つのかな。

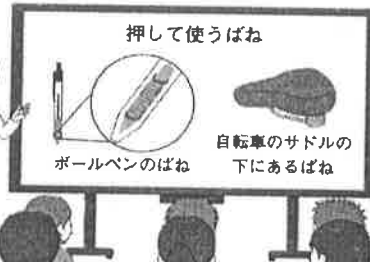


図1 令和4年度全国調査理科5(3)科学的に探求する問題

全国学力・学習状況調査の結果において、理科部の小松先生が行った分析によると、本校生徒の改善点は、実験結果の考察の妥当性を高めるために、記述と実験を連動させて説明する力をつける必要があるということです。

本時の授業のように、実験後の言語活動(結果・考察・結論)を充実させることで、考察内容が整理され、科学的な言葉や概念をより深く理解できる契機につながることを期待されます。

平均正答率	国語	数学	理科
本校	66.0	49.0	47.0
沖縄県	64.0	42.0	44.0
全国	69.0	51.4	49.3
沖縄県比	+2P	+7P	+3P
全国比	-5P	-2.4P	-2.3P

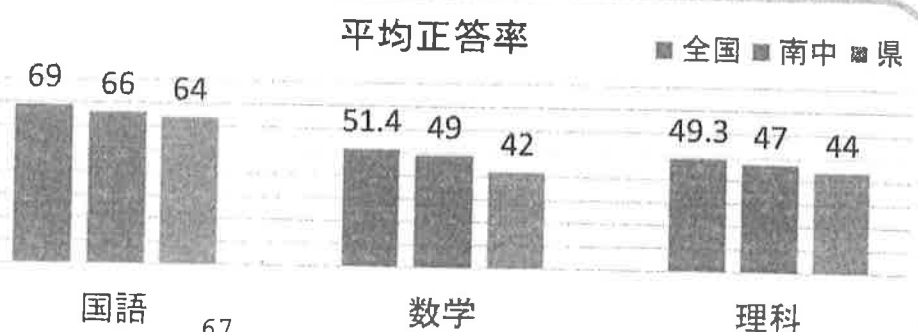


図2 令和4年度 全国学力・学習状況調査の最終結果 (3年生)

公開授業 (英語) 科学習指導案

日時 : 10月20日(木) 5校時

日時：10月20日（木）5校時

1年 6組	授業場所	教室	授業者(T1)	白玉 慎二	(T2)	田港 佳奈
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		Program6 The Way to School (SUNSHINE ENGLISH COURSE I)				
本時のねらい		好きな理由を伝え合うことができる				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		かかわる力 ・ペアと協力してスピーキング活動に取り組む やりぬく力 ・既習事項を活用し粘り強く活動に取り組む 見とす力 ・単元目標を意識して活動に取り組む				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導 入 (15)分	つかむ	1 Greeting 2 Warm-up/Review (1 minute talk) 3 Small Talk 4 目的・場面・状況の提示、めあての確認、見通しを持つ Goal:好きな理由を伝え合うことができる				生徒とのやり取りを通してめあてにつながる
		目的・場面・状況:Joel 先生に友だちの良いところもっと知ってもらうために、友だちの好きなことやその理由を含めた紹介文を書いてみよう				
展 開 (25)分	考える	5 Practice ・Warm-Upで行った活動に理由を付け加えてやり取りを行う ・出てきた内容に関して英語でどのように表現するのか確認する 6 Speaking 場面:Joel 先生にペアの友だちを紹介することになりました。紹介するためにペアに好きな〇〇とその理由をきいて情報を集めよう ① マッピングで質問内容を整理する ② やり取りで使用する表現を確認する ③ ペアでやり取りを行いメモをとる ④ 新しい友だちにペアを紹介する				理由を答えるときに使える表現はその都度確認する
	深める	7 Writing ① ペアに質問してわかった情報をもとに3文程度の紹介文を書く ② 紹介文を読みあい、気づいたことを伝え合う ③ ペアでの気づきをもとに紹介文の手直しを行う				必要に応じて全体に指導を行う
まとめ (10)分	まとめる (活用する)	8 本時のまとめ・ふりかえり ① 全体で本時のまとめを行う ② 振り返りシートに記入する				まとめは全体で行い本時の学習内容を整理する
本時に行う評価		【主】既習事項を活用しながら好きな理由を含め伝え合うことができたか (行動観察/振り返りシート)				

いつも生徒を想い、生徒に寄り添う、穏やかな先生

10月20日(木)、英語科の白玉慎二先生が授業を開きました(1年6組)。本時は、好きな理由について、Why や Because などの英語を使って伝え合うことが目的です。白玉先生のたくさんのイイねを、パティの田港佳奈先生が紹介します。



イイね① 【授業後の期待する生徒の姿】

生徒は Why で理由を尋ね、Because を使って答えるなど、本時のねらいが達成されていた。

イイね② 【生徒が学びに向かう姿は見られたか？】

教師がすべてお膳立てするのではなく、既習事項を生徒から引き出し、使わせ(speaking)、書かせる活動がデザインされていて、生徒が必然的に学びに向かう姿が見られた。

イイね③ 【生徒が思考を Output する場面の設定】

生徒が自分で考えた質問を歩き回って尋ねたり、why? を使って質問したりする活動があった。また、横ペアで伝え合う活動を設けた後、答えた内容を、学習した文法を使って記述する場面設定があった。

イイね④ 【キャリア教育 か・ふ・や・みの視点】

教師が説明しても集中できずに何度も同じ質問をする生徒がいたが、プログラム語の単元テストを意識して粘り強く活動する姿も見られた。ペア活動においても、しっかり英語でリアクション&コミュニケーションをとっており、「かかわる力」が育まれていた。

① 魅力的な課題の提示

場面：南星中の友だちと写メを見ているとき、あなたのクラスの友だちの話題になりました。あなたの友だちを知ってもらうためにやりとりしながら紹介してみましょう！

② インタラクティブな対話による「めあて」の設定

Program5 Goal

自分の身近な人物について理由を含め紹介することができる



Today's Goal

好きな理由について伝え合うことができる

③ 対話活動の充実（私は BTS が好きです、なぜなら・・・）



④ 視点を与え新たな問いを生み出す場面

場面：Joel先生にペアの友だちを紹介することになりました。紹介するためにペアに好きな〇〇とその理由をきいてペアの情報を集めよう！



図1 本時の授業×問いサポP.32

【問いサポ P.32】英語科において、児童・生徒が将来の自律的な学習者となるように

教室で学習した後も、「この場合にはどうなるのだろう？」「どう表現すればいいだろう？」等、常に新しい「問い」をもつ児童・生徒の育成をめざし、辞書指導（中学校）や授業と連動した宿題の提示を心掛けましょう。

公開授業 (英語) 科学習指導案

日時 : 10月27日(木) 6校時

2年6組	授業場所	2年6組教室	授業者(T1)	垣花 美幸	(T2)	大城みゆき
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		Program5 Work Experience (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)				
本時のねらい		本文に関する自分の考えを伝え合おう。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		かかわる力…ペアの人とお互いの考えを伝え合う ふりかえる力…振り返りシートから前時の活動を振り返り、本時に生かす やりぬく力…本文の表現を引用、既習文法を活用して取り組む みとのおす力…単元目標を意識して取り組む				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 (15)分	つかむ	1 Greeting 2 Warm-up(帯活動やりとり) 3 Review 前時の内容と振り返りシートからでた英作文で復習をする。 Gaol: 健の職場体験について読んで、自分の考えを伝えよう。 ～健が学んだことを参考に、自分に関連付けて考える。				帯活動で雰囲気をつくる。 前時の内容や活動を思い出させる。
展開 (25)分	考える (15)分	4 Read and practice ① 新出単語などに気をつけながらペアで音読をする。 ② 出単語の確認（全体→ペア） ③ ペアでもう一度音読をする。 ④ ペアで内容を確認する（日本語） ⑤ 内容に関する質問に答える。				本文理解が生徒の負担にならないよう、和訳文を用意して練習させる。
	深める (10)分	5 Speak 自分の考えを相手に伝える。 ① どこへ職場体験に行きたいか。 ② 働く時に大切なことは何か。 時間ごとにペアを交換して、自分の考えを伝える練習を複数回行う。				使える表現を確認しながらやりとりの支援を行う。
まとめ (10)分	まとめる (振り返る)	6 まとめ・ふりかえり 相手に伝えた自分の考えを発表し、振り返りシートに記入する。				発表を数名に行わせ、考えを共有する。
本時に行う評価		【主】本文に出てきた表現や既習文法を活用して、自分の考えを伝え合うことができたか（行動観察/振り返りシート）				

英語は実技教科!? 教室中に英語が飛び交っていました!

10月27日(木)、英語科の垣花美幸先生が授業を公開しました(2年6組)。本時は、職場体験について、英語を使って自分の考えを伝えることが目的です。

私が学生だった頃は、フラッシュカードで単語の発音練習をしたり、文法を学んだりする、いわゆる「座学」が主たるものだったと記憶しています。しかしながら、美幸先生の授業はスーパーアクティブで、日本語を使うことはほとんどなく、異国の地にいる錯覚を覚えました。



バディの大城みゆき先生は、「最後に英文を記述させる」ことの重要性について語っていました(図1)。

生徒と先生が一体となって創り出される表現活動のその先に、最後は生徒が個になって記述する場面を設定することで、生徒が本時で学んだことを整理し、考えを形成し、再構成することが期待できます。(本時で働かせたい見方や考え方、生徒がOutputする場面設定)。

本時のように、単位時間の中で、「話す⇔書く」を往還させる授業デザインは、私自身も勉強になりましたし、他教科も参考にされたい実践です。

美幸先生、ありがとうございました。Good Job(^^) /

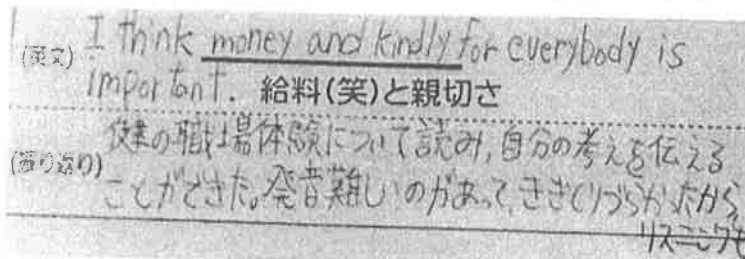


図1 右図④に対するMさんの英文

① Worm Up 帯活動(理想的な週末の過ごし方は?)



② インタラクティブな対話による「めあて」の設定

Mao's work experience

GOAL: 健の職場体験について読んで自分の考えを伝えよう。



③ 外国語による言語活動の充実(自分の考えを相手に伝える)



④ 視点を与え新たな問いを生み出す場面(最後に英文)

Today's sentence

What is important when you work?



+!
その理由などを加えよう。理由以外に
もしたいことなどを
入れるとよい。

「問い」が生まれる授業のポイント(外国語科)

～外国語科における「問い」を生かした授業～

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせ、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考え、気持ちなどを、トピック作文、電子メールのやり取り、ディスカッション、ミニディベート等で伝え合ったり、表現したりすることを通して、必要な単語やフレーズの確認をしましょう。つまり「活用」と「指導」がスパイラルに循環する授業を展開することが大切です。

また、授業では、児童生徒から「問い」を引き出し、グループ内での対話を通して自分の意見を修正・強化をさせながら、問いを解決させましょう。そして授業が終わった後も新たな「問い」が生まれるような授業をめざしましょう。

英語を使って㊦先生方を紹介しよう㊦

10月7日(金)、英語科の前大えり先生が授業を開きました(3年5組)。本時は、今年度、新しく赴任された先生を、Joel先生に紹介するために、選んだ情報や自分の考えを整理しながら、簡単な語句や文を用いて書くことが目的です。

本時は、えり先生の発問や指示が簡潔明瞭で、生徒がリズムカルに動いて活動している様子がよく見えました。また、初めて学習する関係代名詞にも関わらず、えり先生の説明がとっても分かりやすく、生徒はすぐに理解すると、関係代名詞 who を活用し、身振り手振りを使いながら、ペアになって一生懸命伝え合っていました(すべての生徒が Output する場面設定)。

分からない単語があるとすぐに辞書を引いたり、えり先生が机間指導で補ったりする姿も Very Nice!

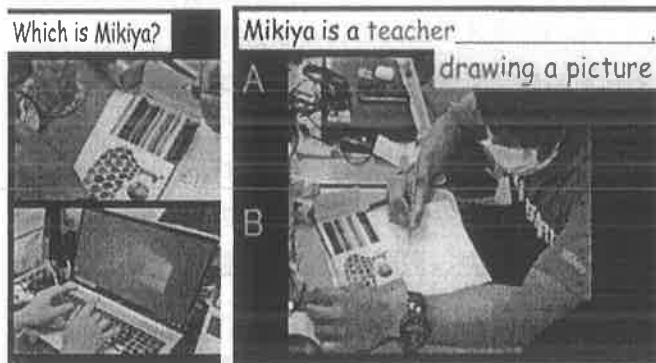


英語科で検討していただきたいのは、本時のねらいに迫る「まとまりのある文」とは、何をもって「まとまりがある」というのか、同じ表現を使わずに、自然な表現を書くことが「まとまりがある」のか、話題にさせていただくと嬉しいです。 Thanks Eri T(m_m)

視点	②	(自己評価)	A	B	C	D
She・He is a ～ who ～ という文が出来る これを何回も言わねえようにするためには、she is つけても相手に伝わるのを短かく言うようにする。						

Sさんの振り返り【相手に分かりやすく伝えるためには】

① 魅力的な課題の提示(どっちが担任?)



② インタラクティブな対話による「めあて」の設定

新しく赴任した南風原中の先生を、情報や考えを整理しながら、Joel先生に紹介することができる。



③対話活動の充実(Let's Try a speaking activity!)



④視点を与え新たな問いを生み出す場面(ふりかえり)

振り返りの視点

- ・関係代名詞whoを用いることでできるようになったこと
- ・紹介文を書くときに、工夫したこと

図1 本時の授業×問いサポ

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

図2 問いサポートP.32(外国語科における「問い」を生かした授業)

学校名	対象学年	指導・助言者名	校長名
南風原中学校	1	上江洲 亜里沙 印	當間 保 公印

第 1 学年 道徳学習指導案

令和 4 年 10 月 31 日（月）3 校時

1 年 3 組 計 32 名

指導者 田港 佳奈

1 主題名 「公平とは何か」（C 公正、公平、社会主義）

2 教材名 「公平と不公平」 出典（あすを生きる 1）

3 ねらい

公平性を保つための判断基準を持つ大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築こうとする判断力を養う。

4 主題設定理由

(1) ねらいとする道徳的価値

「公平」「不公平」は、他者や社会と関わって生きていく中で誰もが感じるものである。その場の状況や、相手の立場、能力などを考慮し、公正に判断を下さなければならぬが、時には、私利私益にとらわれたり、偏ったものの見方や考え方をしたりしてしまうことがある。そうした自分の弱さと向き合い、他者の多様な考え方に触れることで、他人を尊重し、多面的・多角的に物事を考え、判断することの大切さに気づかせたい。誰に対しても分け隔て無く公平に接しようと努力し続けることが、差別や偏見のないよりよい社会を実現することにつながることを実感させ、適切な行為を主体的に判断し、実践しようとする意欲や態度の育成に繋げていきたい。

(2) 児童生徒の実態（児童生徒観）

事前アンケートの「あなたが不公平だと感じることは何ですか？」に対し、家庭や兄弟間、学校生活の中から感じる不公平感を挙げていた。ジェンダー問題など、世界に目を向けている意見も合った。一方で、ただ不満を綴るだけで「不公平」の意味を取り違えている様子も見られた。

本学級の生徒は素直で、互いに注意し合ったり、席替えの席について論議したりするなど、一人一人が学級活動に積極的に取り組んでいる。一方で、面倒だと思うことは誰かに押しつけようとしたり、他人と比べて「いんちき！」「何で私たちだけ」という発言や考え方をしたりする場面も見られる。その意見に同調したり、発言できず

流されてしまったりすることもある。そのため、「公平とはどういうことなのか」を様々な場面を通して考えを深め、これから先、不公平だと思う場面に出会ったときに、どう向き合っていけばいいのか、どんな心構えで生活することが大切なのかを考えられるように指導していきたい。

(3) 資料観

本教材は3つの事例から構成されている。事例1は「年齢の違いによってお年玉をもらう金額が違ふこと」、事例2は「コンサート会場に入場する際、車いすの人は優先的に入場できること」、事例3は「字が上手だという理由で学級の半活動でのまとめを一人で行うこと」である。生徒自身が日常生活で起こり得る場面であると言える。公平とは何に基づいてどのように判断すればよいのか、また相手の立場に立って物事を考えることの大切さに気づかせることで、よりよい社会を実現させるために正義と公平を重んじる精神を養うことができる教材である。

5 本時の学習

(1) 授業の工夫

導入で事前アンケートに触れ、日常生活と結びつけながら本時の学習に対する意欲を高めるとともに、主題について課題意識を持たせる。また、中心発問である『公平・不公平』を判断するときに考えなければならないことって何だろう？』や、振り返りで考える時間を十分に確保できるように、導入を5分以内で終えるようにする。

個人の考えを形成させてから、班で指定された1つの事例について話し合い、ジャムボードを使用し、全体で共有する。人それぞれの考えの違い、立場や状況によって判断が難しいことに気づかせ、多面的・多角的な視点で考えを深めさせたい。

(2) 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 ○発問 ◎中心発問 補補助質問・問い返し	指導上の留意点
導入 5分	教材に興味を持つ	○のび太が不公平だと感じている事ってなんだろう？ ・学力 ・顔 ・能力	・教科書、ノートは使用しない ・班に一つタブレットを用意 ・クラスルームにアクセスしておく
	テーマ：「不公平だ!」と感じたとき、どう対処すべき？	○「公平」って何だろう？（個→班→全体） ・平等なこと、一緒、みんな同じ事 補公平と平等は同じかな？ ○あなたが、普段の生活（家庭、学校、世の中）で不公平だと感じることは？ 補もやもやしたことは？ ・男女間の問題・兄弟間の不満など	

展開 35分	教材の3つの事例について考える 公平・不公平の判断基準を持つことの大切さに気づく	○3つの事例について「公平」か「不公平」か考えてみよう。(個4分→班・ジャムボード7分→全体4分) 【年齢の違いでお年玉の額が違うこと】7,8班 不・年齢で金額が違うのはおかしい 公・その年に自分ももらえるならいい 公・年齢によって使い道が異なるからいい 補 自分の額が少なかったらどう思う？ 補 どう使い道が異なる？中学生と高校生？ 【障害があることによる優先入場】3,5,6班 不・皆と同じように並ぶべき 公・後だと入場しづらくなるから先にすべき 補 自分が車椅子の立場だったら？ 補 同じ金額で3時間も待っている状況なら？ 【字が上手だという理由で、一人にまとめをお願いすること】1,2,4班 公・負担が大きい 不・能力があるから効率的 補 リレーで2回走った人もいるね。 補 力のある人が不在のときはどうする？ ◎「公平・不公平」を判断するときを考えなければならぬことって何だろう？ (個4分→班・ジャムボード7分→全体4分) 補 それぞれの事例は、何を基準に判断した？ ・年齢による違い ・障害の有無 ・それぞれの立場や状況 ・その人が納得しているか	・どちらの立場でもOK ・相手の考えを尊重する！ ・ワークシート配布 ・個人活動が終わってからTグループを作る ・私心だけにとらわれていなかったか、公平にするためには、多角的・多面的に判断しなければならないことを捉えさせる
終末 10分	教師による説話 考えたことをまとめる	○「公平」と「平等」は同じ？ ・違う ○初めに確認した「不公平」だと思っていることって、本当に「不公平」かな？ 補 何を基準に考えていたかな？ ・自分の損得などの気持ち ○「不公平」だと感じることは、これからたくさんあると思うけれど、どう向き合っていく？ 補 これからの実生活に活かそうなことはある？	・絵で違いに触れ、「公平」の真意に迫る ・導入のアンケートに立ち返り、日常生活を想起しながら考えさせる ・OPPシート

6 評価

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・公平かどうか考える際に、それぞれの立場の思いをくみ取って判断している。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・同じ集団の中で、一部の人だけが不利な状況になることは不公平であり、その集団の全員で、差別や偏見のない社会の実現を目指していくことの大切さを自分との関わりで考えている。

7 事後指導

朝の会の、班ミーティングのトピックとして、新聞やニュースを取り上げ、社会における「公平・不公平」について自分の考えを持たせ、他者の様々な視点に触れさせたい。

8 板書計画

10月31日（月）教材名：公平と不公平

テーマ：「不公平だ!」と感じたとき、どう対処すべき？

まとめ・振り返り：これからの実生活に活かそうなことは？

○公平って何？

- ・みんな同じ
- ・平等
- ・

事例 1
(7, 8 班)

事例 2
(3, 5, 6 班)

事例 3
(1, 2, 4 班)

人生は不公平で良いのだ☺最善を尽くせば良いbyホーキング博士

10月31日(月)、田港佳奈先生が道徳の授業を公開しました(1年3組)。本時は『公平とは何か?』と題し、生徒が公平性を保つための判断基準をもつ大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築こうとする判断力を養うことが目的です(価値項目C 公正、公平、社会主義)

「不公平」だと感じることは…?

- ・女子更衣室があるのに、男子更衣室がない。
- ・女子には優しいけれど、男子にやたら厳しい。
- ・「長女だから妹達の事までやいなさい」は違うと思う。
- ・母さんはスマホを見ているのに、子どもは制限がある。
- ・不真面目な人が頑張ったら褒められるのに、いつも真面目な人が結果を出してもあまり褒められない。
- ・ヤクルトには村上がいて、阪神には決定的な主砲がない。



佳奈先生イイね!と感じたのは、生徒が普段の生活で感じている不公平感について事前アンケートをとり、共有することで、『公平とは何か?』という問いを、生徒自身が「自分事」として捉えられるような導入場面が設定されていました(図1)。また、ジャムボードを使って話し合い活動を展開することで、オンタイムで生徒の多様なアイディアを見える化できる工夫もなされていました(図2・図3)



図1 あなたが思う公平って何だろう?



図2 公平・不公平の判断基準って何?

「考え、議論する道徳」において、

「自分事」として捉え、**多面的・多角的**に考えることを大切にし、深い学びとなる授業を目指しましょう

「問題解決的な学習」

問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を多面的・多角的に考え、児童生徒一人一人が生きる上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。

本時の中心発問

公平・不公平を判断するときに、考えなければならないことは何だろうか?

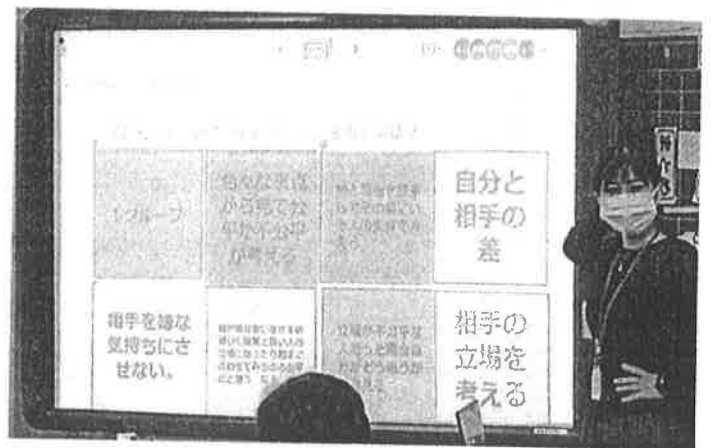


図3 ジャムボードで各班の考えを共有する。

本時の道徳科における指導方法は、「問題解決的な学習」です。生徒は中心発問に対して「相手の立場を考える」、「別の見方をして客観的に考える」など、公平・不公平の判断基準について、良く考えて記述する姿がありました(図4)。

多面的・多角的な見方や考え方を働かせる工夫として、「あなたに障害があったら?」、「あなたが年上だったら許せる?」など、『立場を逆転させる揺さぶりのある発問』を工夫することで、道徳科における「深い学び」につながるのか、検討していきたいです。

佳奈先生、ステキな道徳の授業ありがとうございました。77

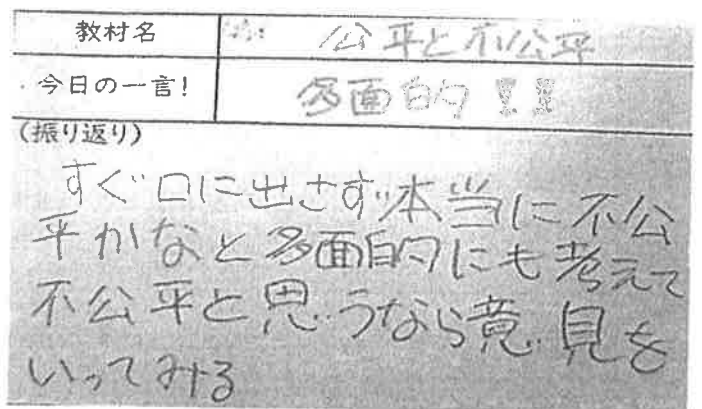


図4 Kさんの振り返り【多面的に考えている姿】

公開授業 (道徳) 学習指導案

日時 : 11 月 17 日 (木) 2 校時

2 年 9 組	授業場所	教室	授業者 (T1)	大城 みゆき	(T2)	垣花 美幸
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		「包む」 C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度				
本時のねらい		風呂敷で物を実際に包んでみることで、風呂敷の良さを伝統・文化の観点から見つけ、今後の自分の生活につなげる				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		かかわる力・・・他者と対話し協働しながら、物事を考察する ふりかえる力・・・自己と向き合い、内省する やりぬく力・・・よりよく生きていこうとする道徳的実践力 みとおす力・・・適切な行為を主体的に選択し、実践する				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動			留意点	
導 入 (10)分	つかむ	1 日本の伝統や文化などについて知っていることを確認する。 ・建物、歌舞伎、着物、七五三、風呂敷など・・・ めあて 風呂敷から、日本の伝統や文化のよさを知ろう			さまざまな日本の伝統や文化に関わる写真を提示し、イメージを膨らませる。	
展 開 (30)分	考える	2 風呂敷はどんなことに使う道具か考える。 3 風呂敷の由来、包み方の動画を見て、風呂敷について理解する。 4 教材「包む」を読み、考える。 5 ミニマリズムと風呂敷との共通点を考える。			日本の伝統的な文化のすばらしさに気づかせることで、日本人の心の在りように思いを寄せられるようにする。	
	深める	6 実際に風呂敷で物を包んでみる。 7 風呂敷に包まずに物を渡す場面と包んで渡す場面を見せ、どのようなイメージをもつか考える。 ★ 「包む」という行為は、どんな心の表れなのだろう。			さまざまな形のもの を包むことができる という風呂敷の便利 さを実感させる。	
まとめ (10)分	まとめる	8 風呂敷で包むことの意義を知る。 9 日本の伝統や文化のよさを知って今後自分がどのように過ごしていくかを考える。			「包む」は「つつしみ」であり、控えめである日本人の心の表れであることに気づかせる。	
本時に行う評価		風呂敷から、日本の伝統や文化のよさを知ることができたか				

“心を包む日本の文化”を、今に伝える風呂敷

11月17日(木)、大城みゆき先生が道徳の授業を公開しました(2年9組)。本時は『包む』と題し、風呂敷のよさを伝統・文化の観点から見つけて、今後の自身の生活につなげることが目的です(価値項目C 伝統文化)。

みゆき先生のたくさんのイイね！を、バディの垣花美幸先生が紹介します。

「考え、議論する道徳」において、
「自分事」として捉え、**多面的・多角的**に考えることを大切に、
深い学びとなる授業を目指しましょう

「自我関与が中心の学習」

教材の登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的・多角的に考えることを通して、道徳的諸価値の理解を深める。

本時の中心発問

「包む」という行為は、人のどんな心が表れているのだろうか？



図1 風呂敷ってどんなことに使う道具なの？

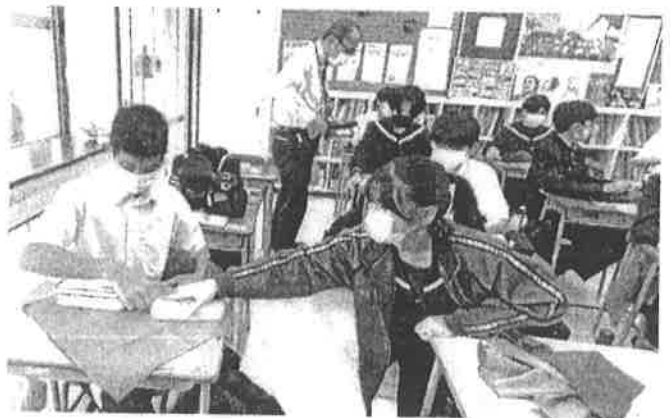


図2 風呂敷にどうやって包むの？

イイね① 導入場面で日本の伝統や文化にふれることで、日本人が風呂敷を使う心、「つつしみ」について考えるという、本時の問い(中心発問)につなげていた(図4)。

イイね② 生徒自身の生活の中に風呂敷があるのか、実際に風呂敷で物を包んでみる活動を通して、風呂敷への関心を高めることができた(図2)。

イイね③ 風呂敷とミニマリズムの共通点について対話し、考えをシェアすることで、「包む」という行為は、人のどんな心が表れているのか、本時のねらいに迫っていた。

Sさんの振り返り 今日のひとつ「風呂敷の良さ」

最近では、とても便利なものが増え、新しい物をどんどん買ってしまう風潮ができています。でも、日本の伝統的な物を、使ったりすることによって、言葉を使わなくても気持ちを伝えることができる。



図3 風呂敷には日本人のどんな心が表れている？



図4 日本人の心と文化(四季折々の日本の住まい、食、文化、伝統芸能)

公開授業 (道 徳) 科学習指導案

日時 : 12 月 5 日 (月) 3 校時

3年 3組	授業場所	教室	授業者(T1)	新崎公子	(T2)	
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		主題名「私の生命(いのち)、みんなの生命(いのち)」 [内容項目3ー(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する]				
本時のねらい		生命誕生の不思議について理解し、自他の生命の尊さを感じ共に大切に生きようとする態度を育てる。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		かかわる力・・・本時の授業では他者との対話やお互いの考えを伝え合うことで、人と関わりよりよく生きていこうとする態度を育てたい。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動			留意点	
導 入 (5)分	つかむ	誕生に関する数字を話題にして本時のテーマにつなげる			数字は何を表しているか考えさせる	
展 開 (35)分	考える	2 日頃「生命の尊さ」を意識して生活しているか振り返る 生命を大切に生活しているか 3 誕生に関する資料を読む 「誕生日は()が()日」という穴埋めを考える。 →○自分が生まれた日、お母さんが産んだ日 「生まれて初めてもらうプレゼントは？」 ○洋服、哺乳瓶、名前 4 保護者に書いてもらった誕生エピソードを読む 数名のものを紹介			数字は何を表しているか考えさせる	
	深める	エピソードを読んで、聞いて ◎「自分の生命はなぜ大切だと思うか」個人で考える。 グループ内発表				
まとめ (10)分	まとめる	5 「生命を考えるー今ここにいる不思議」 「私たちの道徳」P99を読む ふりかえりシートに記入				
本時に行う評価		生命の大切さについて考えることができたか				

突然、親から一通の手紙✉ 涙がこぼれる生徒もいました。

12月5日(月)、新崎公子先生が道徳の授業を公開しました(3年3組)。本時は、生命誕生の不思議について理解し、自他の生命の尊さを感じ、共に大切に生きようとする態度を育てることがねらいです(価値項目 D-19 生命の尊さ)。

まず、『5479 という数字の意味は?』と生徒にクイズ感覚で問いかけます。生まれてから満 15 歳までの日数が 5479 日であることから、長い? 短い? と生徒との対話を通して、生徒が本時の問い「生命について」を、自分事として捉える工夫がなされていました。

また、授業中盤、保護者から生徒一人ひとりに一通の手紙が手渡されました。その手紙は、保護者直筆による『生徒の誕生エピソード』です。手紙を読み終えた時の生徒の感情が十人十色で、その時の表情がとても魅力的でした。中には、迷惑をかけたことへの後悔の念が蘇ったのか、涙する生徒も…、これぞ生きた道徳の授業だなと『生の教材(リアルな教材)』の素晴らしさを感じる授業でした(*^_^*)

本時の中心発問: 自分の生命はなぜ大切だと思うか?

(Mさん) 自分の命は自分のものだけど、自分の命のことを大切に思ってくれる人はたくさんいる

(Rさん) 親から命をもらい。お母さんが命がけで私を産んでくれた。これまで色々あったけど、苦労して育ててくれた大切な命である。

【Nさんの振り返り】 今日の授業で学んだことは???

今の世に生きるのには大変で、しかも人は共に
生きて、お母さんのお腹の中で、
本当に愛されて、おもしろい(楽しい)こと
いっぱいあって、かみはって大蛇にやられて
てくれたいわって思っています。
自分を大切にしたいって思いました。



図1 親からの手紙を、写真を添えて紹介している



図2 親からの手紙を読んでいる瞬間



図3 なぜ生命が大切なのかグループ共有



図4 3年3組の皆さんが小さかった頃の写真を紹介、一人ひとりに人生という物語がある。

公開授業 (自立活動) 科学習指導案

日時 : 11月29日(火) 3校時

1年 6組	授業場所	教室	授業者(T1)	大城弘美	(T2)	長濱真実
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		内容項目 3人間関係の形成 (1) 他者との関わりの基礎 6コミュニティ (1)コミュニケーションの基礎的能力				
本時のねらい		自分の体験したことを発表しよう（計画・体験・発表）				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		関わる力・・体験学習を通して人との関わりの多さに気づき、自分なりに うまくて適応する方法を探すきっかけにする。発表会を通して 相手に自分の体験談を伝えることができる。 やりぬく力・・計画・実施・発表の一連の学習を学級のみならず協力して やり通す力を身につける。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導 入 ()分	つかむ	モノレール体験の時の写真を見ながら、楽しかったことや 直したほうが良いことなどを自由に出させる。				自由に発言できるよ うな雰囲気作りをす る。緊張をほぐす。
展 開 ()分	考える	司会の進行で発表会を行う。 司会：平良大弥さん 5名の発表を行う。 発表順 ① 大弥 ②悠誠 ③柊珂 ④ほのか ⑥大智 一人ひとり原稿を見ながら発表する。 質疑応答に答える。 先生方からの質問も受け付ける。				声の大きさや相手が 聞きやすい速さで読 む。 療育手帳やスイカカ ード、クーポン券に についても触れる。
	深める	今回の体験だけに終わらず家族や友人と出かけた場合にも 自分で対応できるように今後につなげる。				
まとめ ()分	まとめる	モノレール体験の計画から、新聞にまとめて発表するまでの 感想や反省を書く。 次回の計画にも軽く触れる。				
本時に行う評価		自分の体験したことを新聞にまとめ発表できた。 級友の発表をしっかりと聞くことができた。				

日本でマクドナルドが最後に出店された都道府県は？



11月29日(火)、大城弘美先生が授業を公開しました。本時の自立活動は、9月22日(木)、沖縄都市モノレールに揺られ、那覇空港や国際通りを散策した1年10組さんが、体験新聞を作成し、自分の体験したことを発表することを通して、計画する力・体験する・発表する力を身につけることが目的です(表1)。

生徒は緊張しながらも、自らの体験談が、聞き手にわかりやすく伝わるように、言葉や音量を工夫しながら、一生懸命発表する姿がステキでした(図1)。また、生徒の体験新聞も完成度が高く、今時のGoogleスライド(PowerPoint)とはまた違って、味わい深く、人の思いや心が詰まった作品に感じられました(図3)。

生徒はランチで訪れたマクドナルドが一番楽しかったようで、マックに関するクイズや質問が多く、教室中が盛り上がっていました。

授業終盤、弘美先生が、「モノレールで妊婦さんに席を譲ることもできましたね」、「Suica やクーポンなどを使って、社会とつながることもできましたね」と、さりげなく生徒を褒める姿がありました(図2)。生徒を認めて、褒めて、やる気を引き出し、伸ばしていくことは、今も昔も変わらず「教師として大事にしていきたい」ことだと、改めて感じた瞬間です。

弘美先生、ありがとうございました。

Yさんにインタビュー「発表会どうだった？」

友達の手さんが欠席して、自分がトッパバッターで発表することになってしまい、とても緊張したけど、うまく発表できたし、終わった後の達成感が気持ちよかった。

表1 本時の自立活動(6区分27項目)

- ◆ ③人間関係の形成
(1)他者との関わりの基礎
- ◆ ⑥コミュニケーション
(1)コミュニケーションの基礎的能力

正解は
山形県
です。



図1 体験新聞を発表している姿 (左側)
発表会の司会進行をしている姿 (右側)



図2 5人のチームワークを絶賛し、生徒一人ひとりの「イイね」を見つけて、さりげなく褒める弘美先生😊



図3 5人の体験新聞(写真を貼り、文字数やイラストを工夫して作成しました)

公開授業（自立活動）学習指導案

日時：11月24日（木）4校時

年 組	授業場所	通級指導教室	授業者(T1)	山城 宏介	(T2)	翁長佳代
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		認知機能トレーニングを取り入れた自立活動				
本時のねらい		見る力と他者と関わる力を身につける				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「やりぬく力（課題対応能力）」 複数の認知機能トレーニングを行い、想像する力、間違いや他人との違い をおそれずに最後まで粘り強くやり抜く力を身につけさせたい。				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導 入 (6)分	つかむ	・ 本時の内容確認（振り返りシートに記入） ・ ビジョントレーニング（目の跳躍運動） → 1～48までの数字を1分間で見つけていく。				他者との勝負 ではなく、自 己の記録に挑 戦するよう声 かけをする。
展 開 (41)分	考える	・ 何があった？（視覚からの短期記憶） → マスに書かれている文字を記憶し、書き写す。 ・ マジックブロック（視覚認知の応用） → ブロックを使い、見本と同じ絵柄を作っていく。				自分のペース で、できるこ とからチャレ ンジさせる。
	深める	・ 積み木（視覚認知の応用） → ブロックが積まれている絵をもとに、何個のブロックがあるか を実物のブロックを積みながら考えていく。				・ ペアと共に 課題解決する 場面を設ける 。 ・ 実物のブロ ックを使うこ とで、空間が 見えるように する。
まとめ (3)分	まとめる (活用する)	・ 本時の振り返りをワークシートに記入する。				「かふやみ」 の視点から振 り返りをする よう促す。
本時に行う評価		・ ペアと共に課題を解決することができた。 ・ 想像力を働かせながら、粘り強く課題に取り組むことができた。				

『人は忘れる生き物』だからこそ、自分に合った記憶術を！

11月24日(木)、山城宏介先生が授業を公開しました。本時の自立活動は、見る力・他者と関わる力を身につけることが目的です(表1)。

宏介先生ステキだなと感じたのは、オルゴールが心地よく流れている教室で、宏介先生の穏やかな表情、優しい言葉、さりげなく褒める姿が、生徒に安心感とやる気を与え、生徒が夢中になって学習に取り組んでいた所です。

(保健体育の時とはまた別に、役者がひと味違いますね)

授業は、1～48までの数字を1分間で見つけるビジョントレーニングや、積み木を使って見本と同じ絵柄を作るブロックゲーム等(図1)を通して、生徒は「自分に合っている覚え方はなんだろう？」と自問自答しながら、ペアで課題解決にチャレンジしていました(図2)。

本時の授業は、ぜひ全ての生徒に学んでほしい内容だと思います。なぜなら、生徒は各教科の特性に合わせた学習方法を学んでいます、自分自身の特性に合わせた学び方を選択した経験は少ないと考えるからです。

バディの佳代先生からは、キャリア教育4つの力の一つ「やりぬく力(課題対応能力)」から本時のねらいに迫り、それを視点として振り返りシートに記述させていた所が良かったと、感想をいただきました。

生徒インタビュー 『本時の授業で学んだことは？』

Gさん 今日は「やりぬく力」をつけました。積み木の数を見え最後まで数えることができたので満足しました。

Yさん 友達と一緒に最後までやり抜き、友達の解き方を真似たりして、いろいろな方法で解くことができた。

表1 本時の自立活動(6区分27項目)

◆ 心理的な安定	③学習上の困難を改善
◆ 環境の把握	②感覚や認知の特性

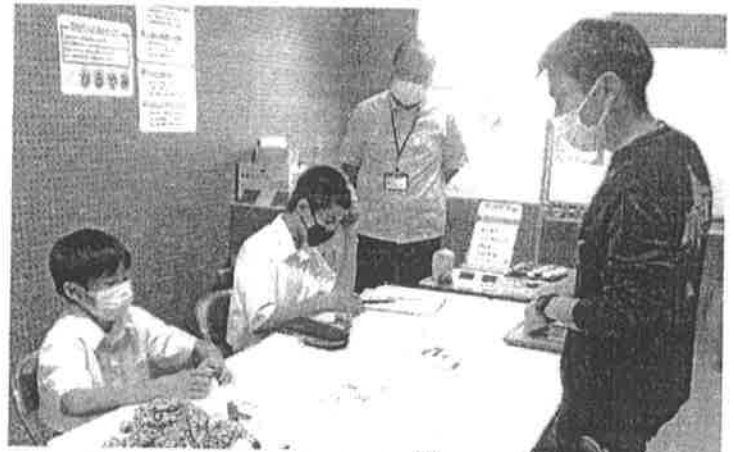


図1 マジックブロック(視覚からの短期記憶)

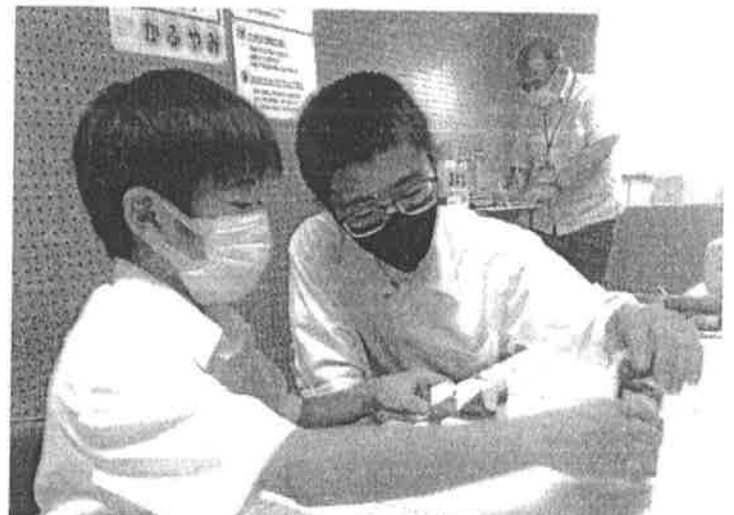


図2 複雑な形の積み木は何個あるかな(ペア学習)

効果的に学習の定着を図る方法とは！？

右の図を見てわかるように、復習をしないと、何もなかったことと同じで、知識が抜け落ちたあとに復習をしても、また1から勉強するのと同じとなってしまいます。それゆえに、「忘れる前に復習すること」そして「忘れるタイミングで復習すること」こそが重要です。

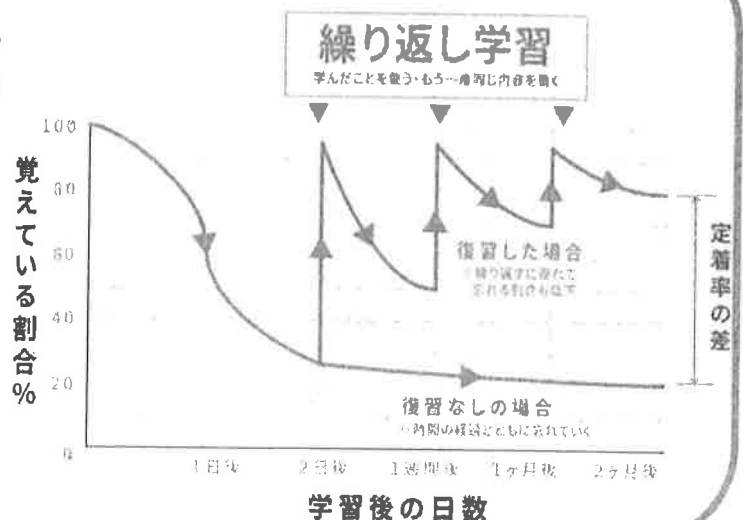
効率的に学習を定着させるポイント

① 授業が終わって1～2時間後に軽く復習する。
(人は学習後、20分後に42%、1時間後には56%、1日後には77%忘れるという定説)

② 就寝前に一教科につき15分復習する。

(寝ている間に記憶が定着するという定説)

エビングハウスの忘却曲線(脳の忘れるしくみ)より



公開授業 (自立活動) 科学習指導案

日時：令和4年7月15日(金)6校時

	授業場所	1-9教室	授業者(T1)	下地 紗織	(T2)	国吉 篤男
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		「買い物名人は誰だ～!!」 3 人間関係の形成 (1) 他者とのかかわりの基礎 6 コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力				
本時のねらい		商品の選択と支払いを体験し、各自で購入した商品の紹介をして教師や友達との交流活動を取り入れ、買い物ができた達成感とその喜びを共に味わうことができる。 ※Mission※ 『500円を使って、飲み物と食べ物を工夫して購入することができる!!』				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		買い物の際に定員との必要なやり取りを通して、地域の人と関わることのよさに気づき自分なりの工夫の仕方で購入をすることができ、授業を通して級友との交流も楽しむことができる。【かかわる力】				
本時の展開 ※2コマの自立活動の時間を使つての授業展開となります※						
	学習過程	学習内容・活動			留意点	
導入 (10分)	つかむ	1. 前時の振り返り 2. 本時の「めあて」と流れの確認			・学習規律の徹底 ・可視化して示し、活動の見通しを明確にできる。	
展開 (35分)	考える	3. <u>活動①：15～20分程度</u> ・自己の活動を振り返りながらワークシートをまとめ、ワークシートを活用しながら購入した商品の紹介をしてお互いの活動内容(気づいたこと・がんばったこと)を共有することができる。			・意見を伝え合う活動方法をいくつか示す。 ・電子黒板を使用	
	深める	4. <u>活動②：10分程度</u> ・購入した商品を級友や担任と一緒に食べるという交流活動を通して共に達成感や充実感を味わうことができる。			・物事を成し遂げることができたという達成感と成功体験が自信につながることに気づかせる。	
まとめ (5分)	まとめる	5. 本時の振り返り 6. 次時の連絡			・電子黒板を使用	
本時に行う評価		・与えられたMissionを達成することができたか。【知識・技能】				

これぞまさに実生活に活かす力！お買い物上手は誰だ！？

7月15日(金)、下地紗織先生が授業を公開しました(1年9組)。本時の自立活動は、「買い物名人は誰だ？」と題し、商品の選択と支払いの体験談を伝え合う活動を通して、買い物の達成感を味わい、賢い消費者になることを目指しています(表1)。

表1 本時の自立活動(6区分27項目)

3 人間関係の形成	(1)他者とのかかわりの基礎
6 コミュニケーション	(1)コミュニケーションの基礎的能力

紗織先生イイね！と感じたのが、生徒一人ひとりの発言をすべて拾い、生徒の気持ちに寄り添って接していた所です(右図①)。また、生徒への指示も簡潔明瞭で、パワーポイントを使うことで、『言葉を見える化』する工夫がなされていました。

授業中盤に、紗織先生が『DさんがYさんのために、お菓子とジュースを2個ずつ買ってきてくれたよね』と伝えると、それを聞いたYさんは、にっこりとDさんに振り向き、さぞかし嬉しそうな表情を浮かべていました。これぞまさに、本時のねらい「人間関係・コミュニケーション」が達成された瞬間かなと思いました。授業は終始和やかで、教室中が温かい雰囲気になっており、ほっこりした気持ちにさせてくれました。

(Dさんの振り返り)500円の予算で、497円の商品を買い、ぎりぎりまでお金を使うことができた。



① 買い物で「工夫した点」を Output



② 工夫した点を全体に発表する。

以下の図は、各学年の諸調査の結果です。沖縄県との比較のみで一喜一憂せず、本校生徒は何ができていて(成果)、どこに弱点があるのか(改善点)を、各教科・各学年で分析し、2学期の授業改善・学校改善につなげていきたいです。

正答率

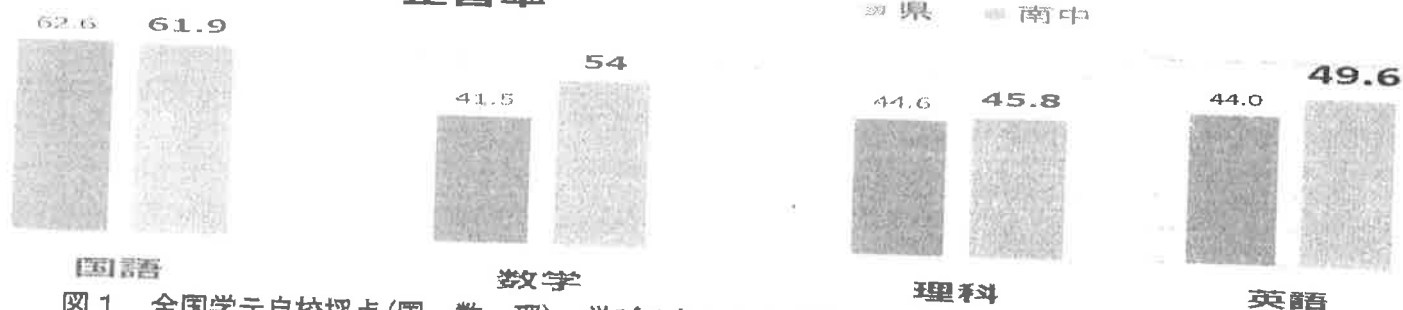


図1 全国学テ自校採点(国・数・理)・学びのたしかめ(英)の、沖縄県平均正答率との比較 ★3年生

2年 正答率

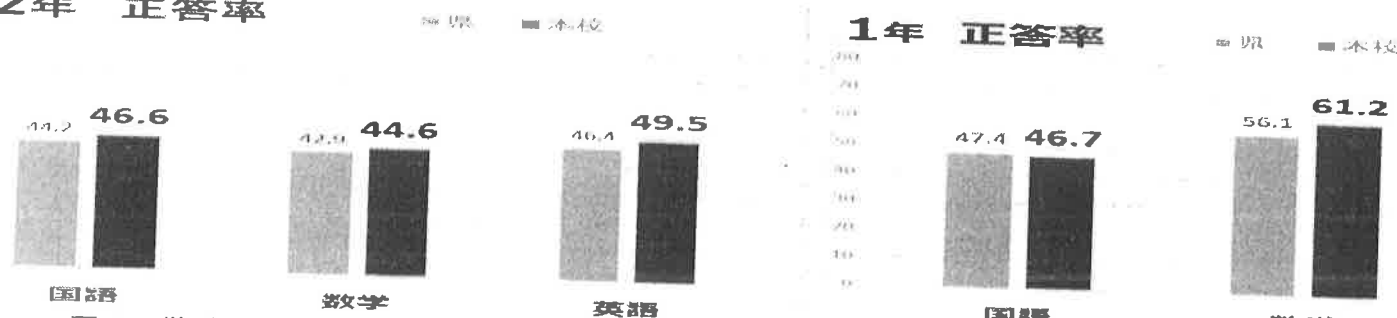
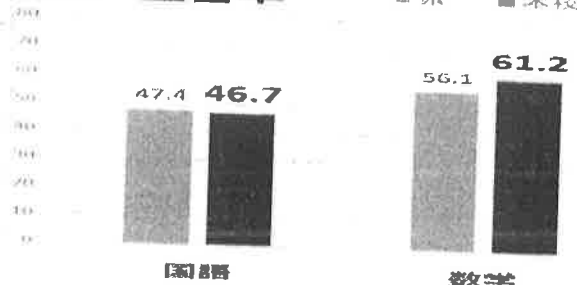


図2 学びのたしかめ(6月)の沖縄県平均正答率との比較 2年生(国・数・英)、1年生(国・数)

1年 正答率



公開授業 (自立活動) 科学習指導案

日時 : 7月 8日 (金) 1校時

年 組	授業場所	2 年 1 0 組	授業者 (T1)	比嘉 杏美乃	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		2 心理的な安定 (1)情緒の安定に関すること 6 コミュニケーション (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること			
本時のねらい		見る・書く・想像する力を高めよう。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「か」かかわる力 授業の中での学習を通して相手に伝えたいことを伝えることができる。 「や」やりぬく力 最後までねばり強くやり通す力を身につける。			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導 入 (10) 分	つかむ	1 本字の目標・授業の流れの確認 2 ウォーミングアップ イレブンジャンケンを行う。 みんなと一回ずつできるようにする。			本時の目標を簡潔に説明 アイスブレイクとして行う。(コミュニケーションが自然にとれるように)
展 開 (30) 分	考える	3 私は誰でしょう。 →伝える力を身につける。 紙に記入したものを背中に貼り付ける。友達の背中に書いてある紙に対してヒントを出してもらい、あてる。 4 ビジョントレーニング →跳躍性眼球運動 →数字を番号順に見つける。集中力の向上を図る。 →自身で目標を設定し、タイマーを使用して目標達成に向けて努力する。			コミュニケーションがしっかり取れるようにサポートする。 視知覚認知トレーニング 集中力を高める。 目標を立て目標達成に向けて取り組む楽しさ・喜びを学ぶ。
	深める	5 教科の補充学習 (iPad活用) (判断力・直感力・反応力のトレーニング) 中学生英単語 (3～5つクリアする。)			iPadを活用し、ゲーム感覚で学ぶ。
まとめ (10) 分	まとめる (活用する)	本時の活動の振り返りをワークシートに入力する。			自分自身を見つめる時間。 意欲的に取り組むことができたか。 自己肯定感・達成感を持つことができたか
本時に行う評価		学習活動に意欲的に取り組むことができていたか。 目標を設定し、その目標を達成するためにどのように工夫し、考えることができたか。			

生徒が😊にっこり😊学習に励む！その秘訣とは？

7月8日(金)、比嘉杏美乃先生が授業を公開しました(2年10組)。本時は、見る・書く・想像する自立活動を通して、キャリア教育4つの力、生徒が最後まで「やりぬく力」、想いを仲間に伝える「かかわる力」を高めることを目的としています(表1)。

表1 本時の自立活動(6区分27項目)

2 心理的な安定 (1)情緒の安定に関すること
6 コミュニケーション
(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること

本時は、①イレブンジャンケン(ウォーミングアップ)、②「生き物」当てゲーム(伝え合う活動)、③ビジョン・トレーニング(視知覚認知トレーニング)、④英語の補充学習、という流れです(右図)。

杏美乃先生ステキだなと感じたのは、授業の導入場面で、じゃんけんやゲームを取り入れており、生徒の緊張感を和らげ、😊にっこり😊安心して学習する雰囲気をつくっていました。また、ビジョン・トレーニングでは、手が届きそうで届かない目標タイムを設定させることで、生徒は一生懸命に数字を追う姿が見られました。

本時のねらい「かかわる力」を達成させる手立てとして、英語の補習学習の際に、生徒が英語でコミュニケーションする場面を設定することで(Output)、②の「伝え合う活動」と連動し、「かかわる力」を、より高めることができるのか、ご検討よろしくお願いします。

生徒インタビュー「今日の授業で学んだことは？」

(Hさん) みんなと協力して生き物当てゲームができて楽しかった。

(Rさん) 今日はいろんな先生がいて緊張したけど、じゃんけんて安心が大きくなった。



① イレブンじゃんけんて Warm Up!



② 「生き物」当てゲームで伝え合う活動



③ ビジョン・トレーニング

下記の表は、期末テストの平均点一覧となります(実施日:6月28日・29日)。2学期に向けて、本校生徒が「何ができていて(成果)、どこに弱点があるのか(改善点)」を分析し、生徒の学習改善や私たちの授業改善につなげていきたいです。また、生徒の学習意欲の向上を目指して、教科面談で「評価」を共有しましょう。

	国語	社会	数学	理科	英語	学年
1年生	75.3	57.5	62.9	66.2	64.5	332
2年生	63.4	60.9	50.1	63.8	49.1	291
3年生	66.6	71.8	67.2	70.1	62.4	342
教科	68.4	63.4	60.1	66.7	58.7	322

教科面談の視点 ★学習意欲の心理学(市川伸一)

- ・失敗に対する柔軟性(生徒を励ます声かけ)
- ・思考過程の重視(結果より過程を大切に指導)
- ・学習方略(学習の仕方、その生徒に合った学習法)
- ・意味理解志向(解き方を確かめながら学習指導)

図1 1学期 期末テスト5教科の平均点と教科面談の視点

公開授業（自立活動）学習指導案

日時：5月24日（火）3校時

年 組	授業場所	2年10組	授業者(T1)	運天 秀紀	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		内容項目 2 心理的な安定 (2) 状況の理解と変化への対応 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。			
本時のねらい		見る・聞く・想像（予想）する力を高めよう。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫手点		一人一人が、意欲をもって学習できる環境をつくり、級友と共に 学習活動をやりぬく力、見通す力をつけるよう動機づけをする。 (かかわる力＝人間関係形成、やりぬく力＝課題対応能力)			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導 入 5分	つかむ	・ 本時のめあて 視知覚認知・眼球運動等トレーニングの後に、教科の補充学習を行うことを確認する。 ・ ウォーミングアップ 熟語トランプ カードゲーム 漢字カードで、何通りかの熟語を組み合わせ完成させる			本時のめあてが確認できたか。 視点の移動で、漢字が苦手な生徒にも熟語活用の幅を広げる。
	考える	・ 眼と手の供応運動トレーニング（新聞棒を使って） （2人キャッチ棒・歩いてキャッチ棒など） ・ コグトレ（ワークシート） 視知覚認知トレーニング 覚える（記憶・言語理解）数える（注意力） 写す・見つける（知覚）想像する（推論、判断）			お互いに声をかけ合い、 タイミングをとる。 （コミュニケーション） 成功するには、視線の向け方と相手のことを考えて投げる。（視点の移動） 個々の作業の結果を ファイルに記入し達成度が自分で確認できるようにする。
展 開 10分 + 15分 + 15分	深める （活用する）	・ 教科の補充学習（iPad活用） ・ 高次脳機能 balanser 記憶力・注意力・抑制力・空間認知力など7種類のトレーニング			PCソフト 積極的に取り組むことへの賞賛と、作業経過の観察
	まとめる	自立活動記録ファイル（振り返り）への記入と報告 ①今日の活動内容、②感想を記入し、ファイルを提出。			・ 学習活動に意欲的に取り組めたか。 ・ 自己肯定感、達成感をもつことができたか。
本時に行う評価		・ 学習活動に意欲的に取り組んでいたか。 ・ ファイルに結果を記録、自分の成長を確かめる事ができたか。			

「褒め上手」は「育て上手」、その立ち居振る舞いとは…

5月24日(火)、運天秀紀先生が授業を公開しました(2年10組)。本時の自立活動は、見る・聞く・想像する力の育成を目指して、生徒が級友と共に学習活動をやりぬく力、見通す力を高めることが目的です(表1)。研修の一環で佐敷中や大里中など、多くの先生が参観する公開授業でしたが、生徒は緊張している様子もなく、一生懸命学習に取り組んでいました。

表1 本時の自立活動(6区分27項目)

◆心理的な安定 自立活動2ー(2)(3)

(2) 状況の理解と変化への対応

(3) 学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること

授業は、①手作りの新聞棒でキャッチボール(眼と手の供応運動トレーニング)、②熟語トランプゲーム(視知覚認知トレーニング)、③生徒が自分自身の目標を設定して学習に取り組む、という流れです(右図①～③)。

運天先生は、一連の活動の中で、「すごい！初めて10回連続成功できたね！」「すごい！こんなに発見できたの！？」と、生徒の良い所や頑張りをたくさん見つけ、認め、さりげなく褒めており、生徒は嬉しそうに活動し、教室が温かい笑顔に包まれているようでした。

また、トレーニング後は、「あなたのタイミングで、必要な学習を始めていいですよ」と声をかけ、生徒は社会のワークに取り組んだり、理科の動画を見たりし、自身の目標に向かって、それぞれの学習に励む姿が見られました。

本時の授業のように、「個別最適な学び」が全生徒に求められる時代がすぐそこまで来ている気がします。生徒一人ひとりの特性を見極め、それを認め、生かしていく、全校生徒830名一人ひとりが輝ける学校を、全職員で目指していきたいです。

先生インタビュー「授業を参観してどうでしたか？」

(山田涼子先生) これこそまさに個に応じた指導でした。授業の理想型を見ることができたので、自身の授業にも生かしていきたいです。



忙しい中でも、何気なく生徒一人ひとりを観察し、生徒の「イイね」を見つけ、さりげなく褒めたい。

生徒の学習意欲や自己肯定感を高めるための手立てとして、「褒める」ことが最も大切だと思います。人は誰しも、褒められたら嬉しくなってやる気が出ますよね。どんな褒め方が効果的なのか？少しだけ紹介させて下さい。

1. 効果的な褒め方 *結果ではなく、努力や過程を重視

- ①爽やかにできるだけ短いフレーズで褒める、②名前を入れて褒める、③成長を実感させるように褒める
- ④期待して褒める、⑤事実や準備状態を褒める

2. 褒めても伝わらない5つのケース

- ①誰かと比べる、②結果しか褒めない、③やみくもに褒める
- ④褒めた言葉の意味がわからない、⑤性格を無視して褒める

ピグマリオン効果(別名：教師対効果)

「人は、期待された通りに成果を出す傾向がある」 *教育心理学

公開授業（自立活動）学習指導案

日時：12月22日（木）1校時

1年 6組	授業場所	教室	授業者(T1)	翁長 佳代	(T2)	山城 宏介先生
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		ビジョントレーニング、認知機能トレーニングを取り入れた自立活動				
本時のねらい		主に、話すことを意識したトレーニングをペアで行うことにより、適切な発言を意識し、他者と肯定的にかかわる力を身につける				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		「かかわる力」「ふりかえる力」「みとおす力」 本時の学習を通し、友人と肯定的にかかわることで、日頃の自分の他者への接し方を振り返るとともに今後の生活を見通し、生かしていく態度を身につける				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動			留意点	
導 入 (10)分	つかむ	・ 本時の内容を振り返りシートに記入する。 ・ ビジョントレーニング → 1～48までの数字を1分間で見つけていく。 ・ 点つなぎ → 認知機能のトレーニング。 ・ 聞いて書くトレーニング → 教師が言う言葉を書き留める。アウトプットしながら確認する。			時間と正確さを意識しながら行う。 聞いて書くトレーニングでは、丁寧に書くことも意識させる。	
展 開 (35)分	考える (30)分	・ 何かな？ゲーム → 黒板に書かれたお題が何か、ペアに質問して当てる活動。ただし、相手は「はい」「いいえ」しか答えられない。 ・ 「きもち」の葉っぱトーク → ふせん紙を葉っぱに見立て、一枚にひとつずつ「きもち」を表す言葉を書く。ひとつ選び、最近そのきもちになった時の状況を話す。			適切な表現で話したり、質問する。 生徒から出た言葉を否定せず、普段何気なく使っている言葉の意味を考える機会とする。	
	深める (5)分	・ トーキングゲーム → カードを5枚選び、できるだけ長く話せそうなテーマを一つ選び、スピーチをする。			前回の授業や、本時での活動で生かしたことを踏まえスピーチするよう促す。	
まとめ (5)分	まとめる	・ 本時の振り返りをワークシートに記入する。			自分ができたこと、がんばったことを書くように促す。	
本時に行う評価		・ 積極的に発言をしようという態度が見られた。 ・ 相手を尊重し、肯定的な態度で接することができた。				



「きもち」の葉っぱトーク ～特別活動や短学活での活用を～

12月22日(木)、翁長佳代先生が授業を公開しました。本時の自立活動は、話すことを意識したトレーニングを通して、適切な発言から他者と肯定的に関わる力を身につけることが目的です(表1)。

佳代先生イイね！と感じたのは、生徒がビジョントレーニングや認知機能トレーニングに取り組んでいる中、「オッケー、とても良くできていたね」、「まだ大丈夫だよ」などと、言葉のシャワーをかけることで、教室が癒やし空間となっていました(図1)。生徒が安心して学習できる環境づくりってやっぱり大切ですね(*_*)。

「きもち」の葉っぱトークは、人のそれぞれの気持ちを、自身の体験談と関連付けてスピーチする訓練です。生徒は、何種類にも及ぶ様々な気持ち(付箋紙)の中から一つ選び、聞き手の興味を引くエピソードを考え、相手に良く伝わるように、工夫してスピーチする姿がありました。

葉っぱ「トーク」なので、そのスピーチに対して質問したり、話を広げたりすることで、「肯定的に関わる力」がより高められたかもしれません。佳代先生、Thanks！

表1 本時の自立活動(6区分 27項目)

◆人間関係の形成

(4)集団への参加の基礎に関すること

◆コミュニケーション

(4)コミュニケーション手段の選択と活用



図1 生徒の学習を夢中にさせる空間づくり

表2 「きもち」の葉っぱトーク(付箋紙に色々な気持ちを書き出し、選んだ気持ちを自身の経験と関連付けて話す)

佳代先生	ドキドキ	学年集会で離任のあいさつがあって、みんなの前でお話をする時にドキドキが止まらなかった。
Kさん	痛い	音楽室で扉を開けたり閉めたりして遊んでいたら、指をはさんで痛かった
Rさん	悲しい	私の好きなジャニーズで、5人中3人が脱退することになって悲しい気持ちになった。

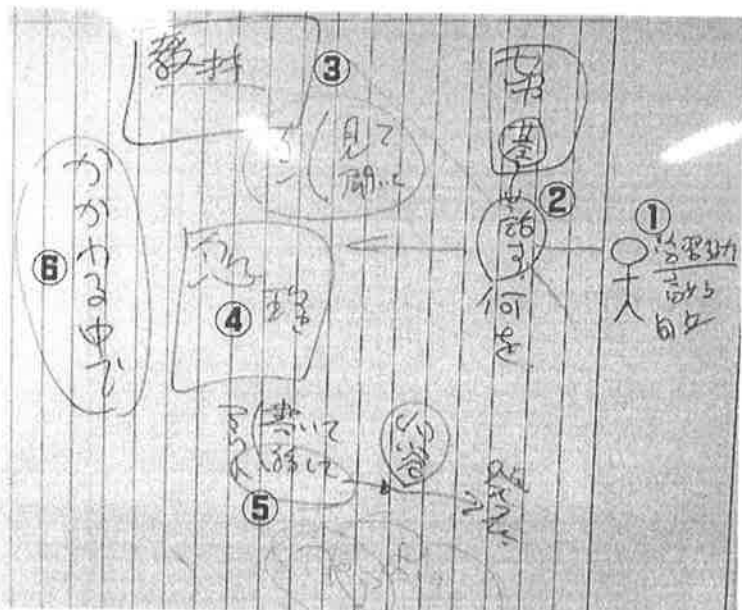


図3 教頭先生による授業リフレクション テーマ「個別最適な学び」

「学習する力」を高めるためには？

～自立した学習者の育成～ by 教頭先生

- ① 生徒の「学習する力」を高めるためには？(目的)
- ② 本時のねらい「話すこと」を達成させるためには？
- ③ まずは教材などを通して、見たり聞いたりしてインプット
- ④ インプットした内容を頭の中で処理する
- ⑤ 頭で処理した内容を書いたり、話したりしてアウトプット
- ⑥ インプットとアウトプットを繰り返す活動を通して、「人と人との関わり」が生まれる

生徒自身が根拠を探して、生徒同士を関わらせて、教師がその学習過程を褒めて価値づけてあげることで、「学習する力」の育成につながることが期待できる

自立活動は、個々の生徒が自立を目指し、学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す教育活動です。自立活動の内容は6区分27項目で構成されています。

区分 ①健康の保持 ②心理的な安定 ③人間関係の形成④⑤ ④環境の把握 ⑤身体の動き ⑥コミュニケーション

公開授業 (保健体育) 科学習指導案

日時 : 12月9日(金) 2校時

1年7組	授業場所	教室	授業者(T1)	金城 久徳	(T2)	外間幹也、友利忠司
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		体育理論分野 体育理論 運動やスポーツの多様性 「運動やスポーツへの多様な代わり方」				
本時のねらい		運動やスポーツの多様な関わり方について考えることができる。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		やりぬく力 (課題対応能力) → 自分たちの身の周りの問題を発見しようと、粘り強くやり通す力 みとおす力 (キャリアプランニング能力) → 自らの将来を想像し、目標設定のために計画を立てる力				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動				留意点
導入 10分	つかむ	1. 前時の復習を行う 2. 「NAHAマラソン」の写真を見て、どのような人がどのように関わっているか確認し合う 3. 本時の「めあて」の確認 めあて：運動やスポーツの 多様な関わり方について考えよう 4. 本時の流れの確認				・運動やスポーツの必要性の確認を行う ・タブレットPCの準備、ロイロノートを開く
	考える 10分	5. 運動やスポーツの多様な関わり方についてまとめる 個人&グループ(5分) 全体で確認(5分) 「すること」「見ること」「支えること」「知ること」				・多様な関わり方についてワークシートにまとめる
展開 35分	深める 25分	6. 自分が今後どのように運動やスポーツ関わっていくか考える(20分) 7. 運動やスポーツへの関わりについて紹介・発表(5分)				・ロイロノートを使い年表に運動やスポーツの関わり方をまとめる ・まとめた年表を紹介・発表する
	まとめる 10分	8. 学習内容のまとめ 9. 本時の振り返り 「自分の生活にどう生かしていくか」				・学習内容の確認 ・ノートにまとめさせる
本時に行う評価		運動やスポーツに自分が今後どのように関わっていくか積極的に考えようとしている。 【学びに向かう力】ロイロノート、保健ノート				

保健体育の授業を通して、潤いのある人生を送ってほしい！ by 久徳

12月9日(金)、保健体育科の金城久徳先生が授業を公開しました(1年7組)。本時の授業は、運動やスポーツの「多様な関わり方」について考えることが目的です。

まず、3年ぶりに開催されたNAHAマラソンの写真を紹介し、「ランナー以外にどんな人がいるかな？」と問いかけることで、応援する人や運営する人など、スポーツには多様な関わり方があることを確認し、本時の問い(ねらい)につなげていました(図1の赤丸○)。

また、生徒一人ひとりにタブレットが手渡され、ロイロノートを使って、自身に合ったスポーツライフプランを作成していたのもナイスです(生徒全員が Output する場面設定・一人1台端末の効果的な活用)。

教頭先生(保健体育科)からは、教師が「する・みる・支える・知る」と整理整頓してルールにさせるのではなく、生徒が運動やスポーツにどのように関わっていくか自由に Output させ、その多様な発想やアイデアから、「する・みる・支える・知る」を生み出してカテゴライズしていく授業をデザインすると、生徒が本時のねらいをより深く理解する姿が期待できるかもしれないと、アドバイスをいただきました。

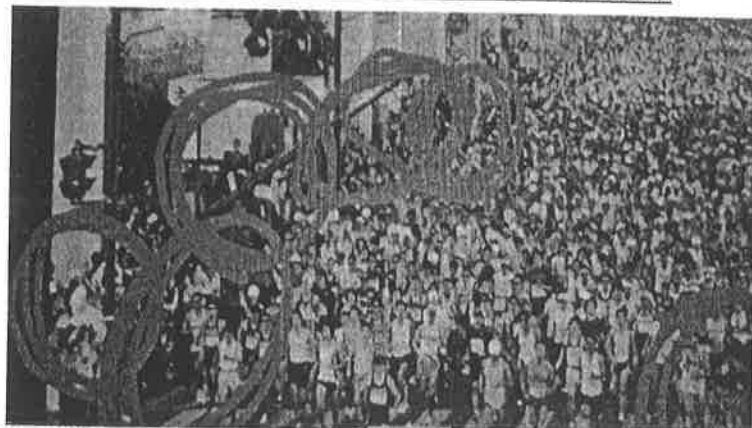


図1 那覇マラソンの映像から「する・みる・支える・知る」を確認

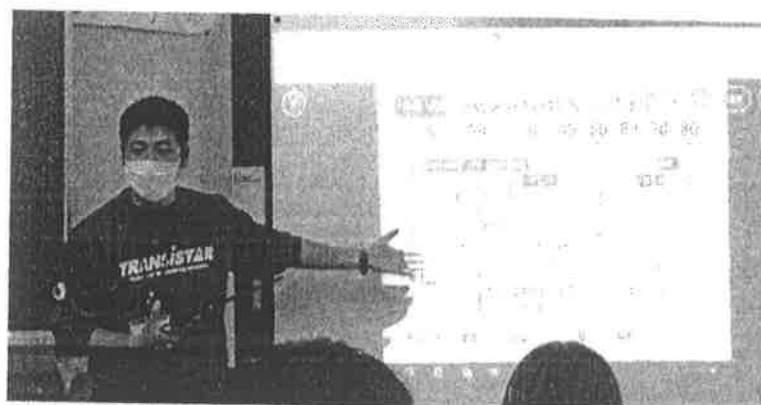


図2 Sさんのスポーツライフプランの良いところを評価する姿

表1 スポーツライフプランシートをロイロノートで作成し提出する(Sさん)

		20	30	40	50	60	70
ライフプランシート	年代	中学 高校	大学 就職	結婚			定年
	ライフスタイル	ダンス	ヨガ&マラソン	ウォーキング			
	趣味・活動	サッカー、バスケット、オリンピック	観戦				
	生活環境	学校	子供部活送迎	テレビ、SNS			
スポーツを		する	見る	支える	知る		

Sさんにインタビュー

1. 今日の授業を振り返ると？

自分の年齢に合わせて、運動とスポーツとの関わり方についてライフプランを作ることができた。

2. ライフプランで工夫した点は？

スポーツは苦手だけど、好きな方なので、ヨガとマラソンを続けて、いつまでも健康で美しくいたい。

「運動部活動と体育の授業の違いとは？」 中学校学習指導要領解説(保健体育)を参考に考えてみました⑨

体育や保健の見方・考え方を働かせとは、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する観点を踏まえ、「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」とあります。

運動部活動は“する”が主眼に展開されがちかもしれませんが、スポーツが人生に潤いを与えることは周知の事実です。運動の好きな生徒は、自然とそのようなアプローチができますが、運動が苦手な生徒でも“みる”“支える”“知る”という視点から生涯スポーツにアプローチすることもできると思います。

もしかしたら保健体育と運動部活動との違いは、その点にあるのかな？とドゥーチームニー(自問自答)するほど、とても参考になる保健の授業でした。

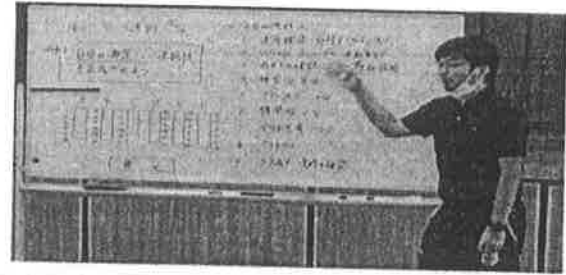
公開授業 (保健体育) 科学習指導案

日時 : 12月2日(金) 4校時

2年9組	授業場所	体育館	授業者(T1)	棚原淳司	(T2)	濱中美己子
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		器械運動 ～ マット運動～				
本時のねらい		自分の満足のいく連続技を完成させよう。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		か かかわる力（人間関係形成・社会形成能力） → グループや学級全体などで進んで考えや気持ちを伝え合う や りぬく力（課題対応能力） → 自分たちの身の周りの問題を発見しようと、粘り強くやり通す力				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動			留意点	
導入 (10)分	つかむ	1. 集合・整列・号令 2. 出席確認・健康観察 3. W-up（3周→体操→補強①→補強②） 4. めあて・本時の流れの確認・安全確認			機敏に元気よく行う。 体調が悪い人はいないか、場は安全かを確認する。 前時の復習を行い、本時のめあてをしっかりと意識させる。	
展開 (35)分	考える	自分の満足のいく連続技を完成させよう。 5. グループ活動 （1）実践① 自分が選択した技をつなげた連続技をやってみる。 （2）話し合い活動 どの部分が良かったか、どこを改善すればもっと良い連続技に繋がるか意見を共有する。			後転グループの基本技を確認する。 話し合いがなかなか進まないグループには声かけをするなどサポートする。	
	深める	（3）実践② みんなから出たポイントを踏まえて連続技の練習を行う。 ※技単発の練習にならないように注意する。 （4）全体で連続技のポイントを共有する。 （5）実践③ 最後にテストと同じように通してみる。			生徒からポイントが出ない場合などは問いを工夫し、発見させる。 自分の納得いく連続技になるようはじめから終わりまで集中させる。	
まとめ (5)分	まとめる	6. 本時のまとめ・振り返り・次時の確認 実技カードにまとめを記入する。			授業の感想にならないように注意させる。	
本時に行う評価		仲間のアドバイスを聞き、自己の課題を把握し、練習に取り組むことができる。 【知識・技能】				

伸身の新月面が描く放物線は栄光への架橋だ！ by アテネ五輪

12月2日(金)、保健体育科の棚原淳司先生が授業を公開しました(2年9組)。本時は淳司先生による、「やる気を引き出す言葉かけ」や「分かりやすい指示」、「実演を披露」するコーチングが光っていました。また、生徒同士で良かった所と改善点を共有する場面を設定することで、生徒はそのポイントを意識して練習に励み、短い時間でも、生徒がどんどん上手になっていく姿が、見て良くわかりました。



あいさつ(心の準備)

- ・マットの準備
- ・始めのあいさつ
- ・健康観察

準備運動(体の準備)

2列になり3周 → 準備運動 → 補強① → 補強②

基礎感覚運動(主運動につながる類似運動)

本時の器械運動につながるように、首倒立やタンプリングローリング等の基礎感覚運動を通して、ウォーミングアップを行った(右図)。



活動1【器械運動系:基本技の習得】

活動2【器械運動系:発展技の習得】

生徒は、自分の満足のいく連続技を完成させるという、本時の目標を達成させるため、仲間の連続技を見て、良かった所と改善点を伝え合う活動を通して、仲間の指摘を意識して、「技と技のつながりが滑らか」になるように工夫し、無我夢中に器械運動になって、器械運動を楽しんでいました。



まとめ

【Yさんの振り返り】

Nさんに、開脚前転をキレイにできるようにアドバイスもらって、うまくできた！

振り返り



図1 本時の授業×保健体育科における「問い」が生まれる授業のポイント(問いサポP.30)

日本海軍の名将・山本五十六が残した「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」は、私たち教師が大切にしたい言葉かもしれません。

この言葉は、コーチングのすべてが凝縮されていると思います。まずは自分の行動で「やってみせる」ことで説得力を持たせ、それをきちんと言語化して「言って聞かせ」、チームメンバー自身にそれを「させて」、うまくいけば「褒める」というプロセスを経てチームを動かす。基本的な「⁹⁷コーチング力」を再確認できる至言です。



公開授業 (保健体育) 科学習指導案

日時 : 6月16日(木) 1校時

2年4組	授業場所	学級	授業者(T1)	濱中 美己子	(T2)	棚原 淳司
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～				
単元名・教材名		保健編 3章 傷害の防止 3.交通事故の危険予測と回避				
本時のねらい		交通事故による傷害を防ぐには、危険を予測し、安全な行動、環境の改善などを行い、危険を回避することが必要であることを理解する。				
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		か かかわる力（人間関係形成・社会形成能力） → グループや学級全体などで進んで考えや気持ちを伝え合う や りぬく力（課題対応能力） → 自分たちの身の周りの問題を発見しようと、粘り強くやり通す力				
本時の展開						
	学習過程	学習内容・活動			留意点	
導入 (5)分	つかむ	1、前時の内容をふまえ、イラストの場面から人的要因、環境要因に関わる危険を予測する。 2、学習課題を確認する。 交通事故による傷害を防ぐには、どのような対策があるのか学習する。			・イラストの場面から予測される危険を、学習事項の発生要因をふまえて確認させる。	
展開 (45)分	考える	3、交通事故の各要因には、顕在危険、潜在危険があることについて知る。近年、深刻な問題となっている自転車の加害事故についても触れる。 4、交通事故を防ぐためには、交通環境の整備、改善が必要であることを理解する。			・それぞれの要因には、直接見えている危険と現在は見えていないが、状況の変化や時間の経過によって現れる危険があることに注目させる。	
	深める	5、イラストに潜む危険を予測し、回避する方法をグループで考え、説明する。 ・保健ノートP7にメモを取る。 6、通学路や地域で交通環境と自分の行動について考えてみよう。 ・通学路や地域の交通環境で整備されている、もしくは整備・改善が必要な場所はないだろうか。			・イラストから起こりうる様々な危険を予測し、最も現実でありそうな危険を選ぶ。そして、危険を避ける方法を考えさせる。 ・自分たちの住む地域の交通環境について考えさせる。	
まとめ (10)分	まとめる (活用する)	7、6の活動で気がついたこと、考えたことを学級で共有する。 8、時間があれば、保健ノートP7の振り返りを授業内で記入もしくは、家庭学習の課題として個人でまとめる。				
本時に行う評価		・交通事故による傷害を防止するために各要因に関わる危険を予測し、適切な対策を行うことが必要であることを理解できたか。【知識・技能】 ・交通事故による傷害を引き起こす様々な危険を予測し、回避する方法を選択できる。 【思考力・判断力・表現力】				

これぞまさに実生活に活かす力！日常生活に潜む危険を予測し回避せよ！

6月16日(木)、保健体育科の濱中美己子先生が授業を公開しました(2年4組)。本時は、交通事故の障害を防ぐために、危険を予測し、安全な行動、環境の改善を行い、危険を回避することがねらいです。

美己子先生のたくさんのイイねを、バディの棚原淳司先生が紹介します。

イイね① グループで危険を予測させたことで、生徒の多様な見方や考え方を見ることができた。こんな危険もあるんだ」と驚く生徒もいて、盛り上がっていた。

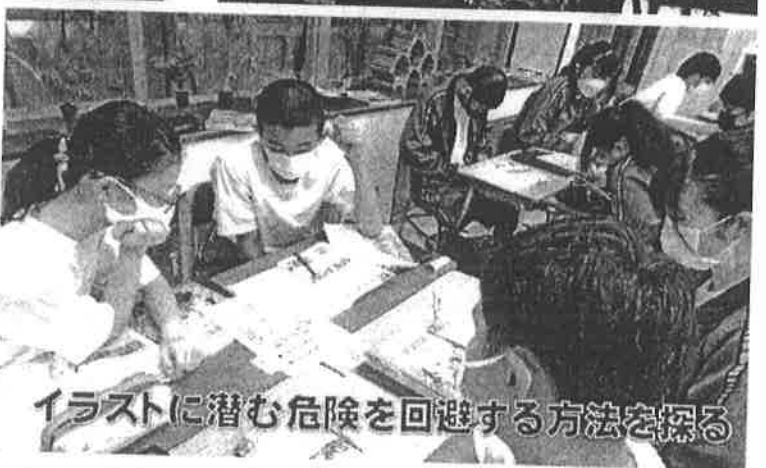
イイね② グループの考えを全体で共有した後に、その後は自分なりの回避方法を振り返る時間を設けており、生徒全員が思考を Output する場面が設定されていた。

イイね③ 本県の授業の基本事項である一人1台端末を活用し、ジャムボードの付箋紙で「気づき」を貼ることで、オンタイムで生徒の学びがつながり、「危険回避」を自分事と捉えて解決しようとしていた。

体育の先生が学級経営にも長けている所以を図3に紹介します。「学習規律」、「肯定的人間関係」、「情緒的解放」は、教師力向上の鍵かもしれません。

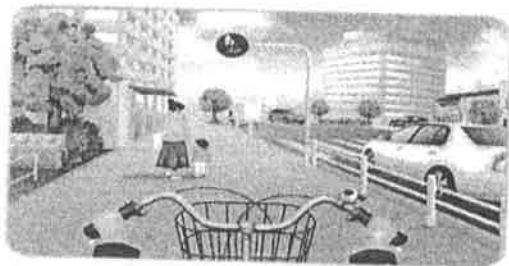


ジャムボードの付箋紙で、危険を予測し共有



イラストに潜む危険を回避する方法を探る

例3 自転車通行可の歩道で、歩行者を追い越そうとしています。



●予測できる危険は？ ●回避の方法は？

図1 日常生活に潜む危険を回避するためには？



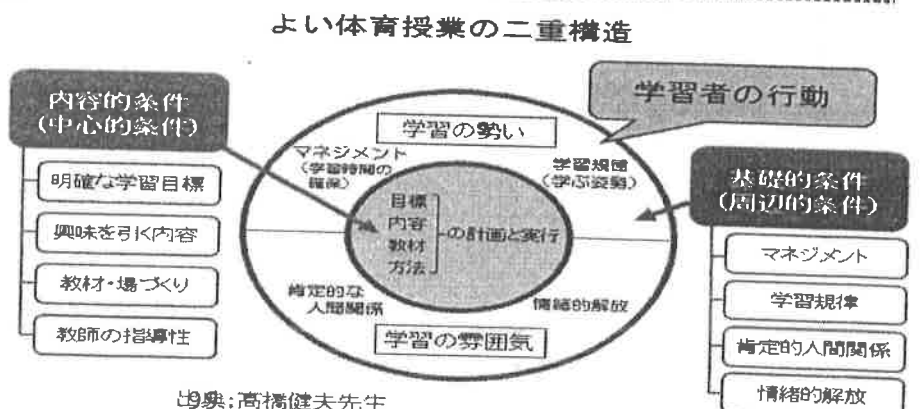
図2 交通事故には3つの発生要因が！

体育授業と学級経営

皆さん、「体育・保健体育の授業を観察すれば、その先生の学級経営がわかる。」と耳にしたことはありませんか。

そのようにいわれている理由が右図「よい体育授業の二重構造」の基礎的条件に示されています。「学習規律(学ぶ姿勢)」「肯定的人間関係」「情緒的解放」まさに学級経営に大切なことだらですね。

体育の授業力向上は学級経営にもつながるのです。



出典:高橋健夫先生

図3 体育の授業と学級経営(問いサポP.31)

公開授業 (美術) 科学習指導案

日時 : 11 月 17 日 (木) 6 校時

日時：11月17日（木）6校時

1年3組	授業場所	美術室	授業者(T1)	上原 進	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		ダブルイメージボード			
本時のねらい		グラデーションの配色を考える			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」の視点・工夫点		かかわり 生徒同士の話し合いを行う			
本時の展開					
学習過程		学習内容・活動			留意点
導入 (10分)	つかむ	美術教科書 の鑑賞 (ビデオ鑑賞) 前日の授業から 三角柱づくり について 「ダブルイメージボード」・参考作品 の説明 ①二つの面がある。左右から見るができる ②2面グラデーションで配色している ③1面1種類のグラデーションでは難しい ④始まりの色から終わりの色を決める ⑤グラデーションは1面では2種類考える ⑥合計4種類のグラデーションを考える グラデーションを決めるとき ①スタートの色に白を混ぜる ②12色相環の輪の中から考える（青から緑は難しい） ③12色相環の輪以外の色の変化は難しい（変な色になる恐れあり）			
	考える	美術資料集 の「12色相環の輪の中から」と「始まりの色を決める」 ポスターカラーで着色するのでポスターカラーを見ながら 考える グループでお互い確認しあう			
展開 (30分)	深める	考えたグラデーションをプリントに色鉛筆で塗る ② 変化の様子 ②自分の考えたイメージを確かめる			
	まとめる (10分)	プリント回収をする 他の生徒参考を提示する。 その作品のよさを伝える			
本時に行う評価		学びに向かう 意欲的に取り組んでいるか 発想 グラデーションの意味を理解し、変化の様子を考えているか			

授業感想

授業感想

工夫が必要

- ・資料を活用することの理解が不十分な生徒がいた。
- ・集中して作業に取り組めない生徒。人の邪魔をしたりはめを外す生徒への声かけと支援の工夫
- ・なかなかイメージ、構想が浮かばない生徒に対してはサンプルの色カードを使ったり、手持ちの絵の具や色鉛筆を置いてみて、イメージさせる等、サポートがあった方がスムーズ?
- ・なぜこの色を塗ったのか、その子の感性にふれてもよい
- ・生徒にどんな「問い」を与えて、計画 (配色) させたいのか? 明確にする必要があるか?

良い

- ・終末のまとめで生徒の作品をカメラで写して、共有するのも効果的
- ・導入でアートシーンの映像を見る事で生徒が一気に集中し、「美」の持つ力を感じた。生徒の意識を美術へスムーズに切り替わったと思う。
- ・鑑賞からテーマの生成 実際の色作りまで感心を持って、取り組む事ができた。
- ・鑑賞を通して、美に触れ、心が穏やかに。落ち着いた雰囲気、授業が始まった。
- ・導入の映像の良さの後、教師の説明が的確で、その後の授業で、どの生徒も生き生きと自分なりの構想を練って活動した
- ・鑑賞と表現がうまくリンクして相乗効果を生み出している。芸術科の特性、良さが生かされた授業であった。
- ・指示、説明が抑揚があったり、繰り返し言ったりして、意識しなくても耳にスーと入ってきた。

美術教育を通して「美しさ」を伝えたい☆ by 進

11月17日(木)、美術科の上原進先生が授業を公開しました(1年3組)。本時は、ダブルイメージボードの制作(図3)を目指して、グラデーションの配色を考え、実際に色を塗る技能を養うことがねらいです。



図1 授業はじめ「美しさ」にふれる

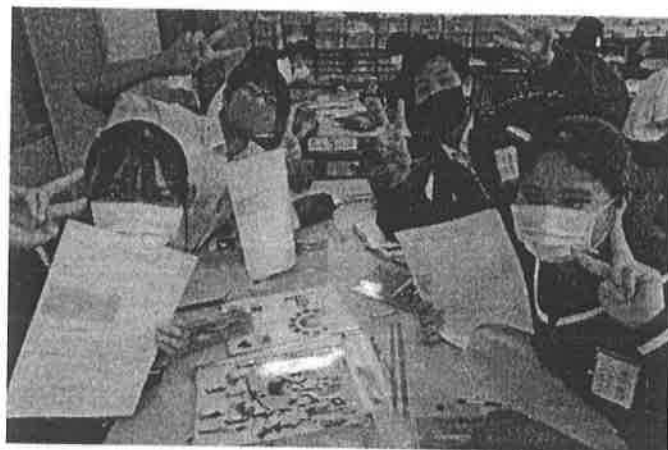


図2 楽しみながら作品づくり

授業は5分程度のビデオ鑑賞から始まりました。生徒は、日本の歴史ある絵画の「美しさ」に出会うことで、心穏やかに、落ちついた雰囲気の中、授業が開始されました(図1)。

進先生さすがだな！と感じたのが、生徒への声かけです。本時の活動を指示する場面では、言葉を繰り返したり、抑揚をつけたりすることが上手くて、先生に注目しなくても、自然と声が耳に入ってくる感じが、とても新鮮でした。

生徒は、すぐに自身の好きな色を選択し、配色計画を立て、「どの色を組み合わせたら良いのか、どうしたら流れるような配色ができるのか」を問いながらグラデーションを楽しんでいました(図2)。

授業終盤には、ICTを使ってクラス全員のグラデーションを共有する場面もあり、教室からは「お～上等!」、「すごい、キレイ」などという感嘆の声が響いていました。

なぜこの配色なのか？なぜこの色を塗ったのかを、代表生徒に工夫した点を説明してもらい、共有しても良かったかもしれません。進先生、ありがとうございました。

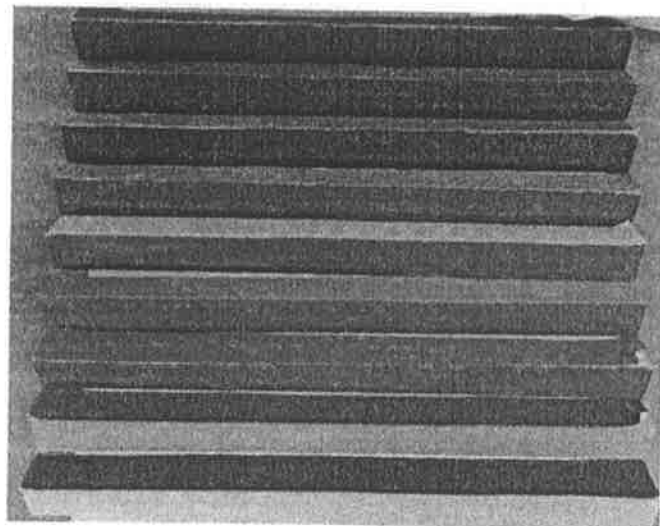


図3 ダブルイメージボード

【Kさんが工夫した点】

私は青と黄色が好きななので、この2つの色からグラデーションを考えた。白を境目に流れるように塗ることができた。

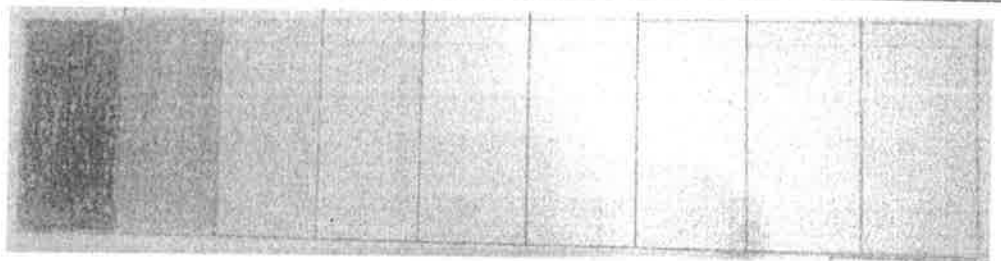


図4 Kさんの作品

美術では『なぜこの色なのか？なぜこの色を塗ったのか』を大切にしています。

公開授業 (家庭科) 科学習指導案

日時 : 11月14日(月) 3校時

1年 6組	授業場所	家庭科室	授業者(T1)	下里 喜久子	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		2編 私たちの衣生活 1章 衣服の選択と手入れ ②私らしさとT. P. O. ～着方の工夫～			
本時のねらい		・ 目的に応じた着方を踏まえ、自分らしい着方を工夫できる。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		かかわる力・・・グループの人とお互いの考えを伝え合う ふりかえる力・・・前時の学習を踏まえ、本時の学習に生かす やりぬく力・・・工夫し創造してデザイン画を描くことができる			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導入 (10)分	つかむ	・ 学習の目標を知る。 ・ 教科書 p 110の「話し合ってみよう」の服装について、ふさわしくない点を考える。 ・ 前時に学習したT. P. O. が分かり、それに応じたふさわしい着方があることを確認する。 ・ 自分に似合う色を考える。(ワークシートに記入する) ・ 個人で考える。 ・ グループの人の意見を聞く。			ワークシートを配り記入させる。 活動の説明をして活動させる。
展開 (30)分	考える 実習	・ 教科書 p111 の図 1 で衣服の色や柄、形による印象の違いを確認する。 ・ コーディネートについて知る。 ・ 色や柄・衣服のバランス・素材や衣服の組み合わせ ・ 小物（アクセサリなど） ・ ノート p 64に自分らしい服装のデザイン画を描く。			・ デジタル教科書で衣服の色や柄、形によく印象の違いを見せる。 ・ コーディネートのポイントをおさえる ・ 教科書 p 111 実習例my コーディネートを参考にする。
まとめ (10)分	まとめる	・ グループ内で自分のコーディネートに対する意見やアドバイスを受け、ワークシートに記入する。 ・ 友達の評価を受けて授業を振り返り、T.P.O. と個性の表現についてまとめる。			・ 着用目的と人に与える印象を考えた服装を考えつつも、自分らしさを表現できているか。
本時に行う評価		・ 個性を生かす着用について理解できたか。 ・ 自分らしい着方について考え、工夫したデザイン画を書くことができたか。			

あなたはTPOに応じた服装、できていますか？

11月14日(月)、家庭科の下里喜久子先生が授業を公開しました(1年6組)。本時は、目的に応じた着方を踏まえ、自分らしい着方を工夫できることがねらいです。



まず、授業の導入では、結婚式(左)と山登り(右)の2つの場面に応じた服装について、ふさわしくない点を生徒が発表することを通して、TPOを踏まえた上で、自分らしい着方を工夫したいねと、生徒と共有していました。

生徒は本時の問い「TPOをふまえた自分らしい着方は何だろう？」を解決すべく、まず、自分って何色が似合うのだろう？と何種類もの色を自らの体と重ねて、仲間から「白は似合う！」「黄色は似合わない」などと互いに評価をしていました(図1)。また、生徒はTPOに応じたMyコーディネートを描く活動を通して、その服装の工夫した点をまとめ、それぞれが個性ある自分らしい着方をデザインする姿がありました(図2)。

Rさんにインタビュー 『今日の授業でわかったことは？』

自分の好きな服を着るのも大切だけど、時と場所と場合を考えて、その場にふさわしいかどうか大切だとわかった。

Myコーディネートを描く→工夫した点をまとめる→グループで発表する、という一連の活動で、完成時間に差がありすぎたので、例えば、本時はデザインする時間、次時は発表する時間と、タイムマネジメントの工夫が必要だったかもしれません。喜久子先生、ありがとうございました。

【学習指導要領 家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

T 時間(いつ) 休みの日に着る服
P 場所(どこで) ショッピングモール
O 場合(どんな目的) 友達と遊んだり、買い物したりする
工夫した点 ジーパンと黒のジャージを組み合わせしてみた

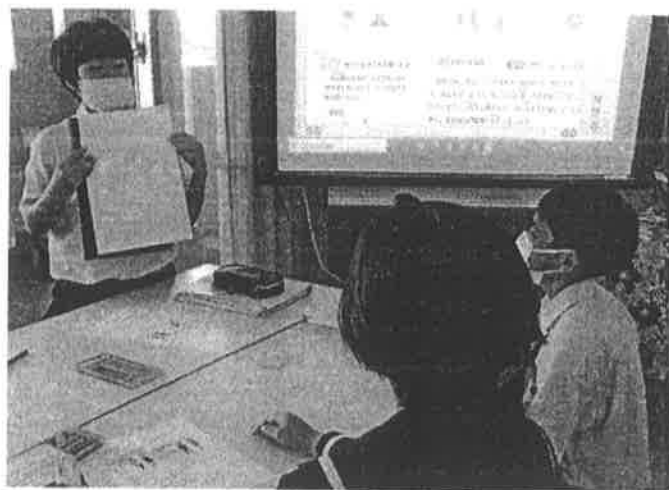


図1 俺って白色は似合うかな？



図2 Myコーディネートをデザインする

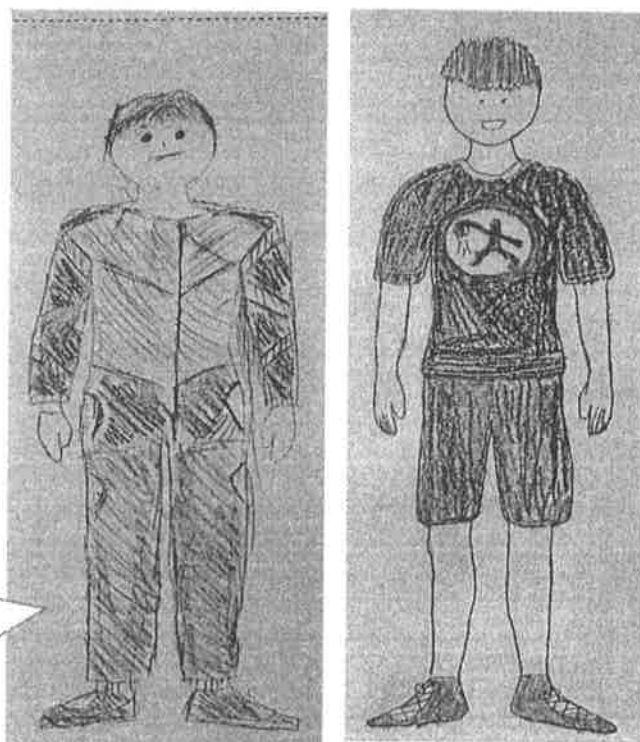


図3 Rさんの作品

公開授業 (技術) 科学習指導案

日時 : 6月3日(金) 3校時

3年1組	授業場所	PC室	授業者(T1)	池間 彦律	(T2)
校内研修テーマ		持続可能な社会の実現を目指して、学び続ける生徒の育成 ～学びに向かう力の見取りを通して～			
単元名・教材名		Excelの使い方を知ろう (票、グラフ、関数)			
本時のねらい		問題文を読み取り、必要な表計算処理ができる。			
キャリア教育 「か・ふ・や・み」 の視点・工夫点		やりぬく力 (課題対応能力) → 課題において適切な選択ができる			
本時の展開					
	学習過程	学習内容・活動			留意点
導 入 (5)分	つかむ	今日の課題のファイルを配布 今日の授業内容の説明 その内容を聞いて今日のめあてを確認する ホワイトボードで確認する (主に関数)			・ 課題ファイルの配布 ・ PCが起動するか確認しておく
	考える	無駄なおしゃべりには注意する 離席はしない。 必要なグラフや表を作成でき、考察ができる。 ○技能として 表の作成、関数の使用、グラフの選択、グラフの編集、 見やすいグラフにするにはどうすればよいか考える。			・ 後の思考のヒントになるようにホワイトボードに板書したり、課題の中にヒントを掲載しておく。
展 開 (40)分	深める	技能・・・関数(SUM,AVERAGE,RANK)やその他機能や グラフを適切に選択して問題を解くことができる 知識・・・関数の意味を理解して使用できる。 思考判断・・・問題文を読み取り必要な機能を選択でき、作成したグラフより考察ができる。 主体的に学習に取り組む態度・・・最後まで問題に取り組むことができる。 豊かな心・人間性・・・実社会におけるソフトウェアの活用に対し関心を持ち、取り組む。 技術的な見方考え方・・・表計算ソフトをツールとして使用できるための基礎技能が身につかせる。			・ 巡視しながら生徒へ声かけする
	まとめる (活用する)	ファイルを回収し、今日のねらいを達成できたか振り返る。			
本時に行う評価		課題において適切な表計算処理ができるか 作成した課題から考察ができるか			

生徒がまるで仕事のできる社会人のようでした！

6月3日(金)、池間彦律先生が授業を公開しました(3年1組)。本時は、生徒をコンビニのエリアマネージャーに見立て、「町内店舗の売上や売れている品物を、表やグラフを作って報告してほしい」という社長のミッションを、Excelを使ってクリアすることを目指しています。

実生活に生かされるリアルな問題を解決するべく、生徒は社長に伝わりやすいグラフを作成するために、数値や色を変えたり、棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフを選択したりするなど(図1・図2)、あーでもない、こーでもないで試行錯誤して問題解決する姿が見られ、生徒がまるで仕事のできる社会人のようでした。

生徒インタビュー！本時の授業で学んだことは？

(Aさん)比較は棒グラフ、割合は円グラフ、時系列は折れ線グラフなど、相手にとってわかりやすいグラフを、Excelで作成できた。家でも練習してみたい！

本時の授業を、技術科の目標に照らし合わせてみると、「実社会におけるソフトウェアの見方・考え方を働かせ、Excelの関数やグラフを適切に選択する活動を通して、問題を読み取って必要な表計算処理ができる」なのかな～と、ドゥーチムニー(自問自答)していました。

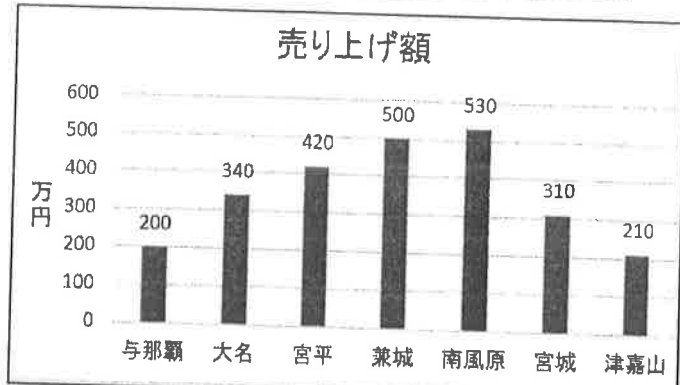


図1 Rさんの作品(売上1位を赤色にする工夫)

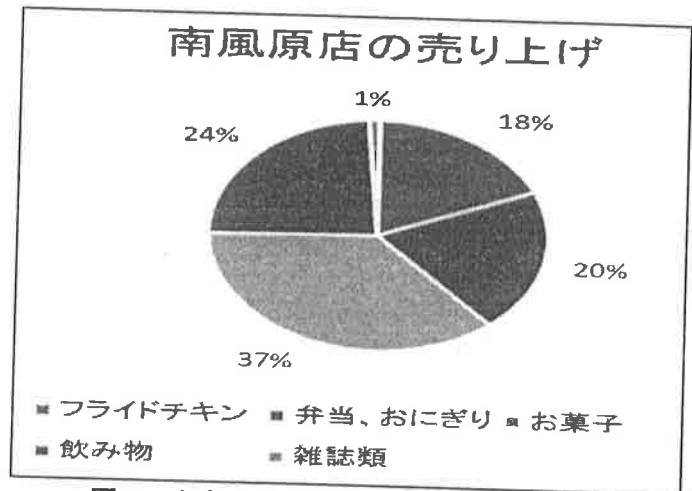


図2 Aさんの作品(%を挿入する工夫)

学習指導要領では、すべての教科で、教科の目標の書き方が統一されています。

「〇〇な見方・考え方を働かせ、〇〇の活動を通して、〇〇する資質・能力の育成を目指す」
今一度、ご自分の教科の目標を確認し、授業づくりでは、本時における「見方・考え方」、「見合った活動」、「育みたい資質・能力」を明確にすることで、授業や生徒の学びが、より充実していくかもしれません。

【技術科の目標】(学習指導要領解説技術編 P.16)

技術の見方・考え方を働かせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

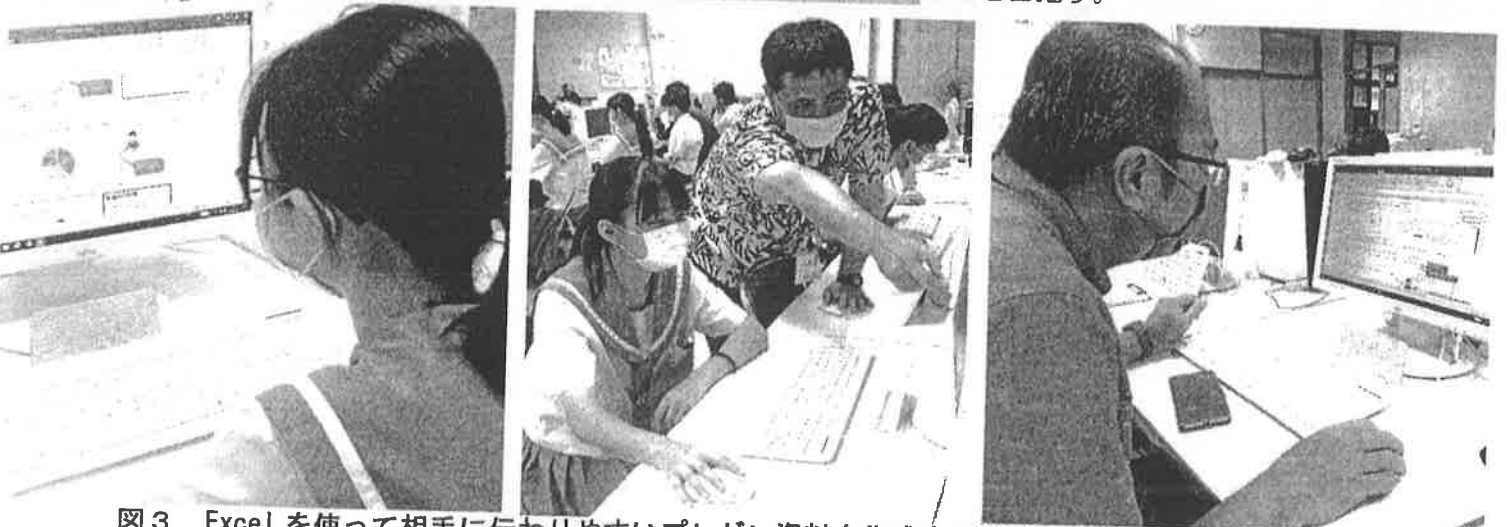


図3 Excelを使って相手に伝わりやすいプレゼン資料を作成する様子 ★校長先生もチャレンジ

校長先生から歌のプレゼント～夢のサプライズ～

12月22日(木)、音楽科の喜納優子先生が授業を公開しました(2年9組)。本時は、2重奏の響きを感じ取りながら、生徒が楽しく演奏することを目的としています(器楽・リコーダー・表現分野「かっこう」)。

優子先生イイね！と感じたのは、「評価も大切だけど、今日は点数よりも楽しんで演奏しよう」と声をかけることで、生徒は、初めて見る「かっこうの楽譜」にも関わらず、上手くなろうと一生懸命演奏する姿がありました。また、ペアになって、相互評価(◎・○・△)を取り入れたのもナイスです。生徒はA1(主旋律)とA2(副旋律)を互いに聞き合いながら、先生方の個別指導の効果もあり、徐々に上手くなっていく姿が、見てすぐわかりました(図2)。

授業後に、本校音楽科3名(校長先生・梓先生・優子先生)から生徒へ、サプライズのクリスマスプレゼントが📺生徒は、プロ(音楽科)の「夢の世界を」の合唱(3重奏)に酔いしれ、演奏後には「ブラボー！」、「アンコール！」と、教室が大きな拍手に包まれていました(図1)。



図1 授業後のサプライズ～夢の共演～



図2 個別指導(校長先生も熱血指導)

Rさん	A1とA2の二重奏は、A2が難しかったけど、2つの音が合うと気持ちよかった
Sさん	Rさんの評価は◎です。なぜなら、音程がとれて、トゥーの発音で吹くことができていた。



図3 ウォーミングアップ(校歌・夢の世界をの合唱→タンギングの練習(早口言葉)→音階練習→おさらい演奏)

12/22(木) **めあて**
リコーダー

器楽P20の
左側に指使いが
載っています。

**2重奏の響きを感じ取って
楽しく演奏しよう。**

演奏の姿勢

・チヨコ
・ペタ
・レン

評価のつりか
◎ できている
○ ほぼできている
△ できていない

発声練習
発声練習メニュー

- 呼吸法(おひらき)
- ...(スカーフ)
- 口を開けて(おひらき)
- 校歌
- 既習曲

評価の方針
注意 06ペア全員がシートにチェックを記入したら、先生のテストが受けられる

音楽科学習指導案

日時：令和4年10月20日（木）3校時

学級名：南風原中学校 3年7組

（男子17名 女子16名 計33名）

授業者： 湊川 梓

1 題材名 生徒が思いや意図をもって曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう

・教材名 混声三部合唱 「SMILE～晴れ渡る空のように～」 桑田佳祐作詞・作曲 西條 太貴編曲

2 題材について

（1）生徒観

本学級の生徒は、元気があり、授業にも真面目にスムーズに取り組むことができ、全体的に落ち着いた学級である。また、リーダーを中心に協力して活動することができる。合唱の授業では、混声3部合唱の経験はないものの、2年生の頃に合唱コンクールを経験し、混声2部合唱の曲に取り組み、1学期にも「花」の曲を混声2部合唱で取り組み合唱づくりを経験している。そのため「美しいハーモニーをつくるためには音程とリズムを正確に歌うことが大事」ということは学んでいる。そして、そのためにはどのような練習方法が効果的かを、パート練習や全体練習を行い、執行錯誤しながら課題に応じた効果的な練習方法を身につけている。また、音楽表現の工夫においては、範唱CDを聴くなど、表現豊かな合唱にするためには強弱や速度等の変化が必要であることを感じているが、実際に表現するまでに至っていない。また、歌詞の理解や曲のイメージに関しても、どのようにすれば曲にふさわしい表現になるかを工夫するまでの段階にきていない。事前アンケートからは、合唱の授業に対する意欲は高く、授業にも積極的に臨む姿勢が見られる。3部合唱の取り組みが初めてということもあり、アルトパートの女子生徒が「音程・旋律」が他のパートと違う動きに戸惑い、声をだすことに恥ずかしさや苦手意識もっている。そのことから、男女間の較差が少々ある。男声パートに関しては、中学生の時期にみられる変声について、多少差は見られるものの、おおよそ落ち着きを見せ、安定した声を出せるようになっている。ICTに関しては、1人1台のタブレット端末を積極的に活用しているが、教室がWi-Fi環境がないため、カメラ機能（動画撮影）のみを使い、歌唱の自撮り撮影で毎時間の音程・リズムチェック確認を行っている現状である。

（2）教材観

自分の声を使って表現をする歌唱活動は、私たちが音楽に親しむ一番身近な活動であり、豊かな音楽表現を生む基盤になると考える。大きな声で堂々と歌ったり、曲の特徴をとらえて表現を工夫したりする活動には互いの心を豊かにしていく力がある。本教材では、楽曲の構成を理解し、曲想や特質を考えた表現の工夫をすることで、作曲者の思いを知り、生徒が意図をもって曲にふさわしい表現を工夫することの楽しさと、混声3部合唱の響きを通して、仲間と共に歌う喜びを味わわせたい。

（3）指導観

この「SMILE～晴れ渡る空のように～」はミュージシャン桑田佳祐が作詞・作曲を手掛けた曲に編曲者（西條太貴）が混声3部合唱にアレンジしている。この曲の構成・メロディに大変魅力があり、歌詞はメッセージ性が強いので、曲にあった表現の工夫に取り組み、みんなでのびのびと歌う楽しさを味わわせたい。生徒の中には、恥ずかしさや苦手意識から歌への抵抗感をもち、積極的に歌唱活動に取り組むことができない生徒もいるが、合唱コンクールという一つの行事に向けて、心一つにみんなで作り上げる喜びと、少しでも自信を持って表現できるような活動にしたい。表現の工夫については、曲の全体的なイメージを「音楽を形づくっている要素（音色・リズム・速度・旋律・強弱・テクスチャ・形式・構成）」と色のイメージを関連させながら示し、1つの曲へ仕上げていきたい。また歌い方の表現としては、それぞれのフレーズごとの特徴をつかみながら歌い方の例を出して試行しやすくすることで、他の場面でもいろいろな工夫をすると、表情豊かな響きの合唱になることに気づかせたい。

3 本題材の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
(知) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 (技) 創意工夫を生かした表現で「SMILE～晴れ渡る空のように～」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現をしている。	・音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に取り組もうとしている。

4 事前指導計画

学習活動	時間	学習内容
- 合唱コンクールに向けての取り組みを確認する。 - 範唱を聴いて曲のイメージをつかむ。	1	- 合唱コンクールまでの見通しをもつ - 学級の曲を聴きながら自分のパート音を楽譜で確認する。
自分のパートの音程とリズムを正確につかみ、合唱する。	7 ～	- 自分のパートの音程やリズムを正確につかむ。 - 効果的な練習方法を身につけて主体的にパート練習を行う。 - CDの活用(旋律のみ、ピアノ伴奏、他のパート等) - ICTの活用(毎時間の歌唱動画→提出)
混声3部合唱をする。	8	- 声部の役割とハーモニーの調和 - 自分の歌唱を録音して鑑賞し、課題把握・改善をする。 - 自分たちが伝えたい曲のイメージにあわせて、さらなる表現の工夫をする。
楽曲のもつイメージに迫り、混声3部合唱のよさを味わう。		

5 本時の学習

題 材 曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう

教 材 混声三部合唱「SMILE～晴れ渡る空のように～」 桑田佳祐作詞・作曲 西條 太貴編曲

めあて 「各パートで曲のイメージを確認し、表現を工夫して合唱しよう」

	配時	主な学習活動・内容	形態	指導上の留意点	評価基準 評価方法
導入	10	1 本時の学習内容を確認する。 (1) 出席確認→めあて記入・確認	個		
		各パートで曲のイメージを確認し、表現を工夫して合唱しよう			
展開		(2) 発声練習(呼吸法・校歌・既習曲)			
	5	2 合唱しよう。(合わせ) (1) 音程、リズム、強弱を意識しよう	全	○音程、リズム、強弱を意識するための技能指導。	
	10	3 パート別で曲のイメージを色で表す。 (1) ソプラノ・アルト・男声に分けてイメージする色と理由より、どんな表現を音楽的に表すのか決める	パ ・ 全	○各パートが表現したい音楽をするために必要なイメージを色ブロックから決める(理由も含)→その色からイメージを広げ、音楽の要素と関連させ、技能につなげる。	(技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱している。
	3	(2) 各パート発表する			(思) 曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。(ワークシート)
	12	4 パートごとにイメージ(表現)する。 (1) 各パート練習 (2) 各パートで録音	パ	○音楽表現をするために必要な技能指導をする。	

ま と め	10	1 合唱しよう。 (1) 本時を振り返り、各パートで曲のイメージをもち、表現しながら歌おう。 (2) 振り返りシートに感想記入	全 個	○本時を振り返りながら各パートの表現につなげる合唱をしよう。	
-------------	----	---	------------	--------------------------------	--

6 パート編成

ソプラノ	アルト	男	声
------	-----	---	---

指揮者

7 板書計画 (ホワイトボード)

10/20 (木)

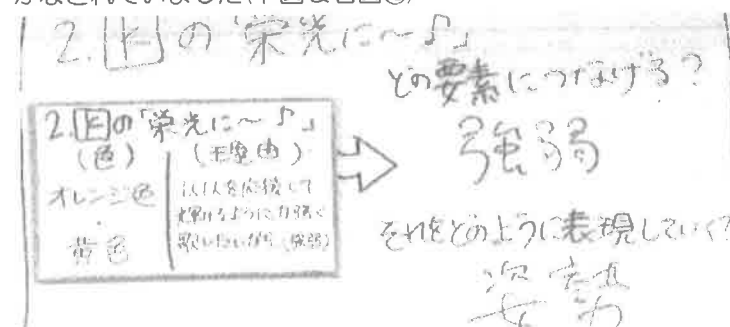
めあて：各パートで曲のイメージを確認し、表現を工夫して合唱しよう

晴れ渡る空のようなステキな合唱に感動の SMILE

10月20日(木)、音楽科の湊川梓先生が授業を公開しました(3年7組)。本時は、合唱コンクールの自由曲である、東京オリンピックのテーマソング SMILE～晴れ渡る空のように～(作詞・作曲 桑田佳祐さん)の合唱を通して、生徒が思いや意図をもち、曲にふさわしい表現を工夫して合唱することをねらいとしています。



私が学級担任で合唱指導する時は、繰り返し練習してなんぼの世界だと思っていた、この歌詞は〇〇の意味があるから△△を意識して歌おう！でした。しかし、梓先生は、その歌詞のイメージを色で表す活動を通して、音色・強弱・速度の要素に着目させ、どのように表現したら良いのか考えさせるなど、生徒が主体となって合唱できるようなファシリテートの工夫がなされていました(下図&右図②)



授業終盤、パート別練習後の3年7組の一斉合唱に感動！中学校生活最後の合唱という3年生の想いや表情がマスク越しからも良く伝わってきて、思わず喉の裏に熱いものがこみ上げてきました(教頭先生も涙がキラリ)。

SMILEの歌詞や曲想の良さを引き出す3年7組の合唱と、その姿の背後には、晴れ渡る空の景色が広がっていました。

■さんにインタビュー『今日の授業で何を学んだかな?』

合唱は、ただ声を出せば良いものではなく、体を使って表現することや、仲間と合わせる事が大切だと思った。

① 本時の目標と活動の流れを確認



② パート別で曲のイメージを色で表す



③ パート別でイメージを表現して録音する



④ 授業の最後の一斉合唱し、変容を確認する



本時の授業×音楽科の目標(中学校学習指導要領P.99)

歌詞に込められた想いを表現する活動を通して(活動を通して)、音色・強弱・速度を工夫することで(見方・考え方を働かせ)、その曲の特徴を、より深く味わいながら歌う態度を育成する(資質・能力を育成)。

1. 趣旨

島尻教育事務所指導主事等が本校における授業等の教育活動の参観を通して、本校の教育課程、学習指導、その他教育活動全般に関する専門的事項について指導・助言を行い、教職員の資質向上を図り、学校教育の充実を図ることを目的とする。

2. 日時・場所 10月11日(火)・本校各教室

3. 当日の日程 普通日課 火1～4・研究授業

一般生徒下校	13:30(給食終了 13:10・清掃なし)	
指導主事来校	13:45	校長室へ
研究授業	14:00～14:50 (50)	各教室
各教科分科会	15:00～15:40 (40)	各教室
全体会	15:50～16:20 (30)	視聴覚室

4. 当日までの流れ

企画委員会提案	7月 4日 (月)
校内研修にて提案	9月 21日 (水)
指導案検討会	9月 21日 (水)
授業者指導案提出期限	9月 30日 (金)
教科総合訪問	10月 11日 (火)

指導案提出までの流れ

- ① 授業者は、夏休みの期間を利用して指導案を作成しておく。
- ② 9月21日(水)の校内研修で、各教科に分かれて、全職員で指導案検討会を実施する。
- ③ 9月30日(金)提出〆切

・データ

N→01_校務分掌別→05_校内研修
→10_教科総合訪問→各教科

・原稿を裕己へ提出

* 当日までに指導案が変更になってもかまいませんので、提出期限までにはお願いします。

5. 役割分担

①総務	新垣裕己・山田涼子	②指導主事 会議室案内	教頭
③全体会 会場設営	2 学年	④接待準備	1 学年
⑤表示関係	3 学年	⑥一般生徒下校指導	山城祥太郎
⑦指導案集冊子	新垣裕己		

6. 当日の内容

(1) 研究授業 14:00～14:50 (50) * 14:55 予鈴

教科	教室	授業者	单元名	指導助言者
国語	2年1組	漠那 崇友	表現の仕方を31文字に思いを込めよう	副田 健太郎
数学	1年2組	平良 聖子	第4章「比例と反比例」	奥原 絵理子
英語	3年4組	前大 えり	Program 5 The Story of chocolate	宮良 幸乃
道徳	1年4組	眞座 孝弥	「公平とはなにか」～公平と不公平～	長門 照乃

(2) 分科会 15:00～15:40 (40) ○会場設営担当、◇写真係、●全体会発表者

【会順】

1. はじめの挨拶

…司会

2. 授業者の振り返り

…授業者

(5)

3. 質疑・応答・感想等

…参加者

(10)

4. 指導助言

…各教科指導主事

(20)

5. 終わりの挨拶

…司会

【会場図例】 *各教科で工夫

机を合わせてグループにする

授業者			司会
主事			記録

教科	教室	授業者	司会	記録	参加者	人数
国語	2 年 1 組	漠那 崇友	比嘉 麻希	山川 志穂	○小橋川一、◇平良直美、●當間沙織 上江洲亜里沙、濱中美己子、運天秀紀 須磨久美、比嘉唯、國吉篤男	12
数学	1 年 2 組	平良 聖子	山田 涼子	島崎 祐之	○我那覇光浩、◇新垣裕己、●池田武 中村守和、上原晶子、安谷屋知美 山城祥太郎、池間彦律、宜野座一彦	12
英語	3 年 4 組	前大 えり	田港 佳奈	翁長 佳代	○垣花美幸、◇大城みゆき、●白玉慎二 新崎公子、照屋あすか、瀬底言 小松佐知子、上原進、外間幹也 下里喜久子	13
道徳	1 年 4 組	眞座 孝弥	上地 義朗	金城 朱里	○金城久徳、◇池田晴菜、●棚原淳司 湊川梓、大城弘美、下地紗織、 山城宏介、比嘉杏美乃、友利忠、 伊志嶺周斗、長濱真実、喜納優子	15

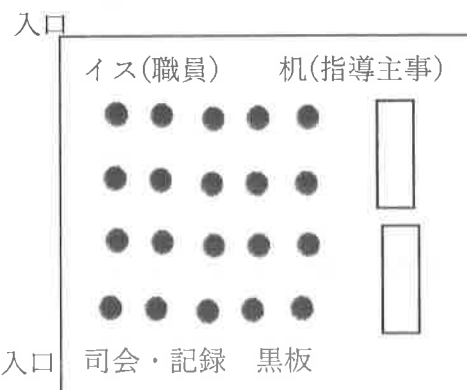
52

(3) 全体会 15:50～16:20 (30) 会議室

【会場図】 視聴覚室

【会順】 ◇司会（涼子） ◇記録（裕己）

1. はじめの挨拶 …司会
2. 各教科の振り返り …各教科の発表者 (3分×4)
3. 指導助言 …指導班長 (10分)
4. お礼の言葉 …校長：當間保 (5分)
5. 終わりの挨拶 …司会



各教科の指導案の提出、記録係(分科会の記録)、写真係(授業の写真)は、

N → 01_校務分掌別 → 05_校内研修 → 10_教科総合訪問 →各教科 に提出する。

中学校2学年国語科 学習指導案

令和4年10月11日(火)

2年1組 計34名

授業者 漢那 崇友

1 単元名 「表現の仕方を工夫して、三十一文字に想いを込めよう」

(「短歌に親しむ」「短歌を味わう」「短歌を作ろう」 国語2 光村図書)

2 単元の目標

(1) 様々な語句を使って短歌創作を行うことで、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

〔知識及び技能〕(1)エ

(2) 表現の工夫や効果を考え、自分の思いが伝わる表現になるように工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B (1) ウ

(3) 表現の効果などを確かめながら、内容が読み手に伝わる短歌を整えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B (1) エ

(4) 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B (1) オ

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）〔知識及び技能〕の（1）言葉の特徴や使い方に関する事項「エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。」と、〔思考力、判断力、表現力〕の「B 書くこと」の指導事項（1）「ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」「エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること」及び「オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと」をうけた単元学習を設定している。

短歌は、5・7・5・7・7の5句31音からなり、和歌の時代から数え1300年以上前から受け継がれてきた日本の短詩型文学である。5音と7音のリズムの中に意味だけでなく詠み手の心情を表すことができるため、短歌を創作したり鑑賞したりすることで自己や他者の心情を捉える感性を磨き、言語感覚を豊かにできると考える。本教材では単元前半の『短歌に親しむ／短歌を味わう』を通じて短歌に表された様々な言葉から多様な魅力を感じさせ、単元後半の『短歌を作ろう』を通じて自分の思いを自分の知識や経験と結びつけながら自由に表現させたい。

(2) 生徒観

学級内には、思ったことを積極的に発言する生徒や全体の場合での発言こそ消極的だが自分の考えをしっかりと持ちグループ活動で様々な意見を述べる生徒、国語に対して苦手意識が強く取り組むまでに時間がかかる生徒など様々なタイプの生徒が在籍している、そのため話し合い活動の場では話し合いを積極的に進めたり意見を出したりする生徒が固定化されており、なかなか自分の意見を言えない生徒もいる。ただ机間指導を行いながら生徒のノートやワークシートを観察すると、自分の意見をしっかりとまとめている生徒も多く見られることから、「自分の意見をどのようにまとめるか」ということよりも「自分の考えをどのように伝えるか」ということに苦手意識を持っているように見られる。

6月に実施された【県学力定着状況調査】「学びのたしかめ」では全体的に正答率が高く県平均正答率よりも高い正答率となっていた。しかし、2-(3)の「本文中の情報を整理して書くこと」を見取る設問において正答率が他の設問よりも低く、3-(2)の「古典作品の大体の内容を理解している／情報を整理して書くことができる。」を見取る設問においては正答率が0%となっており、「情報を整理して書くこと」に対する取り組みの改善が急務である。

(3) 指導観

本単元では、前半で短歌作品を鑑賞し後半で短歌作品を作成する指導を計画している。前半の鑑賞において、短歌に表現された世界を自由に想像し語感を磨き、後半の短歌作品の作成で生徒一人一人の捉え方を大事にしながらも、作り手と読み手の交流を通じて短歌に表現された一つ一つの世界観に触れ生徒の言語感覚を豊かにしていきたい。

また、生徒の中に話し合い活動が苦手な生徒もいることから、交流の行い方も工夫し読み手としての生徒一人一人の感じ方や捉え方を書き手へアドバイスとして伝え、アドバイスをもとにして書き手自身が自身の短歌作品の良い点や課題点を見つけながら更なる表現の工夫へと繋げられるように指導を行いたい。

4 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・学習をとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、一つの言葉の大切さ、お互いの豊かに気づき、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の短歌の良い点や改善点を見出している。	・粘り強く短歌の良い点や改善点を見出し、短歌を意欲的に創作しようとしている。

5 指導と評価の計画〔5時間設定〕（□記録に残す評価、◇指導に生かす評価）

時間	目標(○)、学習活動や発問(・)	評価規準・評価方法		
		知・技	思・判・表	態度
1	○短歌について理解することができる。 ・短歌の特徴を理解する。 ・鑑賞文の書き方を確認する。			◇【態度①】 ・行動観察 ・ノート分析
2	○短歌の鑑賞文を書くことができる。 ・短歌を選び鑑賞文を書く。		□【思判表①】 ・行動観察 ・ノート分析	
3	○短歌を作成することができる。 ・テーマを決め短歌を作成する。 ・簡単な解説をつける。	□【知技②】 ・行動観察 ・ワークシート		
4 本 時	○短歌を手直しすることができる。 ・他者からのアドバイスを基に短歌を手直 しする。		□【思判表②】 ・行動観察 ・ワークシート	
5	○短歌を完成させ投票しよう。 ・完成した短歌に解説文をつける。 ・短歌を出品し投票する。		◇【思判表③】 ・行動観察 ・ワークシート	

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

作成した短歌について、他者との交流や助言などを踏まえ短歌の良い点や改善点を見出しながら自
分の思いが伝わるように整えることができる

(2) 本時の評価規準

評価基準	・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の短歌の良い点や改善点を見出している。		
評価を判断する目安	(A) 十分満足できる	(B) 概ね満足できる	(C) 努力を要する生徒への支援
	他者との交流や助言で得た言葉を活用し、自分の想いに照らし合わせながら短歌を整えている。	他者との交流や助言で得た言葉を使い短歌を整えている。	他者との交流や助言で得た言葉を自身の短歌と入れ替えながら、どのようなイメージを持つか考えさせ、自身の短歌に合う言葉を選ばせる。
評価方法	ワークシート		

(3) キャリア教育「か・ふ・や・み」の視点

- ・他者の作品に進んで良い点やアドバイスを伝える。[かかわる力（人間関係形成・社会形成能力）]
- ・他者のアドバイスを受けて新たな考えを想像する。[やりぬく力（課題対応能力）]

(4) 本時の展開

	学習活動	T: 教師の発問、S: 生徒の反応	○留意点、【評価】
導入 5分	・ 本時のめあてと学習内容を確認する。	○生徒の活動がメインとなるため、アドバイスの例を提示するなど活動が停滞しないように学習内容の確認をしっかり行う。	
	めあて：他者のアドバイスを活かして、短歌を整えよう。		
展開 前半 20分	・ グループに分かれて互いの作品を読み、良い点やアドバイスを交流する。	T: 「お互いの作品を見て面白いと感じた表現や気になる表現をメモして貼っていきましょう。気になる表現についてはどのような点が気になるのかも示し、言い換えの言葉もアドバイスしましょう。」	○グループでおしゃべりにならないように留意する。 ○付箋（アドバイスメモ）配布
	○アドバイスの仕方に悩む生徒に対する支援 ・ 適切なアドバイスに悩む生徒に対しては「短歌の中の言葉を他の言葉に置き換えられないか」という視点で考えさせる。その際、単語を書き出しても良いとする。		
展開 後半 20分	・ 他者からのアドバイスを基に自身の短歌を手直しする。	T: グループ活動でもらったアドバイスを基に短歌を推敲します。アドバイスをしながらどの言葉で表現することが一番自分の想いを伝えられるかを考えましょう。	○他者からのアドバイスに目を通して推敲させる。 【本時の評価：Bの基準】 他者との交流や助言で得た言葉を使い短歌を整えている。
終末 5分	・ 振り返りシートの記入 ・ 次時2の確認	T: 振り返りシートを記入してください。振り返りの視点も忘れずに記入してください。	○「振り返りの視点」を明確にした振り返りを行う。

6 板書計画

神無月十一日 表現の仕方を工夫して、三十一文字に想いを込めよう 「短歌を作ろう」 めあて 他者のアドバイスを活かして、短歌を整えよう。 今日の活動 ①グループに分かれて、互いの作品の良い点やアドバイスを交流する。②分 ②アドバイスを基に自身の短歌を手直しする。②分 ③振り返りシート記入⑤分
--

数学科 学習指導案

令和4年10月11日(火)

1年2組 計33名

授業者 平良 聖子

1 単元名 一次方程式

2 単元の目標

- (1) 一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 【知識・技能】
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。 【思考力・判断力・表現力】
- (3) 一元一次方程式について、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領の「A(3)一元一次方程式」に以下のように位置づけられている。

A(3)一元一次方程式

- (3)一元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (7) 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。
 - (i) 簡単な一元一次方程式を解くこと。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (7) 等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。
 - (i) 一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。
- (4)内容の「A 数と式」の(3)のアの(i)とイの(i)に関連して、簡単な比例式を解くことを取り扱うものとする。

生徒は小学校において、文字を用いて数量の間の関係を表したり、逆数の考えを用いて□や○を使った式の空欄にあてはまる数を求めたりすることを学んでいる。本単元ではこうした学習を基に、方程式や解の意味を理解することや、等式の性質を用いて式を変形し、解を根拠に基づいた形式的な処理方法で求めることを学習する。また、身の回りの問題を数量関係を捉えて方程式を用いて解決することにより、方程式の必要性やよさを実感することができる。

本単元の学びは、第2学年で学ぶ「連立二元一次方程式」や第3学年で学ぶ「二次方程式」の基本になることだけでなく、関数や図形の領域においても条件を満たす値を求める際に用いられるなど様々な学習の素地になることから、今後の数学を学習する上で非常に大切な単元である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、発問への反応がよく意欲的に授業に参加する生徒が多い。一方で前単元「文字と式」の単元テストの結果から、簡単な一次式の計算は約30%の生徒につまずきがあると分かった。文

字の項と数の項を加えるなどの処理方法の間違いや、文字式のきまりが定着していない生徒がいる。これらのことに留意し、授業では既習事項をその都度確認しながら方程式がスムーズに解けるように丁寧に指導していく必要がある。

(3) 指導観

方程式は形式的に解を求めることができ、自分で検算もできることから生徒にとっては取り組みやすい単元である。しかし、解き方を教師主導で教え込むのではなく、生徒がことばの式や表、線分図で考えたことと方程式での解き方を関連させながら指導をしていきたい。また、式の形式的な処理ができるだけでは文章題を解くことは難しい。常に方程式の中の文字が何を表すのか、数量関係はどうなっているかを考えさせたい。また、自力解決だけでなくペア学習やグループ学習を取り入れることで、全生徒が課題に取り組めるよう、自分の考えを伝え合う場面を設定し意味理解が十分にできるように工夫する。現実世界の中の事象を数学的に表すことで形式的に処理ができ、その解が現実世界の答えになっていることから方程式の良さを実感させ、問題解決に方程式を活用しようという意欲的な態度を養っていきたい。

4 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①方程式の必要性和意味を理解している。 ②方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 ③等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ④移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 ⑤簡単な一次方程式、比例式を解くことができる。 ⑥事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 ⑦一次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。	①等式の性質をもとにして、一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ②方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。 ③具体的な場面の問題において、一次方程式を活用し、問題を解決することができる。 ④具体的な場面の問題において、解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。	①方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ②方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

5 指導と評価の計画（□記録に残す評価、◇指導に生かす評価）

時間	目標(○)、学習活動や発問(・)	評価規準・評価方法		
		知・技	思・判・表	態度
1	○求めたい数量がある問題を、既習の内容を解活用して解決することを通して、方程式の必要性を理解する。 ・集めた紙パックが何枚あるかを、紙パックの回収について分かったことから、式や図を使って求める。	◇【知①】 ・行動観察 ・ノート分析		◇【態①】 ・行動観察 ・ノート分析
2	○方程式とその解の意味を理解し、文字に値を代入して方程式の解を求めることができる。	◇【知②】		◇【態①】

	・方程式とその解の意味を知る。 ・方程式の中の文字に値を代入して、解であるかどうかを確かめる。	・ノート分析		・行動観察 ・振り返りシート
3	○等式の性質を使って、方程式を解くことができる。 ・方程式を解く方法を、てんびんの操作と結び付けて考える。 ・等式の性質を使って方程式を解く。	◇【知③】 ・行動観察	◇【思①】 ・行動観察 ・振り返りシート	
4	○移項の意味を理解し、移項の考えを使って方程式を解くことができる。 ・等式の性質を使って方程式を解く過程を振り返って、移項の考えを見いだす。 ・移項の考えを使って方程式を解く。 ・移項の考えを使って方程式を解く手順を確認する。	◇【知④】 ・行動観察	◇【思②】 ・行動観察 ・振り返りシート	
5	○かっこをふくむ方程式や、係数に小数をふくむ方程式を解くことができる。 ・かっこをふくむ方程式を解く。 ・係数に小数をふくむ方程式を解く。	◇【知⑤】 ・ノート分析		
6	○係数に分数をふくむ方程式を解くことができる。また、1次方程式を解く手順を理解する。 ・係数に分数をふくむ方程式を解く。 ・1次方程式を解く手順を確認する。	◇【知⑤】 ・ノート分析		
7	○基本の問題（教科書 p.100）を解く。 ・小単元で学習したことがどの程度身についているかを自己評価できるようにする。	□【知②③④】 ・小テスト		◇【態②】 ・振り返りシート
8	○具体的な問題を、方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 ・合唱コンクールの交代時間を求める問題を方程式を利用して解く。 ・算数で学んだことと比較することなどを通して、方程式を活用して問題を解決する方法を理解する。	◇【知①】 ・行動観察 ・ノート分析		
9	○個数と代金に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。 ・求めるものを文字で表し数量の間の関係を見つけて方程式を作って問題に適している解を求める方法を理解する。	◇【知⑥】 ・行動観察	◇【思③】 ・行動観察 ・ノート分析	
10	○過不足に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。 ・数量を図や表に整理して、過不足に関する問題を方程式を利用して解く。	◇【知⑥】 ・行動観察	◇【思③】 ・行動観察 ・ノート分析	
11	○速さ・時間・道のりに関する問題を、方程式を利用して解決することができる。また、求めた解が問題に適しているかどうかを考え、説明することができる。 ・表に表して等しい関係にある数量に着目し、方程式を利用して速さ・時間・道のりに関する問題を解く。	◇【知⑥】 ・行動観察	□【思③】 ・行動観察 ・ノート分析	
12	○比例式の性質を理解し、その性質を利用して文字の値を求めたり、具体的な問題を解決したりすることができる。 ・比例式を理解し、比例式の解き方を考える。 ・振り返りシートにわかったことや疑問、問題解決に有効であった方法などを記述することを通して、学習の成果を実感できるようにする。	◇【知⑤】 ・行動観察		□【態②③】 ・ノート分析 ・振り返りシート

13 ★ 本 時	○写真を等間隔で貼る問題を方程式を利用して解決することができる。 ・既習事項を利用して具体的な問題を方程式を作って解決する。		☐ 【思③④】 ・行動観察 ・ノート分析	◇【態②】 ・行動観察 ・ノート分析
14	基本の問題（教科書 p109） ・小単元で学習したことがどの程度身についているかを自己評価できるようにする。	☐ 【知⑤】 ・ノート分析	☐ 【思③】 ・ノート分析	
15	単元テスト	☐ 【知①～⑦】 ・単元テスト	☐ 【思①～④】 ・単元テスト	

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

具体的な事象の中から数量の関係をとらえ、一次方程式を作って問題を解決することができる。

(2) 本時の評価規準

○方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

○具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。

【思考力・判断力・表現力】

(3) キャリア教育「か・ふ・や・み」の視点

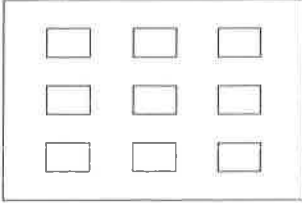
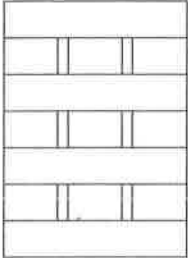
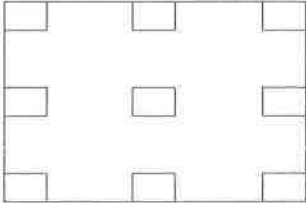
【かかわる力】

写真を等間隔で貼る方法を一次方程式を利用して、他者と協同しながら問題を解決する

【やりぬく力】

問題を解決する過程において、あきらめず最後まで粘り強くやるぬく力を育てる。

(4) 本時の展開

	学習活動	T：教師の発問、S：生徒の反応	○留意点、【評価】
導 入 10 分	1. 問題をつかむ 【予想される生徒の反応】 	T：学級の写真を色画用紙に掲示したい。どのように貼ったらきれいに見えるか。 S：間隔を等しくすればよい。 T：どのような貼り方があるか。 ○何名かの生徒に前に出て写真を並べさせる。 	○実物を用意してイメージしやすくする。 

6 板書計画

めあて 写真と写真の間の長さを求めよう。

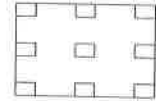
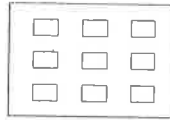
課題

四つ切り色画用紙(393mm×542mm)に学級の写真
(L版 89mm×127mm)を以下の条件で9枚貼ります。

- ・色画用紙の向きは指定しない。
 - ・写真の向きは9枚すべて同じ向き。
 - ・写真と写真の間隔は縦も横もそれぞれ等しくする
(色画用紙の端からの間隔も等しくする)
 - ・端の写真は色画用紙の端にくっついていてもよい。
- ①縦の間隔, ②横の間隔をそれぞれ何 mm にすればよいでしょうか。

見通し

- ・間隔の長さを文字でおく
- ・方程式をつくる (2つ)



ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

ホワイト
ボード

まとめ 間隔の長さを文字で表し、縦と横それぞれの方程式を利用して間隔を求めることで、写真を等間隔に並べることができる。

第3学年 外国語科学習指導案

令和4年10月11日(火)5校時
南風原町立南風原中学校 3年4組
男子17名 女子15名 計34名
授業者 前大 えり (T1)
Joel Litsey (T2)

1 単元名 Program5 The Story of Chocolate (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元の目標

- (1)「関係代名詞 who の主格」「関係代名詞 which 主格」「関係代名詞 that 主格」を用いた文の構造を理解するとともに、それらを用いて人やものを相手に詳しく伝えたりすることができる。

【知識・技能】

- (2)ホームページに英語版の学校紹介を加えるために、南風原中の良さが伝わるようなまとまりのある文章を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学生の健たちがグループ発表の題材にチョコレートを選び、チョコレートの歴史やフェアトレードなどについて発表する場面設定である。今では世界中に愛され、消費されているチョコレートであるが、その原料となるカカオ農園では、子どもも含めて労働者は低賃金で過酷な労働を強いられている事実には健たちは気づく。身近な食べ物の発達過程を知るとともに、その背景に原料となるカカオ栽培で搾取されてきた人々の存在に目を向け、彼らの生活を向上について考える機会を与える題材となっている。そこで本単元をSDGsの目標「1.貧困をなくそう」を視点に、国際社会の問題を多面的に理解し、私たちができることについて考えを深める場面を設定する。

また、本単元では言語材料として関係代名詞のうち、主格を扱う。前単元で学習した後置修飾とは異なり、主語・述語を備えた節である。この学習により、人や物についてさらに詳しく説明することができるようになり、自分の住む地域や行事、学校について発信する際に表現の幅を大きく広げることができる。単元目標の達成に向けて、コミュニケーションの資質・能力の育成を意識し、毎時間複数の領域を統合した言語活動を取り入れていく。

(2) 生徒観

前単元において生徒は、分詞による後置修飾を学習し、名詞の後に分詞節を置くことによって、その名詞を詳しく説明することを学んできた。定期テストにおいて、後置修飾を用いた知識・技能を問う設問への正答率が高いものの、思考力・判断力・表現力を問う Writing の正答率は62%であった。授業で聞いたり、話したりする活動から書くことへスムーズにつなげられる生徒も、定期テストなどにおいて、目的・場面に応じて、既習事項からどの表現が適切であるかを生徒が選び取って書くことに対しては課題がある。そこで、誰に向かって、何のために書くのか、目的・場面・状況をしっかり設定した言語活動を繰り返し取り入れることで、単元を通じて「書くこと」の表現の幅を広げたい。

(3) 指導観

本単元では、中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説外国語編では「(5)書くこと」の領域に関連する内容を取り扱い、「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」ことを目標とする。

そこで、「書くこと」の領域において新出表現の導入時に、ペアやグループで「聞いたり、読んだりして理解した内容」について情報を整理し、別の誰かに知らせる目的で「話したり、書いたりして伝える活動」を行わせるなど、4 技能を統合的に活用したコミュニケーション活動を工夫する。また指導に当たっては、「まとまりのある文章を書く」ために必要な人物、場所、活動などを描写する基本的な語彙や表現に親しむ機会を「聞くこと」、「話すこと」の活動を通して多く与え、それらを「書くこと」の活動につなげていきたい。

単元末ではパフォーマンス課題に向けて、Power-Up「ホームページで学校を紹介しよう」の単元につなげ、内容をより適切にまとまりよく書くための工夫についても、指導していきたい。

本校では、CAN-DO リストを活用し、その単元で身につけたい力を明確にして授業を進めている。学習指導要領外国語科の目標にある「簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること」を踏まえ、本講においては「書くこと」における CAN-DO リストの学習到達目標を以下のように設定した。

〈書くこと〉

卒業時	○日常的な話題や社会的な話題に対して、自分の考えや気持ちなどを整理して書くことができる。
本校の各学年学習到達度目標 ※一部抜粋	
3 学年	○身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを入れて 6 文以上のまとまりのある英文を書くことができる。 ○自分の考えや気持ちなどを読み手に正しく伝わるように文と文のつながりや構成に注意して英文を書くことができる。
2 学年	○身近なテーマについて文のつながりや構成を工夫して、5 文程度のまとまりのある英文を書くことができる。
1 学年	○英文の書き方やルールを理解し、自分自身や身近な人や物について 4～5 文程度の英文を書くことができる。

また、学習の中で生徒が「外国語によるコミュニケーションの見方・考え方」を働かせるよう、以下のように活動を工夫する。

外国語によるコミュニケーションの見方・考え方
「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」

- ① 「書くこと」の目的を明確にした場面や状況を設定し、コミュニケーションの必然性を生み出すことで、生徒の学習への意欲を高める。
- ② 目的や場面、状況などに応じて既習事項の中から適切な言語材料を探し、それを適切に運用するために、友達とのやり取りから学んだり、自らの表現等を確認して考えを整理したりする時間を確保する。

4 単元の評価規準(書くこと)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	【知識】関係代名詞の主格 (who, which, that) を用いた文の構造を理解している。 【技能】学校行事や部活動等について、関係代名詞などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身につけている。	学校の HP に英語の紹介を加えるために、学校行事や部活動などについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	学校の HP に英語の紹介を加えるために、学校行事や部活動などについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。
評価方法	・パフォーマンス課題(単元末) ・定期テスト	・パフォーマンス課題(単元末) ・定期テスト	・パフォーマンス課題(単元末) ・定期テスト

5 単元の指導と評価の計画 (全9時間)

時	ねらい(■) / 主な言語活動(数字) / SDGsの視点(アイコン)	知	思	態	備考
0	■単元で身に付けたい力や単元目標を理解する。 ホームページに英語版の学校紹介を加えるために、南風原中の良さが伝わるようなまとまりのある文章を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 単元目標に対する自己目標と目標達成の工夫を記入する。				
1 本時	■新しい南風原中の先生を、情報や考えを整理しながら Joel 先生に紹介することができる。 ① Small Talk 「Teachers in Haeburu J.H.S」 ② やりとりを通して関係代名詞 who の用法を理解する。 ③ 本時のめあてを確認する。 ④ カードに書かれた先生の情報をもとに、ペアで伝え合う。 ⑤ Joel 先生に新しい南風原中の先生を紹介するために、情報を整理しながら書く。 ⑥ まとめと振り返り				
2	■沖縄のおすすめする場所を、情報や考えを整理しながら Joel 先生の家族に紹介することができる。 ① 帯活動 (1min talk) 「Teachers in Haeburu J.H.S」 ② Small Talk 「Where in Okinawa do you recommend?」 ③ 本時のめあてを確認する。 ④ やりとりを通して関係代名詞 which の用法を理解する。 ⑤ 紹介したい沖縄の有名な場所をワークシートから選び、ペアに伝える ⑥ Joel 先生の家族に紹介したい沖縄の有名な場所について書いてまとめる。 ⑦ まとめと振り返り				
3	■ある人物やものなどを想定した three hints quiz を作ることができる。 ① 帯活動 (1min talk) 「Where in Okinawa do you recommend?」 ② Scenes 3 のマンガで関係代名詞 that の用法を確認する。 ③ 本時のめあてを確認する。 ④ Three hints quiz をグループでつくる。 ⑤ メンバーを変えて、グループで three hints quiz をする。 ⑥ まとめと振り返り				
4	■チョコレートの歴史についてわかったことを伝え合おう①。 ① New words ② 本時のめあてを確認する。 ③ Scenes 1 のマンガで関係代名詞 who の用法を復習する。				

記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。

	④ Think 1 の本文を読み、Q&A に答える。 ⑤ チョコレートの歴史について、キーワードを用いてペアに伝える。 ⑥ まとめと振り返り				
5	■チョコレートの歴史についてわかったことを伝え合おう②。 ① New words ② 本時のめあてを確認する。 ③ Scenes 2 のマンガで関係代名詞 which の用法を復習する。 ④ Think 2 の本文を読み、Q&A に答える。 ⑤ チョコレートの歴史について、キーワードを用いてペアに伝える。 ⑥ まとめと振り返り				
6	■フェアトレード商品について知り、考えたことを伝え合おう。 ① New words ② 本時のめあてを確認する。 ③ Scenes 3 のマンガで関係代名詞 that の用法を復習する。 ④ Think 3 の本文を読み、Q&A に答える。 ⑤ フェアトレード商品の写真を見て、興味を持ったものと理由をペアに伝える。 ⑥ まとめと振り返り				
7	■他校の生徒が作った学校紹介の HP を見て、紹介文作成のコツを探してみよう。 ① Power-Up3 「ホームページで学校を紹介しよう」の例を見て内容を分析する。 ② 「学校行事」と「部活動等」を紹介するグループに分かれ、構成を考える。 ③ 考えを整理しながら、まとまりのある紹介文を書く（下書き）。 ④ まとめと振り返り				
8	■ホームページに英語版の学校紹介を加えるために、南風原中の良さが伝わるようなまとまりのある文章を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ① 帯活動（1min talk）「What school event do you like?」 ② 本時のめあてを確認する。 ③ Google スライドに HP 掲載用の紹介文を作成する。 ④ まとめと振り返り		○	○	○
9	■英語版の学校紹介を鑑賞し、HP に掲載する学級代表を選ぼう！ ① 本時のめあてを確認する。 ② 各グループの英語版学校紹介をタブレット端末で鑑賞し、評価する。 ③ 学級代表グループの作品の良い点と改善点を指摘しあう。 ④ アドバイスをもとに紹介文を完成させる。 ⑤ ノートブックの確認問題 ⑥ 自己目標の達成状況や、単元を通して身についた力を振り返る。			○	

パフォーマンス課題

パフォーマンス課題

6 単元末におけるパフォーマンス課題とそのルーブリック

(1) 内容

ホームページに英語版の学校紹介を加えるために、南風原中の良さが伝わるようなまとまりのある文章を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

(2) 準備する課題

Google スライドと紹介に必要な写真をタブレット端末に配布する。

(3) 「書くこと」の評価規準

グループで1つの作品に仕上げるが、それぞれが担当した紹介文を個別に評価する。

条件1：5文以上のまとまりのある文章で書いている。

条件2：関係代名詞を用いて紹介することができる。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
a	文脈に応じて関係代名詞を正しく使用し、5文以上の誤りのない正しい英文で書くことができる。	学校行事や部活動などについて簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えを入れながらまとまりのある文章を書いている。	学校行事や部活動などについて簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えを入れながらまとまりのある文章を書こうとしている。
b	誤りが一部あるが、文脈に応じて関係代名詞を使用し、5文以上の英文を書くことができる。	学校行事や部活動などについて簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。	学校行事や部活動などについて簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

(4) 生徒の記入例（「思考力・判断力・表現力」の観点aの基準の例）

I'm going to introduce one of my favorite school events. We have a chorus contest in October. We practice hard for the contest. On that day, we enjoyed singing together. 3-5 is the class that got the gold medal this year.

「思考・判断・表現」aの基準例

bの基準に加えて、自分の考えを述べたりしている。

7 本時の目標（期待する生徒の姿）

今年度赴任した南風原中の先生を Joel 先生に紹介するために、選んだ先生の情報や自分の考えを整理しながら、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

8 本時の展開（第1時）

過程	学習活動	教師の支援・指導上の留意点 ◇評価（方法）
導入 10分	1 Greeting 2 Small talk 「Teachers in Haeburu J.H.S.」。 4 目的・状況・場面を提示、めあての確認 （目的・状況・場面）今年度赴任した南風原中の先生を Joel 先生に紹介するために、先生の情報や自分の考えを整理しながら書いてみよう。 めあて「新しい南風原中の先生を、情報や考えを整理しながら Joel 先生に紹介することができる」	既習事項を振り返る。
	5 関係代名詞 Who の文構造の確認 ① ALT と JTE の対話を聞き、関係代名詞 who を含む英文の意味や働きを推測する。 ② 気づいたことをペアで話し合う。 ③ ある先生について生徒が知っている情報を聞きだし、ALT のあとについて関係代名詞 who を使って	キーセンテンスは板書する。 関係代名詞を用いることで、言いたいことが整理されることに気付かせる。

	表現する。	
展開 34分	6 Practice ① 先生についてメモが書かれたカードを配る。 ② ペアに伝える前に個人で考える。 ③ メモを参考にペアに先生を紹介する。 ④ 代表の生徒が発表→ミドルコメント(表現の確認) ⑤ ペアを替えて紹介する。 7 Writing ① 紹介する先生について情報を整理しながら紹介文を書く。 ② 紹介文をペアで読み合い、気づいたことを伝え合う。 ③ ペアでの気づきをもとに文章の手直しをする。	◇活動の観察(指導に生かす評価) 聞き手は Joel 先生になりきってやりとりを行う。 良い表現は全体で共有する。 ◇ワークシート(指導に生かす評価) 必要に応じて全体に指導を行う。 ※支援を要する生徒への手立て 板書された表現を参考に、書く活動の支援を図る。
まとめ 6分	8 本時のまとめ・振り返り ① 代表者が ALT に先生を紹介する。 ② 本時を振り返って自己評価シートに記入する。	振り返りの視点を与える。 ※関係代名詞 who を用いることができるようになったこと。 ※紹介文を書く際に、工夫したこと。

9 板書計画

Tuesday, October 11th

単元目標

HP に英語版の学校紹介を加えるために、南風原中の良さが伝わるようなまとまりのある文章を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

Today's Goal

新しい南風原中の先生を、情報や考えを整理しながら Joel 先生に紹介することができる。

参考になる表現などを板書する

Ms. Toma is a teacher. She teaches Japanese.

Ms. Toma is a teacher who teaches Japanese.

人

道徳学習指導案

令和4年10月11日(火)

1年4組 計34名

授業者 眞座 孝弥

1 主題名 「公平とは何か」(C 公正、公平、社会主義)

2 教材名 「公平と不公平」 出典(中学道徳 あすを生きる1)

3 ねらい

様々な場面から公平性を保つための判断基準を持つ大切さについて考える活動を通して、公平さをズルいと思う自分の弱さに気づき、差別や偏見のない社会を築こうとする態度を育てる。

4 主題設定理由

(1) ねらいとする道徳的価値

公平とは、「偏ることなくすべてを同等に扱うこと。」である。しかし、すべてをただ同じように扱うことだけが正しく公平であるのではなく、時にはその場の状況や相手の立場を考慮し、公正に判断を下さなければならない。そして、好き嫌いの感情はあってもそれにとらわれず、誰に対しても分け隔てなく公平に接し続けようとするのが大切である。さらには、「公平か、不公平か」と決めることだけにとどまらず、それらを判断する時には何が根拠となるのかということにまで考えを深めさせることが重要である。生徒には、それが差別や偏見のない社会にしたいという思いにつながることを実感させ、適切な行為を主体的に判断し、実践しようとする意欲や態度の育成につなげていく。

(2) 生徒の実態(生徒観)

公平に接するためには、偏ったものの見方や考え方を避け、自分と同様に他者も尊重し、誰に対しても分け隔てなく接し続けることが大事である。中学校に入学して間もない時期には、自己中心的な考え方や偏った見方をしまい、他者に対して不公平な態度をとる場合がある。また学年が上がるにつれ、社会の在り方についても目を向け始め、現実の社会における矛盾や葛藤、さらに、差別や偏見といった社会的な問題も見出すこともある。その場合でも、どのような問題があるか考え、その解決に向けて協働して話し合うことが求められる。

(3) 資料観

本教材は、3つの事例から構成されている。事例1は「年齢の違いによってお年玉をもらう金額が違ふこと」、事例2は「コンサート会場に入場する際、車いすの人は優先的に入場できること」、事例3は「字が上手だからという理由で学級の班活動でのまとめを一人で行うこと」である。これらの事例は身近で起こりやすいため、考えやすい。これらの事例を通して、何に基づいてどのように判断すれば公平なのか、また相手の立場に立って物事を考えるということの大切さに気付かせ、ねらいに迫っていくこととする。

5 本時の指導

(1) 授業の工夫

事例A・B・Cそれぞれの場面で、グループで話し合い、最終的に学級全体で意見を共有する。その活動を通して、多面的・多角的に考え公平性を保つための判断基準や、差別や偏見のない集団づくりを行う能力を養う。(キャリア教育の視点：かかわる力の育成)

(2) 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応 ○発問 ◎中心発問 補補助発問 問問い返し	指導上の留意点 発問の意図
導入 5分	1. 公平や不公平を感じるのはどんなときか考える。	○あなたが普段の生活で「公平」または「不公平」だと感じることを教えてください。(いくつか挙げさせた後、アンケート結果を確認する。) ○「公平」って何だろう？ ・「平等」であること ・誰かが損をしないこと 問「公平と「平等」って同じかな？	・事前アンケートを実施し、結果を公表する。【電子黒板】 ・ここでは深く追求しない。
展開 35分	2. 教材の確認 3. 個人の意見を書く 4. グループ全体交流 5. 全グループの意見を共有する 6. 公平・不公平の判断基準を持つことの大切さに気付く	○次の3つの事例について「公平」「不公平」を考えてみよう。(個人) ○3つの事例についてグループで考えてみよう。 ※グループジャムボードを用いてグループの意見をリアルタイムで電子黒板に表示する。 【年齢の違いでお年玉の額が違うこと】 ・同じお年玉なのに額に差があるのは不公平だ。 ・その歳になれば増やしてもらえたら納得。 補自分が妹の立場だったら？(公平派) おじいさんはなぜ差をつけたのか(不公平派) ○ジャムボードに表示されたグループの意見を紹介しながら、「公平」「不公平」について考えてみましょう。 ◎公平・不公平を判断するときに大切にしなければならないことはどんなことだろう？ ・年齢による違い ・障害があるかないか ・その人の置かれている状況や立場 ・その人が納得しているかどうか。 補「公平」と「平等」の違いって何だろう？	・事例についてそれが公平かどうか、その判断の理由と併せて考えさせる。 ・話し合いの際は、グループ内で意見が偏らないよう、多面的・多角的に考えるためのアドバイスを する。 ・公平にするためには、相手の立場や状況をよく理解していくことが大切であることをとらえさせる。
終末 10分	7. 今日の学習の振り返り、自分の考えをまとめる。	・「公平」と「平等」とは同じことだと思っていたけど、能力や適性などを考えることがほんとうの「公平」であるということが分かった。 ・「不公平」だと感じる時、色々な視点で総合的に考えられるようになりたい。	・自分の日常生活を想起しながら考えさせる。

6 評価

【物事を多面的・多角的にかんがえている様子】

- ・公平かどうかを考える際に、それぞれの立場の思いをくみ取った上で判断している。

【道徳的価値についての理解を自分とのかかわりで深めている様子】

- ・同じ集団の中で、一部の人だけが不利な状況になることは不公平であり、その集団の全員で、差別や偏見のない社会の実現を目指していくことの大切さを自分との関りで考えている。

7 事後指導

朝の会などで、新聞やネットニュースから不公平を感じる事例を取り上げ、身近な問題としてとらえて話合わせる。また、日々の学校生活では授業でのグループ活動・係活動・委員会活動と、集団で取り組む活動が多い。本時で学んだことを活かして他者との好ましい関係づくりを図れるように指導する。

8 板書計画

「公平」と「不公平」
「公平」ってなんだろう
・平等なこと。
・誰も不満が出ないこと、誰かが損をしないこと



シーン③ シーン② シーン①

「あつても良い違い」
個性、能力、立場、年齢、状況
「あつてはならない違い」
人権、不平等

青「公平」赤「不公平」の付箋紙
でジャムボードに貼ろう！

公平や不公平を感じるのはどんな時

- ・小遣いが少ない
- ・おさがりが多い

年齢によるお年玉の違い

- ・年齢によって必要な額が違う
- ・妹から見たら不公平

車いすの優先入場

- ・安全のためだから仕方ない
- ・困っているから優先すべき

ひとりでまとめる

- ・話し合いで決めたほうがいい
- ・他の人は別の仕事をするならいい

電子黒板で確認

生徒も先生も学び合い、共に成長する南風原を目指して！

10月11日(火)島尻教育事務所指導主事の先生方を招聘して「教科総合訪問」が開催されました。

本研修の目的は、「私たち教職員の授業改善を通して、本校生徒の資質・能力の向上を目指す」ことです。普段、あまり関わることのない他学年生徒の様子や他教科の取組、他者の授業を「俯瞰の目」で見ること、これまでの教師の指導スタイルと変化していく生徒の学習スタイルを、「コラボレーション&アップデートする」絶好の機会となりました。授業を公開された先生方が、普段の授業に+αの工夫をなされていたことで、生徒はいつも通り生き活きと学び、私たちにとっても「すぐに実践したくなる授業」となりました。

代表授業をされた先生方、協力していただいた代表生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

国語科 漢那 崇友 先生(2年1組)	分科会記録(抜粋) 全体会発表者：當間 沙織 先生
	主題「表現の仕方を三十一文字に思いを込めよう」 生徒の表現力が問われる課題だったが、机間指導で漢那先生がていねいに声をかけることで、粘り強く表現しようとする生徒の姿が見られた。副田主事からは、何のために国語を学ぶのか、国語を学ぶ意義について指導助言をいただいた。 
数学科 平良 聖子 先生(1年2組)	分科会記録(抜粋) 全体会発表者：池田 武 先生
	主題「クラスの思い出の写真をバランス良く掲示しよう～方程式の利用～」 身近な問題を取り上げること、生徒が問題を自分事として捉え、主体的に問題解決に挑む姿が見られた。奥原主事より、図形の問いでもあるので、図を描かせる手立てがあると、生徒の思考が働きやすく、苦手な子への手立てとなるだろうと助言をいただいた。 
英語科 前大 えり先生(3年4組)	分科会記録(抜粋) 全体会発表者：白玉 慎二 先生
	主題「本校に赴任した先生を、英語を使って紹介しよう！」 単元目標を生徒と共有し、その目標を達成するために、本時の授業が計画されていた。また、本時で学んだ関係代名詞 who を活用する場面を設定する工夫がなされており、一生懸命英語で伝え合う姿が見られた(ペア学習)。TT(ジョー先生)との連携も Good! 

道徳 眞座 孝弥 先生（1年4組）	分科会記録(抜粋) 全体会発表者：棚原 淳司 先生
	主題「公平と不公平」 1年4組さんの雰囲気がとても良く、グループ活動では男女分け隔てなく、互いに遠慮せず活発な話し合い活動が行われていた。ジャムボードを使うことで、生徒の考えを見える化する工夫がなされており、公平・不公平への理解を深めていた。 

全体会 指導助言	島尻教育事務所 指導班長 足立 克枝 先生
	良い学校の共通点は2つあると思います。それは、「授業改善」、「子どもとの信頼関係づくり」です。授業改善については、「人に授業を見せること、人の授業を見ること」を、全先生方が教科関係なく授業を見せ合い、ベクトルを一つにそろえることが重要です。ぜひ、生徒の声に耳をかたむけ、教師集団がチームとして機能できるように、校長先生・教頭先生がリードして魅力ある学校づくりをお願いします。また、コロナにより学力の二極化が浮き彫りになりました。これから先、いつ自然災害や人的災害が起こるか分からない、予測困難な時代に突入しています。そこで大切になってくるのが「生徒の自学自習力を育てる取組」です。ぜひ子どもの柔軟な発想を大切に、その言葉を拾って、主体的に学ぶ生徒を育ててほしいと願っています。

お礼の言葉	本校校長 當間 保
	島尻教育事務所の先生方、本日は貴重なご助言をありがとうございました。また、本日、ここにいる皆さんを代表して授業を実践してくれた4人の先生方、本当にありがとうございました。先日の校内研修でも、教科の壁を越えて、他教科の先生方も一緒になって、皆さんが自分事のように指導案検討する姿が見られたおかげで、今日の本番も充実した研修になりました。これからも、学び続ける生徒の育成、生徒がもっと学びたい、勉強って面白いと思う支援を充実させ、私たち自身が学び続ける姿勢を大切に、子どもたちのために頑張っていきましょう。

下記の表は、中間テストの平均点一覧となります(実施日:9月27日・28日)。期末テストに向けて(11月22日～)、「何ができていて(成果)、どこに弱点があるのか(改善点)」を分析し、生徒の学習改善や私たちの授業改善につなげていきたいです。教科会で下記の留意点を基に整合性を図ることも大切かもしれません。

	国語	社会	数学	理科	英語	学年
1年生	72.3	51.6	58.5	55.1	66.1	309.3
2年生	72.5	61.8	53.6	57.1	47.0	292.6
3年生	71.2	70.5	54.3	75.7	69.0	344.1
教科	72.0	61.3	55.4	62.6	60.7	315.3

- ・問題の質と量は、学習指導要領の評価規準に則って作成されているか？
- ・各観点(知・技、思・判・表)の調和はとれているか？
- ・思・判・表を問う、「記述式問題」があるか？
(すべての生徒がOutputする場面の設定)

図1 2学期 中間テスト5教科の平均点 と テスト作成時の留意点

沖縄復帰 50 周年特設授業を、全学級一斉に実施しました！

5月9日(月)1校時、沖縄県復帰50周年事業の一環として、「復帰前後の沖縄の歴史を学ぼう」をテーマに、全学級一斉に特設授業を実施しました。前教頭内山直美先生の教材を基に、社会科の照屋あすか先生(復帰ッ子)が授業づくりをリード、先生方が生徒役になって実際の授業を体験する校内研修(4月)を通して、本時の授業を迎えました。

生徒は、1972年5月15日、沖縄がアメリカ軍の支配から日本に返還されたことや、現代とは異なる50年前の復帰前後の写真から、当時の沖縄を学んでいました。

今回の特設授業のように、1つの授業を全職員で共有し、創り上げる組織的な授業改善が、「教科の壁」を乗り越え、本県の中学校期における学力課題への改善につながることを期待されています(沖縄県学力向上推進フォーラムより)。

あすか先生をはじめ、特設授業を実践された学級担任の先生方、ありがとうございました。



図1 5月15日は何の日? 1年8組(上)、3組(下)

生徒インタビュー『今日の授業で何を学ぶことができましたか?』(3年6組1さん)

私は県外出身なので、沖縄が50年前にアメリカの統治下であったことや、写真を介して、当時の人々の感情や生き方を連想することができてよかった。沖縄の伝統芸能が好きなので、これからも引き継がれてほしい。



図2 資料1(車は右から左へ1978/7/30)

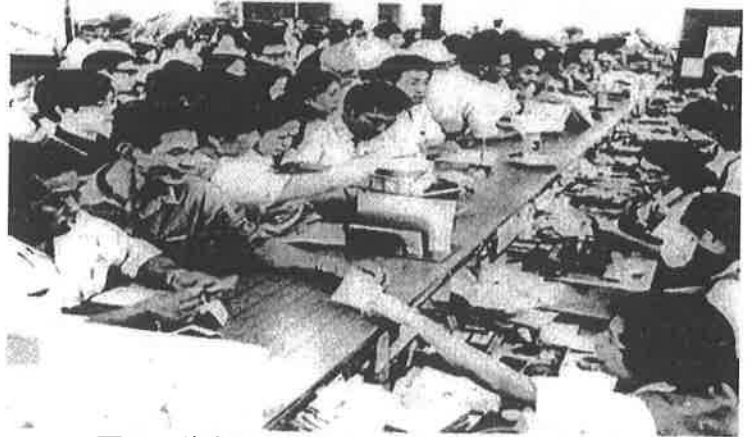


図3 資料2(ドルから円へ、忙しい銀行)



図4 各班で、資料の写真を見て気づいたことをフォトランゲージに書き込み、全体発表する(3年8組・NHK取材)

生徒の皆さん、タブレットを活用した授業をお楽しみに！

5月16日(月)、江谷一先生(県庁義務教育課主任指導主事)、屋宜勝(同課指導主事)を招聘し、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けたタブレットの活用」をテーマに、校内研修(先生方の勉強会)を実施しました。本研修のねらいは、学校にあるICT環境を活用し、生徒の学び方と、教師の働き方を変革する「沖縄教育DX」を推進することを目的としています。一人1台タブレットが、全校生徒830人830通りの学びを保障するツールとなり、生徒の学びをファシリテートする令和の日本型教育「個別最適な学び・協働的な学び」の実現に向けて、先生方も勉強会を開き、奮闘しています！生徒の皆さん、タブレットを使った授業をお楽しみに！



図1 先生方がタブレットを活用した授業を体験

先生インタビュー『今日の研修はどうでしたか？何を学ぶことができましたか？』

(池田晴菜先生：社会科)【協働的な学び】

他学年の先生方と交流し、他教科の先生のICT活用の取組が共有できたので刺激を受けた。積極的に使いたい！

(金城久徳先生：体育科)【個別最適な学び】

生徒がタブレットを使って予習し(家庭学習)、お手本となる実技動画を視聴して授業に臨むことで、実技の時間を多く確保でき、生徒は自分の能力に応じた学びが実現できることがわかった。チャレンジしてみたい！



授業観の変革・授業改善を

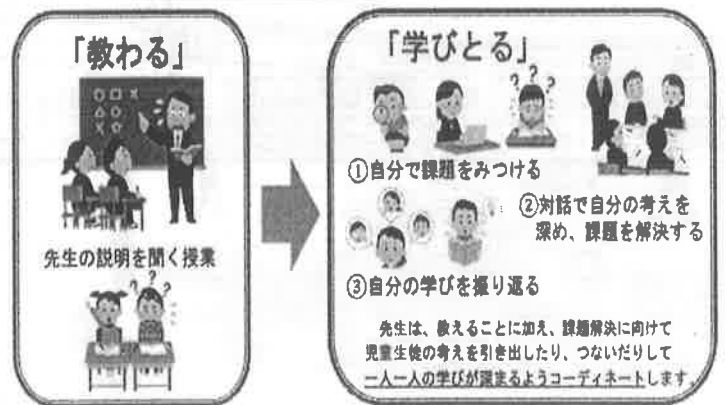


図2 自立した学習者の育成を目指して、ICTを活用し、生徒が「学びとる」授業へ変革します。

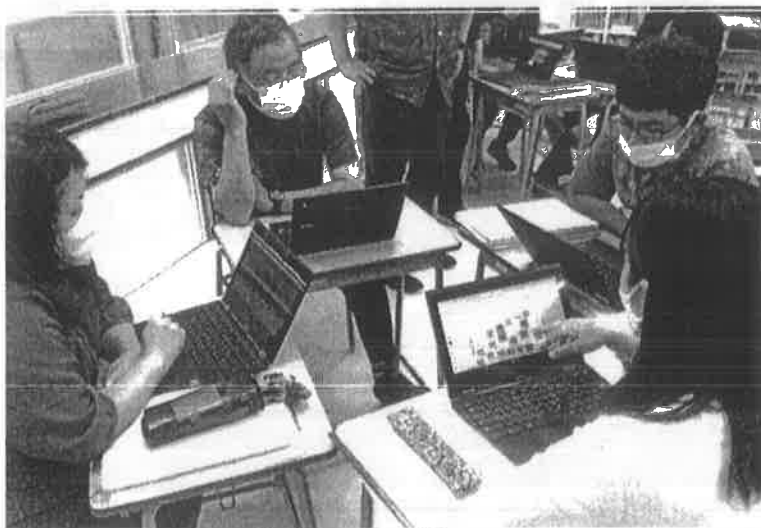


図3 4人グループで情報交換した後、代表で白玉先生が発表し、全体共有する(授業と同じ) 134

文武両道の南風原中学校！

5月19日(木)、表彰集会を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全校生徒が一堂に会することはできず、各教室でオンライン開催となりましたが、各教室から盛大な拍手が学校中に響き渡り、心温まる表彰集会となりました。被表彰者は以下の通りです。

男子バスケットボール部	3位	2022島尻地区中学校バスケットボールシード権大会
崎間さん・仲里さん(男子ソフトテニス低学年個人)	3位	第34回島尻地区中学校春季ソフトテニス強化大会
女子ソフトテニス部 代表団体	3位	第34回島尻地区中学校春季ソフトテニス強化大会
女子ソフトテニス部 低学年団体	準優勝	第34回島尻地区中学校春季ソフトテニス強化大会
軟式野球（個人賞の掲載は除く）	準優勝	第22回島尻地区中学校軟式野球大会
久手堅さん（水泳 400m 個人メドレー）	3位	第54回春季短水路年齢別選手権水泳競技大会
男子バドミントン部 団体	3位	第24回ヨネックス杯中学校バドミントン選手権大会
伊佐さん・赤嶺さん(男子バド・ダブルス)	準優勝	第13回島尻地区中学校バドミントン春季シード権大会
仲村さん・新垣さん(男子バド・ダブルス)	3位	
佐久本さん（男子バド・シングルス）	3位	
女子バレーボール部	準優勝	第121回島尻地区中学校バレーボール強化大会
儀間さん（女子バド・シングルス）	3位	第13回島尻地区中学校バドミントン春季シード権大会



放課後も『やる気 MAX・楽しく学習』テスト前講座スタート！

期末テストまで1週間となり、本校では、放課後の補習講座が始まりました。

本講座は、生徒が授業で十分に理解できなかった内容を疑問解消し、期末テストに向かって「やる気アップ」を目指しています。本校では「学校応援隊はえばる」という地域の学習ボランティアの方々も参加、熱心に学習指導していただき、「先生ありがとー」という声も聞かれました。これからの時代に必要とされるであろう「地域と学校が協働する学校」を目指して、学校と地域が一体となって本校生徒を支えていきたいと思ひます。

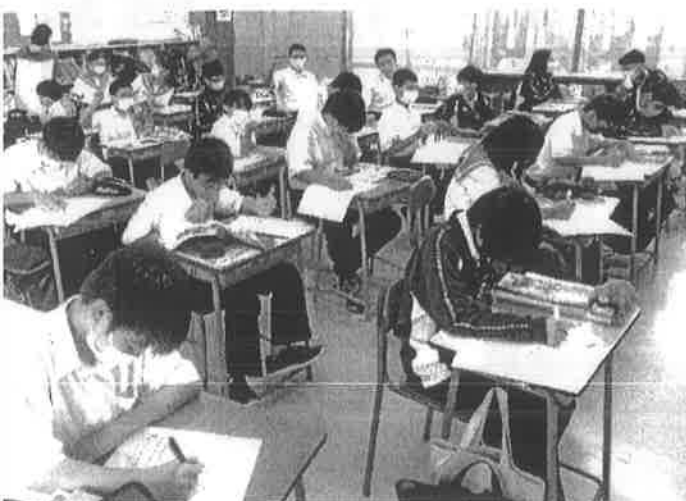
6月20日(月)	英語・社会	当山さん、徳山さん、知念さん	3名
6月21日(火)	国語・理科	栗森さん、小川さん、島袋さん、平良さん	4名
6月24日(金)	数学	山城さん、許田さん、伊良皆さん、宮城さん、宮里さん、三浦さん	6名



さすが最上級生！生徒同士で教え合う姿も見られました、先生たちも皆さんに寄り添いますので、何でも聞いてね！



1問1答に粘り強く答えていました。2年生は予定より多く補習に参加！ 学習意欲高し！？



1年生にとって初めての定期テストです。未来ノートを活用して計画通り学習できているか要 check！ 136

全校生徒、全集中！期末テストに奮闘しています！

6月28日(火)、今年度初の定期テスト「期末テスト」が始まりました。1・2年生は6教科、3年生のみ30日(木)までの9教科です。1年生にとっては初めての定期テスト、終了チャイムが鳴るまで、粘り強く取り組んでいる姿がステキでした。全校生徒が、目標としている点数がとれますように、先生方も願ってます(*^_^*)



『間違えた問題は宝物』 by トーマス・エジソン (発明王 & 失敗王)

エジソンは生涯のうち、自動車用のアルカリ蓄電池を完成させるまで5万回もの失敗を繰り返したそうです。当時のエジソンは、こんな名言を残しています。「失敗したわけではない。それを誤りだと言ってはいけない。勉強したのだといたまえ」。エジソンにとって、上手くいかなかったことは全て「勉強」だったのです。

テストが終われば、結果が楽しみですよね。点数や順位に一喜一憂する気持ちもわかりますが、ぜひ、間違えた問題を解き直したり、未来ノートで自分自身の学習を振り返ったりし、テストを「自分自身の成長のチャンス」に変えてほしいです。

授業でも宿題でも解き直しても、写すだけの学習で勉強した気になっていませんか？知識が長持ちする効果的な学習方法は、『解き方』を理解することです。なぜその答えになるのか、なぜ間違っていたのか、積極的に友達や先生に聞いて徹底的に考えましょう。間違えた問題を「宝物」にできるかは、あなた次第です。今回のテストの結果を踏まえて、自身の学習を見直す機会にしたいものです。。



どんな失敗でも、
新たな一歩になる

トーマス・エジソン

南中学生の笑顔はじける㊄ 校内スポレク大会

最優秀ネーム賞 「南風原オリンピック JP 杯 (Japan Cup)」

by 名嘉村さん (3年1組)

最優秀テーマ賞 「時は来た！最高の仲間と団結力を発揮せよ！！」

by 金城さん (2年5組)

学級リレーの部

	1年	2年	3年
	延期	1組	6組
		3組	4組
		8組	7組

学年競技の部

	1年	2年	3年
	1組	9組	延期
	4組	3組	
	5組	5組	

延期となった1年生の学級対抗リレー、3年生の騎馬戦は、後日、授業を調整して実施します。

保護者の皆さま、足下の悪い中、ご声援ありがとうございました。

(保護者応援 約 200 名)



2年生 学級対抗リレー スタートの瞬間！



3年生 学級対抗リレー成績発表 歓喜の瞬間！



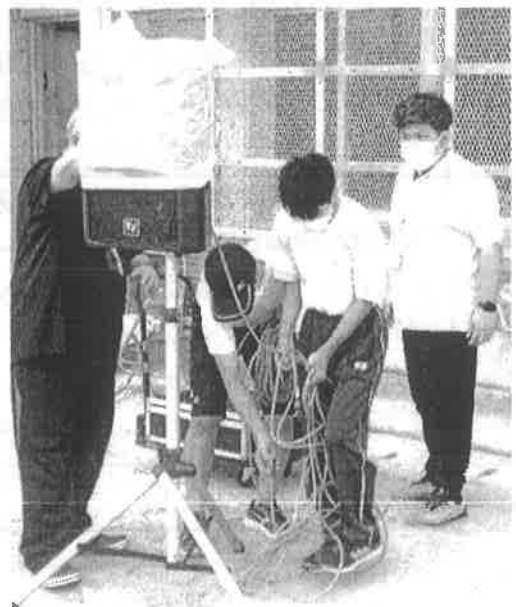
テントの設営 (体育委員・サッカー部・野球部)



手作りの横断幕 (生徒会)



1年生 ちゃんぷるーリレー



放送機器の準備 (放送委員)

効果的に学習を定着させる方法とは？【家庭学習強化週間】

7月4日(月)～8日(金)、生徒会学習委員会が主催し、家庭学習プリント強化週間を実施しました。

この取組は、「コツコツは勝つコツ」というテーマのもと、家庭学習を当たり前に100%提出できる南中生を目指しています。学習委員会が毎朝、宿題の提出状況をチェックし、南中生の学力を支えています！

	1年生の部	2年生の部	3年生の部
1位	8組(88%)	1組(79.5%)	2組(90.8%)
2位	1組(86%)	9組(78.6%)	7組(90.5%)
3位	3組(78%)	3組(78.5%)	4組(87.5%)
4位	2組(76%)	4組(70.0%)	6組(85.5%)
5位	4組(76%)	2組(61.0%)	5組(85.0%)
6位	7組(73%)	6組(60.5%)	8組(76.5%)
7位	6組(72%)	5組(59.9%)	3組(59.0%)
8位	5組(64%)	8組(58.0%)	1組(45.0%)
9位		7組(53.0%)	



先生方は、『皆さんの学力アップ』を目指して、工夫して家庭学習プリントを作り、宿題を評価しています！



効果的に学習の定着を図る方法とは！？

右の図を見てわかるように、復習をしないと、何もしなかったことと同じで、知識が抜け落ちたあとに復習をしても、また1から勉強するのと同じとなってしまいます。それゆえに、「忘れる前に復習すること」そして「忘れるタイミングで復習する」ことこそが重要です。

効率的に学習を定着させるポイント

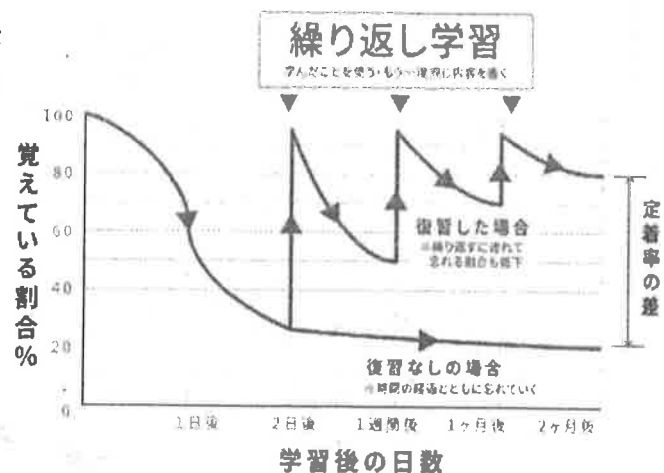
① 学校が終わって1～2時間後に軽く復習する。

(人は学習後、20分後に42%、1時間後には56%、1日後には77%忘れるという定説)

② 就寝前に1教科につき15分復習する。

(寝ている間に記憶が定着するという定説)

エビングハウスの忘却曲線(脳の忘れるしくみ)より



必見！おススメ勉強法！やらされる勉強から、自らやる学びへ

36 日間の夏休みが始まり、すでに7日が経ちますが、南中学生の皆さんは、充実した夏休みを送ることができていますか？今日から三者面談が始まりましたが、夏休みも、部活動の他に『陸上練習』、『図書館』、『数学補習』などなど、それぞれの目標に向かって多くの生徒が学校で学ぶ姿が見られます。

ぜひ、「夏休みで自分の時間が増えた今だからこそ、その時間をチャンスに変え、自分に合った学習方法を見つけ、自分が必要としている学習に取り組んでほしい」です。本号は、「たったこれだけ」で学力アップが目指せる、おススメの学習方法を紹介します。

1. 『けテぶれ』の目的

学び方を学び、自主的な学習者となり、テストの点数がアップ！

2. 『けテぶれ』とは、子ども自身が主体的に行う効率的な勉強方法

- け (計画) その日の「めあて」を書く
- テ (テスト) 自分でテストして丸付けをする(ドリルや問題集)
- ぶ (分析) 間違いを分析し、どうしたらいいのか考える⑤
- れ (練習) 分析で考えたことを練習してみる

3. 『けテぶれ』の取り組み方

- ① 毎日のプリントはいりません。必要なのはドリルとノートだけ
- ② 今日何をやるべきか決めるのは子ども自身です
- ③ 丸付けや自己分析も子ども自身がやります。

4. 『けテぶれ』を使った学習例(3年生 数学)

- け (計画) 高校入試過去問に挑戦、大問①、②を満点とるぞ！
- テ (テスト) ○年度の大問①、②をノートに解く(制限時間 20 分)
- ぶ (分析) 間違った問題を解き直す、分からなければ教科書や参考書を開いて調べるか、後日、先生や友達に聞く
- れ (練習) 間違った問題の類題を解く(解き方をメモする)

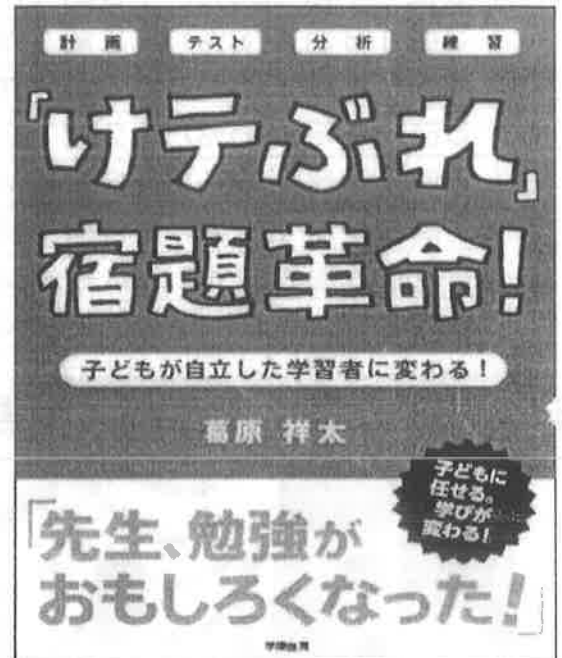


図1 『けテぶれ』宿題革命！
葛原祥太(兵庫県公立小学校勤務)



夏休みの陸上練習 基本的に(月)(水)(金)の8:00~9:30 ★早起きして運動したい子を大募集



図書館開館 9:00~12:00 ★勉強中の3年生



数学補習 27日~29日 9:00~12:00 ★申込み不要

2学期も元気な南中生😊授業も笑顔&真剣です！

2学期が始まって半月が過ぎますが、皆さんは、良いスタートが切れましたか？学校は楽しいですか？授業はわかりますか？

先生たちも、皆さんが「学校が楽しい」、「授業がわかる」、「自分が主役になれる」、「夢や目標がもてる」と思えるように、2学期も全力で支えていきますので、共に頑張っていきましょう😊

中間テスト	教科
9月22日(木)	5日前 部活動停止
9月27日(火)	英語・理科・国語
9月28日(水)	数学・社会・美術
9月29日(木)	音楽・技家(1,2年)



1年2組 技術科の授業



2年5組 美術科の授業



2年2組 家庭科の授業



3年6組 音楽科の授業

『ビリギャルに学ぶ』～意志あるところに道は開ける～

この本は、素行不良の学年ビリのギャル「さやか」が、高校2年生時の小学校4年生程度の学力から偏差値を40上げて、大学最高峰の一つである慶應義塾大学に現役合格するまでを描いた実話です。さやかを指導した坪田先生は著書の中で、「さやかの人間性のなせる技」だとおっしゃっています。

その1 テストで空欄は絶対はない！何事に対しても、自分のできることを精一杯やろうとする、**さやかの誠実な性格**の表れで、この姿勢は最後まで変わることはなかった。

その2 実とはとてもまじめな性格で、**約束したことは必ず守る**。1年余りの間、塾をサボることは1日もなかった。

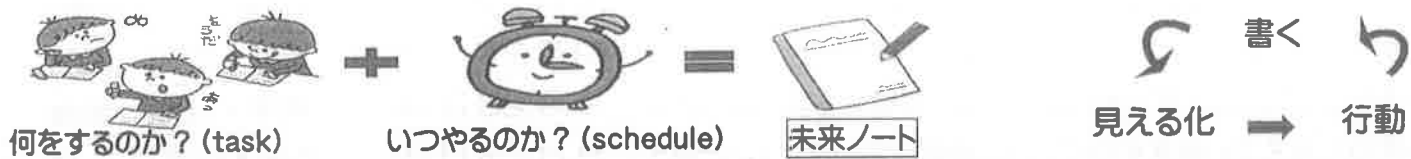
その3 間違えを恐れず、どんなことでも聞くことができる、そして人の言葉を聞き入れることができる**素直な心**を持っている。これは分からないことを明確にできる力であり、人の言葉や物事の本質を理解し吸収する力であり、人として良い方向に成長していける大きな力である。

学年ビリのギャルが
1年で偏差値を40上げて
慶應大学に現役合格した話

坪田信貴



今年度から本校でスタートした未来ノート。図1は、自身のタスクとスケジュールを管理し、「なりたい自分になる」ことが目的です(大人の手帳)。また、図2は、自分で考え、計画して、行動に移すことのできる学習者を目指しています(自学自習力)。皆さんにとって使い勝手が良く、自分に合った便利な手帳にしていきたいと思います。



9	国	Text	9	英	Text
10	数	Text	10	英	練習
11	理	Text	11	数	乗法公式
12	学	筆記帳	12	英	民権白書
13	英語・英語・英語		13	英語・英語・英語	
14	英	Homework 1	14	学	一学期目標
15	英	口頭革命	15		
16			16		習字
17			17		
18		部活	18		TV
19			19		
20		夕食、風呂	20		夕食、風呂
21		宿題、勉強	21		宿題、勉強
22			22		
23		寝る	23		寝る
24			24		

今日のテストは理科と数学の2科目。理科の内容が全然覚えず、いまいかが勉強した。英語の時間から勉強したのしかた。授業に集中できなかった。勉強の仕方について、先生からアドバイスをもらった。明日は理科の勉強を頑張りたい。

図1 見通しと振り返り(3年生Yさん)

テスト範囲

テスト日程 (月 日)

国語

数学

理科

社会

英語

席次

月

日

月

日

月

日

月

3 学年

1 学期

期末テスト範囲

月

日

教科

試験範囲

テスト勉強のポイント

6

月

28

(水)

1 校時

国語

※重要なところのみを提示。教科書に該当箇所

・「世界は美しい」と「原野」
・「夢見て舞に遊ぶ影」・「無縁の痛み」
・「何れかたの心で生きて」・「文壇への旅路」・「朝陽の希望」・読解作文

ワークからの勉強は、読みかたを覚えること、内容の理解、記憶しておく、内容の整理、単語の整理、文法、プリント類も全て勉強すること

2 校時

社会

発展書 p154～p251
ワーク p80～p94
（社会科）4、26、5、15
新聞/読まれた記事の読み方

ワークを中心に発展しノートや付箋などよく書き出し、読みかた、整理する。社会科の整理法についても取り組むことが必要

3 校時

英語

Program1・Program2
発展書 p25、ただし p18は読
み通す・ワーク p12
読解トレーニング 巻初～p12
Joyful work p2～p24 p14は読
み通す

単語や文法 p150程度の単語や文法を整理し読みかたを覚える。英語の勉強法も読んでおく

1 校時

理科

①教科書 p73まで
②ワーク p33まで
※化学計算のみテスト範囲です。

理科のワークや発展書 p150程度の単語や文法を整理し読みかたを覚える。理科の勉強法も読んでおく

6

月

29

(木)

1 校時

数学

① 第1章第1節 p10～p13
② 第2章第1節 p13～p16
③ 第3章第1節 p16～p19
④ 第4章第1節 p19～p22
⑤ 第5章第1節 p22～p25
⑥ 第6章第1節 p25～p28
⑦ 第7章第1節 p28～p31
⑧ 第8章第1節 p31～p34
⑨ 第9章第1節 p34～p37
⑩ 第10章第1節 p37～p40
⑪ 第11章第1節 p40～p43
⑫ 第12章第1節 p43～p46
⑬ 第13章第1節 p46～p49
⑭ 第14章第1節 p49～p52
⑮ 第15章第1節 p52～p55
⑯ 第16章第1節 p55～p58
⑰ 第17章第1節 p58～p61
⑱ 第18章第1節 p61～p64
⑲ 第19章第1節 p64～p67
⑳ 第20章第1節 p67～p70
㉑ 第21章第1節 p70～p73
㉒ 第22章第1節 p73～p76
㉓ 第23章第1節 p76～p79
㉔ 第24章第1節 p79～p82
㉕ 第25章第1節 p82～p85
㉖ 第26章第1節 p85～p88
㉗ 第27章第1節 p88～p91
㉘ 第28章第1節 p91～p94
㉙ 第29章第1節 p94～p97
㉚ 第30章第1節 p97～p100
㉛ 第31章第1節 p100～p103
㉜ 第32章第1節 p103～p106
㉝ 第33章第1節 p106～p109
㉞ 第34章第1節 p109～p112
㉟ 第35章第1節 p112～p115
㊱ 第36章第1節 p115～p118
㊲ 第37章第1節 p118～p121
㊳ 第38章第1節 p121～p124
㊴ 第39章第1節 p124～p127
㊵ 第40章第1節 p127～p130
㊶ 第41章第1節 p130～p133
㊷ 第42章第1節 p133～p136
㊸ 第43章第1節 p136～p139
㊹ 第44章第1節 p139～p142
㊺ 第45章第1節 p142～p145
㊻ 第46章第1節 p145～p148
㊼ 第47章第1節 p148～p151
㊽ 第48章第1節 p151～p154
㊾ 第49章第1節 p154～p157
㊿ 第50章第1節 p157～p160

・教科書 p10～p13
・ワーク p13～p16
・発展書 p16～p19
・読解トレーニング p19～p22
・Joyful work p22～p25
・読解トレーニング p25～p28
・Joyful work p28～p31
・読解トレーニング p31～p34
・Joyful work p34～p37
・読解トレーニング p37～p40
・Joyful work p40～p43
・読解トレーニング p43～p46
・Joyful work p46～p49
・読解トレーニング p49～p52
・Joyful work p52～p55
・読解トレーニング p55～p58
・Joyful work p58～p61
・読解トレーニング p61～p64
・Joyful work p64～p67
・読解トレーニング p67～p70
・Joyful work p70～p73
・読解トレーニング p73～p76
・Joyful work p76～p79
・読解トレーニング p79～p82
・Joyful work p82～p85
・読解トレーニング p85～p88
・Joyful work p88～p91
・読解トレーニング p91～p94
・Joyful work p94～p97
・読解トレーニング p97～p100
・Joyful work p100～p103
・読解トレーニング p103～p106
・Joyful work p106～p109
・読解トレーニング p109～p112
・Joyful work p112～p115
・読解トレーニング p115～p118
・Joyful work p118～p121
・読解トレーニング p121～p124
・Joyful work p124～p127
・読解トレーニング p127～p130
・Joyful work p130～p133
・読解トレーニング p133～p136
・Joyful work p136～p139
・読解トレーニング p139～p142
・Joyful work p142～p145
・読解トレーニング p145～p148
・Joyful work p148～p151
・読解トレーニング p151～p154
・Joyful work p154～p157
・読解トレーニング p157～p160
・Joyful work p160～p163
・読解トレーニング p163～p166
・Joyful work p166～p169
・読解トレーニング p169～p172
・Joyful work p172～p175
・読解トレーニング p175～

図2 テスト範囲表から学習計画をたてる(3年生Mさん)

テスト勉強計画表

テスト2週間前から計画的にテスト対策の学習に切り替えましょう

科目	日	学習計画(教科・科目・範囲・時間)	達成度(計画通りか)	備考
国語	1	現代文 読解 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
数学	2	数Ⅰ 数Ⅱ 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
英語	3	文法 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
理科	4	物理 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
社会	5	歴史 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
音楽	6	音楽 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
美術	7	美術 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
体育	8	体育 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
保健	9	保健 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
家庭	10	家庭 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
外国語	11	外国語 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	
総合	12	総合 100p-110p 100p-110p 100p-110p	100%	

テストを終えて...

得点	国語	数学	理科	社会	英語
100	100	100	100	100	100

『チャンスの神様には前髪しかない！？』

ヨーロッパに伝わる「チャンスの神様には前髪しかない」ということわざを知っていますか？前髪しかない神様って想像を絶すると思いますが、チャンスをつかみ取るためには、「チャンスの神様の前髪」をつかめ！という意味です。したがって、「神様がきた！」と思ったら、すぐに前髪をつかまないとはいけません。神様が通りすぎてしまってからでは、前髪(チャンス)をつかむことはできません。

もうすぐ「中間テスト」というチャンスが訪れますね。全校生徒が神様の前髪をつかまえることができますように、3つのSTEPを要チェックして下さい。

STEP 1 良き学習習慣は、自分自身の才能を超える！

- ☐帰宅後まず勉強する ☐テスト前はゲーム(スマホ)は我慢
☐毎日、漢字・単語・計算は10分ずつやる ☐問題集は3回繰り返す

STEP 2 | テストの傾向と対策をチェック！

- ☐
- テスト範囲一覧を要チェック
- ☐
- 未来ノートのテスト計画を見直す

STEP 3 | テストの鉄則 5 箇条 ～ 1 点の集まりが 100 点になる～

- ☐丁寧な字で書く ☐問題をしっかり読んで答える ☐無回答はしない
☐最後の1秒まで粘って考える ☐解き終わったら、見直しをする



今日から2学期の中間テストが始まりました。1, 2年生は9教科、3年生は5教科です。

下の写真は、テスト当日の生徒の様子です。一人で黙々と学習する人もいれば、一問一答をして教え合う人、準備万端なのか仲間と談笑してリラックスする人も…。テストへの臨み方や、勉強の仕方、学び方は、まさに十人十色ですね(個別最適な学び)。本号では、テストの取扱説明書を紹介します。参考になれば幸いです。



『テストのトリセツ』

中学の勉強のトリセツより抜粋 (梁川由香 著)

1. テスト直前でも「睡眠」はしっかりとること

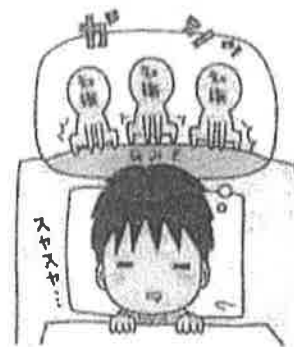
記憶は起きているときではなく、寝ているときに定着すると言われています。つまり、睡眠時間を削って覚えようとするより、一度寝て、記憶を脳に定着させた方が、忘れにくいということです。

したがって、「テスト前は睡眠時間を削る」、「テスト前は徹夜して一夜漬けをする」は、オススメの勉強とは言えません。

むしろ、早く寝て早く起き、早朝から勉強することをオススメします。

「起きてから3時間後に脳が目覚める」とよく言われます。

朝早くから覚え直したことはテストまで忘れずにいられるでしょう。



寝たほうが
知識が
定着する

2. テストを解くときのルール

- ① 問題の全体を見渡す
- ② 覚えるのに苦労した問題を先に解く
- ③ ②のあと、前から順に解き、できない・できなさそうな問題は飛ばす
- ④ 解き終わったら、飛ばした問題に挑戦する



←これはダメ



ボランティア委員会が店頭募金を行いました☆ (赤い羽根共同募金)

10月2日(日)、生徒会ボランティア委員会が、赤い羽根共同募金(店頭募金)に参加しました(サンエー津嘉山シティ店)。この取組は、本町社会福祉協議会等と連携して、社会福祉への理解と関心を高めることが目的です。委員長の仲井真梨さんをはじめ、参加した23名の生徒の皆さん、引率した佳奈先生、ありがとうございました。



放送読書を通して、「人権」について考えました☹

本校では、毎月始めを「人権の日」とし、年間で計7回の放送読書を計画しています。10月3日(月)は、第5回「私が仕事を続けられる理由」と題し、カスハラ(カスタマー・ハラスメント)に悩むコンビニの店員さんの想いを、生徒会放送委員会が音読し、放送読書を通して全校生徒で人権について考える機会となりました。



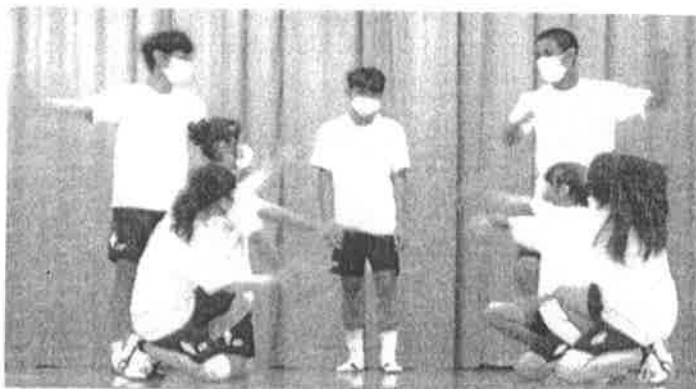
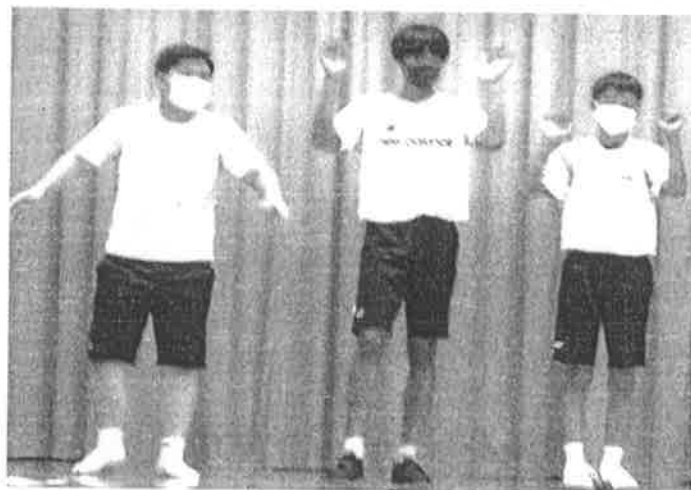
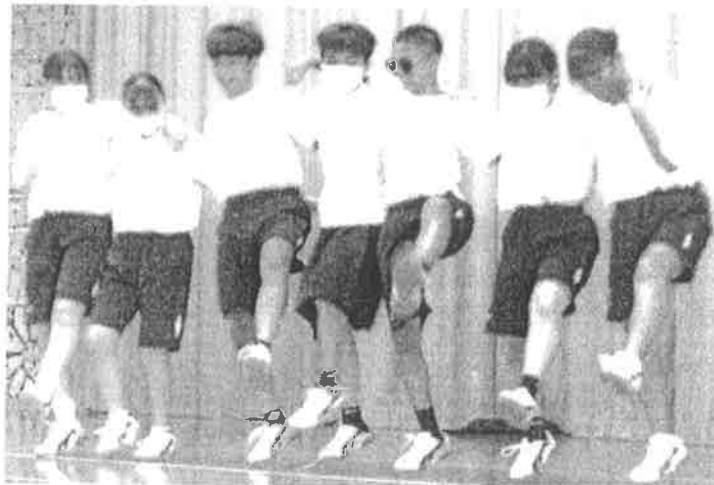
今回の放送担当は、3年生の大城美桜さんと運天英美さんです。

生徒会放送委員会は、全校生徒が心地よく学校生活を送ることができるように、学校放送の要として活躍しています。もちろん、ステキなアナウンスだけではなく、お願い事を快く引き受けたり、誰とでも分け隔てなく接したりすることができ、人間性も兼ね備えている放送委員です(*^_^*)

Dance! Dance! Dance! Dance!

04/10/06 南中生徒のイイね①～ダンス発表会～

10月6日(木)2校時、3年2組・4組が体育の授業で、ダンス発表会を行いました。男女で協力してオリジナルダンスを創作し、練習した成果を披露する時間です。発表会では、手拍子や笑いが鳴り止まず、体育館が歓声に包まれました！ 教室の授業では、なかなか見ることでできない、南中生徒の笑顔と輝きに感謝です (*^_^*)。



左の写真は、合唱コンクールの枠に、画用紙を丸めて敷き詰めた、美術部による作品です。しかも、印刷室にあるリサイクル画用紙を再利用！
これぞまさに SDGsですね。
合唱コンクールまで 19 日です！

生徒会学習委員会主催 家庭学習強化週間 結果発表

10月3日(月)～7日(金)、生徒会学習委員会が主催し、第2回家庭学習プリント強化週間を実施しました。この取組は、「コツコツは勝つコツ」のテーマのもと、家庭学習を当たり前に100%提出できる南中生を目指しています。今回は、各学年上位3クラスを表彰するのではなく、全クラスが提出率90%を達成することが目標でした。学習委員会が毎朝、宿題の提出状況をチェックし、南中生徒の学力を支えています！

☆達成学級☆

(9学級)

1年7組
1年8組
2年1組
2年2組
2年7組
2年9組
3年1組
3年2組
3年8組



第1回(7月4日～8日)は、上位3位を表彰

結果	1年生	2年生	3年生
1位	8組(88%)	1組(79.5%)	2組(90.8%)
2位	1組(86%)	9組(78.6%)	7組(90.5%)
3位	3組(78%)	3組(78.5%)	4組(87.5%)
4位	2組(76%)	4組(70.0%)	6組(85.5%)
5位	4組(76%)	2組(61.0%)	5組(85.0%)
6位	7組(73%)	6組(60.5%)	8組(76.5%)
7位	6組(72%)	5組(59.9%)	3組(59.0%)
8位	5組(64%)	8組(58.0%)	1組(45.0%)
9位	—	7組(53.0%)	—
学年	76.6%	66.6%	77.5%
全体	73.6%		

表彰
方法を
変更

全体
平均
+8.9P

第2回(10月3日～7日)は、
提出率90%達成クラスを表彰

	1年生	2年生	3年生
1組	77%	94%	93%
2組	86%	96%	90%
3組	79%	87%	69%
4組	52%	91%	77%
5組	55%	72%	89%
6組	77%	69%	85%
7組	91%	95%	85%
8組	94%	78%	90%
9組	—	94%	—
学年	76.4%	86.2%	84.8%
全体	82.5%		

一声入魂！仲間とつなぐ わったー自慢の歌 ～合唱を完唄、そして完勝～

10月25日(火)黄金森ホールで開催する合唱コンクールまで残り6日です。各学級とも、放課後の練習やリハーサルで、学校中にステキな歌声を響かせています♪見出しのテーマは、3年2組・7組・8組の合作です♪



体育館で2学年リハーサルを行いました(2年3組)



男女で分かれてパート別練習に励んでいます(3年3組)



ソプラノ・テノールの声を合わせて、「語頭」を大切に(3年6組)



早く歌詞を覚えて、笑顔の声を響かせていこう(1年5組)



指揮者を中心に、みんなで協力して合唱していました(1年1組)

初の黄金ホール開催

04/10/25 南中生徒のイイね⑭（合唱コンクール）

一声入魂！仲間とつなぐ わったー自慢の歌 ～合唱を完唄、そして完勝～

保護者参観 359 名	1 年	2 年	3 年
	1 組	9 組	7 組
	6 組	7 組	3 組
	7 組	1 組 3 組	4 組



1・3年生は、学年主任が放送で結果発表！金賞の3年7組さんが1年生に歌を披露するサプライズもありました♪



10月26日(水)、『校則を自分たちで見直そう』と題し、全学級で統一学活を実施しました。

本時の特別活動は、社会や時代の変化に合わせて現行の校則を合理的に見直すために、生徒が主体となって、課題を発見し、合意形成する力を高めることがねらいです。全校生徒が活発に意見を出し合う有意義な時間となりました。

① 生徒会長が Google Meet を使って、全校生徒に「校則見直し」についてプレゼンテーション

Q&A 教えて！生徒会長

私たち校則検討委員会は夏休みに弁護士を招き、勉強会を行いました!!

Q,校則はなぜ必要なの？

A,もし校則がなければ、迷惑を被る人が出てきてしまいます。校則を守ること社会のルールを学ぶと同時に、他人に不快な思いをさせない配慮を身に付けることができます。

Q&A 教えて！生徒会長

Q,残していくべき校則は？

A,・身だしなみに関する校則

(いつの時代でも、社会に出る時身だしなみが見られます。高校受験にも影響します。)

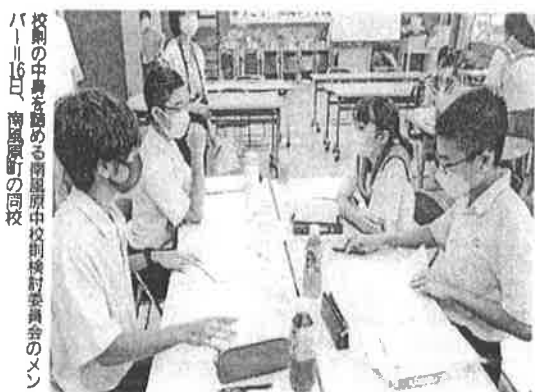
・持ち物に関する校則

(学校は学習する場です。勉強に必要なかどうかをしっかりと判断して持ってくるようにしましょう。)

② 各学級で、「見直すべき校則」について話し合い、学級役員を中心に2つ程度までまとめる。



親との連絡のためのスマホ所持、まゆを整えるのも身だしなみの一つ、夏服・冬服・ジャージ・体育着を選んで登校
8:05 着席しても時間が勿体ない、髪型が悪いから心が乱れているとは限らない、個性・多様性を尊重しよう！ etc



南風原中 弁護士招き



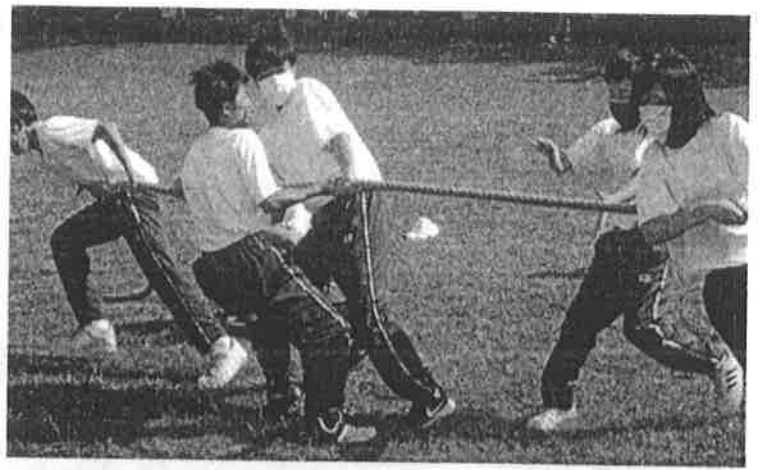
自治意識を高めるため、教師と保護者が支援し、生徒主体で校則の見直しを進めている(8月16日・沖縄タイムス)

秋の遠足

04/11/04 南中生徒のイイね⑩～秋の遠足～

1年生は「おきなわワールド」を社会見学した後、「平和創造の森公園」で昼食とレクリエーションを楽しみました。

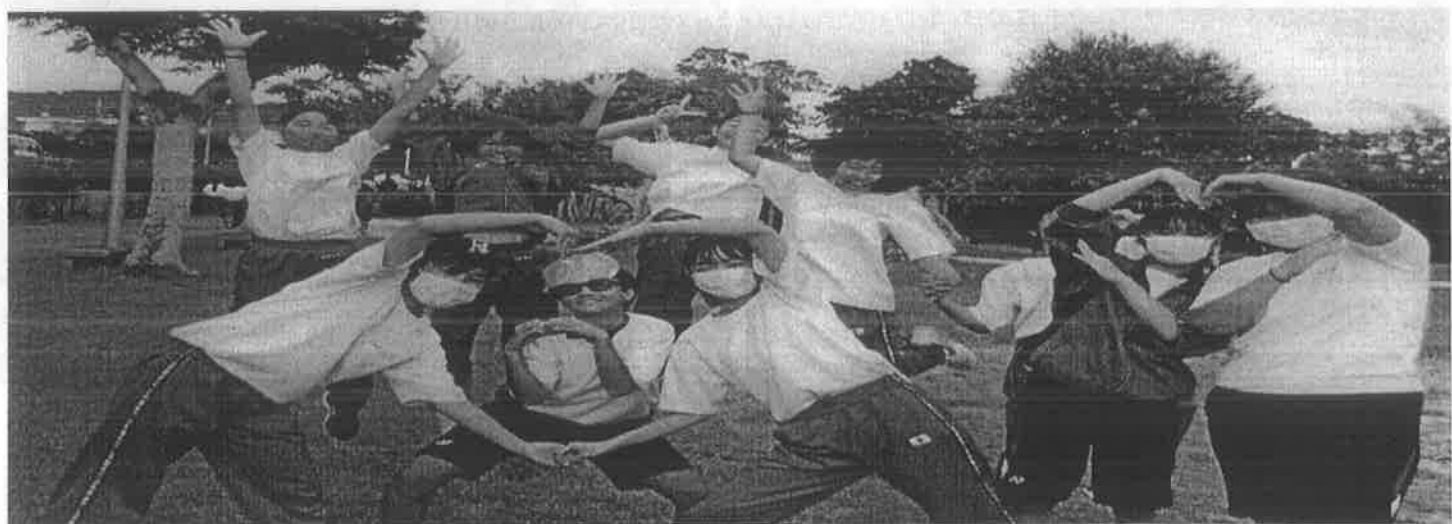


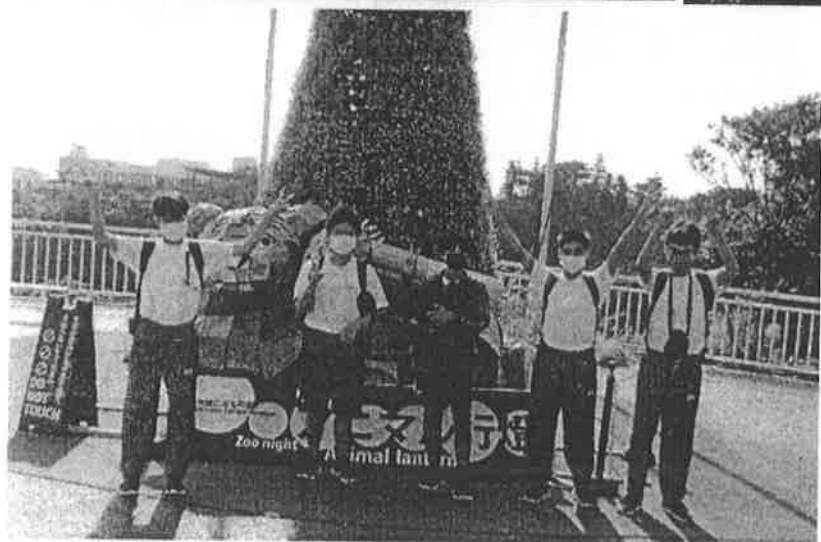


秋の遠足

04/11/04 南中生徒のイイね⑰～秋の遠足～

2年生は「沖縄こどもの国」を社会見学し、「中城吉の浦公園」でレクレーションを楽しみました。





期末テストまで10日！授業中の真顔と笑顔😊



『なかなか成績が上がらないときは？』 中学の勉強のトリセツ (梁川由香 著)

1. 自分の勉強のこと、本気で考えていますか？

学校や塾に行って授業を聞いているだけで勉強をした気になっていませんか？
机に向かって教科書を見つめているだけで勉強をやった気になっていませんか？
点を取るためにはどうしたらいいか？成績を上げるためにはどうしたらいいか？
を、自分に問いかけ、計画し、行動に移すことで、伸びていくこと間違いなし！

2. できる人のマネをしてみよう

しっかりと計画して勉強しているのに、成績が上がらないという人は、学習方法を変えた方がいいでしょう。一番効率が良いのは、自分よりも成績が良い人の学習方法をマネすることです。いつ、どこで、どんな教材で、どんな工夫をして勉強しているのかをマネすることで、自分に合った学習方法が見つかります。



未来の南風原中学校を創るのは、君たちだ！



毎朝、立候補者と推薦人が、正門と裏門であいさつ運動をしています。



給食時間に、各教室を遊説し、マニフェストを伝えていく

令和5年度 生徒会役員立候補者

会長立候補 会長立候補 会長立候補 会長立候補 会長立候補 会長立候補 会長立候補 会長立候補 会長立候補 会長立候補

会長立候補者

10名

1年副会長立候補

1年副会長立候補

1年副会長立候補

1年副会長立候補

1年副会長立候補

副会長立候補者

5名

夢への挑戦～夢を叶えるために大切なこと～

人生最大のミッション「ProActive」(能動的)

生きている中で、どうしようと悩んだときは

①知識をつける、②勇気を持ってすぐ動く

キーワードは、多様性・失敗・そして挑戦



もともと、海外にすごい興味をもっていて、海外にたずねるような仕事か
したいと考えていて、今までに三山ハローワークやこうえん会に参加したが、実際に
海外で活動している方からは話を聞いたことがなかった。すごい勇気を出して、

勇気につなげた。新しい発想、
出会うことができ、将来の幅が
また、

・榎本博之氏 「沖縄発シリコンバレー経由そして世界へ」に対するNさんの振り返り(↑上)

・本田隆二氏 「やりたいことの叶え方」に対するEさんの振り返り(↓下)

「仕事」へかかっただけ、ものすごく、かかった。仕事とは、やらなければならぬ、
もの、生活するためにやること、という、あまり、いいイメージがなかったけど、自分
の物語だから、楽しもう！明るくいこう！ってすへ目標ができた。



生徒 21 名(南星中 1 名)、保護者 11 名、職員 2 名が参加しました。ご参加ありがとうございました。

総合文化発表会の舞台リハーサルを行いました

12月8日(木)午後、総合文化発表会の舞台リハーサルを行いました。代表生徒の皆さんが日頃の学習の成果を発揮できるように、生徒会・放送委員が中心となって、当日の本番を支えていきます！どうぞ楽しみに！



裏方として、舞台係を頑張ります！（生徒会）



音響機器を担当します（放送委員）



当日は司会進行します！（放送委員）



創作ダンス「Daisy」（3年4組）



創作ダンス「Ayo」（3年2組）



吹奏楽 クラリネット4重奏(上)・管楽5重奏(下)



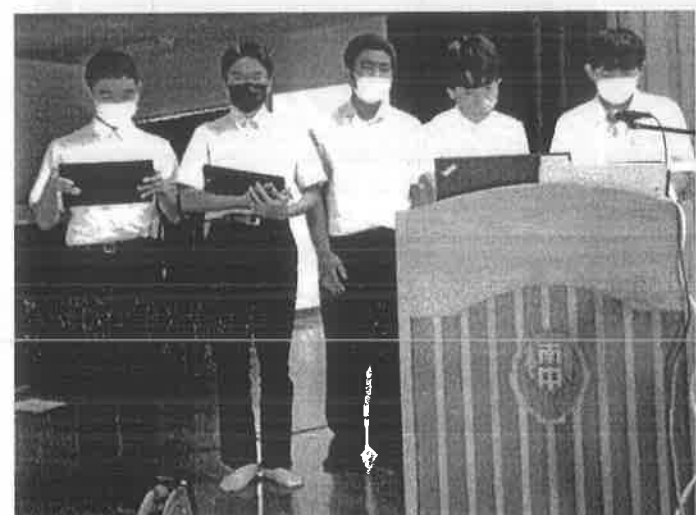
独唱「君をのせて」



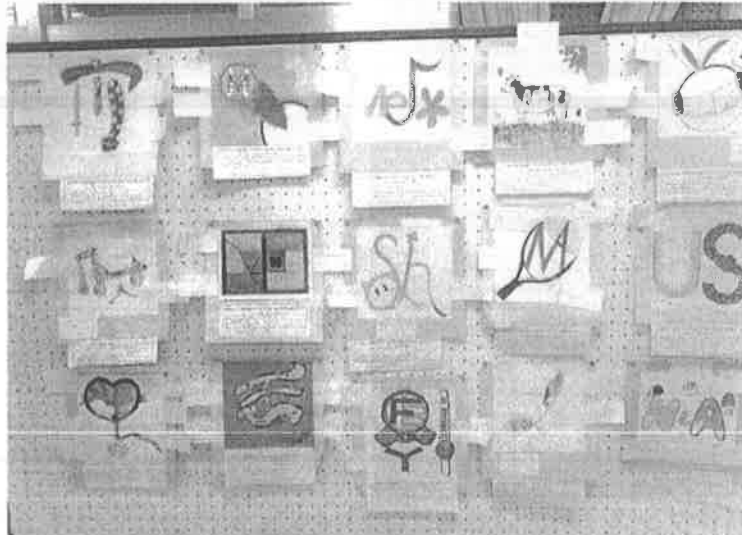
英語スピーチ「It' s our choice」



意見発表「心をつなぐ」



各学年代表の発表 1年「地域」、2年「職業」、3年「観光」 ×SDG s



展示の部 社会科新聞(左)・美術の作品(右) ★当日は視聴覚室にて展示しています(事務室近く)

生徒会学習委員会主催 家庭学習強化週間㊤結果発表

12月5日(月)～9日(金)、生徒会学習委員会が主催し、第3回家庭学習プリント強化週間を実施しました。この取組は、「コツコツは勝つコツ」のテーマのもと、家庭学習を当たり前に100%提出できる南中生を目指しています。学習委員会が毎朝、宿題の提出状況をチェックし、南中生徒の学力を支えています！

第2回（10月3日～7日）は、 提出率 90%達成クラスを表彰			
	1年生	2年生	3年生
1組	77 %	94 %	93 %
2組	86 %	96 %	90 %
3組	79 %	87 %	69%
4組	52 %	91 %	77 %
5組	55 %	72 %	89 %
6組	77 %	69 %	85 %
7組	91 %	95 %	85 %
8組	94 %	78 %	90 %
9組	—	94 %	—
学年	76.4%	86.2%	84.8%
全体	82.5%		

3年生が UPI
さすが受験生

全体的に下が
りました、3学
期も頑張ろう

第3回（12月5日～9日）は、 提出率 90%達成クラスを表彰			
	1年生	2年生	3年生
1組	77%	98%	82%
2組	72%	97%	92%
3組	72%	76%	82%
4組	(79%)	70%	87%
5組	67%	58%	99%
6組	61%	53%	90%
7組	84%	71%	86%
8組	85%	47%	94%
9組	—	89%	—
学年	75%	73%	89%
全体	79%		

「冬休みを味方にする」ための6箇条

□「早寝・早起き・朝ごはん」を守り、生活のリズムを整える。

ゲーム・スマホと上手につきあうことが、長期休暇を充実させる1番のポイント。

□各教科の課題には早めに取り組む。

計画的に取り組む、実力UPさせる。未来ノートの活用、おすすめです。

□集中しやすい時間に勉強する。

メリハリをつけた学習計画を。勉強は「毎日やろう」で完成します。

□学習する教科の組み合わせを工夫する。

得意分野と苦手分野のバランスが大事。冬休みは苦手教科克服の最大のチャンス。

□散歩や軽い運動をして、上手に気分転換をする。

リラックスタイムも必要。気持ちの切り替えが大切です。

□趣味や家の手伝い、部活動、家族との時間、友達との時間、読書、習い事、ボランティア活動などの時間を楽しむ。

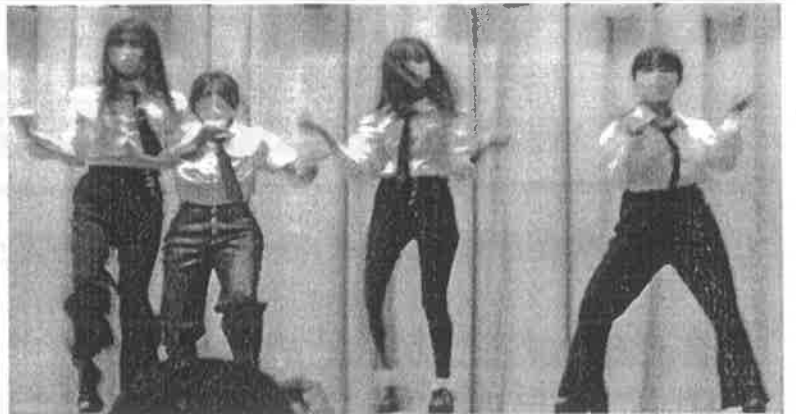
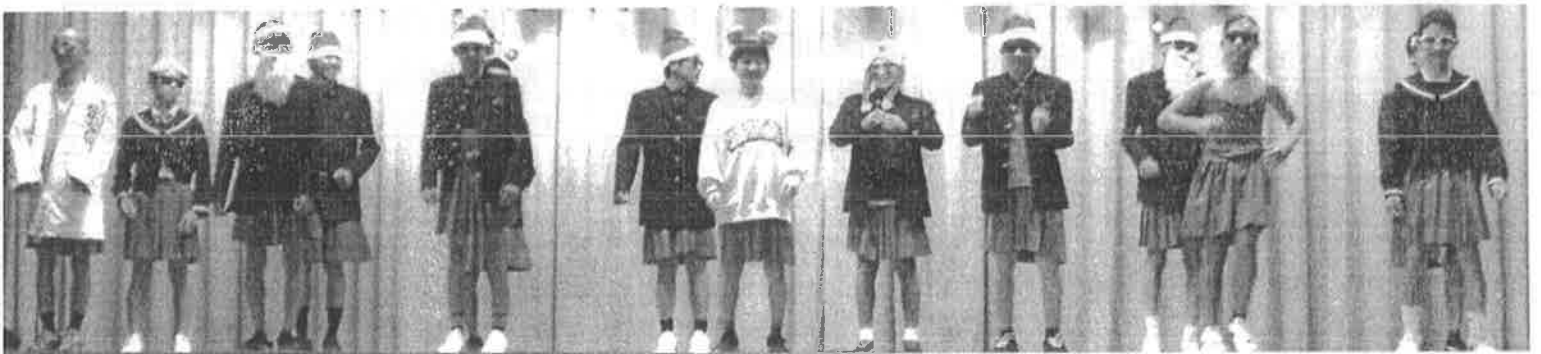
「楽しむときは思い切り楽しむ」でよいのです。長期休暇こそできることをしよう。

集まれ！えいじゅとゆかいな仲間たち！！

12月23日(金)終業式後に、生徒会が主催しまして、クリスマスライブ(仮名)が開催されました。この取組は、全校生徒が楽しんで絆を深めること、第75期生徒会最後の行事を、第76期生徒会執行部と協力しながら企画・運営し、伝統ある南中生徒会を引き継ぐことを目的としています。94名のオーディションから選ばれた74名が出演し、歌やダンス、コントなどで会場を大いに盛り上げてくれました(1・2年生はライブ配信で参加)。



えり先生をはじめ、生徒会役員の皆さんのおかげさまで、南中が笑顔と拍手で包まれました。企画・運営 Thank you です！





令和4年度 校長だより ☆☆☆ 3rd year.

黄金の教育



～豊かな心で文武両道 南中生～
南風原町立南風原中学校
発行者 校長 當間 保

令和4年度スタート!

実りある1年にしていく決意

～1日1日を大切に、様々なことに挑戦!～



4月7日(木)に令和4年度の始業式が行われました。新しいクラスが発表され、今年度最初の全体集会でしたが、整列をはじめ集会の態度がとても素晴らしく、集会担当の久徳先生から賞賛の言葉がありました。「さすが南中生!」

落ち着いた雰囲気の中、新2・3年生と生徒会の代表生徒が一年間の決意と抱負にあいさつを行い、素晴らしい新学年度のスタートとなりました。校長先生からは、次の2点について話をしました。

「自分で計画を立てて、行動に移すことのできる生徒になって欲しい」

新年度のスタートにあたり、自分の目標を考えてみましょう。1年後の自分をイメージして、なりたい自分に近づけるよう、先生や親に言われてではなく、「自分で計画を立てて、行動に移すことのできる生徒」になって欲しいです。

「時を守り、場を清め、礼を正す ことのできる生徒になって欲しい」

「時間を守る。自分の身のまわりを整え、心を込めて清掃をする。あいさつをしたり、相手を尊重する行動ができる。」この3点は中学校生活だけではなく、これから人人になった時に皆さんの大きな力になります。この1年間、生徒の皆さんがそれぞれのペースで成長できるように、先生方も皆さんのサポートを頑張ります。1人1人の良さが発揮できる南風原中になって欲しいです。みんなで頑張ってください。

新学期の抱負 2年生

2学年代表 仲間 夢璃彩さん

今日から新しい学年がスタートします。新しい制服に身を包み、友達ができるか不安だった入学式から1年が経ちました。2回目のクラス替えがあり、新しいメンバーでこれから一年間過ごしていきます。私は「クラスになじめるか」「新しい友達ができるか」など少し不安ですが、昨年あまりチャレンジできなかった検定などに積極的に挑戦するという目標に向かって頑張りたいです。

昨年一年間をふり返ってみて良かったところは、活発で協力的な生徒が多く、学級・学年レクなどを全力で楽しみながら



取り組んでいたところです。しかし、授業と休み時間のけじめををつけていない時もあったので、これからお互い声をかけ合ったりして全員で意識していけると良いと思います。またコロナの影響で無くなってしまった行事や、今年度ある体育祭を、私たち76期生の長所を生かして楽しんでいきたいです。明日から後輩ができ、先輩という立場になります。1人1人が先輩としての自覚を持って行動し、新1年生の手本になるように昨年の学期の課題に取り組むと共に、新しい事にもチャレンジしていきたいです。

ご指導 よろしくお願いします!



7日(木)の始業式に先立ち、新しい先生方を迎える赴任式を行いました。3月に多くの先生方を送り出し、寂しく感じていましたが、今回兼城雅也教頭先生をはじめ、16名の先生方が新たに本校に赴任されました。心から歓迎いたします。これから日々の勉強や部活動など、たくさんの方を指導していただきます。よろしくお願いします。一緒に頑張りましょう!

新学期の抱負 3年生

3 学年代表 宮良 仁千弥さん

私たち学年は、課題を解決するために一生懸命取り組むことができるのが強みだと感じます。一生懸命やっても解決できないことがあれば、先生に直接聞いたり、仲間同士で支え合ったりすることができます。3年生ではその強みを生かして、勉強面や部活動でも良い成績を残せるようにしていきたいです。

しかし、課題もあります。それは提出物や自主学习で手を抜いてしまう事です。少し遅れて提出したり、「面倒くさい」などと思って、最後は諦めてしまうこともあります。気持ちを切り替えて習ったことのふり返りとして、空いた時間に少しずつワークなどに取り組みるようにしたいです。野球部顧問の祥太郎先生は

「コツコツが勝つ」とよく言います。コツコツとは小さな事を積み重ねていくと成功



することができます。私たちも一つ一つコツコツと取り組むことで苦手な事を乗り越えることにも繋がってくると思います。これから私たちは自分の進路決定と合格に向けて努力していかなければなりません。もうすでに受検へのカウントダウンは始まっています。

1日1日を大切に、全員が希望する進路先へと行けるように頑張ってください。私達は今日から3年生として、南風原中の最上級生となります。これから新1年生が入学して、私たちは後輩のお手本となるようにしていく必要があります。また今年はスポレクや修学旅行などが行われると思います。それに向けて3年生全員一致団結して、今年一年間を楽しんでいきましょう。

令和4年度生徒会テーマ

「Challenge」 挑戦

生徒会代表 幸喜 向葵さん

春休みが終わり、今日から進学年度が始まりました。慣れない学級で楽しみな反面、不安や緊張もあると思いますが、一年間このメンバーで充実した学校生活を送れるよう頑張っていきましょう。昨年度の生徒会テーマ

は「Diversity 多様性」でした。制服選択制が導入され、男女性別を問わず互いにお違いを認

め合うことを実現できるように努力した一年でした。今年度の生徒会テーマは「Challenge 挑戦」です。例年以上に様々なことを導入したいと思います。予定ではアンケートを利用して、生徒の意見に耳を傾け、みんなが過ごしやすい学校作りを目指していきます。よりよい南風原中学校にしていくため、今年度も引き続き「8時5分だよ全員着席!」や「いじめゼロ宣言」SDGsの達成を意識した各種委員会の取り組みを行いますので、ご協力よろしくお願いします。



祝 よいこと沖縄一・日本一表彰式

3月30日(水)に南風原町中央公民館黄金ホールで「南風原町功労・善行・よいこと沖縄一・日本一賞」の表彰式が行われました。

昨年度県大会や全国大会で活躍した、小中学生



30名一人一人に、赤嶺正之町長から賞状が授与されました。本校からは22名の生徒が表彰されました。おめでとうございます。



令和4年度 校長だより ☆☆☆ 3rd year.

黄金の教育



～豊かな心で文武両道 南中生～
南風原町立南風原中学校
発行者 校長 當間 保



新入生代表あいさつ

新入生代表 宮里 涼子さん

暖かな春の訪れとともに、私たちは南風原中学校の入学式を迎えることができました。新しい制服にそでを通し、これからの生活に胸をふくらませながら校門をくぐった時、いよいよ中学生という実感がわいてきました。

中学校では勉強が難しくなり、部活動や委員会活動も盛んになり「中学校生活についていけるかな」と不安もありますが、その分楽しいこともたくさんあると思うので、色々なことに取り組んでみたいです。私がこれからの中学校生活で頑張りたいことが三つあります。一つ目は勉強です。中学校では小学校で学んだ基礎として学習を進めていくので、これまでに学んだことを生かし、友達の考えも取り入れて学びを深めていきます。二つ目は、課題や宿題の提出です。六年生から意識して取り組んできましたが、中学校は各教科の先生ごとに提出期限が違うので、メモをとり、提出期限の間に何を優先するか考えていきます。三つ目は部活動、委員会です。部活動や委員会では、これまでのように先輩や顧問の先生、外部コーチからのアドバイスや直すべき所などをしっかり聞いて実践し、仲間とともに日々の練習に励み、部員・委員としての腕を上げ



第76回入学式

「新たな出会いを大切に！」

～77期生 264名の1年生を迎える～

4月8日(火)午後、南風原中学校第76回入学式が行われました。3年ぶりに全クラス一斉にそろっての入学式で、町教育委員会の教育長 新垣 吉紀様をはじめ、来賓、家族の方々の臨席のもと、264名の新入生を迎えることができました。ありがとうございました。新入生のみなさん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。

中学校では、本格的に始まる英語や生徒会活動、部活動など新しいことがあります。希望とともに不安もあると思いますが、2・3年生の先輩や先生方が指導とサポートをしますので、安心して中学校生活を楽しんでください。

校長先生の式辞でも話しましたが、まず自分自身を大切にする事と、自分以外の他者も尊重し大切にできる人になって欲しいと思います。自分の目標や夢に向かって成長できるよう、日々の積み重ねを大切にしてください。

また今まで大切に育てていただいた、ご家族や地域の方々の支えがあったことも忘れずに、頑張ってください。

入学式後は各学級で新しい先生とともに学級開きが行われました。新しい出会いを大切に、充実した中学校生活をおくってください。



《新しい学級、新たな仲間と高め合いましょう！》

ていきます。また今までの友達との関係と、新しい友達との出会いを大切に、楽しい三年間の学校生活を送っていきましょう。

学校生活に一日でも早く慣れるよう、勉強だけでなく、学校行事や部活動などにも一生懸命取り組んでいきます。南風原中学校の生徒としての誇りを持ち、文武両道を心がけて、実りのある中学校生活を送りたいと思います。

新1年生オリエンテーション

生徒会入会式&部活動紹介

～学校生活をより良くする自主活動～



〈生徒会のしくみや各種委員会の活動内容を聴き入る〉

11日(月)に新1年生を対象に、生徒会入会式、部活動紹介を行いました。生徒会執行部、各種委員会の代表が、パワーポイントを使い、年間の活動等を分かりやすく説明しました。また、制服や校則、立腰、黙想の仕方については、生徒会役員が実際にデモンストレーションしてくれました。

南風原中学校の全生徒が、生徒会会員であることを自覚して、学級の係活動、各種委員会の活動をきちんと行い、自分達で学校生活をより良くしていきましょう。後半は部活動紹介が行われました。22の部活動のキャプテンが日々の活動を中心に説明してくれました。部活動を通して心身ともに大きく成長した生徒もたくさんいます。1年生の皆さんにとっても関心が高いと思います。

自分の好きな部活動に入り、友情をさらに深めながら中学校生活を充実させてください。



各種委員会の先輩方へ、新入生全員で入会の誓いをしました。



各部の紹介を、各部キャプテンが力強く行いました。

1学期 学級役員任命式

《気合い十分！各学級の級長と生徒会執行部の皆さん》

学級の重要な役割を担う1学期の学級役員が決まり、12日(火)の放課後、学級役員任命式をオンラインで行い、各学級の級長一人一人に任命証を授与しました。学級は学校生活の中心となる大切な集団です。みんなで選出・承認したリーダーと協力して、一人一人が成長できるより良い学級づくりを目指してください。

全国学力・学習状況調査

19日(水)に全国学力・学習状況調査が3年生を対象に行われました。今年は4年ぶりの理科が加わり、

国語、数学の3教科での実施でした。

3年生は11ヶ月後の高校入試も意識しながら、精一杯真剣に取り組んでいました。結果を今後の学習に生かしていきたいと思います。

定期健康調査実施中!

学習や運動をはじめ、全ての活動の源は健康です。1学期は生徒の皆さんの健康や成長の状況を確認するための様々な検査があります。今年最初の検査となった視力検査では、全学年とも機敏な行動で予定時間より早く終えることができました。さすが南風原中の皆さん！健康調査は、尿検査や事前調査票など、提出物がいくつかあります。期限内提出への協力をお願いします。



また検査の日にはジャージ登校も多いので確認をしてください。

4月26日(火)は全学年身体測定があります準備してください。

《4月13日視力検査 視界良好!》

令和4年度 校長だより ☆☆☆ 3rd year.

黄金の教育



～豊かな心で文武両道 南中生～
南風原町立南風原中学校
発行者 校長 當間 保

島尻地区夏季大会

全力部活! 一生懸命から学ぶ

～一生懸命取り組んだから わかったこと～



《念願の優勝を勝ち取った女子バレーボール部》

体育系部活動の集大成となる島尻地区中学校夏季総合体育大会が6月4日から13日まで行われました。コロナ禍で様々な制限の中、苦労と工夫を重ねて迎えた夏季大会。どの会場でも、どの生徒も全力でプレイする姿に熱いものがこみ上げてきました。勝ち負けにかかわらず、全力で戦った夏季大会から、沢山学んだことがあったと思います。それらは、これからの学校生活や人生の中で、みなさんを支える力になります。全力で取り組んだ日々を心に刻んで下さい。



《新人大会に続いて二冠の女子テニス部》

また県大会へ出場するチームのさらなる成長を祈念しています。



《剣道女子昨年のリベンジで優勝! 男子は悔しい準優勝》

文化部も大活躍!

美術部アートフェスティバル優勝!

～吹奏楽部 南星中と吹奏楽祭出場～



美術部の夏季大会「第10回島尻地区アートフェスティバル」が6月4日(土)に玉城少年自然の家で開催され、本校美術部が見事初優勝しました! アートフェスティバルは大会会場の風景を制限時間(3時間)で描き上げた作品が審査され、メンバーの合計点で順位が決まります。日頃の取り組みの成果とメンバーの団結力で得た、嬉しい初優勝となりました。

また吹奏楽部は6月11日(土)沖縄市民会館で



行われた沖縄県吹奏楽祭に南星中と合同出演し、息の合った楽しい演奏を披露しました。

島尻地区夏季大会

おめでとう! 団体戦成績

優勝!

☆バレー女子

☆テニス女子

☆剣道女子

☆柔道男子

☆柔道女子

準優勝!

☆バドミントン男子

☆剣道男子

3位!

☆バスケット女子

☆サッカー

☆ハンドボール女子

県大会出場!

☆テニス男子(ベスト4)

☆バスケットボール男子(5位)

☆卓球男子(5位)





全力で挑戦した地区夏季大会が終わりました。玄関ロビーには美術部の優勝をはじめ「6本の優勝旗」が飾られています。みなさんの「努力の結晶」だと思います。おめでとうございます。



一方、今回の大会で力を発揮できず敗れた部もあります。勝つことは大切ですが、負けたからこそ学べる大切なこともたくさんあります。仲間と一緒に頑張った日々を思い出してください。皆さんの活動を支えてくれた家族の方々、時間を割いて指導してくれた顧問の先生やコーチへの感謝の気持ちを胸に、今回の悔しさを自分の成長に繋げてください。全力で取り組んだ素晴らしい時間は、生涯の財産になります。1人1人の心にしっかりと刻んで大切にしてください。

沖縄について考える 5.15本土復帰50周年 6月平和月間

今年、沖縄が本土復帰50周年の節目の年を迎えるに当たり、5月9日(月)1校時に全校一斉の特設授業を行い、本土復帰と沖縄について考える機会にしました。多くの先生方が本土復帰の日を体験してないので、事前に校内研修会を行い授業に臨みました。特設授業の様子は新聞や全国放送のテレビでも取り上げられ、注目の高さ感じました。また



《授業の様子がNHK総合テレビ「あさいち」で全国放送されました》

本校では毎年6月を平和月間に位置づけ沖縄戦や平和について考える機会を設けています。今年はZ世代の平和教育を精力的に行っている「狩俣日姫」さんを講師に各学年別の講話を予定しています。沖縄の過去と未来、世界に目を向けて考える機会にして欲しいと思います。

令和4年度 校長だより ☆☆☆ 3rd year.

黄金の教育



～豊かな心で文武両道 南中生～
南風原町立南風原中学校
発行者 校長 當間 保

南風原オリンピックJP杯

最高の仲間と団結力を発揮！

～みんなで創り上げた団結の力～



7月1日「時が来た！最高の仲間と団結力を発揮せよ！」をテーマに、生徒会体育委員や学年プロ委員を中心に、生徒が企画運営する新たな行事「南風原オリンピック JP 杯」開催されました。生徒の皆さんの様々なアイディアを生かし、笑いあり、真剣勝負ありの充実した行事でした。特に体育委員や各係りの頑張りや、生徒同士で声を掛け合い一生懸命取り組む姿に、南風原中の素晴らしさを改めて感じる素晴らしい1日となりました。

新型コロナの為に参加できなかった生徒や、台風による雨の影響で延期になった種目もあったので、日を改めて実施を予定しています。次もみんなで楽しい行事を創ってください。また雨の中、たくさんの保護者の皆さんにも応援に来て頂きました。ありがとうございました。



《新たな行事を成功に導いた体育委員の皆さん》

南風原オリンピックJP杯を終えて

1年 西里 愛梨

みんなで協力し合って、他の学年も楽しそうに取り組んでいて良かったと思います。リレーは雨でできなかった、2年生、3年生を見て、小学校の時よりめっちゃレベルが上がっていてすごいと思いました。スタートの時に全員がこけて、見ている人を楽しませようと雨の中頑張っていて、さすが先輩達だと思いました。



2年 安慶田 翔子

普段あまり話さないような人とも、学級全体で競技に取り組むことで一体感が生まれたと思いました。学年種目では、人数の関係で友達同士のペアは少なかったけど、お互いに声をかけ合ったり、タイミングを合わせながら走る事で、今まで機会がなくて話しにくかったりする人とも話しやすくなって、打ち解けていると感じました。リレーでは自分のクラスを応援したり、走り終わった人にねぎらいの言葉を男女関係なくかけたりすることで、分け隔てなくお互いを励まし、認め合えるようになったと思います。



3年 仲里 香音

騎馬戦はできなかったけれど、リレーでクラスが1つにまとまり、バトンを繋げてとてもいいなと思いました。目標とした3位には入れなかったけど、色々なことを感じる事ができました。またほかの学年種目をみて少ない種目でも楽しめました。雨が降ったことで普段話さない人と話したりすることができて、メリットもあったと思いました。



6月平和月間

平和の大切さを問い続ける

～日本は、沖縄は平和ですか？～

今年、沖縄戦終結から77年目になります。私たちが住む沖縄では、戦争によって日本や米国等、敵味方関係なくたくさんの兵隊と、沖縄に住む多くの方々の尊い命が失われました。悲惨な戦争を二度と起こさないという強い決意と、沖縄戦で失われた何十万という方々のご冥福を祈り「慰霊の日」があります。本校では毎年6月の平和月間に、沖縄戦の学習を通して平和について考えてきましたが、今年は生徒一人一人が折り鶴と平和のメッセージを作成しました。また図書館の特設コーナーをはじめ、南風原平和ガイドの会、平和朗読の会の方々の読み聞かせ、そして県内外で平和学習の講師として精力的に活動している「狩俣日姫」さんを講師に学習を行いました。

1年生の平和学習会の様子はQABニュースでも紹介されました。これまで戦争は遠い昔の話しという感覚がありましたが、ロシアとウクライナの状況を見ると、「私たちは今、戦前に生きているのでは？」という問題意識を持ち、世の中に目を向けながら、平和についてしっかり考える大切さを感じています。



《2年生 狩俣日姫さんの講演》



《QAB ニュースのインタビュー》



児童生徒の平和メッセージ

3年 大城ゆずさん 優秀賞受賞

～「光差す明日を」平和の光 絶やさない～

沖縄県「児童・生徒の平和メッセージ」詩の部門に3年生の大城ゆずさんが見事「優秀賞」に選ばれました。ゆずさんは山梨の祖父母から聞いた「甲府空襲」の戦争体験を踏まえて命のリレーと平和の大切さを詩にまとめています。

慰霊の日の前日には、「山梨日日新聞」に写真入りで大きく紹介され、沖縄と山梨との平和の架け橋としての期待が寄せられています。



オンライン生徒総会 より良い学校へ

6月22日(水)今年もオンラインで生徒総会が行われました。今年の生徒会のテーマ「Challenge」です。SDGsをキーワードに学級や委員会活動等、様々な場面でチャレンジしようと呼びかけています。また

《真剣に生徒総会に臨む2年生》一人一人の存在を大切にしよう、「いじめゼロ宣言」も行われました。みんなで考えて学級や学年に掲示した「いじめゼロ」を意識して、思いやりの溢れる南風原中にしていきましょう。



1年PTA作業ありがとうございました

6月18日(土)1年生の親子PTA作業が行われ、保護者の皆さんと1年生、先生方が日頃清掃や草刈り作業が行き届かない場所をきれいにしてくれました。ありがとうございます。



令和4年度 校長だより

★ 3rd. year.

黄金の教育



～豊かな心で文武両道 南中生～
南風原町立南風原中学校
発行者 校長 當間 保

充実の2学期へ

一人一人が輝く2学期に向けて

学校行事や様々な活動へのチャレンジを！

8月26日(金)から2学期が始まりました。オンライン始業式では、各学年と生徒会代表から「1学期の課題を改めて、みんなで協力して充実した2学期にしたい。」と力強い決意が示されました。校長先生からは、「自分で計画を立てて行動できる生徒」について、特に家庭学習や自主学習で意識して欲しいという話と、東京オリンピックの金メダリスト喜友名 諒選手の活躍から、日々の小さな積み重ねと礼儀についての話をしました。引き続き「時を守り、場を清め、礼を正す」を意識して、一人一人が成長できる2学期にしてください。また2学期は様々な行事もあります。仲間と過ごす時間を大切にして、有意義な2学期にしていきたいと思います。



《各学年と生徒会代表による2学期の抱負 発表》



始業式後、2学期の学級役員任命式も行いました。学級役員と協力して、各学級一人一人の良さが発揮できる学級、自分達で考えて行動できる学級作りを意識して取り組んでください。

2学期の主な行事

- 9/17(土) 島尻地区中学校陸上競技大会
- 10/25(火) 校内合唱コンクール(黄金ホール)
- 11/2(水)～4(金) 3年 修学旅行(九州)
- 11/4(金) 1, 2年 社会見学
- 12/11(日) 総合文化発表会

-生徒会校則検討委員会-

より良い学校生活を送るには？

～校則についてみんなで考える～



《第3回検討委員会 グループ発表》

今年度生徒会では、より良い学校生活を目指して、校則について考える校則検討委員会を立ち上げ、7月から2月まで全

10回の検討委員会を予定しています。8月の委員会には本校の卒業生である仲地宗哲弁護士をお招きして、法律の視点から見た校則について学習会を行いました。学校では生徒が健全な学校生活(集団生活)を送り、将来社会の担い手として、より良く成長していくための行動の指針として、いわゆる校則を定めています。校則は、学校を取り巻く社会の状況に合わせて見直しを行っています。例えば南風原中では昨年度から制服選択制の導入や、今年度は校外での防犯を目的に、制服やジャージ等のネーム刺繍の廃止など実施してきました。一方で集団生活を行う上で、安全面などから行動に制限をかけるルールを設ける事もあります。また身だしなみを整えることは、学校でも将来社会人になっても求められるマナーなので、制服や身だしなみについて服装規定を定めています。これまでは、先生方が校則について毎年見直しを行ってきましたが、今回初めて生徒も参加して校則について検討する機会を設けました。生徒も一緒に校則について考えて、校則が自分の成長のためにあるという実感と意識を持つ機会になって欲しいです。

「教育実習」先輩よろしくお願いします

9月1日から本校の卒業生7名が、教育実習生として頑張っています。目標に向かって頑張っている先輩方の姿は、生徒の皆さんにとっても大きな刺激になっていると思います。9/22 金



まで3週間よろしくお願いします。

- ①堀川駿斗(数学)1-1
- ②恩納 楓(理科)2-9
- ③親泊侑生(英語)3-3
- ④新垣開世(英語)1-6
- ⑤知念千夏(英語)2-2
- ⑥新垣佐和(保体)2-4
- ⑦知念琉星(保体)3-5

一夏休みの活躍一

南中、九州の舞台でも躍動!

～九州中学校体育大会・各種大会～

男子柔道部、九州大会「準優勝!」



夏休み期間、沢山の生徒が沖縄県の代表として九州大会や全国大会に出

《女子バレー 九州大会 佐賀県》

場しました。



《男子バド 九州大会 沖縄県》

特に男子柔道部は昨年九州大会3位から、さらに順位を上げて、沖縄県で初となる九州大会準優勝に輝きました。どの部活動

《男子バド 九州大会 沖縄県》でも目標に向かってコツコツと努力を重ね、自分を高めようとする姿勢は、みんなの大きな励みになります。



《水泳 九州大会 鹿児島県》います。

九州大会出場 【団体】男子柔道、女子柔道
女子バレー、男子バドミントン

【個人】テニス 仲宗根琴音、剣道 仲間亮輔、
バドミントン 儀間咲也菜、佐久本嘉月、
伊佐 聡真、赤嶺佑力翔、水泳 久手堅由乙
全日本中学女子野球全国大会(京都)
日置琉夏、大城心美

3年ぶりの開催

地区陸上に向けて奮闘中!

～島尻地区中学校陸上競技大会～



地区陸上競技大会が9月17日(土)に3年ぶりに開催されます。本校では、8月1日から週3回の練習ペースで練習に取り組んできました。3年生は受験勉強との両立、1・2年生は自分の部活動との調整など、大変な面もあったと思いますが、目標に向かって努力をし、挑戦することは必ず取り組んだ人一人一人の力になります。陸上競技を通して、心と体も大きく成長する事を期待します。

選手以外の皆さんも、地区陸上に向けて一生懸命取り組んでいる仲間を激励し、みんなで応援して力になってください。



第26回南風原うちなーぐち大会

8月14日(日)黄金ホールで、南風原うちなーぐち大会が開催され、小学1年生から70代の方まで10名がエントリーして、うちなーぐちでの童話や意見発表が行われました。うちなーぐちは未来へ残したい大切な言語です。その伝承に向けての取り組みはとても大切だと思います。審査の結果、本校の2年生上原歌乃さんが見事「最優秀賞」を受賞し、町代表として県大会への出場が決定しました。昨年度、町代表になった1年生の新垣七教さんは特別賞を受賞しました。



令和4年度 職員一覧

2022.4～2023.3

校長 當間 保

教頭 兼城 雅也

1学年

比嘉 麻希
仲間 大輔
平良 聖子
田港 佳奈
眞座 孝弥
池田 晴菜
白玉 慎二
上江洲 亜里沙
池田 武
平良 直美
友利 忠司
喜納 優子
下地 紗織
大城 弘美
山城 宏介
伊志嶺 周斗
金城 久徳
安谷屋 知美
山城 宏介

2学年

宜野座 一彦
漢那 崇友
大城 みゆき
上地 義朗
濱中 美己子
山川 志穂
垣花 美幸
島崎 祐之
金城 朱里
棚原 淳司
中村 守和
須磨 久美
池間 彦律
運天 秀紀
翁長 佳代
比嘉 杏美乃
比嘉 唯
ティビス 雅美
屋良 優斗

3学年

上原 晶子
我那覇 光浩
瀬底 言
新崎 公子
當間 沙織
外間 幹也
湊川 梓
小橋川 一
照屋 あすか
前大 えり
上原 進
小松 佐知子
國吉 篤男
川上 志穂
長濱 真実

4学年

山田 涼子
山城 祥太郎
新垣 裕己
仲田 麻希子
宮里 和泉
糸数 利香
山城 優子
平良 美智子
仲宗根 葉月
稲嶺 航
伊井 智子
知念 美奈子
山城 あやの
譜久山 由香
リッツィ・ジョール
内山 弘典
金城 清光
根川 弘樹
知念 正則
白金 裕子
高良 麻乃

